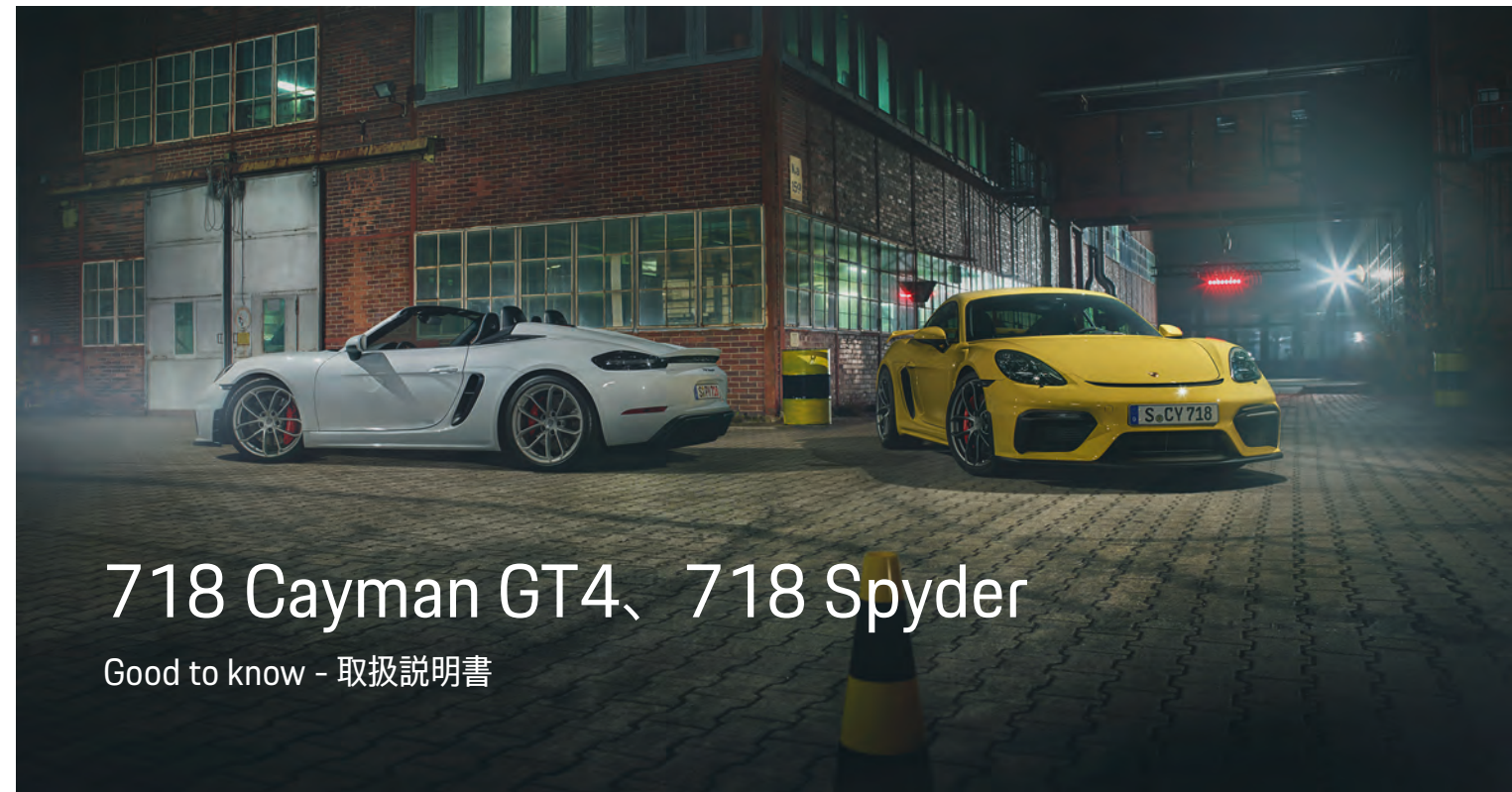


WKD 982 03 D 70 22

718 Cayman GT4、718 Spyder



718 Cayman GT4、718 Spyder

Good to know - 取扱説明書



「Porsche」、「Porsche Crest」、「718」、「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、「Tequipment」およびその他の名称は Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の登録商標です。

本書の一部または全部の複製は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の文書による許可がない限り禁止いたします。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Vertrieb Customer Relations
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

Apple、Apple ロゴ、CarPlay、iPod、Siri、iPhone、iOS および他の Apple の商標は Apple Inc. の登録商標であり、米国およびその他の国で登録されています。「App Store」は、米国およびその他の国で登録された米国アップル社のサービスマークです。IOS は米国およびその他の国における Cisco Technology, Inc. の商標または登録商標であり、Apple のライセンスの下で使用されています。Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の登録商標です。「App Store」は、米国およびその他の国で登録された米国アップル社のサービスマークです。

装備品

ボルシェでは絶えず車両やアプリケーションの開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書のイラストまたは記載内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。車両が販売される国によって、装備品はオプションである場合や、異なる場合があります。追加装備品の詳細については、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店が、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

警告および記号

この取扱説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。



危険

重傷または死亡

「危険」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。



警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う恐れがあります。



注意

中程度の怪我または軽傷を負う可能性

「注意」の欄の警告を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

知識

「知識」の欄の警告を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

i インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件です。

▶ お守りいただく必要のある指示です。

1. 手順が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

1. PCMでお守りいただく必要のある指示です。

▷ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている通知です。

エアバッグ警告ラベル



危険

助手席でのチャイルドシートの使用

チャイルドシートが助手席に取り付けられている場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは使用しないでください。フロントエアバッグが作動した場合、お子様が重傷または致命傷を負う危険があります。

▷ 141 ページのチャプター「チャイルドシート」を参照してください。



マニュアルのレイアウト

目次



概要を把握し、確認したいテーマを探すことができます。

▷ ページ 1 ~

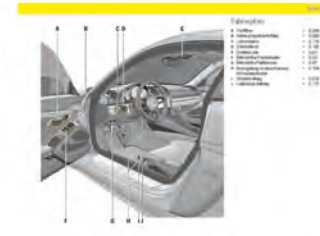
ドライビングプレジャーと安全性



快適なドライブ体験を安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ ページ 3 ~

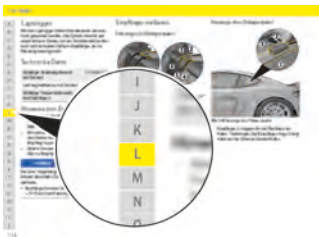
概要図



部品やコントロールについて十分に把握してください。

▷ ページ 17 ~

五十音順トピック



部品やコントロールの仕組み、およびそれら进行操作する方法をご覧ください。

▷ ページ 27 ~

テクニカルデータ



特定の図を検索できます。

▷ ページ 269 ~

索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

▷ ページ 291 ~

目次

| | | | | | |
|-------------------------------------|-----|--|-----|---------------------------------------|-----|
| ドライビングプレジャーと安全性..... | 3 | リヤ ウィンドウ ヒーター / ドア ミラー ヒーター..... | 264 | マルチファンクション ディスプレイ を使用した車両の設定..... | 232 |
| 概観図 | | 運転 / ドライバー アシスタンス システム | | エンターテイメントおよびコミュニケー ション | |
| PCM ドライブ..... | 23 | エンジンの始動および停止..... | 50 | ボルシェ コミュニケーション マネー ジメント (PCM)..... | 213 |
| PCM の各操作部..... | 22 | オートスタート / ストップ機能..... | 52 | 電話..... | 151 |
| PCM の基本操作..... | 24 | クルーズコントロール..... | 61 | ボイスコントロール..... | 204 |
| オーバーヘッド コンソール..... | 21 | クロノストップウォッチ..... | 63 | メディア..... | 241 |
| コントロール パネル..... | 20 | スポーツ エキゾースト システム..... | 119 | ラジオ..... | 261 |
| ステアリング ホイールおよびインス トルメント パネル..... | 18 | トランスミッション..... | 159 | | |
| センター コンソール..... | 19 | トランスミッションおよびシャー シ コントロール システム..... | 166 | ナビゲーションおよび接続 | |
| テキストおよび文字を PCM に入力する..... | 25 | ドライビング データ の表示 (トリップ情報)..... | 168 | ボルシェ コミュニケーション マネー ジメント (PCM)..... | 213 |
| 運転席..... | 17 | 盗難防止機能..... | 169 | 接続..... | 127 |
| 開閉操作とロック | | パーキング アシスタント..... | 183 | デバイス マネージャー..... | 149 |
| ウィンドウ..... | 33 | 発進アシスタント..... | 191 | ナビゲーション..... | 170 |
| 警報システム..... | 89 | フロントワイパー..... | 196 | ボルシェ コネクト アプリ..... | 211 |
| コンバーチブル トップ..... | 90 | ブレーキ..... | 199 | Apple CarPlay..... | 267 |
| キー..... | 107 | ボルシェ アクティブ サスペンシ ョン マネージメント (PASM)..... | 210 | 荷物および運搬 | |
| セントラル ロッキング..... | 122 | ボルシェ スタビリティ マネー ジメント (PSM)..... | 221 | カップ ホルダー..... | 55 |
| ラゲッジ コンパートメント リッド..... | 258 | ボルシェ トラック プレシジ ョ アプリ..... | 224 | 収納..... | 116 |
| エアコンおよび人間工学 | | ボルシェ カー コネクト..... | 225 | スモーカーズ パッケージ..... | 120 |
| インストルメントおよびインテリア | | ラップトリガー..... | 246 | 電気ソケット..... | 150 |
| ライト..... | 30 | ライト類..... | 249 | ラゲッジ コンパートメント..... | 254 |
| エアコン システム (2 ゾーン オー トエアコン)..... | 35 | リヤ スポイラー..... | 265 | | |
| エアコン システム (マニュアル)..... | 41 | インストルメント パネルおよびマル チファンクション ディスプレイ | | | |
| エアバッグ システム..... | 45 | インストルメント パネル..... | 27 | | |
| サンバイザー..... | 98 | 警告およびインフォメーション メッセージ..... | 70 | | |
| シート..... | 99 | マルチファンクション ディスプレイ..... | 226 | | |
| シートベルト..... | 102 | | | | |
| ステアリング ホイール..... | 118 | | | | |
| チャイルドシート..... | 141 | | | | |
| ドア ミラー ヒーター..... | 167 | | | | |
| ミラー..... | 238 | | | | |

目次

モビリティおよび軽修理

| | |
|-----------------------------|-----|
| ウォッシャー液 | 32 |
| エンジン オイル | 47 |
| 給油 | 57 |
| クーラント (冷却水) | 59 |
| けん引およびけん引によるエンジンの始動 | 67 |
| ジャッキおよびリフティングプラットフォーム | 104 |
| ジャンパー ケーブルによる始動 | 105 |
| 車両のお手入れ | 110 |
| セレクター レバーの緊急解除 | 121 |
| タイヤとホイール | 130 |
| テスト スタンドでの測定 | 148 |
| バッテリー | 179 |
| バンク | 185 |
| ヒューズ | 192 |
| ブレーキフルード | 202 |
| ヘッドライト | 203 |
| ワイパー ブレード | 266 |

テクニカル データ

| | |
|----------------------|-----|
| テクニカル データ | 270 |
| 無線装置 (EU の地域外) | 284 |

| | |
|----------|-----|
| 索引 | 291 |
|----------|-----|

ドライビング プレジャーと安全性

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。この章では、ポルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

完璧なテクノロジー：安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。そのため、確かな性能を維持するにはお客様による車両のお手入れと思いやりが不可欠となります。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

損傷および正常な作動状態の点検



技術的な不備のある車両は思わぬ車両操縦を示し、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し(少なくとも1か月に1度および長時間のドライブの前)、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。

- タイヤに損傷がなく、空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
 - ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
 - エアロパーツに損傷がない
 - ワイパーブレードに損傷がない
 - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
 - ドアミラーおよびルームミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
 - センサーおよびカメラに亀裂や損傷がない
 - クーリングエアダクト、センサーおよびカメラが(フィルム、ストーンガード、ナンバープレートホルダー等で)覆われていない
- ▶ 自動車電話や無線装置は必ず外部アンテナに接続して使用し、車内の電磁波のレベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト(破裂)する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて少なくとも1か月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがなければ確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整

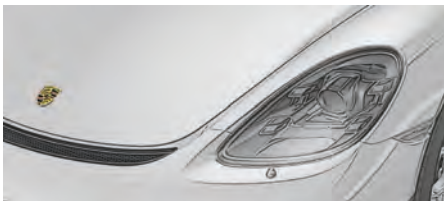


タイヤ空気圧が低すぎるあるいは高すぎると、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ 装着されているタイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 274ページのチャプター「タイヤ空気圧」を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ圧力(TPM)メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。
- ▶ 130ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」を参照してください。

- ▶ マルチファンクションディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したまま運転を**続け**ないでください。必要に応じてタイヤシーラントで応急処置を行ってください。
- ▶ 185ページのチャプター「パンク」を参照してください。

ライトの点検



ライトが故障すると、周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
- 方向指示灯、ブレーキライト、リパースライト
- 霧ランプ
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

エアロ パーツの点検



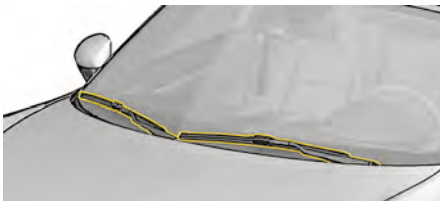
スポイラーやアンダーパネルなど、空力部品が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

車両下回りのプラスチックフィンおよびホイールハウジングライナーに損傷がないかも点検してください。擦り傷の場合は、大きな問題はありません。

- ▶ ホイールハウジングライナーの部品およびフィンの一部や全体が紛失している場合は、速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー ブレードに不具合があると、視界を遮るので事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。

- ▶ ワイパー ブレードの凍結を溶かしてから、フロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパー ブレードは定期的に交換してください。特にフロントウィンドウに筋が残るようになったら交換が必要です。
- ▶ 266ページのチャプター「ワイパー ブレード」を参照してください。

ポルシェ正規販売店によるメンテナンスおよび仕様変更



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。保証期間内に不適切なメンテナンス作業を実施すると、保証が適用されないことがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。これにより、車両の信頼性と走行安全性が保証され、損傷を防ぐことができます。

ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ボルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。イグニッションをオフにした状態で、外部装置（ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。外部機器またはケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

ボルシェのスペア パーツ



- ▶ 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ボルシェ純正部品、またはボルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。これにより、車両の信頼性と走行安全性が保証され、損傷

を防ぐことができます。これらの部品は、ボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ アクセサリーを取り付けるときは、ボルシェテイクアップメント製品またはボルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。ボルシェテイクアップメントに関するインフォメーション：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

i インフォメーション

他社製のスペア パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ボルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペア パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。ボルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ボルシェドライバへの注意事項

ボルシェ車は、100 km/h までわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

そのため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

乗員の命を守るもの：シートベルトの正しい使用方法



シートベルトは適切に着用し、正常に機能している場合のみ乗員保護効果を発揮できます。

i インフォメーション

たとえ 30km/h 程度での走行中であっても、シートベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合のみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短時間の運転であっても、シートベルトは必ず着用してください。
- ▶ 乗員1名に対して必ず1つのシートベルトを使用してください。
- ▶ コートなどの厚手の衣類は脱いでください。
- ▶ ボールペンや眼鏡など、堅い物や壊れやすい物の上にシートベルトがかからないようにしてください。
- ▶ シートベルトがねじれていないことを確認してください。
- ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。
- ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。

- ▶ 摩耗または損傷したベルトやバックル、固定具などは交換してください。
- ▷ 102ページのチャプター「シートベルト」を参照してください。

エアバッグ



すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグシステムは保護効果を発揮することができます。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

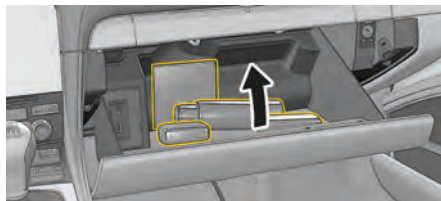
- ▶ 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグシステムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。

- ▶ ステアリングホイール、助手席エアバッグ付近、サイドエアバッグ付近、ヘッドエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品(ステアリングホイール、フロントシート、ヘッドライナーなど)を取り外さないでください。
- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
- ▷ 45ページのチャプター「エアバッグシステム」を参照してください。

車内の荷物をすべて固定する



車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキまたはステアリングを操作したときや事故の際に荷物が飛び出してしまう可能性があります。これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

i インフォメーション

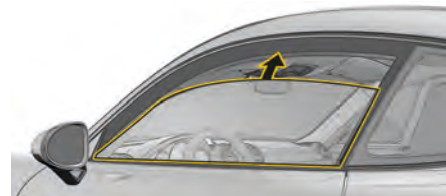
例えば 50 km/h で走行中に衝突した場合は、固定されていない荷物がその重量の 50 倍の力で前方に放り出されます。例えば、1.5 リットルの水が入っているペットボトルは 75 kg の力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントなどの荷物は必ず固定して積載してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物のはみ出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ すべての乗員に安全対策を周知させてください。

正しくボルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▷ 254ページのチャプター「荷物の積載」を参照してください。

狭み込みの防止



人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、挟み込まれたり怪我をしたりする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます。

- 調整式フロントシート
- ドア
- ウィンドウ
- フラップおよびリッド
- 小物入れのリッド
- ▶ これらの車両部品を操作する際は、人や動物が作動範囲内にいないことを確認してください。

お子様の動きの監視

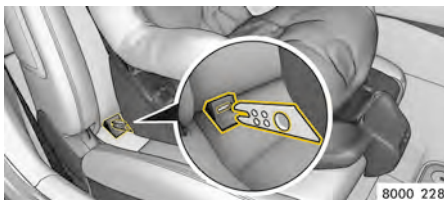


多くの場合、お子様は危険を判断したり、危険な状況で正しく振る舞ったりすることができません。

お子様がシート調整などの自動設定を誤って作動させると、ケガをする原因になります。お子様は、密閉された車内が高温になった場合などの緊急時に、車外に脱出することができません。これは、特に小さなお子様にとって命に関わります。

- ▶ テールパイプなどの高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください。
- ▶ タイヤシーラントやエンジンオイルなどの有害物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

チャイルドシートの安全な使用



チャイルドシートは適切に装着した場合のみ機能します。

- ▶ ポルシェ社で承認されたチャイルドシートのみを使用してください。

- ▶ チャイルドシートを使用する前に：この取扱説明書に加え、チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。
- ▶ 141ページのチャプター「チャイルドシート」を参照してください。

安全で優れたドライビング：常に正しい判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチコントロールから緊急ブレーキ機能まで、走り出せばすべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

注意力低下の防止



運転中にPCMやその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 走行中は決してミラーやシート、ステアリングホイールの位置を調整しないでください。シートやステアリングホイールが予期せず大きく移動する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラーやシート、ステアリングホイールは、お出かけ前に適切な位置に設定してください。

- ▶ マルチファンクションステアリングホイール、インフォテイメントシステムなどは、交通状況が許す場合に限り操作することができます。安全を確保できない場合は、適切な場所に停車してください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯デバイスを使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。危険な状況に素早く反応することができなくなります。

雨天時や積雪時のブレーキ挙動への注意



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があります。ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に駐車する前には何回かブレーキをかけ、ブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ 腐食したブレーキは「振動」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



- ▶ 130ページのチャプター「タイヤおよびホイール」を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生し、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態の維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の200kmは、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
 - ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
 - ▶ マルチファンクションディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
- ▶ 229ページのチャプター「制限速度の設定」を参照してください。

サマータイヤでの走行

外気温が15℃以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温度が7℃を下回る場合、ウィンタータイヤに交換してください。

スポーツタイヤでの走行

特別なスポーツタイヤ(パフォーマンスタイヤ)がサマータイヤとして車両に装備されている場合があります。入手状況に関するインフォメーション:ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法律等の基準および安全基準に適合しています。このタイヤはレースサーキット(安全運転トレーニングコース、スポーツドライビングスクール、クラブスポーツイベント)での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えています。スポーツ・タイヤは、温度が約-7℃を下回ると硬化します。これにより、タイヤに亀裂や腐食が生じる恐れがあります。

- ▶ 外気温度が約-7℃を下回るときは車両を走行させないでください。

特殊なトレッドパターンおよびカーカス、浅めのトレッド溝が主な特徴です。

これらのスポーツタイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来のサマータイヤに比べて、以下のような影響があります。

- スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。
- すべてのタイヤにおいて走行可能距離は個々のドライビングスタイルおよび使用状況に応じて決まります。
- トレッドが浅いので、濡れた路面、特にハイドロブレーキング現象が発生しやすい状況(冠水路、水たまり、轍など)に注意し、状況に合わせて速度を適切に調節してください。
- パフォーマンスの限界域付近で使用すると、タイヤの性能限界を超える危険性の増大を招くため、十分注意を払ってください。
- ▶ 本車両を使用する人に、上記の特性とその影響について知らせてください。

タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロプレーニング現象を起こす危険性が増大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

▶ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。

▶ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

アシスタンス システムとその限界

ボルシェ車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンス システムが装備されています。ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタント システムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。

▶ アシスタント システムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。

▶ 使用する前に、アシスタント システムについて十分に理解してください。

アシスタント システムの 参照先 は次の通りです。

| | ページ |
|-----------------------------------|-----|
| アンチロックブレーキシステム (ABS) | 223 |
| 発進アシスタント | 191 |
| ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) | 210 |

| | ページ |
|----------------------------------|-----|
| ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) | 221 |
| ボルシェ ・トルク ・ベクタリング (PTV) | 166 |
| ボルシェ アクティブ ドライブ トレイン マウント (PADM) | 166 |
| タイヤ空気圧モニタリング (TPM) | 130 |
| オートマチック ヘッドライト、ダイナミック ハイビーム | 249 |
| パーキング アシスタント、リバー スカメラ | 183 |
| クルーズ コントロール | 61 |
| ナビゲーション システム | 170 |


緊急ブレーキ機能



例えば、フットブレーキが故障した場合はエレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能は非常に高い制動力を発揮するため、後続車を危険にさらす場合があります。

▶ 緊急ブレーキ機能は通常の制動時ではなく、緊急時のみ使用してください。

▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、スイッチ  を押し続けてください。ブレー

キを解除するには、スイッチを放してください。

▶ 199ページのチャプター「ブレーキ」を参照してください。

荷物積載時の運転

車両の操縦性は積載量によって変化します。

▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

ローンチ コントロールを使用した発進



発進時にローンチ コントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況では(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限りローンチ コントロールを使用してください。

▶ ローンチ コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

▶ 159ページのチャプター「トランスミッション」を参照してください。

▶ スポーツ エキゾースト システムを排気音最適化モードに切り替えて非常にスポーティな走行を行うと、ノイズがかなり大きくなります。そのため、社会的責任を自覚

し、特に夜間は近隣住民のプライバシーを尊重してください。

警告シグナルへの適切な反応



センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を發します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。
- ▶ 29ページのチャプター「警告灯およびインジケーターライト」を参照してください。
- ▶ 70ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
- ▶ 57ページのチャプター「給油」を参照してください。

車両の燃料タンクが事故で損傷した場合は、燃料が流出して発火や爆発を起こす恐れがあります。

- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

有害な液体



燃料だけでなく、エンジンオイル、トランスミッションオイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ メンテナンス作業は屋外か、屋内の換気が良い場所のみで実施してください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。

エンジンオイルは発火することがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。

- ▶ エンジンオイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

有毒な排気ガス



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車するか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。

- ▶ PDK 装備車：セレクター レバーを **P** 位置に入れてください。インストルメント クラスターのセレクターレバー位置 **P** が点滅している場合、パーキング ロックが正しくかかっていません。この場合は、セレクターレバーを **R** の位置に動かしてから **P** の位置に入れ直してください。
- ▶ マニュアルトランスミッション 装備車：1 速またはリバース ギヤに入れてください。エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾーストシステムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至ったりする恐れがあります。
- ▶ 可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温のエキゾーストシステムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様 がテールパイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万一のときには：故障および緊急時の安全確保

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

緊急時はボイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。

消火器を取り外す

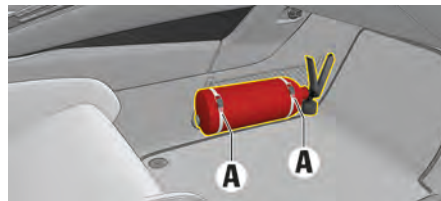
クラブスポーツ パッケージ 非装備車



車両に消火器が装備されている場合、助手席シートの下に取り付けられています。

- ▶ 片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの **PRESS** ボタンをもう片方の手で押してください。

クラブスポーツ パッケージ 装備車



クラブスポーツ パッケージ 装備車では、助手席側フロントシートの足元に消火器が取り付けられています。

- ▶ 片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの2個のロック **A** をもう片方の手で解除してください。

消火器を正しく安全に使用するために、以下の点を守ってください。

- ▶ 消火器の定期点検時期を遵守してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。

- ▶ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。
- ▶ 消火器のハンドルに貼付されている消火器メーカーの安全に関する指示に従ってください。
- ▶ 消火器は1~2年毎にボルシェ正規販売店で点検を行ってください。
- ▶ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。

車両への作業に関する注意事項



エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

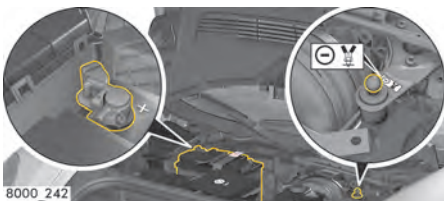
クーラントタンクには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラントリザーバーのキャップを **開かない** ください。水温計の表示が 60°C を下回るまで待ってください。
- ▶ 59ページのチャプター「クーラント (冷却水)」を参照してください。

車両への作業を行う場合、その種類によっては負傷を防ぐために保護手袋を装着する必要があります。

- ▶ 車両への作業を行う場合は、ボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ジャンパーケーブルによるエンジンの始動



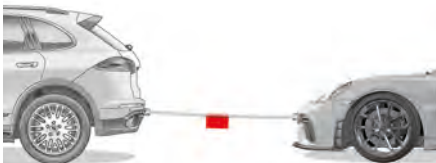
不適切なジャンパーケーブルを使用したり、不適切な始動手順を行ったりすると、回路がショートして火災が発生する恐れがあります。ジャンパーケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。

また、エンジンコンパートメント内でバッテリー液に接触したり、ラジエーターファンなどの部品が自動的に作動したりすると、ケガをする恐れがあります。

ジャンパーケーブルによるエンジンの始動を行う前に：

- ▶ 105ページのチャプター「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」を参照してください。

けん引



けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワーアシスト機能が作動しないため、操舵力が増加します。ブレーキブースターが作動しない場合は、ブレーキ操作に大きな踏力が必要となります。

- ▶ けん引時にエンジンが停止している場合、またはパワーアシスト機能またはブレーキブースターが作動しない場合は十分に注意してください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 地上高が低い場合、けん引時または他の車両にけん引される時は十分に注意してください。
- ▶ 67ページのチャプター「けん引およびけん引によるエンジンの始動」を参照してください。

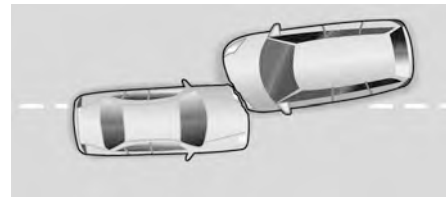
パンク



損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

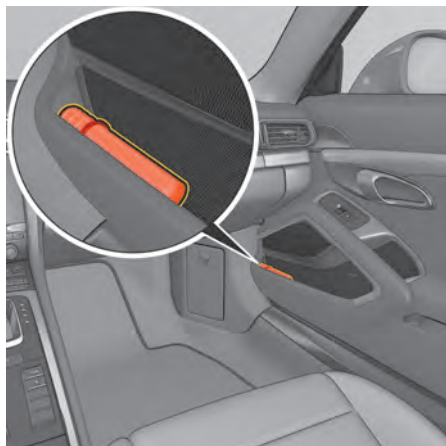
- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行しないでください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
- ▶ 185ページのチャプター「パンク」を参照してください。

衝突後



事故の後には、シートベルトプリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- ▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装備は交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

警告

火傷や火災につながる恐れがあります

- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けて、近づけないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様が見えないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車を損傷する恐れがあります

注意

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ランプを使用してください

発炎筒の使い方

1. キャップを外します。本体をひねりながら、ケースから取り出します。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込みます。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこすると着火します。

お出かけの前に：車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください。

- ▶ なるべく長距離走行をする。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避ける。
- ▶ 自動車レース、スポーツドライビングスクールなどに参加しないでください。
- ▶ エンジン回転数が4,000rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

新しいブレーキパッドの慣らし運転



新品のブレーキパッドおよびブレーキディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合もこれと同じ状況になります。

地上高に注意する



この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- ▶ 急な傾斜路での走行は避けてください。
- ▶ 以下の状況では注意して走行してください。
 - 立体駐車場などの急な坂道
 - 縁石がある場合
 - 凹凸のある路面を走行する場合
 - 段差台がある場合
- ▶ 水たまりや浅瀬の走行時は、車体の下側に水に浸さないようにしてください。

サーキット走行



公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。これには、サーキット走行後毎の点検の実施および必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアッセンブリ全体のオーバーホールが含まれます。

- ▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのボルシェ正規販売店にご確認ください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

サーキット走行終了後は「クーリングラップ」走行を実施し、大きな熱負荷が加わったシャーシコンポーネントの温度を下げる必要があります。車両をすぐに停車すると、熱を効果的に冷却できないことによって構成部品の温度を更に上昇させる結果に繋がります。これは、個々のコンポーネントに修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ブレーキシステム

ブレーキフルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

レースサーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12か月以上経過したブレーキフルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ レースサーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ボルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

エンジンオイル

- ▶ レースサーキット走行の前後に、エンジンオイルレベルを確認します。

- ▶ 47ページのチャプター「エンジンオイル」を参照してください。

718 Cayman GT4

サーキット走行に関する注意事項については以下を参照してください。

- ▶ 別冊の「サーキット走行の前に」

海外での走行の前に



すべてのボルシェモデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペアパーツが入手できない、あるいはボルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

国外で走行する前に以下の点を確認してください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか？
- 車両は技術的調整を必要としていますか？
- 燃料のオクタン価レートは十分ですか？
- ヘッドライトは左側/右側通行向けに変更する必要はありませんか？
- ▶ 235ページのチャプター「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」を参照してください。

車両のデータ処理



この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能(ドライバーアシスタンスシステム)を提供します。またこの車両は ECU 制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

車両のテクニカルデータの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータメモリーを備えています。通常、本テクニカル・インフォメーションには構成部品、モジュール、システム、または環境、以下のようなもの:

- システム構成部品の作動状態(例: 充填レベル)(充填レベルなど)
- 車両または各構成部品に関するステータスメッセージ(例: ホイール回転数、速度、減速度、横加速度)
- 重要なシステム構成部品の故障(例: ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応(例: エアバッグの展開、スタビリティコントロールシステムの作動)
- 環境要因(例: 温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メー

カーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性メモリーで、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部のみが故障メモリーに保存されます。またこの車両は ECU 制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。電子コントロール・ユニットによって制御されます。

テクニカルデータの読み出し

車両の整備時、サービスネットワーク業者(例: ワークショップ、ロードサービス、メーカー)は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。整備には、修理、サービス点検、保証での作業、品質保証対策などが含まれます。

データは車両の OBD (「オンボード診断」) 用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービスネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためボルシェに送信される場合があります。車両の故障およびイベントメモリーは修理またはメンテナンス中にサービスセンターによるリセットが可能です。

車両の機能の利用

選択した機器に応じて、車両のコンフォートおよびインフォテインメント機能のその他の設定に加えてマルチメディアおよびアドレスブックデータ、またはナビゲーション目的地等の情報をご自身で追加できます。このデータは車両で局所的に保存されたり、車両に接続した機器に保存されます(スマートフォン、USBスティックまたは MP3 プレーヤー)。車両にデータを保存している場合はいつでも消去可能です。このデータは特にオンラインサービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な機器が装備されている場合は、車両に内蔵された制御装置を使用して接続したスマートフォンまたは他の携帯機器を制御可能です。スマートフォンからの画像および音はマルチメディアシステムにより出力可能です。特定の情報をスマートフォンに送信することもできます。これには一般的な車両情報または位置データなど(装備品のタイプによって異なる)が含まれます。これにより、ナビゲーションシステムの使用または音楽の再生など、選択したスマートフォンのアプリを最適に使用できます。ナビゲーション・システムまたは音楽再生スマートフォンを使用して車両データに自動アクセスすることはできません。データ処理のタイプはご使用のサプライヤーにより異なります。設定可能かどうか、またどの設定が設定可能かは、ご使用のスマートフォンのアプリおよびオペレーティングシステムにより異なります。

オンラインサービスの使用

車両にワイヤレスネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器(スマートフォンなど)によりワイヤレスネットワークに接続可能です。このワイヤレスネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これには、ボルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンラインサービスおよびアプリケーション/アプリが含まれません。

ボルシェ オンラインサービスの場合は、各種機能についての説明が適切な場所(例: ボルシェコネクトウェブサイト)に提供されており、関連するドライバー通知も提供されています。オンラインサービスの提供のために個人データが使用されることがあります。このデータは、ボルシェの専用 IT システムなど、安全性が確保された接続方法により送受信されます。

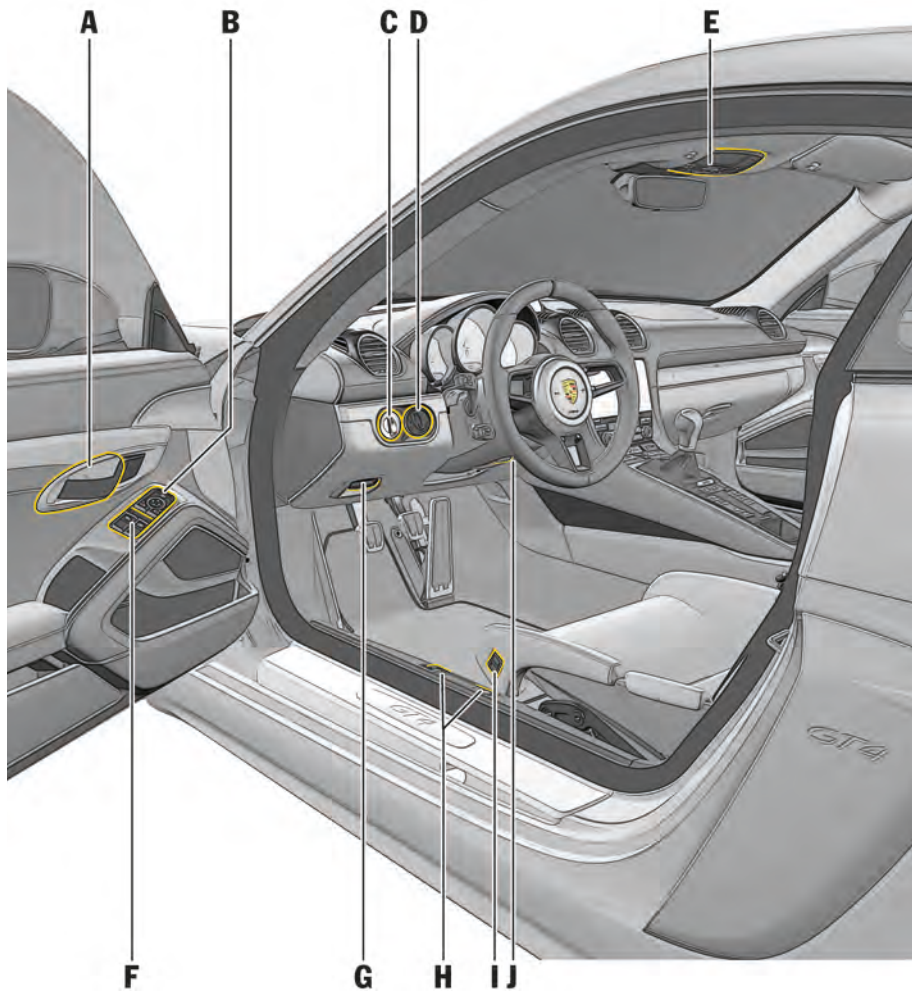
サービスの規定以外の目的での個人データの収集、処理および使用は、法律またはお客様の同意に従ってのみ実施されます。

通常、[料金ベース] サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。これは特に、法的要件機能およびサービスには適用されません。

他のプロバイダーからオンライン サービスを使用する可能性がある場合は、責任は各プロバイダーにあり、各プロバイダーのデータ保護要件および使用規約に従うものとします。ポルシェはこのようなデータ交換については干渉いたしません。したがって、第三者が提供するサービスにおける個人情報の取り扱いや、収集する個人情報の種類、範囲、またその目的については、各サービスプロバイダーに直接お問い合わせください。

概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概観図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。

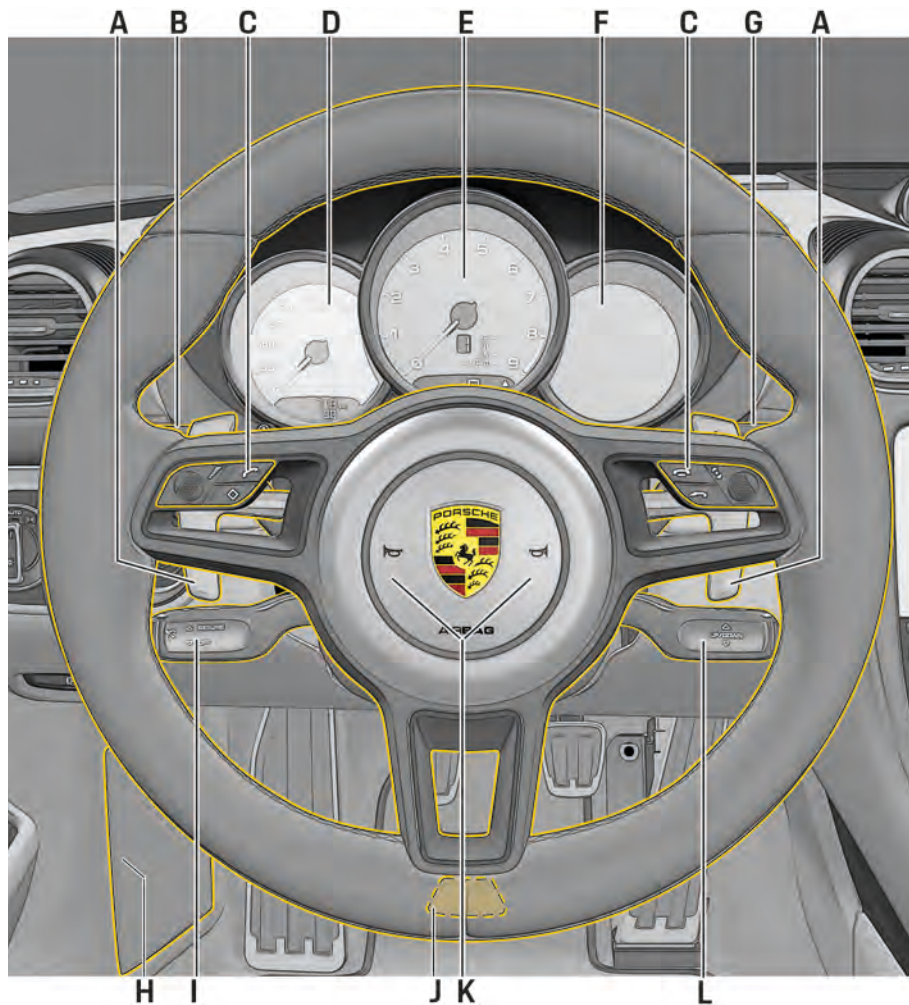


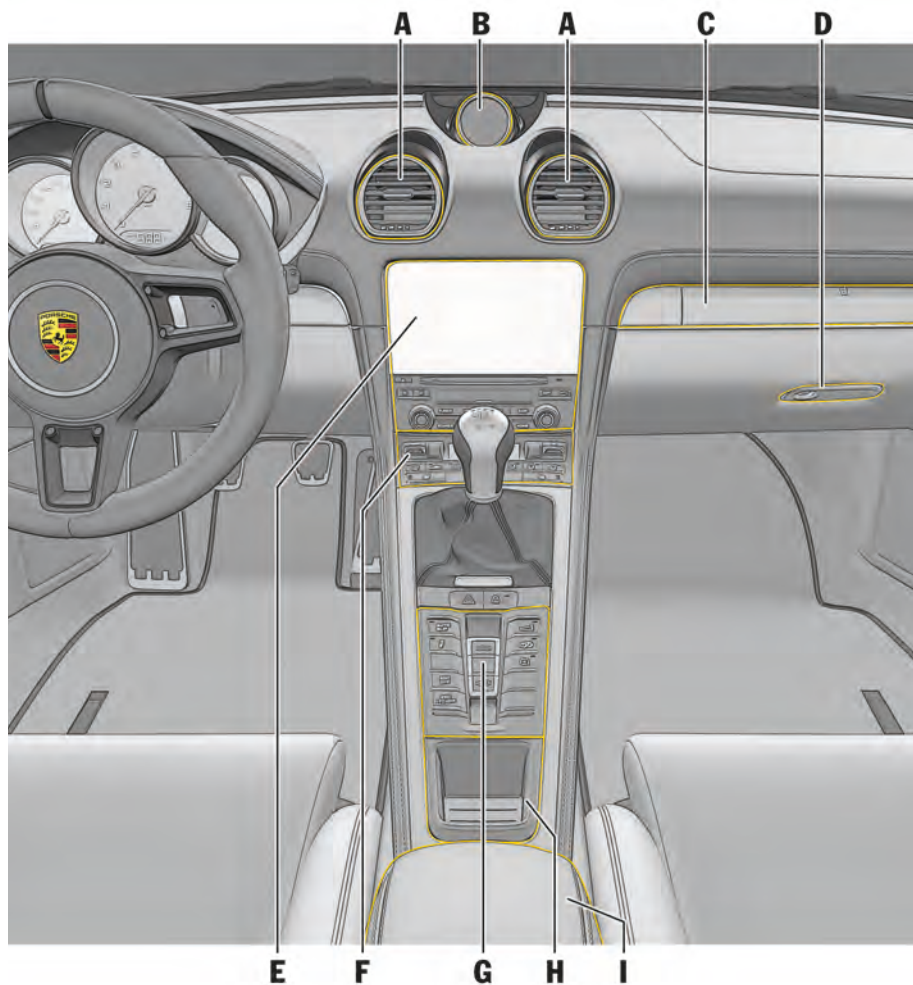
運転席

- | | | |
|----------|-----------------------------|--------|
| A | ドア オープナー | ▷ P123 |
| B | ドア ミラーの 調節 | ▷ P238 |
| C | ライト スイッチ | ▷ P249 |
| D | イグニッション ロック | ▷ P50 |
| E | オーバーヘッド コンソール | ▷ P22 |
| F | パワー ウィンドウ | ▷ P34 |
| G | エレクトリック パーキング ブレーキ | ▷ P199 |
| H | フロント/リヤラゲッジコンパートメントリッドのリリース | ▷ P258 |
| I | シート調節 | ▷ P99 |
| J | ステアリング ホイール 調節 | ▷ P118 |

ステアリング ホイールおよびインストルメント パネル

- | | | |
|----------|--|--------|
| A | PDK シフトパドル | ▷ P163 |
| B | 方向指示灯およびハイビーム | ▷ P251 |
| C | 電話、ラジオ、マルチファンクションディスプレイのマルチファンクションボタン | ▷ P226 |
| D | スピードメーター | ▷ P28 |
| | 警告灯およびインジケータライト | ▷ P29 |
| E | タコメーター(回転計) | ▷ P28 |
| | 警告灯およびインジケータライト | ▷ P29 |
| F | マルチファンクションディスプレイ | ▷ P28 |
| | 警告およびインフォメーションメッセージ | ▷ P70 |
| G | フロントウィンドウワイパー | ▷ P196 |
| H | 故障診断用ソケット | ▷ P5 |
| I | クルーズコントロール | ▷ P61 |
| J | ステアリングホイールヒーター | ▷ P118 |
| K | ホーン | |
| L | マルチファンクションディスプレイのレバー(マルチファンクションステアリングホイール非装備車) | ▷ P226 |

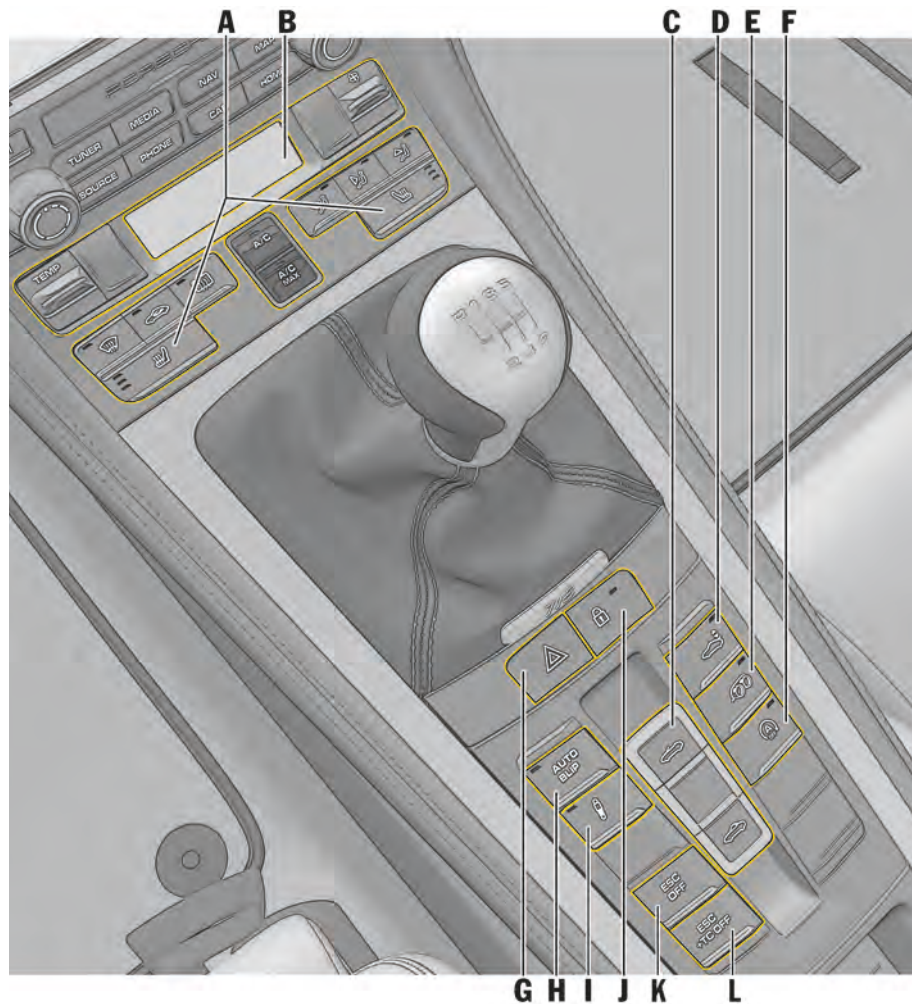




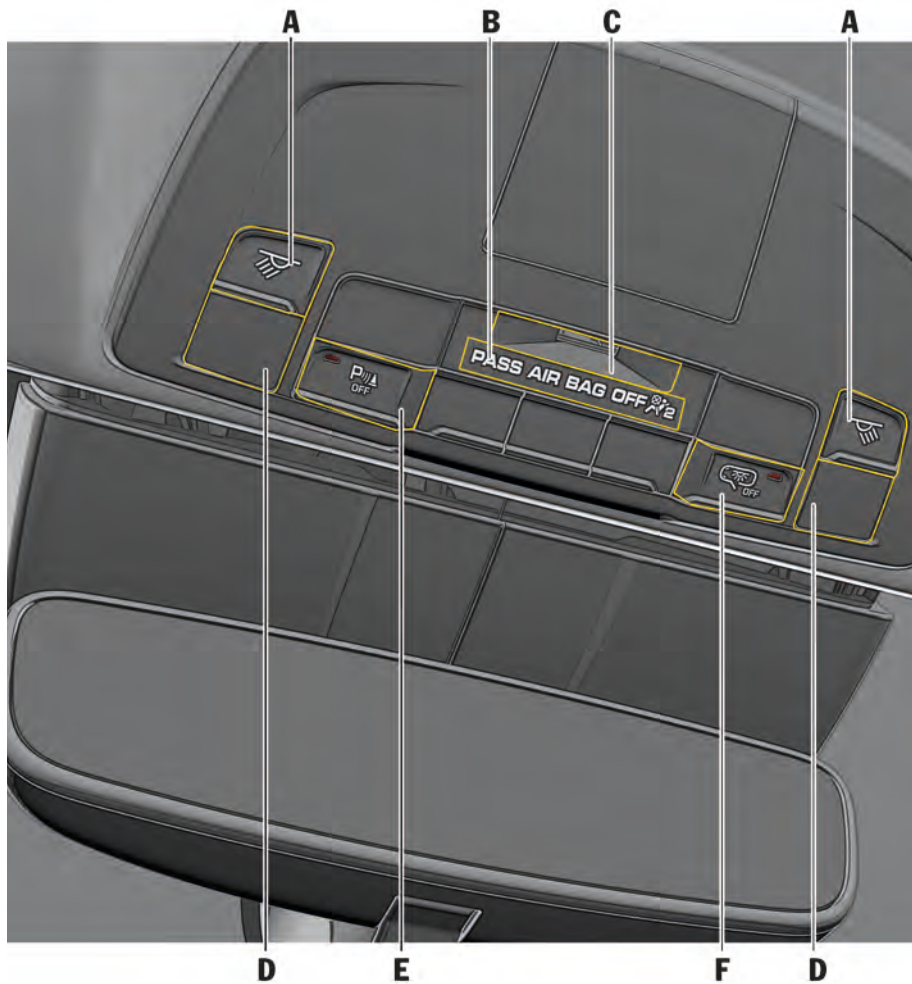
センターコンソール

- A エアベント ▷ P39
- B クロノストップウォッチ ▷ P63
- C ドリンクホルダー/カップホルダー ▷ P55
- D グローブボックス ▷ P116
- E ボルシェコミュニケーションマネージメントシステム (PCM) ▷ P23
- F エアコンコントロールパネル ▷ P20
- G コントロールパネル ▷ P21
- H 灰皿、シガーライター ▷ P120
- I 小物入れ ▷ P116

コントロールパネル



- A** シートヒーター ▶ P101
- B** エアコンコントロールパネル ▶ P36
- C** コンバーチブルトップ用
コントロールパネル ▶ P90
- D** リヤスポイラー ▶ P265
- E** スポーツエキゾーストシステム ▶ P119
- F** オートスタート/ストップ、ア
ダプティブシリンダーコント
ロール ▶ P52
- G** ハザードライト ▶ P252
- H** マニュアルトランスミッション
装備車：
AUTO BLIP（自動スロットルブ
リッピング機能）
-または- ▶ P162
- I** PDK 装備車：
PDK スポーツモード
- J** ポルシェ アクティブ サスペン
ション マネージメント (PASM) ▶ P210
- K** セントラル ロック ▶ P122
- L** エレクトロニック スタビリティ
コントロール (ESC) ▶ P221
- L** エレクトロニック スタビリティ
コントロール (ESC) およびトラク
ションコントロール (TC) ▶ P222



オーバーヘッドコンソール

- A インテリアライト/読書灯用ボタン ▷ P31
- B 助手席エアバッグ OFF 警告灯 ▷ P146
- C インテリアライト ▷ P31
- D 読書灯 ▷ P31
- E パークアシスト ▷ P183
- F 自動インテリアライト ▷ P31

PCM の各操作部

- A** 音量設定、PCM の ON/OFF の切り替え ▷ P214
- B** ラジオ ▷ P261
- C** メディアおよびラジオ音源 ▷ P241
- D** ミュージックおよびビデオ ▷ P241
- E** 電話、メッセージおよび Eメール ▷ P151
- F** ナビゲーション ▷ P170
- G** 車両およびシステムの設定 ▷ P219
- H** 地図および交通情報通知 ▷ P174
- I** メインメニュー、サウンド設定 ▷ P215
- J** ボルシェ コネクト サービス ▷ P127
- K** Apple CarPlay ▷ P267
- L** MyScreen ▷ P217
- M** ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操作) ▷ P215
- N** バック ボタン：前の操作を取り消す、選択を中止する、または 1 つ前のメニューに戻る ▷ P214
- O** メインメニュー、サウンド設定に応じた設定 ▷ P215
- P** 時刻の設定 ▷ P214
- Q** タッチスクリーン (PCM の操作) ▷ P215
- R** デバイス マネージャー [電話を接続する、ワイヤレス インターネット アクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple CarPlay およびアプリの接続状態を表示する] ▷ P149
- S** スキップ ボタン (曲 / 放送局の設定)

P170_60



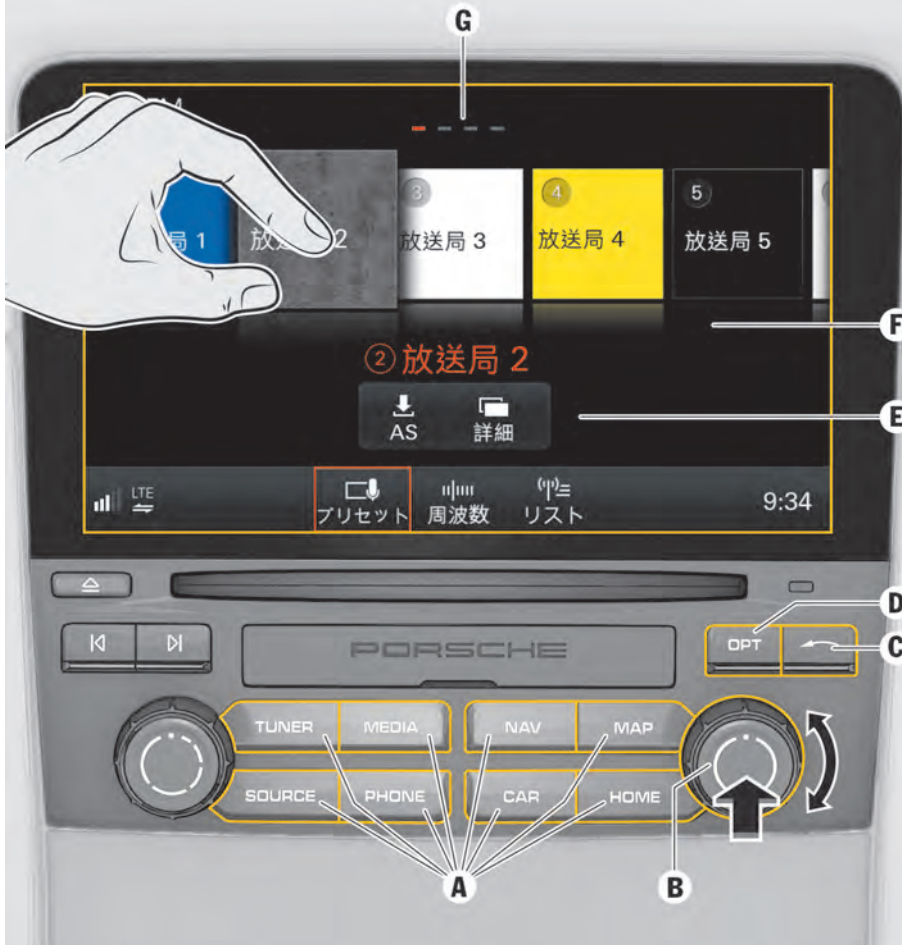
P170_61

PCM ドライブ

- | | |
|---------------------------|--------|
| A CD/DVD ドライブ | ▷ P218 |
| B SD カードリーダー 1 | ▷ P218 |
| C SIM カードリーダー | ▷ P127 |
| D SD カードリーダー 2 | ▷ P218 |
| E CD/DVD イジェクト ボタン | ▷ P218 |

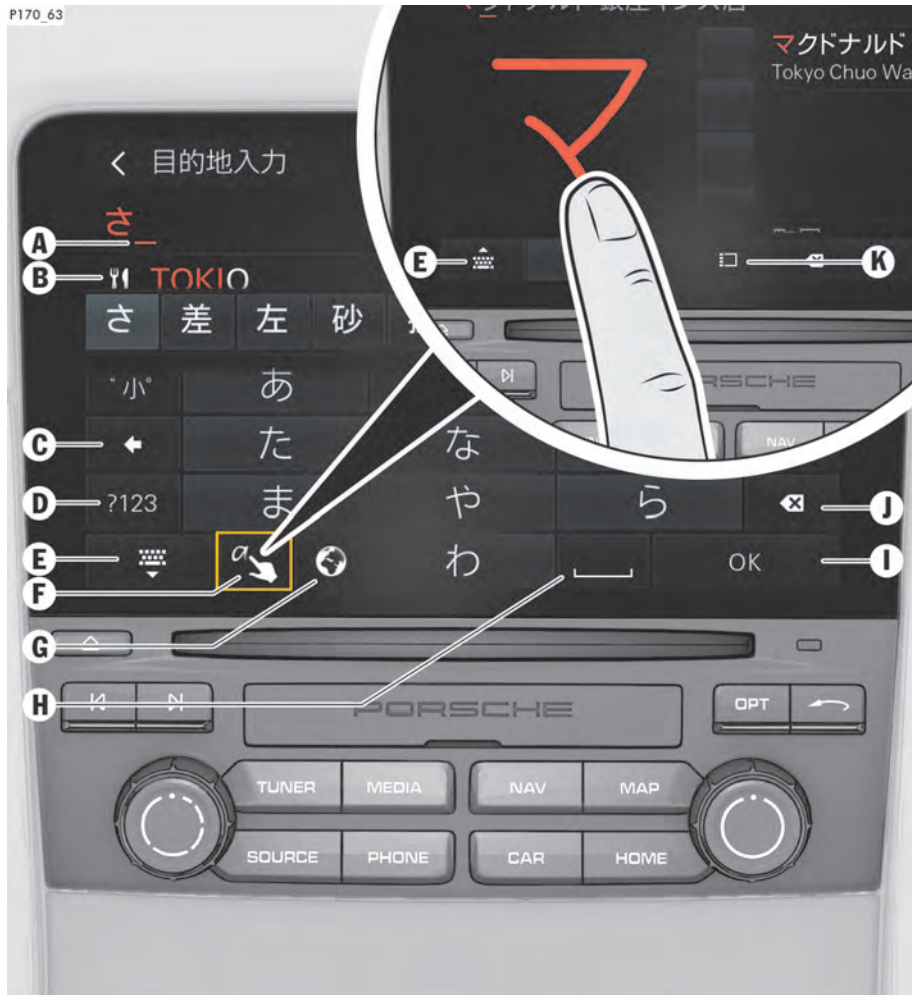


P170_62



PCMの基本操作

- A** メインメニューを開く
- ▶ ボタン**例：**TUNER**
または
メインメニュー **HOME**
の機能を選択してください。
- B** PCMの操作用ロータリープッシュボタン ▶ P215
- ▶ ロータリープッシュボタン **B** を回して機能を選択してください。
 - ▶ ロータリープッシュボタン **B** を押して選択内容を確定してください。
- C** バックボタン：前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る
- D** メインメニュー、サウンド設定に応じた設定
- E** コントローラーの機能を開く ▶ P214
(近接センサーがアクティブの場合は、手をPCMの近くに動かすだけです)
- F** PCMの操作用タッチスクリーン ▶ P215
- ▶ タップ (指で軽く触れる)
 - ▶ 長押し (指を押し付けてそのままにする)
 - ▶ スクロール (上下にスワイプする)
 - ▶ スワイプ (左右にスワイプする)
 - ▶ ドラッグ&ドロップ (項目をタッチして、希望の位置までドラッグして放す)
 - ▶ ズーム (2本の指をディスプレイに触れたまま広げるまたは狭める)
- G** 他のページを表示：左右にスワイプして他のページを開く



テキストおよび文字を PCM に入力する

- A 現在のカーソル位置 ▶ P216
- B 候補のリスト ▶ P216
- C 大文字と小文字を切り替える ▶ P216
- D 文字、数字および特殊文字の入力切り替え ▶ P216
- E キーボードを表示する / 隠す ▶ P216
- F 手書き文字認識機能（タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する） ▶ P216
- G キーボードの調整 ▶ P216
- H スペースの挿入（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を左から右にスワイプする） ▶ P216
- I 入力を決定する ▶ P216
- J 項目を削除する（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を右から左にスワイプする） ▶ P216
- K 英語、ひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字の手書き認証：代替文字の表示 / 非表示の切り替え ▶ P216

トピック

以降のページには、五十音順に項目が掲載されています。

インストルメントパネル



図1：インストルメントパネルの表示

A-スピードメーター

B-タコメーター（回転計）

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

C-マルチファンクションディスプレイ

▷ 226ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイ」を参照してください。

D-トリップメーターリセットボタン / インストルメントライトおよびPCMの明るさ調節ボタン

▷ 31ページのチャプター「インストルメントおよびインテリアライト」を参照してください。

E-積算距離計 / トリップメーター

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。9,999 kmを超えると、トリップメーターの表示が「0」に戻ります。

トリップメーターの手動リセット：

▶ トリップメーターリセットボタンDを約1秒間押し続けてください。トリップメーターが「0」に戻ります。

F-デジタルスピードメーター

G-シフトアップインジケーター

経済的な運転を促すインジケーターは、選択しているギヤ、エンジン回転数およびアクセルペダルの踏み込み方に応じて点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

PDK装備車の場合、マニュアルモードでのみシフトアップインジケーターが使用可能です。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ シフトアップインジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

H- セレクターレバー ポジション およびギヤ インジケーター

I- フィラー フラップ位置の表示

矢印は車両のフィラー フラップの付いている側面を示しています。

J- 燃料計

イグニッションが ON のときに燃料の残量を示します。

- ▶ 57 ページのチャプター「給油」を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

燃料タンクの残量が規定値（モデルにより異なる）または最小残可走距離を下回り、イグニッションが ON、またはエンジン作動している場合、燃料警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。

知識

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 警告灯が点灯したり、燃料警告メッセージが表示されたりした場合は、カーブを曲がる時にスピードを出さないようにしてください。

警告灯およびインジケーターライト

知識

イグニッションを ON にすると、すべての警告灯および一部のインジケーターライトが短時間点灯します。不具合は警告灯により示されます。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。


- エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅する場合。


ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション


不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。


スピードメーター内


-  **タイヤ空気圧警告灯**
警告灯が点滅または点灯し続ける原因：
 - 新しく装着したホイール（タイヤ空気圧センサー）を学習している、またはホイールを認識できない場合
 - タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の故障または一時的な不具合
 - タイヤ空気圧の低下
- ▶ 空気圧が低下した場合：直ちに適切な場所に停車してください。運転を続けしないでください。
- ▶ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。
- ▶ 130 ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」を参照してください。

 PDLS 警告灯


 TC OFF 警告灯


 ロービームインジケーターライト


 ダイナミックハイビームインジケーターライト

 リヤフォグライトインジケーターライト

タコメーター内


 SPORT PDK スポーツモードインジケータースタイル


 エレクトリックパーキングブレーキ警告灯


 エミッションコントロール警告灯 (チェックエンジン) 警告灯が点滅または点灯し続ける原因：汚染物質の排出量を増加させ、損傷を引き起こす原因となる作動不良 (エンジンの失火など)


- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッションコントロールシステムの不具合を解消してください。


▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。


 エアバッグ警告灯

 シートベルト警告灯

 ブレーキ警告灯


 方向指示灯、左

 ハイビームインジケータースタイル

 方向指示灯、右

 ABS 警告灯

 PSM 警告灯

 PSM OFF 警告灯

インストルメントおよび インテリアライト

インストルメント照明の明る さ調整



図 2：調節ボタン

ライトセンサーにより、周囲の明るさに応じて照明が自動的に調節されます。

更に、車両のライトスイッチがONのときはインストルメントパネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

- ▶ 調節ボタン **A** を、希望の明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。



警告

走行中の明るさの調整

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中にステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。

インテリアライトの点灯 / 消灯

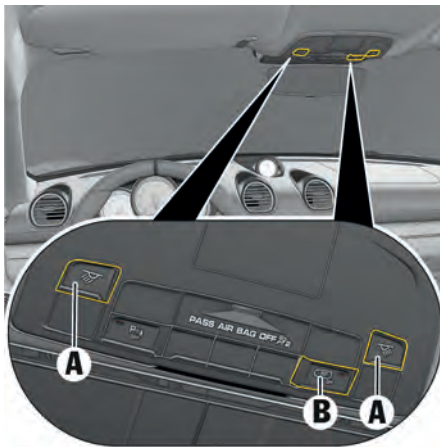


図 3：インテリアライト / 読書灯用ボタン

A インテリアライト / 読書灯用ボタン

B 自動インテリアライトの ON / OFF の切り替え

インテリアライト / 読書灯の ON/OFF の 切り替え

- ▶ ボタン **A** を押してください。

明るさを調節する (減光)

- ▶ ボタン **A** を希望の明るさになるまで少なくとも 1 秒間押し続けてください。

インテリアライトの自動点灯 / 消灯

装備仕様により、自動インテリアライトはボタン **B** またはマルチファンクションディスプレイのメニューから点灯 / 消灯することができます。

ボタン **B** を使用する：

- ▶ ボタン **B** を押してください。

インテリアライトを OFF にすると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

インテリアライトを ON にし、暗くなったとき、インテリアライトは：

- 以下の場合に点灯します。ドアをロック解除したとき、開いたとき、またはキーをイグニッションロックから抜いたとき
- 以下の場合に消灯します。両方のドアを閉じたとき、約 120 秒の遅延後に消灯します。この遅延消灯時間は、マルチファンクションディスプレイで変更できます。イグニッションを ON にしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリアライトが消灯します。

マルチファンクションディスプレイでの操作：

- ▶ 235 ページのチャプター「ドアを開いたときのインテリアライト自動点灯の有効 / 無効」を参照してください。

バッテリー保護のためのインテリアライトの自動消灯機能

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから約 15 分後にインテリアライトが自動的に消灯します。

周囲が明るいときは、インテリアライトを手動で点灯した後、約 1 分が経過すると自動的に消灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

31

あ

オリエンテーションライト

オーバーヘッドコンソールおよびイグニッションロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

オリエンテーションライトの明るさはマルチファンクションディスプレイで調節（減光）することができます。

- ▷ 235 ページのチャプター「オリエンテーションライトの明るさを調節する」を参照してください。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

アンビエントライト

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエントライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

ウォッシャー液



図 4：フロントウィンドウおよびヘッドライト用ウォッシャー液タンク

以下の点に留意してください。


- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウクリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- 夏季：水とウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。
- 冬季：水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。

次の要件を満たしたウィンドウクリーナー濃縮液のみを使用してください：

- 希釈 1:100
- リン酸塩不使用
- プラスチック製ヘッドライト レンズ適合品

ボルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液については：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

警告シンボルへの対応

ウォッシャー液のレベルが低下すると、インストルメントパネルのマルチファンクションディスプレイに  シンボルが表示されます。

- ▶ 次の機会にウォッシャー液を補充してください。
- ▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

ウォッシャー液の追加

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください。
2. ウォッシャー液を追加します。
 - ▷ 271 ページのチャプター「充填容量」を参照してください。
3. キャップを慎重に閉めます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ウィンドウ

サイドウィンドウの開閉



警告

サイドウィンドウの開閉

サイドウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じるときは、動いているサイドウィンドウと車両の固定部分に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ サイドウィンドウを開閉するときは、作動中のサイドウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはボルシェエントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：直ちにキーのボタンを放してください。ボルシェエントリー&ドライブ装備車は、直ちにドアハンドルの近接センサーを放してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



警告

サイドウィンドウを手動で閉じる

ワンタッチ操作がサイドウィンドウの抵抗を感じて無効になった場合、手動閉機能を使用してサイドウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとしてします。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

i インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。

サイドウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。

サイドウィンドウは手動で閉じることができません。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動閉操作で一度完全に閉じてください。

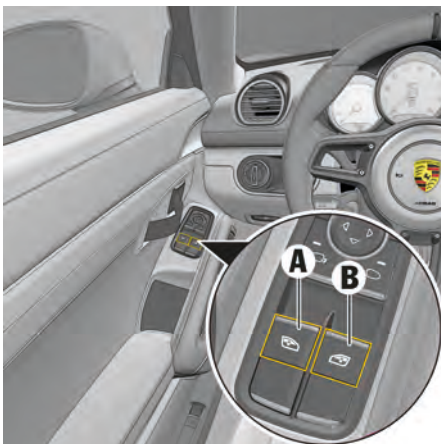


図5：運転席ドアのパワーウィンドウボタン

A 左側パワーウィンドウスイッチ

B 右側パワーウィンドウスイッチ

✓ イグニッションがONになっている。

–または–

✓ イグニッションをOFFにして10分以内で、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態。

サイドウィンドウを開く

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを押してください。

サイドウィンドウを閉じる

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを引いてください。

ロッカースイッチには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にははっきりと感じ取れます。

1 段階 - 手動操作

- ▶ 該当するスイッチを1段階まで押すか、または引いてください。サイドウィンドウが手動で開閉します。ボタンを放すとウィンドウが止まります。

2 段階 - ワンタッチ操作

✓ イグニッションがONになっている。

- ▶ 該当するスイッチを2段階まで素早く押すか、または引いてください。サイドウィンドウが完全に開閉します。
- ▶ サイドウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

キーによるサイドウィンドウの開閉



図6：キーによるサイドウィンドウの開閉

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまでキーのウィンドウ開閉ボタンを押し続けてください。

サイドウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりした場合、サイドウィンドウの停止位置が消去されます。サイドウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのサイドウィンドウに以下の作業を行ってください：

1. スイッチを2段目まで引いて、一度サイドウィンドウを完全に閉じてください。
2. サイドウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く2段目まで3回引いてください。
3. スイッチを押して、一度サイドウィンドウを完全に開いてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

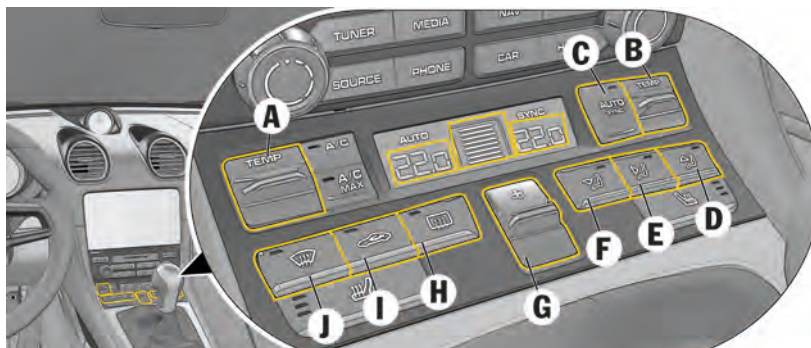
わ

A-Z

エアコンシステム (2ゾーンオートエアコン)

概要

この概要は、後述の「エアコンシステム (2ゾーンオートエアコン)」の広範囲な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



| 運転者が何をしたいか？ | その操作方法は？ | ページ |
|--|---|-----|
| エアコンをONにする | ボタンCを押してください。 | 37 |
| 温度の設定 | 車内左側：ボタンAを上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押ししてください。 車内右側：ボタンBを上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押ししてください。 | 38 |
| 送風量を手動で設定する | ボタンGを上（多くする）または下（少なくする）に押ししてください。 | 38 |
| 送風口を手動で設定する | フロントウィンドウ/サイドウィンドウへの送風 ボタンDを押ししてください。 中央およびサイドベントからの送風：ボタンEを押ししてください。 足元への送風：ボタンFを押ししてください。 | 38 |
| フロントウィンドウデフロスター | ボタンJを押ししてください。 | 41 |
| リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターをONにする（モデルおよび国別仕様による） | ボタンHを押ししてください。 | 264 |
| ドアミラーヒーターをONにする（718 Spyder） | ボタンHを押ししてください。 | 167 |
| 手動で内気循環モードをONにする | ボタンIを押ししてください。 | 40 |

一般情報

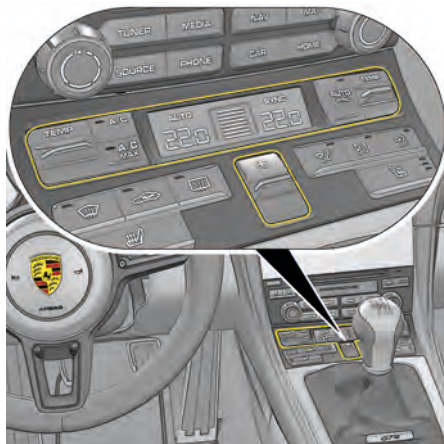


図7：エアコンコントロールパネル

オートモードでは、さまざまな環境条件(日射量、空気の状態など)に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコンシステムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。

温度は、左と右のゾーンで個別に設定できます。

エアコンシステムの設定を手動で変更すると、オートモードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

i インフォメーション

追加のエアコン設定は、マルチファンクションディスプレイで行うことができます。

- ▶ 236 ページのチャプター「エアコン設定」を参照してください。

センサーを覆わない



図8：エアコン用室内温度センサー

エアコンシステムの能力を維持するために、次のことを遵守してください。

- ▶ エアコンシステムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

冷房機能

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

i インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回避します。
外気温度が約 2°C を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON にできません。
- 冷房機能は、サイドウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間サイドウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュエアブローおよび冷房機能が制限されて OFF になります。

オートモードを ON にする

各ゾーンはオートモードに切り替えることができます。

- ▶ エアコンコントロールパネルの **AUTO** ボタンを押してください。

エアコンディスプレイの **AUTO** インジケータが点灯します。

温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

i インフォメーション

必要であればオートモードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または **AUTO SYNC** ボタンを押すまで設定が維持されます。

温度の設定

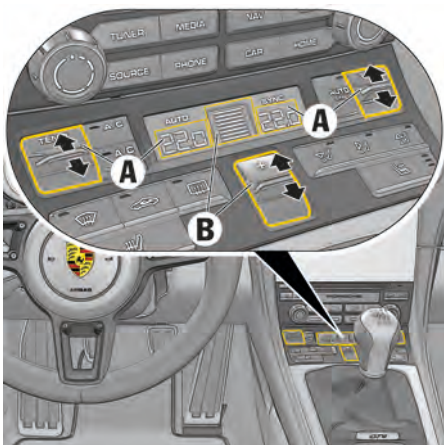


図9：温度設定および送風量調節

- A** 各ゾーンの温度設定
- B** 風量設定

各ゾーンの温度は 16.5℃～29℃の範囲で個別に調整できます。推奨：22℃
選択した温度がディスプレイに表示されます。

温度を上げる/下げる

- ▶ 該当するゾーンのボタン **TEMP** を上方向または下方向に押してください。

ディスプレイに **LO** または **HI** が表示された場合、エアコンは冷房または暖房の最大出力で作動しています。このときオートモードはOFFになります。

i インフォメーション

SYNCモード選択時にいずれかのゾーンで温度設定を **LO** または **HI** にすると、他のゾーンも **LO** または **HI** に設定されます。

ボタン **AUTO SYNC** を押しと、初期設定温度の 22℃ に切り替わります。

- ▶ 41ページのチャプター「運転席のA/C設定を車内全体に適用する-SYNCモード」を参照してください。

送風量の設定

送風 ボタンの上部にあるエアコンディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、車室内の風量が多いことを示します。

送風量を上げる/下げる

- ▶ **送風** ボタンを上方向または下方向に押してください。

AUTO SYNC ボタンを押すと、オートモードに戻ります。

送風量を最小にすると、エアコンディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムがOFFになります。

警告

風量 **OFF** による視界の妨げ

送風量を **OFF** にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 送風量を上げるときは、**送風** ボタンを上方向に押すか、またはオートモードに戻してください。


送風口の設定




図10：送風口切り替えボタン

送風口を手動で切り替える

- ✓ エアイベントが開いている
- ▶ **送風** ボタンを押してください。フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
- ▶ **送風** ボタンを押してください。中央および左右エアイベントからの送風を開始します。

- ▶  ボタンを押してください。
フットウェルへの送風を開始します。
該当するボタンのインジケータライトが点灯します。

送風口の手动切り替えの解除

- ▶ インジケータライトが点灯している(手で切り替えた)送風口切り替えボタンを再度押してください。
該当するボタンのインジケータライトが消灯します。
-または-
 ボタンを押してください。
送風量および送風口が自動的に制御されます。

エアベントの調整



図 11: エアベントの調整

知識

エアベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ エアベントに物(携帯電話クレードルや差し込み式のエアフレッシュナーなど)を挟まないでください。

エアベントの開閉

- ▶ エアベントのロータリーノブを時計回りまたは反時計回りに回してください。

送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

アップパーベンチレーションパネルのON/OFF



図 12: アップパーベンチレーションパネル

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルは、個別にON/OFFを切り替えることができます。

ベンチレーションパネルをOFFにすると、室内で乗員に直接当たる風が和らぎます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。アップパーベンチレーションパネルのON/OFFの切り替えに関するインフォメーション:

- ▶ 236 ページのチャプター「エアコン設定」を参照してください。

冷房機能のON/OFF

オートモードでは、冷房機能が常にONになります。冷房出力は完全に自動制御されます。

- ▶ 37 ページのチャプター「オートモードをONにする」を参照してください。



図 13: 冷房機能のON/OFFの切り替え

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

冷房機能を ON にする

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。
-または-
AUTO SYNC ボタンを押してください。
冷房機能が作動します。

冷房機能を OFF にする

- 例えば燃料を節約したいときなどには、冷房機能を手動で OFF にすることができます。
- ▶ **A/C** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。
冷房機能が解除されます。

A/C MAX モード (最大冷房出力) の ON/OFF

A/C MAX モードでは、最大出力で車内が冷却されます。
このとき車内温度は自動調節されません。



図 14：最大冷房出力の作動

最大冷房出力を ON にする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。

最大冷房出力を OFF にする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。
-または-
AUTO SYNC ボタンを押してください。

内気循環モードの ON/OFF



図 15：内気循環ボタン

手動で内気循環モードを ON にする

警告 手動内気循環モードでの視界の低下

- 手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。
- ▶ 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

- ▶ **Recirculation** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。

手動で内気循環モードを OFF にする

- ▶ **Recirculation** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。
-または-
AUTO SYNC ボタンを押してください。

i インフォメーション

手動または自動で冷房機能を停止すると、約3分後に内気循環モードが停止します。

自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

外気温が約5°Cを下回ると、内気循環モードは自動的に停止します。

自動内気循環モードの設定に関するインフォメーション：

- ▶ 236 ページのチャプター「エアコン設定」を参照してください。

i インフォメーション

通常は自動内気-循環モード(初期設定)にしておくことを推奨いたします。

運転席の A/C 設定を車内全体に適用する - SYNC モード

SYNC モードでは、運転席のエアコン設定が車内全体に適用されます。

SYNC モードを ON にする

- ▶ エアコンディスプレイに **SYNC** が表示されるまで、**AUTO SYNC** ボタンを押し続けてください。
- ▶ 運転席側の **TEMP** ボタンを操作して、運転席側および助手席側の温度を調整してください。

SYNC モードを OFF にする

- ▶ **AUTO SYNC** ボタンを押してください。
-または-
助手席側の **TEMP** ボタンを押してください。
エアコンディスプレイの **SYNC** インジケータが消灯します。

風量調節

オートモードでは3段階で送風の強さを調節できます。

送風の強さ調節に関するインフォメーション:


- ▶ 236 ページのチャプター「エアコン設定」を参照してください。

フロントウィンドウデフロスター




図 16: フロントウィンドウデフロスターボタン

デフロストモードを ON にする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。
フロントウィンドウおよびフロントサイドウィンドウへの送風を開始します。
なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

デフロストモードを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。
-または-
AUTO SYNC ボタンを押してください。

エアコンシステム (マニュアル)

一般情報

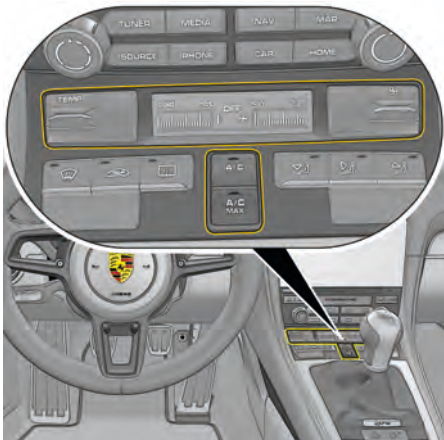


図 17: エアコンコントロールパネル

マニュアルエアコンシステムの風量、エア配分および温度設定は手動で調節することができます。

冷房機能

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

i インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回避します。外気温度が約 2°C を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON できません。
- 冷房機能は、サイドウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間サイドウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュエアブローおよび冷房機能が制限されて OFF になります。

温度設定

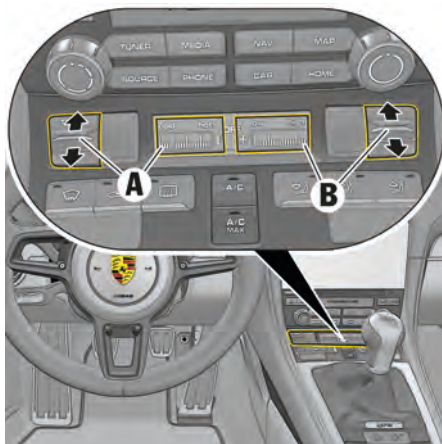


図 18: 温度設定および送風量調節

- A 温度の設定
- B 送風量の設定

温度を上げる / 下げる

- ▶ **TEMP** ボタンを上方向または下方向に押ししてください。
温度設定が**最高温度**に設定されているときは、エアコンディスプレイに**すべてのバー**が表示されます。
温度設定が**最低温度**に設定されているときは、エアコンディスプレイに**バーは表示されません**。

送風量の設定

⊞ ボタンの隣にあるエアコンディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が増えるほど、車室内の風量が多いことを示します。

送風量を上げる / 下げる

- ▶ ⊞ ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

送風量を最小にすると、エアコンディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが OFF になります。

⚠ 警告

風量 **OFF** による視界の妨げ

送風量を **OFF** にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。




- ▶ ⊞ ボタンを上方向に押しすと、送風量が増加します。

送風口の設定



図 19: 送風口切り替えボタン

送風口の設定

- ✓ エアメントが開いている
- ▶  ボタンを押してください。
フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
- ▶  ボタンを押してください。
中央および左右エアメントからの送風を開始します。
- ▶  ボタンを押してください。
フットウェルへの送風を開始します。
該当するボタンのインジケータライトが点灯します。

エアメントの調整



図 20: エアメントの調整

知識

エアメントを損傷する恐れがあります。

- ▶ エアメントに物 (携帯電話クレードルや差し込み式のエアフレッシュナーなど) を挟まないでください。

エアメントの開閉

- ▶ エアメントのロータリーノブを時計回りまたは反時計回りに回してください。

送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

冷房機能の ON / OFF

外気温度よりも低い温度で室内を冷房したいときは、冷房機能を ON にしてください。



図 21: 冷房機能の ON/OFF の切り替え

冷房機能を ON にする

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。
冷房機能が作動します。

冷房機能を OFF にする

例えば燃料を節約したいときなどには、冷房機能を OFF にすることができます。

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。
冷房機能が解除されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

A/C MAX モード (最大冷房出力) の ON/OFF

A/C MAX モードでは、最大出力で車内が冷却されます。



図 22：最大冷房出力の作動

最大冷房出力を ON にする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。

最大冷房出力を OFF にする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。

内気循環モードの ON/OFF

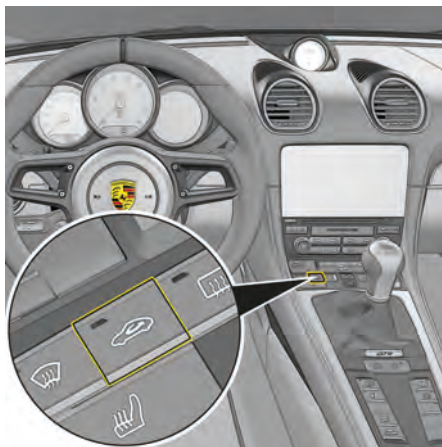


図 23：内気循環ボタン


内気循環モードをオンにする




警告

内気循環モードでの視界の低下

内気循環モードではウィンドウが曇る場合があります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 内気循環モードは長時間ONにしないでください。
- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。

内気循環モードを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。

i インフォメーション


手動または自動で冷房機能を停止すると、約3分後に内気循環モードが停止します。

フロントウィンドウデフロスター




図 24：フロントウィンドウデフロスターボタン

デフロストモードを ON にする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。
フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

デフロストモードを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。

エアバッグシステム

適切なシート位置の選択

⚠ 危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグシステムは保護効果を発揮することができます。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座せたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- ▶ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。エアバッグに必要以上に近づきすぎないようにシート位置を選択します。ドアの内側（サイドエアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。走行中はドアの小物入れを常に閉じておいてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。
- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。

フロントエアバッグは、運転席側のステアリングホイール中央のパッド内、および助手席側のダッシュボード内に取り付けられています。

サイドエアバッグはシート側面のシートボルスターに格納されています。

ヘッドエアバッグはドアトリムの側面に取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝撃の角度および強さに応じて作動します。

⚠ 危険

エアバッグシステムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグシステムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ ステアリングホイール、助手席エアバッグ付近、サイドエアバッグ付近、ヘッドエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

⚠ 危険

作動済みエアバッグシステムの交換

エアバッグシステムは1回のみ作動するように設計されています。

- ▶ 作動したエアバッグは直ちにボルシェ正規販売店で交換してください。

警告灯への対応

エアバッグシステムが故障した場合、タコメーターの赤い**エアバッグ警告灯**によって表示されます。

- ▶ 次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。

－ イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない。

－ または－

－ イグニッションがONのときに警告灯が消灯しない。

－ または－

－ 走行中に警告灯が点灯する。

ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

助手席エアバッグをOFFにする



図 25：助手席エアバッグ OFF インジケーター

⚠ 危険

助手席エアバッグ OFF

チャイルドシートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

⚠ 危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

イグニッションをONにして、助手席エアバッグをOFFにした後に、**助手席エアバッグOFF**インジケーターが点灯しない場合、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグをOFFにするキースイッチ、**助手席エアバッグOFF**インジケーターおよびISOFIXアタッチメントブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください。

- ▶ 146ページのチャプター「助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFFインジケーター」を参照してください。



エンジンオイル

エンジンオイルレベルの点検

オイルレベルは定期的に点検してください(車両に燃料を補給するときなど)。

- ▶ 14ページのチャプター「サーキット走行」を参照してください。

オイルレベル警告への対応

オイルレベルが低すぎる場合、マルチファンクションディスプレイに  または  のシンボルが警告メッセージとともに表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

- ▶ 70ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

エンジンオイルレベルの測定と表示

知識

オイルレベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。これによりエンジンが損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

エンジンオイルレベルの表示

i インフォメーション

特定の状況下では、オイルレベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。

- エンジン冷間時
- フルスロットで高速走行後の停車時
- エンジン油温が高すぎる場合
- リヤラゲッジコンパートメントリッドが開いている。

マルチファンクションディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
- ✓ エンジンが作動温度に達しており、1分間以上停車している

▶ 車両 ▶ オイルレベル

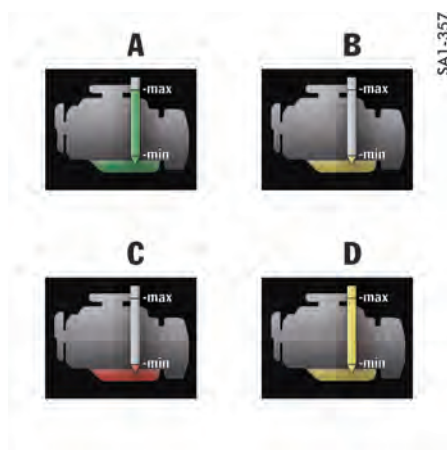


図 26：オイルレベル表示

- A オイルレベルは適正 - 上限に達している
- B オイルレベル下限に達している
- C オイルレベルが下限を下回っている
- D オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 **A** の場合、オイルレベルは適正です。

最下部が黄色 **B** で表示されている場合、オイルレベルが下限まで低下しています。オイルレベルが低下していることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 次の機会にマルチファンクションディスプレイに表示されているエンジンオイルの量を補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

最下部が赤色 **C** で表示されている場合は、オイルレベルが下限を下回っています。オイルレベルが低すぎることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに表示されているエンジンオイルの量を直ちに補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

最上部 **D** まで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷する恐れがあります。

エンジンオイルの補充量が多すぎたときは、オイルレベルが上限を超えていることを知らせるメッセージが表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

48

次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイルの補充

- ▶ 48ページのチャプター「エンジンオイルの選択と補充」を参照してください。

故障

オイルレベル測定が失敗した場合、オイル測定機能に不具合があることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイルの選択と補充



警告

エンジンオイルの発火

エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。



警告

高温のエキゾーストシステム

エンジン稼働中は、エンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンオイルの補充は、エンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

知識

エンジンオイルの過不足はエンジンに損傷を与えます。エンジンオイルが多すぎると青煙の原因になり、長期的には触媒コンバーターに損傷を与えます。

- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ 上限マークを超えるまでエンジンオイルを補充しないでください。補充しすぎた場合、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

エンジンオイルがあふれて損傷する恐れがあります。ラゲッジコンパートメントまたはラゲッジ内の荷物が汚れる恐れがあります。

- ▶ エンジンオイルを点検したり補充したりするときは、こぼしてラゲッジコンパートメントや荷物を汚さないように注意してください。

下記の点を必ず守ってください。

- ポルシェでは、ポルシェが承認したエンジンオイルのみを使用することを推奨しています。定期点検時期(サービスインターバル)を遵守してください。
- エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせるができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。

エンジンオイルの選択

ポルシェでは、**Mobil 1**を推奨します。

| 車両 | 認証オイル | SAE粘度等級 |
|-------|---------------------------|--|
| すべて : | Porsche C40、または VW 511 00 | SAE 0W-40 ¹⁾ SAE 5W-40 ²⁾ |

1) すべての温度範囲に適用。

2) -25°Cを超える温度範囲に適用。

ポルシェでは、エンジンオイルの補充が必要な場合には、適切なエンジンオイルの情報をポルシェ正規販売店にお尋ねいただき、そのオイルを使用することをお勧めします。



インフォメーション

一般に、メーカーが認定するエンジンオイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。認定品かどうかを確認するには、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エンジンオイルの補充

- ✓ 718 Spyder: コンバーチブルトップが開いている。
- ▷ 91ページのチャプター「コンバーチブルトップの開作業」を参照してください。

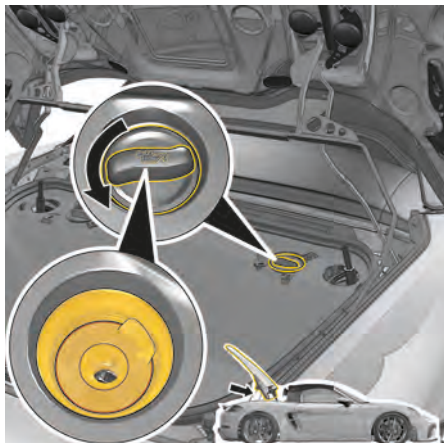


図 27: 718 Spyder のオイル フィラー キャップ

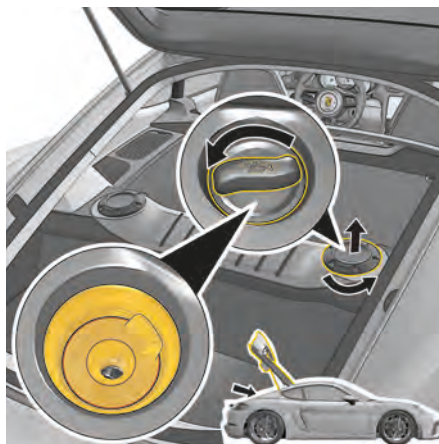


図 28: 718 Cayman GT4 のオイル フィラー キャップ

1. マルチファンクションディスプレイのエンジンオイルレベルを確認してください。
 - ▷ 47ページのチャプター「エンジンオイルレベルの測定と表示」を参照してください。
2. リヤラゲッジコンパートメントを開いてください。
- ▷ 258ページのチャプター「ラゲッジコンパートメントリッドの開閉操作とロック」を参照してください。
3. 718 Cayman GT4: キャップを反時計回りに回して取り外してください。
4. オイル フィラー キャップを緩めて取り外してください。

5. マルチファンクションディスプレイに表示されている量のエンジンオイルを補充してください。表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。
 - ▷ 47ページのチャプター「エンジンオイルレベルの測定と表示」を参照してください。
6. オイル フィラー キャップを慎重に取り付けます。
7. 718 Cayman GT4: キャップを取り付け、時計回りに回してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エンジンの始動および停止

イグニッションロック

車両キーは、ステアリングコラム左側のイグニッションロックに差し込んでください。

知識

過剰な重さにより損傷する恐れがあります。差し込んだキーに過剰な重さ(キーの束、キーホルダーなど)がかかると、イグニッションロックが損傷する恐れがあります。

▶ 差し込んだキーに過剰な負荷がかからないようにしてください。



図 29：イグニッションロックへの車両キーの差し込み

i インフォメーション

車両キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッションロックからキーを抜き取ることができます。

▷ 108 ページのチャプター「車両キーの緊急ロック解除」を参照してください。

イグニッションロックには3つのイグニッションロック位置があります：



図 30：イグニッションロックの位置

- 0 初期位置
- 1 イグニッション ON
- 2 エンジン始動

0-イグニッション OFF (初期位置)

イグニッションロックが位置0のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。車両キーはこの位置にあるときのみ抜き取ることができます。

1-イグニッション ON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメントパネルの警告灯がランプチェックのために点灯します。

i インフォメーション

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションをONにする必要があります。車両キーをロック位置0(初期位置)に回してください。

イグニッションをONにするか、またはエンジンを始動すると、車両キーが抜き取れなくなります。

2-エンジン始動

エンジンが始動すると、キーがロック位置2から1に自動的に戻ります。

エンジンの始動


1. フットブレーキを踏んでください。
2. マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルをいっぱい踏み込み続けてください。
3. ギヤレバーをニュートラルに、あるいはセレクターレバーをPまたはNの位置にしてください。
4. アクセルペダルは踏まないでください。

5. キーをイグニッションロック位置**2**に回してください。エンジンスターターを約10秒以上連続して作動させないでください。イグニッションロック位置**2**(エンジン始動)にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。
- ▶ エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。はじめに車両キーをイグニッションロック位置**0**(初期位置)に戻してください。停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

触媒コンバーターの加熱フェーズ



図 31：触媒コンバーターの加熱フェーズ用シンボル

触媒コンバーターの加熱フェーズ中はトルクが低下します。この間、インストルメントパネルのマルチファンクションディスプレイに  のシンボルマークが表示されます。エンジンが作動温度に達すると、このシンボルマークはすぐに消灯します。

エンジンの停止

警告

パワーステアリングおよびブレーキブースターの作動が停止します。

パワーステアリングおよびブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリングホイールやブレーキペダルの操作に強い力が必要になります。

- ▶ イグニッションをOFFにする前に、必ず車両を停車させてください。

1. 停車してください。
2. 車両キーをイグニッションロック位置**0**に戻してください。

降車時はキーを抜き取り、エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、PDK装備車の場合はセレクトレバーを**P**位置に、マニュアルトランスミッション装備車の場合はギヤレバーを1速またはリバースにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

オートスタート/ストップ機能

オートスタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するための条件が満たされると、オートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより、オートスタート/ストップ機能は燃料の消費を節減します。

エンジンが自動停止しているときもイグニッションはONの状態のままで、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

アダプティブシリンダーコントロール

アダプティブシリンダーコントロールは、エネルギー効率を高めるために、特定の条件下で3つのシリンダーを自動的に停止します。この3シリンダー操作はエンジンノイズに影響を及ぼします。

アダプティブシリンダーコントロールをOFFにする

- ▶ オートスタート/ストップ機能をOFFにします。
- ▷ 53ページのチャプター「オートスタート/ストップ機能のON/OFF」を参照してください。

エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ ラグジュアリーコンパートメントリッドが閉じている。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。
- ✓ **PDK装備車**：ブレーキペダルが踏み込まれている。セレクターレバーが**D**、**N**の位置にある、またはトランスミッションレンジ**1**または**2**が手動選択されている。
-または-
運転席ドアが閉じている状態で、セレクターレバーが**P**の位置にある。
- ✓ **マニュアルトランスミッション装備車**：シートベルトを着用し、運転席ドアが閉じられている。シフトレバーがニュートラル位置で、クラッチペダルを踏んでいない。

マニュアルトランスミッション装備車：エンジンの自動停止および自動始動

自動停止

1. フットブレーキを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. シフトレバーをニュートラル位置にします。
3. クラッチペダルから足を放してください。エンジンが停止します。

自動始動

- ✓ シートベルトを着用している。
- ✓ 運転席ドアを閉じている。
- ▶ クラッチペダルを踏んでください。エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

PDK装備車：エンジンの自動停止および自動始動

自動停止

1. フットブレーキを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. フットブレーキを踏み続けてください。
-または-
停車中にセレクターレバーを**P**の位置に動かしてください。

自動始動

- ✓ セレクターレバーが**P**、**D**、**N**の位置にある、またはトランスミッションレンジ**1**または**2**が手動選択されている。
- ▶ ブレーキペダルを放してください。
(セレクターレバーが**P**の位置にない)。
-または-
アクセルペダルを踏み込んでください。
-または-
ステアリングホイールを動かしてください。
-または-
PDKセレクターレバーを**R**の位置にしてください。
エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

降車後の作動 (セレクターレバーがPの位置にあるとき)

エンジンが自動停止した後、PDKセレクターレバーをP位置にして、ガレージドアを開くためなどの理由で車両から降車する場合(運転席ドアが開いて、ブレーキペダルが踏まれていない場合)には、エンジンは自動的に始動しません。

ドライバーが車両から離れてから30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを閉じてフットブレーキを踏むと、オートスタート/ストップ機能が再開します。

上記の条件のいずれかが満たされなかった場合、エンジンは手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、マルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▷ 70ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

降車後の作動 (セレクターレバーがD、MまたはNの位置にあるとき)

エンジンが自動停止した後、PDKセレクターレバーをD、MまたはNの位置にして降車しようとした場合(運転席ドアが開いて、ブレーキペダルが踏まれていない場合)には、エンジンが自動的に始動し、オートスタート/ストップ機能がまだ作動中であることをドライバーに知らせます。

セレクターレバーがDまたはMの位置にある場合、エレクトリックパーキングブレーキも作動します。

スイッチ (P) のインジケーターライトおよびブレーキ警告灯 (ⓘ) が点灯します。

- ▷ 70ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

オートスタート/ストップ機能の例外

例えば次のような状況では、オートスタート/ストップ機能は使用できません。

- クリーピング時
- エアコン機能(最大冷却出力)が作動しているとき
- 「フロントウィンドウデフロスター」機能が作動しているとき
- 標高が高いとき

例えば次のような状況では、オートスタート/ストップ機能が一時的に制限されます。

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂
- オートエンジンチェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき

- 渋滞中で短時間の停車を繰り返すとき(国別仕様により異なる)

i インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オートスタート/ストップ機能のON/OFF

図 32: オートスタート/ストップボタン

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま


や

ら


わ

A-Z

OFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーターライトが点灯します。
エンジンの自動停止およびアダプティブシリンダーコントロールは作動解除されます。

ONにする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーターライトが消灯します。
アダプティブシリンダーコントロールが作動状態のとき、車両を停止するとエンジンは自動的に停止します。

アダプティブシリンダーコントロールに関するインフォメーション:

- ▶ 52 ページのチャプター「アダプティブシリンダーコントロール」を参照してください。

オートスタート/ストップ機能の表示

エンジンの自動停止および再始動の準備

オートスタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクションディスプレイのインジケーターライトが緑色に点灯します。



エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オートスタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクションディスプレイのインジケーターライトが黄色に点灯します。

以下の原因によります:

- エンジンを自動停止するための条件のいずれか1つが満たされていない。
- または -
- オートスタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。
- ▶ 52 ページのチャプター「エンジンを自動停止するための条件」を参照してください。
- ▶ 53 ページのチャプター「オートスタート/ストップ機能の例外」を参照してください。

故障の表示

故障したときは、スタートストップ機能が解除されたことを示すメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

カップホルダー



注意

熱い飲み物がこぼれる

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 容器に飲物や液体がいっぱいに入っている状態ではカップホルダーを使用しないでください。
- ▶ 熱い飲み物が入った容器には適していません。
- ▶ 運転中はカップホルダーを収納しておいてください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 容器に飲物や液体がいっぱいに入っている状態ではカップホルダーを使用しないでください。

カップホルダーを使用する

グローブボックス上側のパネル後部に折り畳み式カップホルダーが2個装備されています。



図 33：カップホルダー

カップホルダーを開く



図 34：カップホルダーを開く

1. カップホルダー パネルを押してください (図 33)。
パネルが開きます。
2. 左右どちらかのカップホルダーのマークを押してください。
カップホルダーが開きます。
3. パネルの中央を閉じて、カップホルダーを固定してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

カップホルダーを引き出す

カップホルダーを引き出すと、大きな容器を置くこともできます。



図 35：カップホルダーを引き出す

1. ホルダーを引き出してください（図 35）。
2. カップ / 容器を入れてください。
3. 慎重にホルダーを押し込み、カップ / 容器のサイズに合わせてください。

カップホルダーを折り畳む

1. カップホルダーを押し込んでください。
2. 中央のパネルを開いてください。
3. カップホルダーを折り畳み、はめ込んでください。
4. 中央のパネルを閉じてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

給油

警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

警告

燃料蒸発ガスの吸入、および皮膚への燃料の付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。


i インフォメーション

場合により燃料に硫黄が多く含まれることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い（いわゆる腐った卵の匂い）が発生する可能性があります。ボルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションをONにすると、インストルメントパネルに燃料の残量が表示されます。

- ▶ 29ページのチャプター「J-燃料計」を参照してください。

タンク内の燃料残量が一定量（モデルによって異なる）を下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、マルチファンクションディスプレイの警告灯

が点灯します。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 271ページのチャプター「充填容量」を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、エキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料を使用しないでください。

i インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは金属系添加物を含まない無鉛プレミアムガソリンを使用した場合に最適に作動するように設計されています。

| モデル | 推奨燃料 最低オクタン価： | 代替燃料 |
|------|---------------------|---------------------|
| すべて： | 98 98RON/ 88 MON | 95 95RON/ 85 MON |

エンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

**i** インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価 **91 RON/82.5 MON** の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が **91 RON/82.5 MON** 以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用してください。
- ▶ オクタン価が 91 RON/82.5 MON の無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行しないでください。

オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

知識

ボルシェが承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。

国によっては、燃料の析出挙動がボルシェの基準を満たしていないことがあります。基準を満たす燃料を入手できない場合は、ボルシェが販売し推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ボルシェ 部品番号 000 043 209 02。

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。
- ▶ 定期点検時期（サービス期間）、特にオイル交換時期を遵守してください。オイル交換間隔

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

燃料の給油

知識

デコラティブフィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

▶ デコラティブフィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。



図 36：フィルターフラップを開く



図 37：タンク キャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
 - ✓ イグニッションがOFFになっている。
 - ✓ 車両がロック解除されている。
1. フィラーフラップの後部（図 36）を押すと、フラップが開きます。
この車両に使用できる燃料の種類は、フィラーフラップの裏のステッカーに明示されています。
 2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
 3. 取り外したキャップをホルダー（図 37）にかけてください。
 4. 給油ノズルは下に向けて、確実にフィラーネックの奥まで差し込んでください。
 5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。
- ▶ 271 ページのチャプター「充填容量」を参照してください。

6. 給油後は直ちにキャップを取り付けて、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと締め込んでください。
7. フィラーフラップを閉じてフィラーフラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

i インフォメーション

タンクのキャップを紛失したときは、必ずボルシェ純正部品を使用してください。

フィラーフラップの緊急解除

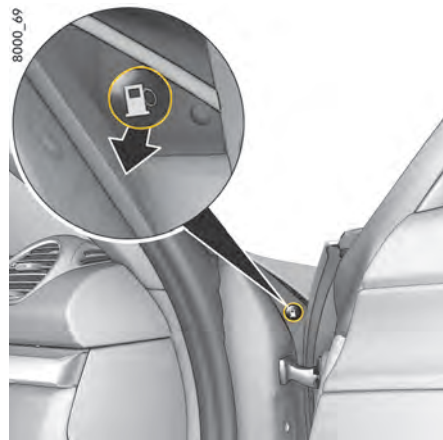


図 38：緊急時のフィラーフラップの操作

フィラーフラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィラーフラップを開くことができます。

1. 助手席側ドアを開いてください。
2. 助手席ドア開口部にあるボタン（図 38）を引いてください。
フィラーフラップが開きます。

クーラント(冷却水)

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37℃までの凍結防止の働きがあります。



クーラントレベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

▶ ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ポルシェでは、以下を推奨します。
Glysantin® G40®

警告シンボルへの対応

知識

冷却水温度が高温になりすぎると、マルチファンクションディスプレイに  シンボルが表示されます。 シンボルが表示された場合は、クーラントレベルが低くなりすぎています。

赤色の警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンをOFFにして冷却してください。
- ▶ クーラントレベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 70ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

クーラントレベルの点検と補充

警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントタンクには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラントリザーバーのキャップを開かないでください。水温計の表示が60℃を下回るまで待ってください。
- ▶ 62ページのチャプター「B-冷却水温度」を参照してください。

- ✓ 718 Spyder：コンバーチブルトップが開いている。
- ▶ 91ページのチャプター「コンバーチブルトップの開作業」を参照してください。



図 39：718 Spyderのクーラントリザーバータンク

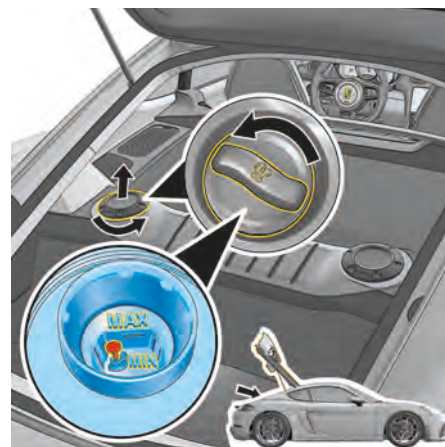


図 40：718 Cayman GT4のクーラントリザーバータンク

あ

か

さ

た

な

は

ま





や

ら

わ

A-Z

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
- ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度が 60°C 未満である。

✓  または  のシンボルがクーラントの補充を促すメッセージとともにマルチファンクションディスプレイに表示されている  または  のシンボルがマルチファンクションディスプレイ表示されなかった場合は、クーラントレベルインジケーターの MIN および MAX マークがクーラント追加時のゲージとして機能します。

1. ケイマン: キャップを反時計回りに回して取り外してください (図 40)。
2. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
3. キャップを完全に取り外してください。
4. クーラントレベルを読み取ります。
エンジンが冷えていて水平な場所に停車している時、クーラントレベルインジケーターが MIN マークと MAX マークの間になければなりません。
5. 必要に応じてクーラントを補充してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。
クーラント内の不凍液濃度:
50% は、-37°C までの不凍液保護を提供します。クーラントレベルインジケーターが MAX マークに到達したときが上限です。
6. 補充するときに MAX マークを超えないようにしてください。充填レベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAX マークは補充中の目安となります。クーラントリザーバータンクのキャップを動かなくなるまで回して閉めてください。
7. ケイマン: キャップを取り付け、時計回りに回してください (図 40)。

8. 冷却システムを点検してください。
ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。

クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

- ▶ 早急に修理してください。
ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズコントロール

クルーズコントロールを使用すると、約30～240 km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

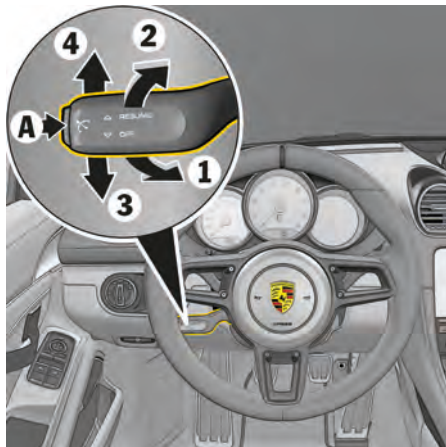


図 41：クルーズコントロールレバー

- A** クルーズコントロールのON/OFF
- 1 設定/希望する速度を上げる
 - 2 設定速度を下げる
 - 3 クルーズコントロールの中断 (OFF)
 - 4 保存した速度の再開 (RESUME)

i インフォメーション

アクティブブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

▲ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での走行に適さない場合、クルーズコントロールの使用が事故の原因となる場合があります。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズコントロールを使用しないでください。

クルーズコントロール ON (スタンバイ)

- ▶ レバーのボタン **A** を押してください。



クルーズコントロールスタンバイ
マルチファンクションディスプレイのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

速度の維持と保存

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. ステアリングコラムのクルーズコントロール操作レバーを前方 (1) の位置に押しつけてください。



設定速度

オレンジ色に変わったクルーズコントロールアイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリングホイールの操作レバーを前方に押しします (図 41、1)。
短く押す = 1km/h
押し続ける = 10km/h
- ▶ 速度を落とす場合は、ステアリングホイール側に操作レバーを引きます (図 41、2)。
短く引く = 1km/h
引き続ける = 10km/h
新しく設定した速度がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

i インフォメーション

通常走行と同じようにアクセルペダルを踏むと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

クルーズコントロールの中断 (OFF)

クルーズコントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズコントロールのレバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

- ▶ 62ページのチャプター「クルーズコントロールの再開」を参照してください。
- ▶ コントロール操作レバーを下に押しつけてください (図 41、3)。
-または-
▶ ブレーキペダルを踏みます
-または-
▶ クラッチペダルを約7秒以上踏み続けます (マニュアルトランスミッション装備車)
-または-

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

- ▶ セレクターレバーを **N** の位置にしてください。

クルーズコントロールの自動中断：

- 設定速度より約 25km/h 以上速い速度で、20 秒以上走行した場合
- 上り坂などで、設定速度より約 60 km/h 以上遅い速度で 60 秒以上走行した場合。
- ボルシェスタビリティマネージメント (PSM) が 0.5 秒以上作動した場合

か

さ

クルーズコントロールの再開

- ▶ 操作レバーを上を押してください (図 41、4)。
設定速度に加減速します。

た

な

クルーズコントロール OFF

- ▶ レバーのボタン **A** を押してください。
設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

は

ま

インフォメーション

イグニッションを OFF にすると保存した速度が消去されます。

や

ら

わ

A-Z

クロノストップウォッチ

クロノストップウォッチはレースサーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。計測した時間は保存したり、評価したりすることができます。PCMのディスプレイが利用できます（装備によって異なります）。以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- ラップ距離
- ラップタイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置、速度、または外気温度など）

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数
- 最速ラップタイムおよび、それと比較した現在のラップタイム
- 基準ラップに関して走行した距離の割合
- 現在のラップタイムが最新のラップタイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラーレート。
- 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数
- まだ残っている記憶時間
- オプション：現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ

ダッシュボードのストップウォッチ

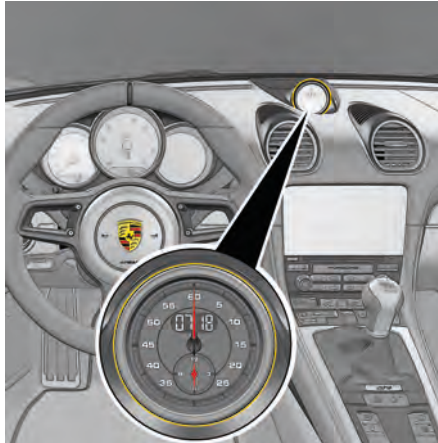


図 42：ダッシュボードのクロノストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログディスプレイとデジタルディスプレイがあります。

アナログディスプレイ

- 大きい指針：秒
- 小さい指針：時間および分

このディスプレイは 12 時間が経過するとゼロから再スタートします。

デジタルディスプレイ

- 秒、1/10 秒、および 1/100 秒

デジタルディスプレイおよびマルチファンクションディスプレイは 99 時間と 59 分まで表示できます。

ストップウォッチの明るさ調節

- ▷ 31 ページのチャプター「インストールメント照明の明るさ調整」を参照してください。

ダッシュボードのストップウォッチライトの ON/OFF

- ▷ 31 ページのチャプター「インストールメント照明の明るさ調整」を参照してください。

ストップウォッチに時刻を表示

- ▷ 234 ページのチャプター「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」を参照してください。

ストップウォッチタイムの表示

ラップタイムは異なる場所に表示することができます。

- ダッシュボードのクロノストップウォッチ。
- マルチファンクションディスプレイのクロノメニュー。
- PCM の **CAR** メインメニューの **SC**。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

マルチファンクションディスプレイでの実行



図 43: クロノメニュー

- A ラップカウンター - 現在のラップ回数
- B 現在のラップタイム
グリーン: 最速ラップよりも速い、
黄色: 最速ラップと同タイム、
赤色: 最速ラップよりも遅い)
- C 最速ラップタイム
- D サークルディスプレイ (基準ラップと比較して
どれだけラップを完了しているかを示す)

i インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノメニューを終了しても、計測は続きます。ストップウォッチはイグニッションを OFF にすると停止します。約 4 分以内にイグニッションを再度 ON にすると、ストップウォッチは作動を再開します。

計時の開始

- ▶ クロノ ▶ 開始
データの記録が開始されます。基準ラップがまだ保存されていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されている。

- ▶ クロノ ▶ 停止

計時の継続

- ✓ 計時が停止している。

- ▶ ▶ クロノ ▶ 停止 ▶ 連続

ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

- ✓ 計時が開始されている。

- ▶ クロノ ▶ ラップ

ラップカウンターの値 (図 43 の A) が 1 ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイム (図 43 の C) として保存されます。現在のラップタイム (図 43 の B) とサークルディスプレイ (図 43 の D) の色が変わることによって、現在のラップタイムが最速ラップより速いか、遅いか、または同一かを表示します。

i インフォメーション

1 回のセッションで最大 99 ラップを保存することができます。

中間ラップの保存

- ✓ 計時が開始されている。

- ▶ クロノ ▶ 中間
中間タイムが短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止している。

- ▶ ▶ クロノ ▶ 停止 ▶ リセット
すべてのストップウォッチタイムをゼロにリセットすることができます。

PCM での計時の表示

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 213 ページのチャプター「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」を参照してください。

ストップウォッチの表示

- ✓ 計時が開始されている。
 - ▶ 64 ページのチャプター「計時の開始」を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. ストップウォッチ ディスプレイ をスクロール (スワイプ) してください。



図 44：ストップウォッチ ディスプレイ（記録中）

- A 現在の燃費の残量で走行可能なラップ回数
- B まだ残っている記憶時間
- C 最速ラップタイム
- D 現在のラップタイム
グリーン 最速ラップよりも速い、
黄色：最速ラップと同タイム、
赤色：最速ラップよりも遅い)
- E ラップカウンター - 現在のラップ回数
- F サークルディスプレイ（基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す）

トラック進捗の表示

- ✓ 計時が開始されている。
 - ▷ 64 ページのチャプター「計時の開始」を参照してください。
- ✓ **CAR** ボタン ▶ **SC** ▶ **Sport Chrono** 設定 追加データを記録機能が作動している

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. トラック進捗ディスプレイをスクロール(スワイプ)してください。

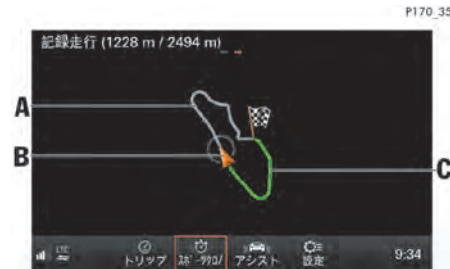


図 45：記録中 - トラック進捗ディスプレイ

- A 基準ラップ(灰色)
- B 現在の車両位置
- C 現在のラップ
グリーン 最速ラップよりも速い、
黄色：最速ラップと同タイム、
赤色：最速ラップよりも遅い)

記録の表示および編集

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、記録の中の最初のラップが基準ラップとして使用されます。最大で10時間の記録が可能です。

記録の表示

- ✓ 計時が停止している。
 - ▷ 64 ページのチャプター「計時の停止」を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. 記録ページまでブラウズ(スワイプ)してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して(記録 001 など)、記録を表示させてください。

記録データの表示



1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. 記録ページまでブラウズ(スワイプ)してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して(記録 001 など)、記録を表示させてください。
5. コントローラーの統計 を選択してください。
個別のラップに関する情報が表示されます。




記録のトラック進捗の表示

- ✓ **CAR** ボタン ▶ **SC** の下 ▶ ボタン **SC** スポーククロノ設定 追加データを記録機能が作動している。

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. 記録ページまでブラウズ(スワイプ)してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して(記録 001 など)、記録を表示させてください。
5. コントローラーの地図 を選択してください。
ラップのトラック進捗に関する情報が表示されます。


ラップの表示および編集

1. **CAR** ボタン ▶ **SC** 
2. 記録ページまでブラウザ(スワイプ)してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記録を表示させてください。
5. コントローラーの**統計**  を選択してください。
個別のラップに関する情報が表示されます。
6. 希望のラップを選択してください。
7. コントローラーの希望の設定を選択してください。

- **保存** : 基準ラップとしてラップの保存
- **地図** : ラップのトラック進捗を表示
- **削除** : ラップの削除


基準ラップの設定

- ✓ 計時が停止され、リセットされている。
 - ▷ 64 ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイでの実行」を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶ **SC** 
2. 記録ページまでブラウザ(スワイプ)してください。
3. **基準ラップ**より、希望の基準ラップを選択してください。
希望の基準ラップが表示されます。
4. コントローラーの**Ref**設定を選択してください。

PCM の設定入力

記録および基準ラップの管理

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**  ▶
OPT ボタン
2. 以下の希望の項目を選択してください:

- **データ名を変更する**: 基準ラップおよび記録のデータ名を変更することができます。
- **データを転送します**: 記録および基準データを、SD カードまたは USB 大容量記憶装置にエクスポート、またはインポートすることができます。
- **インポート**: データをインポートできるようにするためには、データが記憶装置のスポーツクロノフォルダーに保存される必要があります。**選択および選択解除**で、インポートするデータを選択してください。
インポートで、**選択したデータをインポート**してください。
- **輸出版売店**: **選択**および**選択解除**で、エクスポートするデータを選択してください。**エクスポート**で、選択したデータをエクスポートしてください。
- **データを削除**: 基準ラップおよび記録のデータ名を削除することができます。

その他の設定

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**  ▶
OPT ボタン ▶ **Sport Chrono** 設定
2. 以下の希望の項目を選択してください:

- **追加データを記録**: ラップの長さおよびラップタイムとは別に、他の走行データ(速度など)を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。
▷ 65 ページのチャプター「記録の表示および編集」を参照してください。
- **許容距離差**: 基準ラップの長さとは任意のラップの長さとのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。
- **評価の最大タイム差**: 記録時に速度が同一(黄色マーク)と評価されるラップの最大の時間差を示します。

けん引およびけん引によるエンジンの始動

i インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ 車両をけん引するときは十分に注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリックパーキングブレーキやステアリングコラムロックを解除するために外部電源の接続が必要ことがあります。

けん引または押しがけによるエンジンの始動

- ▶ Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車では、トランスミッションに重大な損傷を与える恐れがあるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動はできません。
- ▶ マニュアルトランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時のみ実施してください。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する可能性があります。
- ▶ けん引する前に、両方の車両のドライバーアシスタンスシステムをOFFにします。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

- ▶ けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。

けん引ロープの使用

- ▶ 車両をけん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープをけん引フックに取り付けてください。
- ▶ 68ページのチャプター「けん引フックの取り付け」を参照してください。
- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーの使用

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

車両のけん引

▲ 警告

パワーアシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引されている車両のエンジンが停止している場合、ステアリングアシスト機能を利用することはできません。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

- ▶ 車両をけん引するときは十分に注意してください。

けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。

エンジンが停止している場合、トランスミッションオイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください。

PDK 装備車に関する重要なインフォメーション：

- ▶ セレクターレバーの緊急解除を行った、またはPDKトランスミッションが緊急作動モードになっている場合〔警告シンボルがトランスミッション故障を表示している〕、車両を絶対にけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
- ▶ 121ページのチャプター「セレクターレバーの緊急解除」を参照してください。
- ▶ 69ページのチャプター「鉄道、船舶、積載車での輸送」を参照してください。

バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

- ▷ 179ページのチャプター「バッテリー」を参照してください。
- ▷ 105ページのチャプター「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」を参照してください。

4輪が接地した状態でのけん引時の注意事項

- ▶ けん引される車はイグニッションスイッチをONにして、ブレーキライトや方向指示灯が機能し、ステアリングロックが解除されるようにしてください。

片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引時の注意事項

- ▶ イグニッションをOFFにしてください。キーをイグニッションロックに残し、ステアリングロックがかからないようにしてください。
- ▶ 車両のライトが十分に点灯していることを確認してください。

車両のけん引

- ▶ マニュアルトランスミッション装備車：シフトレバーをニュートラル位置にします。
- ▶ PDK装備車：セレクターレバーを**N**の位置にしてください。セレクターレバーの表示も含めて正しく**N**の位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。セレクターレバーが**N**の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクターレバー位置が**N**になれば、車両をけん引できます。
- ▶ 最高速度は50 km/h以下にしてください。けん引距離は50 km以内にしてください。50 kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。
- ▷ 69ページのチャプター「鉄道、船舶、積載車での輸送」を参照してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。

けん引フックの使用

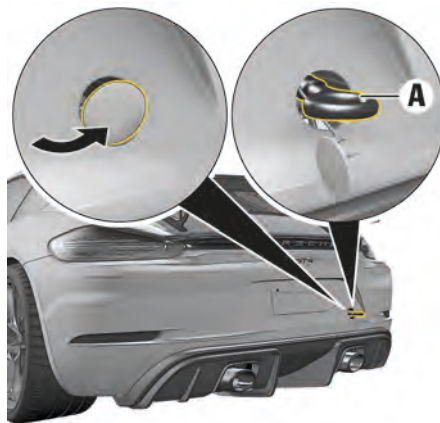


図 46：リヤ側のけん引フック

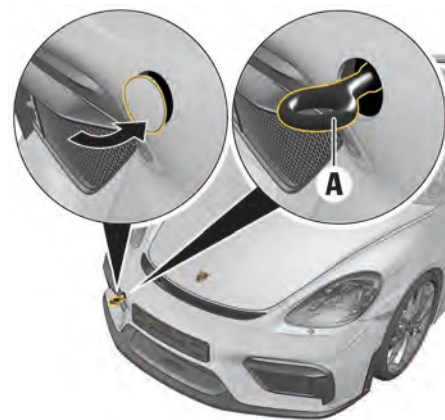


図 47：フロントのけん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

- ▷ 254ページのチャプター「タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または工具セットの取り外しと収納」を参照してください。

1. フロントおよびリヤのプラスチックカバーの上端をバンパー内に押し込む、または適切な工具を使用して慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック **A** を反時計回りにいっぱいねじ込み(逆ねじ)、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック **A** を時計方向に回して外してください〔逆ねじ〕。
2. プラスチックカバーのフロント部およびリヤ部を開口部の上端に差し込んでください。
3. プラスチックカバーをかぶせ、端部を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、積載車での輸送

- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。**絶対**にけん引フックにひもを取り付けしないでください。
- ▶ 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。
 - ▷ 89 ページのチャプター「車内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを OFF にする」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

警告および情報メッセージ

警告シンボルが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。

一部の警告灯には、点灯すると警報も同時に鳴るものがあります。

すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告シンボルが表示されます。そのため、すべてのフルードレベルは定期的に点検してください。

警告と情報メッセージの分類

赤色

システムの故障または警告







黄色

故障、システム故障、情報、または指示

白

故障、システム故障、情報、または指示

安全

| インストルメントパネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|---|---|--|
|  点灯 |  安全ベルトを装着します | シートベルトが着用されていません。 ▶ シートベルトを着用してください。 |
|  | 助手席エアバッグ オン/オフ | 助手席エアバッグが ON または OFF です。 |
|  | 故障エアバッグ表示灯 要整備 | エアバッグ警告灯が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | ステアリングホイールを解除します | ステアリングロックに大きく負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリングホイールを左右に回して、ステアリングロックを解除してください。 |
|  | 完了すると ハンドルがロックされます | ステアリングロックが作動していません。 ▶ ステアリングホイールをロックするには、車両をロックしてください。 |

* ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

| インストルメントパネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|----------------|---|---|
| |  <p>パワーステアリング故障 ステアリング操作力の増大 継続走行可</p> | <p>パワーステアリングは利用できません。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| |  <p>ステアリングサポート制限中 相応の継続走行可</p> | <p>パワーステアリングが一時的に制限されます。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| ① 点灯 |  <p>ブレーキ液レベル 安全な場所に停車してください</p> | <p>ブレーキ液面が低過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| ① 点灯 |  <p>故障 制動力配分 安全な場所に停車してください</p> | <p>制動力配分に故障があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| ① 点灯 |  <p>ブレーキ冷却故障</p> | <p>ブレーキ温度が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| ② 点灯 |  <p>故障 ABS/PSM 相応の継続走行可</p> | <p>ABSまたはポルシェスタビリティマネージメント(PSM)に故障があります。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| ① 点灯 |  <p>摩耗限度ブレーキパッド 要交換 継続走行可能</p> | <p>ブレーキパッドが摩耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ










A-Z

安全

インストールメン
トパネルの表示









マルチファンクションディスプレイのメッセージ

意味および必要な措置

| | | | | |
|---|-----------|---|--------------------------|--|
| あ | | | | |
| か | (!) 点滅 |  | 緊急ブレーキ | 電動パーキングブレーキの緊急ブレーキ機能が作動中です。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。 |
| さ | (P) 点灯 |  | 故障 パーキングブレーキ | パーキングブレーキに故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| た | |  | 電動パーキングブレーキ サービスモードです | パーキングブレーキがサービスモードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| な | (!) 点滅 |  | パーキングブレーキ解除 | パーキングブレーキが作動しています。 ▶ 電動パーキングブレーキのスイッチを引いてください。 ▶ 199 ページのチャプター「エレクトリックパーキングブレーキ」を参照してください。 |
| は | (!) 点灯 |  | ブレーキペダルを操作 | パーキングブレーキが作動しています。 ▶ 電動パーキングブレーキを解除するときは、ブレーキペダルを踏んでください。 |
| ま | |  | 雨/光センサー故障 修理が必要です | 雨/光センサーが故障しています。 ▶ フロントワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| や | ヘッドライト 点滅 |  | ヘディングライト 故障 要修理 | コーナリングライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| ら | ヘッドライト 点灯 |  | ビームライト制御 故障 要修理 | ドライビングライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| わ | |  | ヘッドライトレベリング制御 故障 要修理 | ヘッドライトレベリング制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

| インストルメントパネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|--|---|--|
|  点滅 |  ヘッドライト制御 故障 要修理 | ヘッドライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| |  例： 左前ウィンカーを点検します | インジケーターライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| |  ハイビームアシスト 使用不可 ハイビームを手動で操作 | ハイビームアシスタントが故障しています。 ▶ ハイビームを手動で点灯してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| |  ハイビームアシスト オフ、 カメラ視野無 場合により要洗浄 | カメラの不具合により、ハイビームアシスタントが一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| |  PDLs+ 制限中 カメラ視野無 場合により要ガラス洗浄 | カメラの故障により、ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLs プラス) は一時的に使用できません。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| |  故障 PDLs+ ハイビーム手動で操作 要修理 | ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLs プラス) が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| | サイドマーカーランプ点灯 パーキングライト オン | ドライビングライトまたはパーキングライトが点灯しています。 左または右のパーキングライトが点灯しています。 |
| |  ワイパー故障 要修理 | ワイパーが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ







A-Z

安全

インストールメン
トパネルの表示






マルチファンクションディスプレイのメッセージ

意味および必要な措置

| | | | | |
|---|-------------|---|---------------------------------------|--|
| あ | 点灯 |  | タイヤ 要点検 | 1つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▷ 136 ページのチャプター「タイヤ損傷の点検」を参照してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▷ 185 ページのチャプター「パンク」を参照してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 135 ページのチャプター「タイヤ空気の充填」を参照してください。 |
| か | 点灯 |  | 最低目標圧力 1.8 bar(26 psi) に留意 | 718 Cayman GT4: タイヤの空気圧が最低規定圧力よりも低下しています。 ▶ レース サーキットで走行する場合は、各ホイールのタイヤ空気圧を 1.8 bar (26 psi) 以上に調整してください。 |
| さ | 点灯 |  | 空気を充填 | 1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 135 ページのチャプター「タイヤ空気の充填」を参照してください。 |
| た | 点滅または 点灯 |  | 故障 監視 タイヤ圧 要修理 | タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) が故障しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| な | 点滅または 点灯 |  | 故障 タイヤ圧 短時間 要修理 | タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) に一時的な故障が発生しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| は | 点滅または 点灯 |  | 監視無 タイヤ圧 システム 学習 275 km/h 以上 | タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) がタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。 このプロセスを実行中は、マルチファンクションディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。 ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。 |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

| インストルメントパネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|---|---|---|
|  点滅または点灯 |  <p>ホイールを交換しますか？ 選択し直します</p> | <p>タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を更新してください。 ▷ 130 ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」を参照してください。 |
|  点灯 |  <p>タイヤ圧 速度を落とす</p> | <p>設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 速度を落としてください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 135 ページのチャプター「タイヤ空気の充填」を参照してください。 |
| |  | <p>718 Cayman GT4: タイヤ空気圧モニタリングシステムのレースサーキットモードが作動しています。公道での走行には、レースサーキットモードを使用しないでください。</p> |
| <p>* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。</p> | | |

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エンジン

インストールメン
トパネルの表示マルチファンクションディスプレイのメッ
セージ

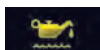
意味および必要な措置

油量最低以下
直ちにオイル充填

- オイルレベルが最低値を下回りました。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。
 - ▶ 運転を続けしないでください。
 - ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。
 - ▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください：
 - ▷ 47 ページのチャプター「エンジンオイルレベルの測定と表示」を参照してください。
 - ▶ 必要に応じてエンジンオイルを補充してください。
 - ▷ 48 ページのチャプター「エンジンオイルの選択と補充」を参照してください。

油量上限超過
整備工場へ
継続走行可

- オイルレベルが最大値を超過しています。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

故障
油量測定
整備工場へ
継続走行可

- オイルレベル測定に故障があります。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

油量最低以下
必要充填

- オイルレベルが最低値に達しました。
- ▶ エンジンオイルを補充してください。
 - ▷ 48 ページのチャプター「エンジンオイルの選択と補充」を参照してください。

現在オイル
レベル表示は
不可

- 特定の状況下では、オイルレベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。
- エンジン冷間時。
 - エンジンを高回転で全負荷運転した後の停車時
 - エンジン油温が高すぎます。
 - ▶ オイルレベル測定を再度実施してください。
 - ▷ 47 ページのチャプター「エンジンオイルレベルの測定と表示」を参照してください。

* ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

| エンジン | | |
|---|------------------------------|--|
| インストルメントパネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|  | 油圧が低過ぎます 停車してください | <p>エンジン油圧が低過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください： ▷ 47 ページのチャプター「エンジンオイルレベルの測定と表示」を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジンオイルを補充してください。 ▷ 48 ページのチャプター「エンジンオイルの選択と補充」を参照してください。 ▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告シンボルが表示されるときは、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 故障 油圧測定 継続走行可 整備工場へ | <p>オイル圧力測定に故障があります。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 油温 高過ぎ 負荷軽減 | <p>エンジン油温が高過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ マルチファンクションディスプレイでオイル測定を選択してください： ▷ 47 ページのチャプター「エンジンオイルレベルの測定と表示」を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジンオイルを補充してください。 ▷ 48 ページのチャプター「エンジンオイルの選択と補充」を参照してください。 |
|  | 故障表示 油温 整備工場へ 継続走行可 | <p>エンジン油温計が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

エンジン

インストールメン
トパネルの表示マルチファンクションディスプレイのメッ
セージ

意味および必要な措置

か

クーラント表示
が最高マークすぐに冷却水を
充填して下さい
継続走行不可

クーラント レベルが低過ぎます。

- ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。
- ▶ クーラントレベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充する。
- ▶ 59 ページのチャプター「クーラントレベルの点検と補充」を参照してください。

エラーが継続する場合：

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

さ

た

冷却水要充填
モーター温度
要監視

クーラント レベルが低くなっています。

- ▶ クーラントレベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充する。
- ▶ 59 ページのチャプター「クーラントレベルの点検と補充」を参照してください。

エラーが継続する場合：

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

は

ま

クーラントまた
はエンジンオイ
ルの温度表示
が最高マークモーター温度超過
停車して
冷まして下さい

クーラント温度またはエンジン油温が高過ぎます。

- ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。
- ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。
- ▶ クーラントおよびエンジン オイル レベルを点検してください：
- ▶ 59 ページのチャプター「クーラントレベルの点検と補充」を参照してください。
- ▶ 47 ページのチャプター「エンジン オイル レベルの測定と表示」を参照してください。
- ▶ クーラントまたはエンジン オイルを、必要に応じて補充してください。

エラーが継続する場合：

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

や

ら

わ

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

A-Z

| エンジン | | |
|---|---|---|
| インストルメントパネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|  | 故障表示 冷却水温 継続走行可 整備工場へ | 冷却水温度計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 故障 冷却システム 整備工場へ 要修理 | 冷却システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 故障 エンジンフル 全負荷回避 継続走行可 | エンジン コンパートメント ブロワーが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 低下した エンジン出力 継続走行可 整備工場へ | エンジン出力が低下します。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 故障 エンジン制御 整備工場へ 継続走行可 | エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
| 水温計の警告灯 が点滅します。 |  | 故障 エンジン制御 |
| |  | 触媒コンバーターの加熱フェーズ エンジンが作動温度に達すると、このシンボルマークはすぐに消灯します。 |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

79

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

80

エンジン

インストールメン
トパネルの表示マルチファンクションディスプレイのメッ
セージ

意味および必要な措置



微粒子フィルター
を点検します
取扱説明書をお読みください

- 粒子フィルターがすすでいっぱいです。
フィルターを自動清掃するためのドライビングスタイルで運転してください。
- ▶ マニュアルトランスミッション装備車：スロットルブリッピング機能をONしてください。
 - または–
 - PDK 装備車：PDK スポーツモードをONにします。
 - ▷ 160 ページのチャプター「AUTO BLIP (自動スロットルブリッピング機能) のONとOFFの切り替え」を参照してください。
 - ▷ 162 ページのチャプター「PDK スポーツモードのON/OFF」を参照してください。
 - ▶ クルーズコントロールをOFFにしてください。
 - ▶ シフトアップインジゲーターによる指示があった場合にのみ次のギヤにシフトアップしてください。
 - ▶ (可能であれば路上で) 最高 130 km/h まで加速し (必ず法定速度を遵守し、速度を適切に調節する)、アクセルペダルを戻し、アクセルペダルから足を完全に離します。
 - ▶ メッセージが表示されなくなるまでこの手順を繰り返します。
- エラーが継続する場合：
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



微粒子フィルター
継続走行可能
整備工場へ

- 粒子フィルターがすすでいっぱいです。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



微粒子フィルター
安全な場所に停車してください

- 粒子フィルターがすすでいっぱいです。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。
 - ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。*

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

| 車両 | 意思および必要な措置 | |
|---|------------------------------------|---|
| インストルメント パネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|  | 故障ジェネレーター 停車して 下さい | オルタネーターが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | バッテリー機能制限中 整備工場へ | バッテリー機能が制限されます。 継続走行可能です。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | バッテリー弱 エンジンを始動し しばらく稼働させて下さい | バッテリーの残量が低過ぎます。 ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。 |
|  | バッテリー残量低 電力消費物オフ | バッテリーの残量が低過ぎます。 バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止 されます。 継続走行可能です。 |
|  | 停車中にバッテリー保護が有効でした | バッテリー保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されまし た。 継続走行可能です。 |
|  | バッテリーの放電 保護が有効です 容量 xx% | バッテリー放電保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、車両電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。 ▶ バッテリー容量を監視してください。必要に応じてバッテリーを充 電してください。 ▶ 181 ページのチャプター「バッテリーの充電」を参照してくださ い。 |

* ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

81

| 車両 | インストルメントパネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|----|---|------------------------------|---|
| あ |  | バッテリー 要充電 正しい 極性に注意 | バッテリーの残量が低過ぎます。 ▶ バッテリーを充電してください。 ▷ 181 ページのチャプター「バッテリーの充電」を参照してください。 |
| か |  | エンジンを手動で始動してください | ▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。 |
| さ |  | ギヤセレクターを正確に入れて下さい | PDK 装備車：セレクターレバーが2つのポジションの間にある可能性があります。 ▶ セレクターレバーを正しい位置にシフトしてください。 |
| た |  | 選択レバーをP位置にします | PDK 装備車：キーを抜き取る前や駐車する場合は、選択レバーをP位置にします。 ▶ 選択レバーをP位置にします。 |
| な |  | 選択レバーを P位置または N位置にします | PDK 装備車：セレクターレバーがPまたはNの位置にあるときのみ車両を始動することができます。 ▶ 選択レバーをP位置またはN位置にしてください。 |
| は |  | ブレーキを操作 | PDK 装備車：ブレーキペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▶ 始動時はフットブレーキを踏んでください。 |
| ま |  | T/M 故障 安全に停車 してください | PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。 インストルメントパネルにセレクターレバーの位置が表示されなくなります。 次に停車するまでは走行が可能です。 運転を続けしないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▷ 67 ページのチャプター「けん引およびけん引によるエンジンの始動」を参照してください。 |
| や | ら | わ | |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

| 車両 インストルメント パネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|--|---------------------------------|--|
|  | 変速機 温度超過 冷却のため 停車して下さい | PDK 装備車：トランスミッション温度が高過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | T/M 故障 リバースギヤ不可 運転可能 | PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。 リバース ギヤに入らないことがあります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | T/M 温度 高すぎる 負荷を下げる | PDK 装備車：トランスミッション温度が高過ぎます。 継続走行可能です。車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセルペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまでセレクターレバーを P または N の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。 |
|  | クラッチを踏みます | マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▶ 始動時はクラッチペダルを踏んでください。 |
|  | 非常通報が有効です | 車両からの緊急通報がセキュリティオペレーティングセンター (SOC) で確認されました。 |
|  | 緊急通報故障 整備工場へ | 緊急通報機能が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 緊急通報が 故障しました | 車両からの非常電話を、セキュリティオペレーティングセンター (SOC) に転送できませんでした。 |
|  | 非常通報の サービス契約が 終了しました | 緊急通報サービスのサービス契約期間が終了しましたが、ポルシェ サービス ポータルで延長可能です。 |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

| 車両 インストルメント パネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|--|--|---|
|  | 表示 外気温 故障 要修理 | 外気温表示に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 故障 718- 要減速 | 718 スパイダー 走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 減速 幌を停止位置へ移動 | ▶ コンバーチブルトップを全開または全閉にしてください。 |
|  | 幌 要修理 車両 運転不可 | コンバーチブルトップがサービス位置にあります。 ▶ サービス ポジションから移動させてください。 |
|  | フードを開きます / 閉じます | 終端位置になるとメッセージが消えます。 |
|  | 故障 幌制御 要修理 | ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | 例： xxx km 以内に修理してください。 | ▶ 表示されている距離 / 期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。 |
| 燃料警告灯が点灯 |  目的地までの 距離に 注意してください | 燃料タンクが空です。 ▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▷ 57 ページのチャプター「給油」を参照してください。 |
|  | 故障 燃料計 修理が必要です | 燃料計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | ドア / 後ろカバー が開いています | ▶ 該当する車両のドアまたはカバーを閉じてください。 |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

インストルメント
パネルの表示

マルチファンクションディスプレイのメッセージ

意味および必要な措置



洗淨水を補充します

ウォッシャー液が空です。

- ▶ ウォッシャー液を補充してください。
- ▷ 33 ページのチャプター「ウォッシャー液」を参照してください。



車両 キーのバッテリーを交換します

キーの電池が消耗しています。

- ▶ 電池を交換してください。
- ▷ 107 ページのチャプター「車両キーの電池交換」を参照してください。



イグニッション キーを抜いてください

- ▶ イグニッション キーを抜き取ってください。

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

ドライビングシステム

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

86

インストルメン
トパネルの表示マルチファンクションディスプレイの
メッセージ

意味および必要な措置



点灯

システムエラー PSM
安全な場所に
停車してください

ボルシェスタビリティマネージメント (PSM) システムが故障しています。

- ▶ 適切な場所に停車してください。
- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



点灯

故障
ESC+TC
相応の
継続走行可

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) とトラクションコントロール (TC) が故障しています。

継続走行可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



点灯



横滑り防止装置オフ

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) が OFF になっています。



横滑り防止装置オン

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) が ON になっています。



点灯



横滑り防止装置+TCオフ

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) とトラクションコントロール (TC) が OFF になっています。












横滑り防止装置+TCオン

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) とトラクションコントロール (TC) が ON になっています。

* ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビングシステム

| インストルメントパネルの表示 | マルチファンクションディスプレイのメッセージ | 意味および必要な措置 |
|--|---|---|
|  点滅 |  | <p>PSM が診断モードです</p> <p>ボルシェ スタビリティーマネージメント (PSM) が診断モードです。</p> |
|  | | |
|  | | |
|  | | |
|  | <p>PADM 無効 要修理 継続走行可能</p> | <p>ボルシェ アクティブドライブトレインマウント (PADM) が無効になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | <p>故障シャーシシステム</p> | <p>サスペンションシステムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | <p>故障 懸架装置 相応の 継続走行可</p> | <p>サスペンションシステムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |
|  | <p>故障 アシスタンスシステム/ 加付 要修理</p> | <p>アシスタンスシステムまたは車両カメラが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* |

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

88

ドライビングシステム

インストールメン
トパネルの表示

マルチファンクションディスプレイの
メッセージ

意味および必要な措置



視野 前方
制限中
場合により
要ガラス洗浄

アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。

▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。

エラーが継続する場合：

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



システムエラー
継続走行可能
要修理

複数の電気システムのシステムが故障している可能性があります。

▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



故障 音声出力
カメラ機器 /
パークアシスト前
要修理

警告音およびパークング アシスタントなどの距離信号が使用できません。

▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



故障 音声出力
パークアシスト
要修理

警告音およびパークング アシスタントの距離信号が使用できません。

▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。

▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



故障
パークアシスト

パークング アシスタントが故障しています。

▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。

▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



制限 1/2 を越えました

設定した速度制限 1 または 2 を超過しています。

* ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警報システム

作動原理

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、ラゲッジコンパートメントリッド、およびヘッドライトの警報接点
- 室内モニタリングシステム：車両をロックした後の車内への侵入（例えばサイドウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
- 傾斜センサー（国別の装備仕様：車両の傾き〔例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき〕）。

これらの警報接点のいずれかが1つでも作動すると、アラームサイレンが約30秒間鳴り、ハザードライトが点滅します。

その後、5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

i インフォメーション

国別の仕様によっては、キーをイグニッションロックから抜き取った場合は、最後にドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを閉じてから30秒後に警報システムが自動的に作動します。これは車両をロックしていない場合でも同様です。

室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーが解除されます。ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを開くと、警報が作動します。

- ▶ 降車時は常に車両をロックしてください。
- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

作動した警報システムを解除するには：

- ▶ ドアをロック解除するまたはイグニッションをONにしてください。

機能表示

ボルシェ エントリー & ドライブ非装備車の場合、セントラル ロッキング ボタン のライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。ボルシェ エントリー & ドライブ 装備車の場合、ドアのインジケーター ライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。

警報システムが起動

車両をロックしたときにインジケーター ライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

アラーム・システムが作動し、車内モニタリング・システムおよび傾斜センサーが作動解除されます。

車両をロックしたときにインジケーター ライトが素早く点滅し、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラル ロッキング システム および 警報 システム の故障

インジケーター ライトが10秒間点灯した後、短く2回ずつ20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが作動します。
- ▶ 車両のロックを解除すると、警報システムが無効になります。

i インフォメーション

ドアロックにエマージェンシー キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

アラーム作動後にアラーム・システムをOFFにする

- ▶ ロック解除
-または-
イグニッションをONにします。

車内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリングシステムと傾斜センサーを一時的にOFFにする必要があります。

- ▶ 123 ページのチャプター「ドアをロックする」を参照してください。
- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

室内モニタリングシステムと傾斜センサーは、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

コンバーチブルトップ

- ▶ 110 ページのチャプター「車両のお手入れ」を参照してください。
- ▶ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。
- ▶ 258 ページのチャプター「ラゲッジコンパートメントリッドの開閉操作とロック」を参照してください。

知識

コンバーチブルトップを損傷する恐れがあります。

- ▶ 次の場合には、コンバーチブルトップを操作しないでください。
 - 温度が0℃以下のとき。
 - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき。
- コンバーチブルトップフィンがリヤトランクリッドの車両側ファスニングに差し込まれているとき
 - ▶ コンバーチブルトップコンパートメント内に何も入っていないことを確認してください。
 - ▶ ロールオーバーの後方や周囲に物が無いことを確認してください。
 - ▶ 走行するときは、コンバーチブルトップは必ず完全に開いた状態か完全に閉じた状態にしてください。
- ▶ コンバーチブルトップの開閉はコンバーチブルトップの上方に十分な空間があることを確認してから行ってください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブルトップは乾いた清潔な状態のときのみ開いてください。
- ▶ 日光を長時間浴びると、布地やラバーが傷んだり色褪せが起こったりするため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。
- ▶ 強風や嵐のときはコンバーチブルトップを作動させないでください。

i インフォメーション

天候により、コンバーチブルトップコンパートメントが濡れることがあります。コンバーチブルトップコンパートメントが濡れている状態は、故障や不具合を示すものではありません。

i インフォメーション

コンバーチブルトップフィンがリヤトランクリッドの車両側ファスニングに差し込まれている場合、リヤトランクリッドを開くことはできません。

- ▶ 走行開始前に、コンバーチブルトップフィンが固定されていることを必ず確認してください。

コンバーチブルトップの開閉操作

▲ 注意

コンバーチブルトップの開閉

コンバーチブルトップを開閉するときは、コンバーチブルトップメカニズムまたはコンバーチブルトップコンパートメントリッドと車両の固定部品との間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。

- ▶ コンバーチブルトップメカニズムまたはコンバーチブルトップコンパートメントリッドによって乗員がケガをしないように注意してください。
- ▶ コンバーチブルトップを閉じるときは、サンバイザーのバンティーマラーのカバーを閉じておいてください。

コンバーチブルトップのロックを解除すると、サイドウィンドウは自動的に下がります。

コンバーチブルトップをロックすると、サイドウィンドウは自動的に閉じます。

コンバーチブルトップの開作業

車内のボタンを使用したコンバーチブルトップのロック解除

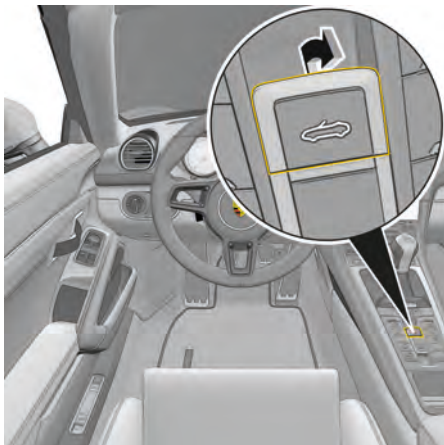


図 48：ボタンによるコンバーチブルトップのロック解除操作

- ✓ 車両が安全に停車している。
 - ✓ イグニッションがONになっている。
1. ウィンドウが希望の位置になるまで、コンバーチブルトップのロック解除ボタンを押し続けてください。
マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。
コンバーチブルトップがフロントウィンドウのフレームからロック解除されます。
リヤトランクリッドがロック解除されます。

コンバーチブルトップフィンの格納

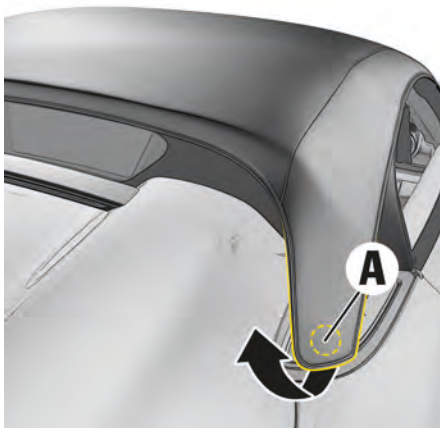


図 49：コンバーチブルトップフィンの格納

知識

コンバーチブルトップを損傷する恐れがあります。

▶ リヤラゲッジコンパートメントリッドは、コンバーチブルトップフィンが切り離されていることを確認してから開くようにしてください。

2. コンバーチブルトップフィンのロック **A** を押してください。
3. コンバーチブルトップフィンをリヤトランクリッドの車両側ファスニングから引き出し、ロック **A** を解除してください。



図 50：コンバーチブルトップフィンの格納

4. コンバーチブルトップフィンをコンバーチブルトップ側留め具に押し込んでください。
コンバーチブルトップフィンとコンバーチブルトップ側留め具の2個の矢印マークを同じ高さにそろえると、締結を容易に行うことができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

92

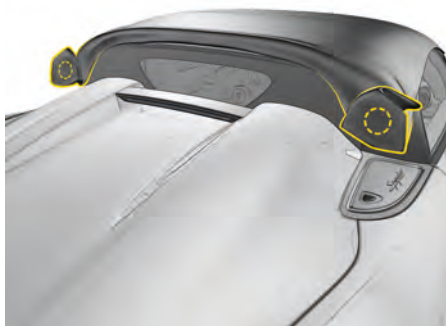


図 51：コンバーチブルトップフィンの格納

5. 運転席側および助手席側のコンバーチブルトップフィンを締結してください。

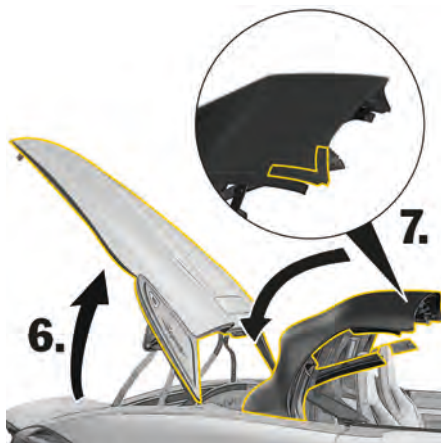


図 52：コンバーチブルトップの収納

6. リヤトランク リッドを完全に開いてください。
7. コンバーチブルトップのフロント部を両手でつかみ、トランク リッド方向に一定の力で引いてください。
8. コンバーチブルトップをコンバーチブルトップコンパートメントに収納してください。
9. コンバーチブルトップをコンバーチブルトップコンパートメントの中に押し下げてください。
コンバーチブルトップがサポートポイントに正しく設置されていることを確認してください。



図 53：コンバーチブルトップフラップの閉操作

10. 運転席側および助手席側のコンバーチブルトップフラップを閉じてください。
11. リヤトランク リッドを閉じてください。

コンバーチブルトップの閉操作

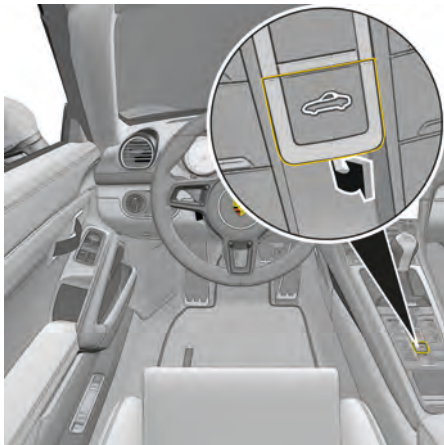


図 54：ボタンによるコンバーチブルトップのロック操作

1. コンバーチブルトップのロック ボタンを引いてください。
-または-
運転席シートの横にあるリヤラゲッジコンパートメントのリリース ボタンを引いてください。
マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。
リヤトランク リッドがロック解除されます。
- ▷ 258 ページのチャプター「ラゲッジコンパートメントリッドの開閉操作とロック」を参照してください。



図 55：コンバーチブルトップフラップの開操作

2. リヤトランク リッドを完全に開いてください。
3. 運転席側および助手席側のコンバーチブルトップフラップを開いてください。

知識

車両またはコンバーチブルトップを損傷する危険があります。

- ▶ 手動コンバーチブルトップの操作を行う前に、必ずコンバーチブルトップフラップを開いてください。

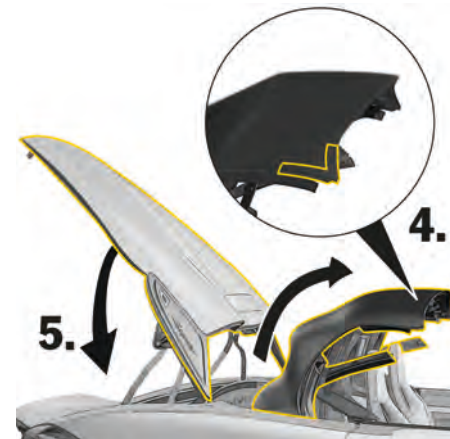


図 56：コンバーチブルトップの閉操作

4. コンバーチブルトップのフロント部を両手でつかみ、フロントウィンドウフレームに届くまで均等に引いてください。
5. リヤトランク リッドを閉じてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

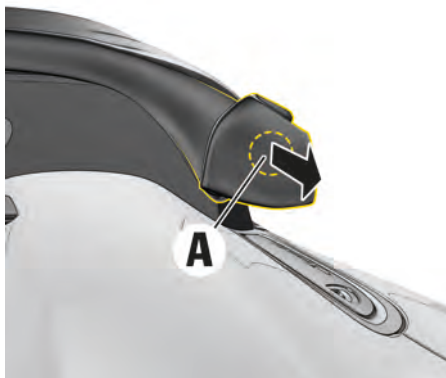


図 57: コンバーチブルトップフィンコンバーチブルトップ側留め具から引く

6. コンバーチブルトップフィンのロック **A** を押してください。
7. **コンバーチブルトップ側留め具**からコンバーチブルトップフィンを引き出し、ロック機構を解除してください。

コンバーチブルトップフィンの取り付け

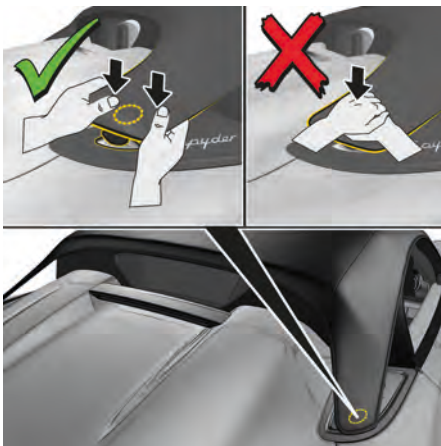


図 58: コンバーチブルトップのフィンの取り付け

8. コンバーチブルトップフィンの外縁を両手で持ち (図 58)、リヤラゲッジコンパートメントリッドの車両側留め具に強く押し込みます。
 - これを行う際に、コンバーチブルトップのフィンのリリース ボタンを押さ **ない**でください。中央を押すと、コンバーチブルトップのフィンは正常に取り付けられません。
 - コンバーチブルトップのフィンを確実にロックしたことが **耳で聞こえる**ことを確認してください。
9. 運転席側および助手席側のコンバーチブルトップフィンを締結してください。

コンバーチブルトップフィンの確認



図 59: コンバーチブルトップフィンの確認

知識

車両を損傷する恐れがあります。コンバーチブルトップフィンが正しく締結されていないと、車両が動いているときにフィンが外れる恐れがあります。

▶ コンバーチブルトップフィンの内部の赤いマークが見えないことを確認してください。

10. フィンの底面を確認します。フィンの底面の赤いマーク (図 59) が見えないように必ず確認してください。
 - 次に進行方向から見て車両右側にある右コンバーチブルトップのフィンを確認します。進行方向から見て車両左側にある左コンバーチブルトップのフィンを確認します。
 - 赤いマークが見える場合、フィンは正常に取り付けられていません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- ▶ „コンバーチブルトップフィンの取り付け“以降の手順を再度行ってください。

コンバーチブルトップのロック

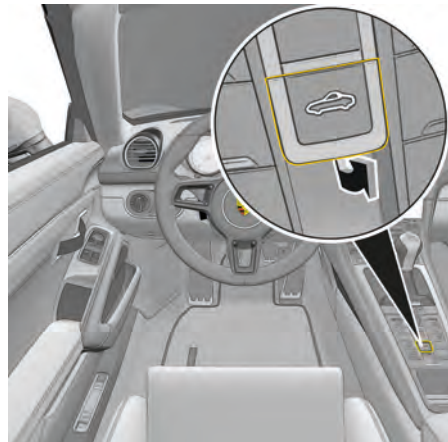


図 60：ボタンによるコンバーチブルトップのロック操作

11. コンバーチブルトップの車内のハンドルを持って、フロントウィンドウフレーム側に動かしてください。同時に、コンバーチブルトップがフロントウィンドウフレームにロックされ、ウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブルトップのロックボタンを押し続けてください。マルチファンクションディスプレイのメッセージが消えます。

ウィンドデフレクターの取り外しと取り付け

知識

- ▶ すべてのウィンドデフレクター部品が正しい位置にしっかり固定されていることを確認してください。特にコンバーチブルトップを開いて走行するときは注意してください。

ウィンドデフレクターの取り付け

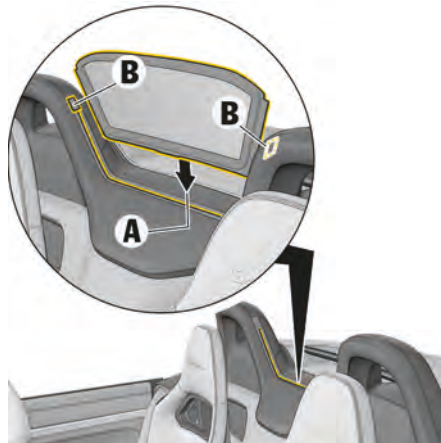


図 61：ウィンドデフレクターの取り付け

- ▶ ウィンドデフレクターを上方からマウントAに差し込み、次に固定箇所Bでカチッと音がするまでウィンドデフレクターを押し下げてください。

ウィンドデフレクターの取り外し

- ▶ 固定箇所Bの1つを押して、ウィンドデフレクターをマウントAから引き上げて取り外してください。

i インフォメーション

コンバーチブルトップが閉じているときに、ウィンドデフレクターを取り外すと車内の換気が促進され、リヤウィンドウの曇りを防ぐことができます。特に寒く湿度の高い場合に有効です。

コンバーチブルトップの緊急操作

▲ 警告

緊急作動中のコンバーチブルトップの作動

- ▶ 緊急作動を行うときは十分に注意してください。
- ▶ 緊急操作を行っている間は、ボタンを使用してコンバーチブルトップを操作しないでください。

知識

コンバーチブルトップとコンバーチブルトップロックを損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急操作を行っている間または操作後は、ボタンを使用してコンバーチブルトップを操作しないでください。
- ▶ ゆっくりと慎重に運転してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

コンバーチブルトップシステムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検します。

- コンバーチブルトップをボタンで操作するとき、イグニッションをONにしましたか？
- ヒューズに不具合がありませんか？
- ▷ 192ページのチャプター「ヒューズの点検および交換」を参照してください。

ステップ1：コンバーチブルトップの閉操作

93ページのチャプター「コンバーチブルトップの閉操作」を参照してください。

ステップ2：コンバーチブルトップフィンの取り付け

- ▷ 94ページのチャプター「コンバーチブルトップフィンの取り付け」を参照してください。

ステップ3：コンバーチブルトップフィンの確認

- ▷ 94ページのチャプター「コンバーチブルトップフィンの確認」を参照してください。

ステップ4：コンバーチブルトップのロック

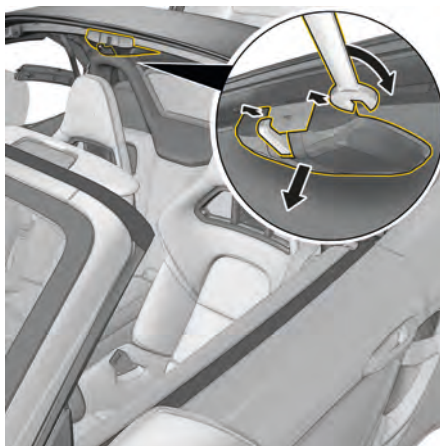


図62：コンバーチブルトップロックカバーの取り外し

1. 工具セットからスパナ (13A/F) を取り出してください。
- ▷ 254ページのチャプター「タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム-TMS) または工具セットの取り外しと収納」を参照してください。
2. スパナを使用して、コンバーチブルトップロックのプラスチックカバーを注意深くこじって固定箇所 (図62) から外し、取り外してください。

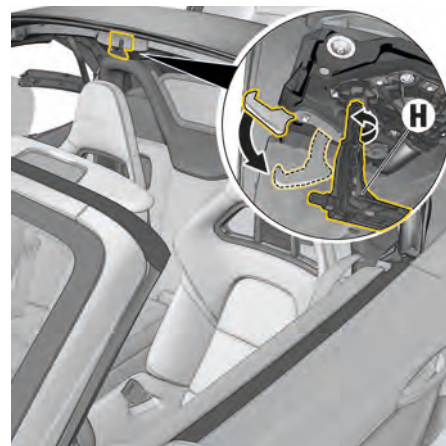


図63：コンバーチブルトップラッチフックの展開

3. コンバーチブルトップの緊急操作キー H を工具セットから取り出してください。
- ▷ 254ページのチャプター「タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム-TMS) または工具セットの取り外しと収納」を参照してください。
4. キーHをコンバーチブルトップロックに差し込み (図63)、反時計方向に回してラッチフックを完全に開いてください (回すときに抵抗を感じます)。

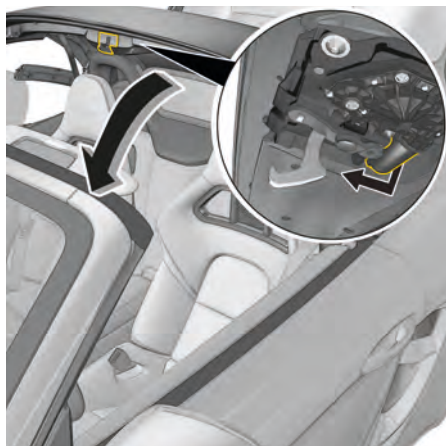


図 64：コンバーチブルトップをフロント ウィンドウのフレームに引き寄せる

5. コンバーチブルトップのコンバーチブルトップモーター部(図64)を手でつかみ、フロントウィンドウフレームに引き寄せてください。

注意

閉じるときに挟まれてケガをする恐れがあります

閉じるときに、コンバーチブルトップが作動する範囲内またはコンバーチブルトップロック付近に身体の一部があると、挟まれる恐れがあります。

- ▶ 以下に注意してください。
- 閉じるときは、コンバーチブルトップの作動範囲内に誰もいないこと。
- コンバーチブルトップの可動部やコンバーチブルトップロック周辺のエリアに手を入れないでください。

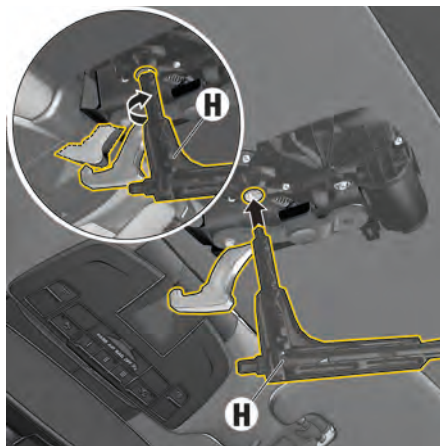


図 65：コンバーチブルトップのロック

6. コンバーチブルトップを完全に閉じる場合、ラッチフックがキャッチに完全に噛み合い、コンバーチブルトップが完全に閉じるまで、キーHを時計回りに回してください(図65を回すときに抵抗を感じます)。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

サンバイザー

サンバイザーの調節



図 66：サンバイザーの調節

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

バニティー ミラーを開く

▲ 注意

バニティー ミラーの
カバーを開くとき

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- ▶ 走行中はカバーを閉じてください。



図 67：バニティー ミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのカバーを開きます。
バニティー ミラーのライトが点灯します。

知識

バニティー ミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

- ▶ カバーを全開位置から無理に開かないでください。

シート

適切なシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっばいに踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリングホイールの上を握ってください。シートのバックレストの角度とステアリングホイールの位置は、腕がほとんどまっすぐ伸ばされた状態になるように調節してください〔フルバケットシートを除く〕。ただし、肩はバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。

シートの調節



警告

運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。



注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。



インフォメーション

チャイルドシートシステム用 ISOFIX リテーニングラグを助手席に取り付けた車両では、助手席シートバックレストの調節範囲が制限されます。

スポーツシート プラスの調節

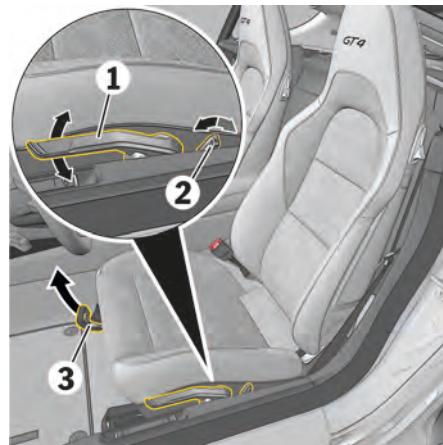


図 68：スポーツシート プラスの調節

- 1 シートの高さ調節
- 2 シートバックレストの角度調節
- 3 シートの前後調節

- ▶ レバー **1** を操作して、シートを希望の高さに調節してください。
レバーを上げる＝座面が上昇します。
レバーを下げる＝座面が下降します。
- ▶ スイッチ **2** を操作して、シートバックレストを希望の角度に調節してください。
- ▶ ロックレバー **3** を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

アダプティブスポーツシート プラスの調節

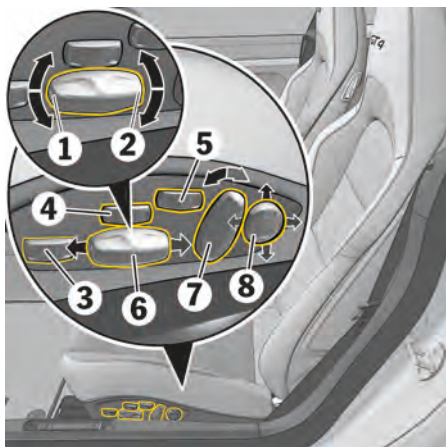


図 69: アダプティブスポーツシート プラスの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 サイサポートの調節
- 4 シートクッションのサイドボルスターの調節
- 5 シートバックレストのサイドボルスターの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 シートバックレストの角度調節
- 8 ランバーサポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

フルバケットシートの調節

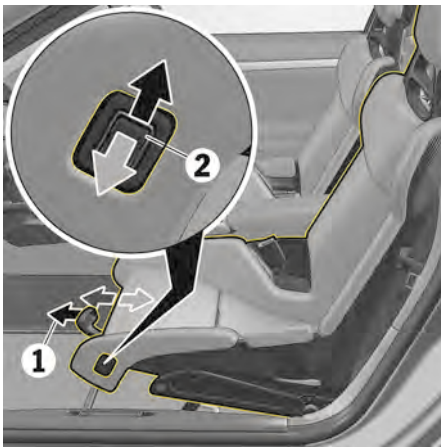


図 70: フルバケットシートの調節



危険

チャイルドシートの使用

フルバケットシートでのチャイルドシートの使用は、重傷または致命傷を負う危険があります。

フルバケットシートでチャイルドシートを使用した場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ フルバケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。
- ▶ ロックレバー **1** を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。シートがしっかり固定されていることを確認してください。
- ▶ スイッチ **2** を矢印方向に押し、希望のシート位置、または最低 / 最高位置になるまで調節してください。

バックレストを倒す



図 71: バックレストを倒す

バックレストを倒す

- ▶ シートバックレストの側面にあるレバーを引き上げて (図 71)、バックレストを前方に倒してください。

バックレストを垂直位置に調節する



警告

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▶ シートバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。
- ▶ シートバックレストをカチッと合まるまで後方へ倒してください。

シートヒーターを ON/OFF にする



図 72：シートヒーター ボタン

シートヒーターを ON にする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 該当のボタンを押してください〔数回〕。
ヒーターの設定に応じた数のインジケータライトが点灯します。

シートヒーターを OFF にする

- ▶ 該当のボタンをすべてのインジケータライトが消灯するまで〔数回〕押してください。

i インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。
バッテリー電圧が低すぎると、シートヒーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

シートベルト

シートベルトの正しい使用方法

⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していない場合、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ **1本**のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服(ジャケットなど)は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください(例:メガネ、ボールペン、携帯電話など)。衝突の際にケガをする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、またはゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。

⚠ 危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを確認してください。
- ▶ シートベルトバックルが汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 115 ページのチャプター「シートベルトの清掃」を参照してください。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルトプリテンショナーの作動条件:


- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が横転した場合

i


インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シートベルト警告灯および警告シンボルを確認する

イグニッションをONにすると、運転席側または助手席側のシートベルトが着用されるまでインストルメントパネル内の赤色の警告灯  が点灯します。

さらに、マルチファンクションディスプレイに警告が表示されます。

約 24 km/h 以上の速度で走行している場合、運転席側または助手席側(乗車している場合)のシートベルトが外された場合は、警告音が鳴り、インストルメントパネルの赤い警告灯  が点滅します。

シートベルトを着用する



図 73：シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトを着用したときにベルトが肩の中央を通して上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調整してください（フルバケットシートを除く）。
3. シートベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

i インフォメーション

シートベルトは、次のような場合に引っかかる場合があります。

- 傾斜地。
- シートベルトが急激に引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

4. シートベルトのラッチは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください（図 73）。
5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上引っ張ってください。妊娠中の方：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に取り上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

シートベルトバックルの解除とシートベルトの取り外し

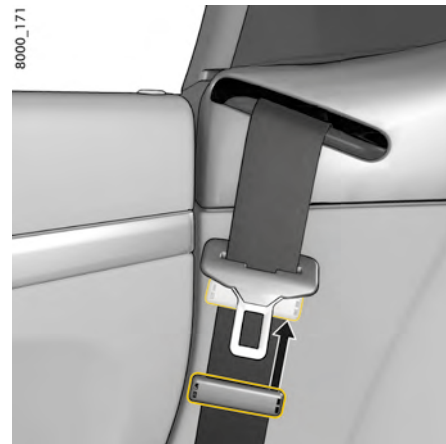


図 74：シートベルトを外す

1. シートベルトのラッチを手で持ってください。
2. シートベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
3. シートベルトのバックルプレートを、シートベルト引き出し口の約7cm下にプラスチックスライドで固定してください（図 74）。プラスチックスライドがシートベルトラッチを手の届きやすい位置で保持します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ジャッキおよびリフティングプラットフォーム

サイドスカート上のジャッキアップポイントのエリアには矢印マークがあります。

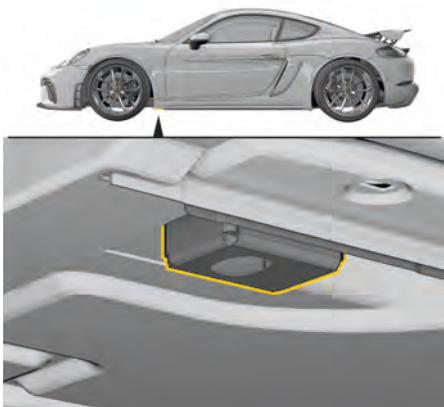


図 75：フロント側のリフティングプラットフォームとジャッキのジャッキポイント



図 76：リヤ側のリフティングプラットフォームおよびジャッキ用のジャッキポイント

警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
 - ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップポイント（図 75、図 76）で持ち上げてください。
 - ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
 - ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
 - ▶ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させると、ギヤレバーをニュートラル位置に入れるか、またはセレクトレバーを **P** の位置にしてください。
- ▶ 139 ページのチャプター「ホイール交換」を参照してください。

ジャンパーケーブルによるエンジンの始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパーケーブルを使用して外部電源を接続したりすることができます。どちらの車両も12Vバッテリー搭載車でなくてはなりません。支援車側のバッテリーの容量(AH)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べ低すぎないように確認してください。上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

▷ 179ページのチャプター「バッテリー」を参照してください。

通常の作動状態でジャンパーケーブルによるエンジンの始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。

警告

不適切なジャンパーケーブルや始動手順

不適切なジャンパーケーブルを使用した場合や、ジャンパーケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ ジャンパーケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパーケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする恐れがあります。
- ▶ 導電性の装飾品(指輪、チェーン、時計ストラップなど)が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパーケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパーケーブルは、必ずジャンパーケーブル接続用端子に接続してください。

警告

凍結または損傷したバッテリーのジャンパーケーブルによるエンジンの始動

凍結または損傷したバッテリーをジャンプスタートすると、爆発したり酸による火傷を負う危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーには決してジャンパーケーブルを接続しないでください。

注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

ジャンパーケーブルによるエンジンの始動

8000_80

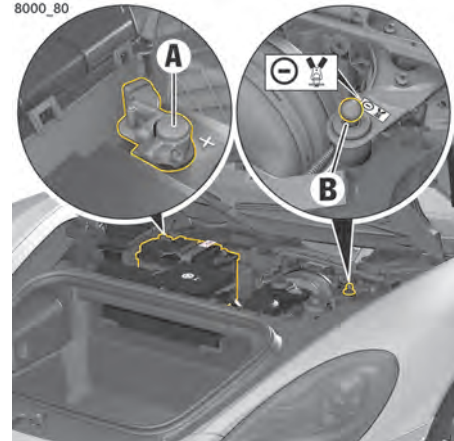


図 77: バッテリー端子

- A プラス端子 +
B アース箇所(マイナス端子) -

1. フロントラゲッジコンパートメントリッドを開いてください。
 - ▷ 260ページのチャプター「フロントラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」を参照してください。
2. フロントラゲッジコンパートメントのカバーを取り外してください。
 - ▷ カバーを取り外すには: 254ページのチャプター「タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または工具セットの取り外しと収納」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

3. 充電器の赤色のプラスケーブルを放電したバッテリーのプラス端子 **A** に接続してください。
4. 赤色のプラスケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色のマイナスケーブルを支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
6. 黒色のマイナスケーブルをアース箇所 (マイナス端子) **B** に接続してください。
絶対 にマイナス側ケーブル (黒色) をバッテリーへ直接接続しないでください。
7. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
8. エンジンを始動してください。ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを 15 秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1 分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、最初に、黒色のマイナス側ケーブルをアース箇所 **B** から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外してください。
10. エンジンが作動状態のまま、まず支援車のバッテリープラス (+) 端子から赤色のプラスケーブルを外してください。次に、ジャンプスタートした車両のバッテリーのプラス端子 **A** からケーブルを外してください。

車両キー

知識

車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両キーを湿気から保護します。
- ▶ キーを汚れ、ほこり、鋭利な物から遠ざけます。

車両キーの使用

i インフォメーション

- ▶ 車両が視野に入る位置にある場合にのみ、キーを使用してください。



図 78：車両キー

- A ロック解除
- B ロックする
- C フロントラゲッジコンパートメントリッドおよびドアをロック解除する
- D リヤラゲッジコンパートメントリッドおよびドアをロック解除する
- E エマージェンシーキー

各キーにはエマージェンシーキーが内蔵されています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください。特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携行してください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

エマージェンシーキーを使用する場合

エマージェンシーキーを取り外す

8000_199



図 79：エマージェンシーキーを取り外す

1. リリースボタンを横に押ししてください (図 79)。
2. エマージェンシーキーを抜き取ってください。

エマージェンシーキーを収納する

- ▶ リリースボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシーキーを押し込んでください。

車両キーの電池交換

警告

リチウムバッテリーを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

車両キーの中にはリチウムバッテリーが収納されています。

バッテリーを飲み込むと、2時間以内に体内に火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新しいバッテリーは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 車両キーに子供を近づけないでください。お子様がキーを開いて、バッテリーを取り外す恐れがあります。
- ▶ リチウムバッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

車両キーの電池が弱まり交換が必要になると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

i インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



図 80：バッテリーの交換

電池の交換 (CR 2032、3V)

1. エマージェンシーキーを取り出してください。
2. 適切な物 (エマージェンシーキーなど) を使用して、キーハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. バッテリーを交換します (電極の向きに注意してください)。
4. カバーを元通りにして、確実にはめ合わせてください。
5. エマージェンシーキーを挿入してください。

9000_232

車両キーの緊急ロック解除

車両のバッテリーが上がった場合、車両キーを抜き取るには、緊急解除を行う必要があります。



図 81：メタルフックの取り外し

1. 運転席側のヒューズボックスカバーのハンドルをつかみ、引いて取り外してください。
2. ヒューズボックスカバーの裏に収納してあるメタルフック A を取り出してください。

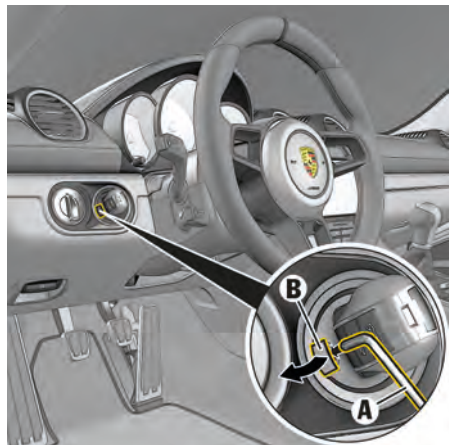


図 82：イグニッションロックからのプラスチックカバーの取り外し

3. メタルフック A を使用して、イグニッションロックからプラスチックカバー B を取り外してください。
4. 取り外したプラスチックカバー B は紛失しないように十分注意してください。

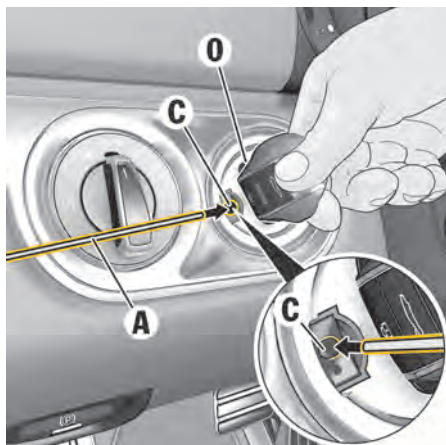


図 83：緊急ロック解除

5. 車両キーをイグニッションロック位置Oに回してください。初期位置
6. メタルフックAを開口部Cに押し込んでください。
車両キーの解除音が聞こえます。
7. 初期位置Oで車両キーを抜き取ってください。
8. プラスチックカバーBを元の位置に取り付けてください。

スペアキーの注文と登録

車両キーの注文は、ボルシェ正規販売店からのみ行えます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございます。

- ▶ いつでもスペアキーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨いたします。
- ▶ スペアキーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

新しい車両キーを車両に登録するには：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両のすべての車両キーを再登録してください。

i インフォメーション

最大で8本の車両キーを登録することができます。

i インフォメーション

- ▶ 車両キーを紛失した場合または盗難にあった場合は、ボルシェ正規販売店でこの車両キーを無効にし、必要に応じてメカニカルロックを交換してください。
- ▶ 車両キーを紛失または盗難に遭われた際、スペアキーを追加されたり交換されたりした際は、ご契約の自動車保険会社にご連絡ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

車両のお手入れ

▲ 警告

ブレーキディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

i インフォメーション

適切な方法で定期的な車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。ポルシェは、ポルシェテクイクップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

- ▶ カーケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- ▶ カーケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店ではコンディションレポートを発行し、「整備手帳」にその結果を記録します。

知識

高圧洗浄機およびスチームクリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

- コンバッチブルトップ (718 Spyder)
- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブフィルム
- 塗装面
- エンジンコンパートメント内の構成部品と電装部品/装備品スペース
- パークアシストセンサー
- リバースカメラ
- ワイパーブレード
- ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから50 cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせ使用しないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせ使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェットノズルを直接向けないでください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部(スパークプラグシャフト、エアクリーナーハウジング、エアフィルターなど)に向けしないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤(塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の排せつ物、樹液や花粉などは、車体に附着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両またはコンバッチブルトップは、完全な防漏構造ではありません。車両/コンバッチブルトップの洗浄時、車内に水が入る事もあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。
- ▶ 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- ▶ 手洗いをを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。ポルシェは、ポルシェテクイクップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷり水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

自動洗車機

知識

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください(718 Spyder)。

以下の表を参考にし、車両を安全かつ慎重に洗車してください。

| 危険 | 厳守事項 |
|---|--|
| コンバーチブルトップのファブリックを損傷する恐れがあります(718 Spyder) | ▶ コンバーチブルトップ部にホットワックス処理をしないでください。 |
| ウィンドウが下がっている車内に水が入ります(718 Spyder) | ▶ イグニッションをOFFにしないでください。 -または- ▶ 車両をロックします。 |
| 洗車機で洗車中にワイパーが不意に作動して損傷する恐れがあります | ▶ フロント/リアウィンドウのワイパーをOFFにしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。 |

| 危険 | 厳守事項 |
|-----------------------|--|
| 外装部品への損傷 | ▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ リヤスポイラーを展開している場合、格納してください。 |
| ホイールへの損傷 | ▶ 洗車機のガイドレールの寸法をよく確認してください。 タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。 |
| ハイグロスまたはシルクグロスホイールへの傷 | ▶ 洗車機のホイール用洗淨ブラシを使用しないでください。 |

コンバーチブルトップの清掃(718 Spyder)

知識

高圧洗淨機の洗淨ジェット、不適切な自動洗車機、またはホットワックス処理により、コンバーチブルトップを損傷する恐れがあります。

- ▶ 高圧洗淨機やスチームクリーナーをコンバーチブルトップの洗淨に使用しないでください。
- ▶ カブリオレでは、洗淨プログラムのある自動洗車機を使用してください。
- ▶ コンバーチブルトップ部にホットワックス処理をしないでください。

正しいお手入れと洗淨のために以下のことを守ってください：

- ▶ コンバーチブルトップは車両を洗車する度に毎回洗う必要はありません。通常は、清潔な水でコンバーチブルトップを洗うのみで十分です。
- ▶ 雪や氷を縁の鋭いもので取り除かないでください。
- ▶ 毛の柔らかいブラシを使用して、織目に沿ってブラッシングしコンバーチブルトップのほこりを取り除いてください。
- ▶ 汚れが頑固な場合にのみ、シャンプー＆コンバーチブルトップクリーナーを混ぜたぬるま湯で洗淨し、スポンジか柔らかいブラシで軽く擦ってください。
- ▶ その後きれいな水でシャンプー＆コンバーチブルトップクリーナーを残さず洗い流してください。ポリシェは、ポリシェテクニップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 洗車後、少なくとも年に1度はコンバーチブルトップケア製品を使用してコンバーチブルトップカバーのお手入れを行ってください。コンバーチブルトップ用のケア用品が塗装面やガラスに付着しないよう注意してください。塗装に付着した場合はすぐに取り除いてください。
- ▶ コンバーチブルトップカバー本体または縫い目や折り目から漏れが生じた場合は、コンバーチブルトップ専用ケア用品を使用してください。容器に記載されている指示に従ってください。ポリシェは、ポリシェテクニップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 鳥の排せつ物は直ちに除去してください。排せつ物に含まれる酸がコンバーチブルトップのゴムを膨張させ、水漏れを起こす原因となります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンパーチブルトップおよびコンパーチブルトップエレメントは天候が良いときのみ開いてください。
- ▶ コンパーチブルトップカバーから染みを落とす際は、柔らかいラバー スポンジで慎重に擦って除去してください。

塗装面のお手入れ

知識

- 塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。
- ▶ 乾いた布でほこりを拭き取らないでください。

知識

- 適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。
- ▶ 艶消し仕上げの部にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。ポルシェは、ポルシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などは適切な洗剤で速やかに除去した後、丁寧に水で洗い流してください。長時間放置すると、塗装が変色する原因となります。ポルシェは、ポルシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

小さな傷の補修

- ▶ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。
- 錆を取り除いたら、その箇所にプライマー〔防錆剤〕を塗布してから、上塗り塗装を施してください。
- ペイント データは車両のデータバンクに表示されています。
- ▶ 270 ページのチャプター「車両の識別データ」を参照してください。

ウィンドウの清掃

- ▶ 266 ページのチャプター「ワイパー ブレード」を参照してください。

i インフォメーション

フロント サイド ウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 定期的にウィンドウクリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポルシェでは、ポルシェテクイップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨しています。
- ▶ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
- ▶ 虫の死骸はインセクトリムーバーで取り除きます。ポルシェは、ポルシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

アンダーコーティングの補修



警告

エキゾーストシステム付近の可燃物

エキゾーストシステム部に防錆剤やアンダーコーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

- ▶ エキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒コンバーター、ヒートシールド、およびその周囲には、アンダーコーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェ正規店で車両底部を定期点検し、必要に応じて保護コーティングを修復してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

デコラティブフィルムの清掃

知識

清掃中にデコラティブフィルムが剥がれ損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホットワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機やスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品、プラスチック面、車両カメラの清掃

知識

洗剤がコントロールまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウクリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品。プラスチック面および車両カメラを清掃するときは、きれいな水と少量の中性洗剤、またはインテリアウィンドウクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ホイールのお手入れ



警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

ブレーキディスクにクリーナー（リムクリーナーなど）が付着した場合、ブレーキディスクに膜ができて制動力が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを動作させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など）は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

他の金属および機械ツールや製品に一般的に使用される酸化物除去効果のある洗浄剤や不適切な pH 値の洗浄剤は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- ▶ 軽合金製ホイールには、中性洗剤のみを使用してください（pH 値：4～10）。pH 値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。ポルシェは、ポルシェテクニク用品のカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤、すべり止め剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。
- ▶ 111 ページのチャプター「自動洗車機」を参照してください。

ドア、ルーフ、コンバーチブルトップ、リッドおよびウィンドウシールの清掃

知識

インナードアシールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ 防錆剤を使用しないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ すべてのシールの汚れ（凍結防止剤、砂塵など）を、温かい石鹸水で定期的に清掃してください。
- ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカーケア用品でアウトードアシール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な手入れをすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗浄剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 革製品に付着した水滴は直ちに取り除いてください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください：

- ▶ 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロファイバー布を湿らせて、表面の細かい汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
- ▶ 汚れがひどいときは（水などによる染み以外）レザークリーナーで取り除いてください。
- ▶ 容器にある使用上の注意を確認してください。ポルシェは、ポルシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみお手入れするようにしてください。ポルシェは、ポルシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

カーペット、フロアマットの清掃

⚠ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルが不意に作動したり、ブレーキペダルが妨げられたりする可能性があります。これにより、予期しない加速が起きたり、ブレーキ操作が難しくなったりする場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などの際に、フロアマットを取り外した後、再び正しく固定されていることを確認してください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェは、ポルシェテクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、ポルシェは適正なサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリーとして用意しています。

エアバッグカバーの清掃

⚠ 危険

不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切なクリーナーやケア製品で清掃してエアバッグシステムに浸透させたり、不適切な取り扱いを行うと、システムに損傷を与える恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない可能性があります。

- ▶ ステアリングホイールのカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネルなどの部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの周部には洗剤や他の液体を使用しないでください。

ファブリックライニングの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリックライニングは、素材に適した洗剤やドライフォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

Alcantara® / Race-Tex / その他の生地のお手入れ

Alcantara® / Race-Tex / その他の生地のできたマイクロファイバーカバーは、皮革ケア製品を使用して清掃しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、Alcantara® の表面が傷むので注意してください。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

Alcantara®/Race-TEX 製マイクロファイバーカーパーの付いたステアリングホイールは、皮膚との恒久的な接触が原因でより汚れやすくなります。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹼水で濡らして、汚れを拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

シートベルトの清掃

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ 乾燥時は直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗浄剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染色および脱色しないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

ポルシェコミュニケーションマネージメント (PCM) の清掃

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用するとPCMに浸透し、不適切な取り扱いを行うとPCMに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ PCMに直接クリーナーや他の液体を吹きかけないでください。
- ▶ 湿らせた布で慎重に画面を拭いてください。
- ▶ 画面の清掃は、画面をOFFにしてから行ってください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▶ 画面は傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイバークロス)やクリーニング用ブラシで慎重にPCMを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

車両の保管

車両を長期保管する場合：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

- ▶ 179ページのチャプター「バッテリー」を参照してください。

バッテリーを切り離している場合の車両のロックに関する情報は以下をご覧ください：

- ▶ 126ページのチャプター「緊急ドアロック」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

収納スペース

荷物の収納



警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載したりすると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したりしたときや事故の際に、飛び出して乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れがあります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- カップホルダー
- ペンホルダー付きグローブボックス
- ドアの小物入れ
- 助手席シート側のドアシルポケット
- センターコンソールアームレストの小物入れ
- 助手席足元の収納ネット
- シートバックレストの後ろ側の衣類用フック
- シート後方のカバー付き小物入れ

グローブボックスの開閉

グローブボックスを開く

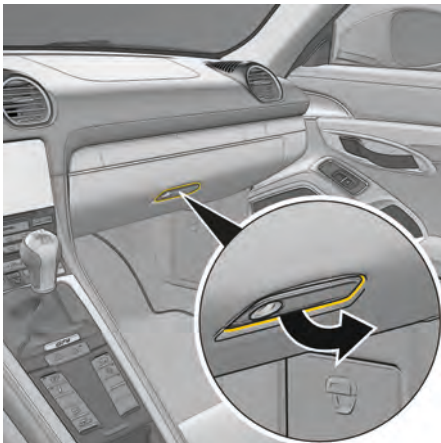


図 84：グローブボックスを開く

- ▶ ハンドル(図 84)を引いて、リッドを開いてください。

i インフォメーション

グローブボックスリッドの内側にはペンホルダーがあります。

グローブボックスを閉じる

- ▶ 盗難防止のため、エマージェンシーキーでハンドルを常にロックしてください。
- ▶ 107 ページのチャプター「エマージェンシーキーを使用する場合」を参照してください。

センターコンソールアームレストの小物入れを開く



図 85：センターコンソールアームレストの小物入れを開く

- ▶ アームレストの右側のボタン(図 85)を押してください。
リッドが自動的に開きます。

国別仕様に応じて、小物入れにスマートフォントレーが内蔵されているものもあります。

- ▶ 157 ページのチャプター「設定の変更」を参照してください。

シート後方の小物入れを開ける

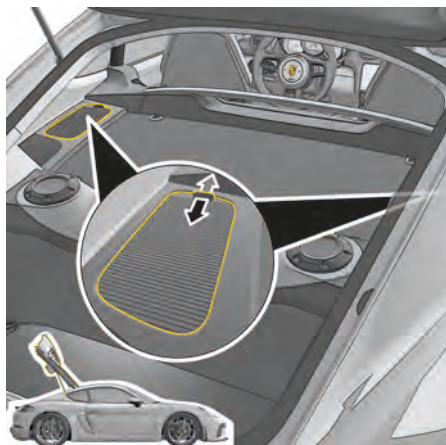


図 86：カバー付きのシート後方の外側の小物入れ

開く

- ▶ カバーの取っ手を後方、矢印の方向に引いてください。

閉じる

- ▶ カバーの取っ手を前方、矢印の方向に押しつけてください。

ドアの収納ボックスを開く

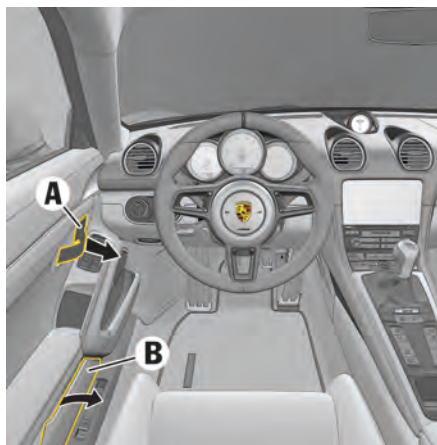


図 87：ドアの収納ボックス

- A ドアオープナー
- B ドアの収納ボックス

- ▶ リッド **B**(図 87) を持ち上げてください。

知識

ドアを閉じるときに、ドアの収納ボックスを損傷する恐れがあります。

- ▶ ドアを閉じる前に、収納ボックスのリッドを閉じてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ステアリングホイール

ステアリングホイールの調節



警告

運転中のステアリングホイールの調節

運転中にステアリングホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調節を行わないでください。

ステアリングホイールの手動調節

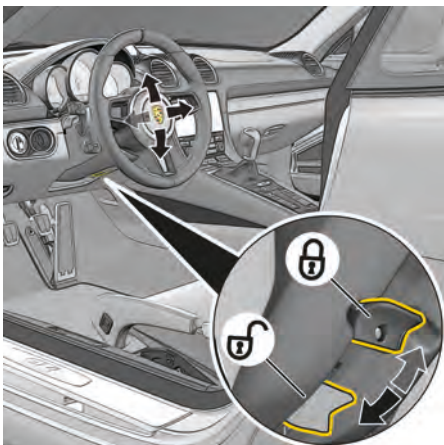


図 88：ステアリングホイール調節用ロックレバー

1. キーをイグニッションロックに完全に差し込んでください。
2. ロックレバーを押し下げてください。

3. シートバックレストの角度や着座位置に合わせて、ステアリングホイールを前後上下に動かし、希望の位置に調節してください。
4. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、ロックレバーを元の位置まで戻してください。

ステアリングホイールヒーターの ON/OFF

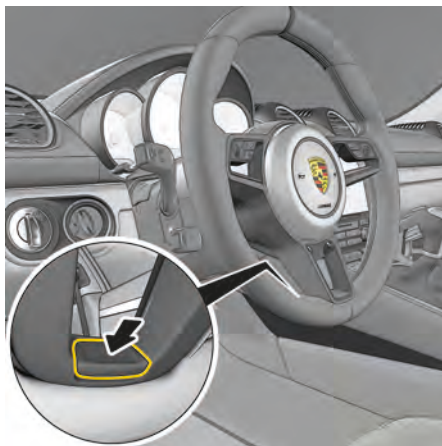


図 89：ステアリングホイールヒーターボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ マルチファンクションディスプレイにステアリングホイールヒーターオンまたはステアリングホイールヒーターオフのメッセージが短時間表示されるまで、センターステアリングホイールスポークのボタン(図 89)を押し続けます。


スポーツエキゾーストシステム

スポーツエキゾーストシステムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

スポーツエキゾーストシステムのON/OFFの切り替え



図 90：センターコンソールのスポーツエキゾーストシステム操作ボタン

- ✓ イグニッションがONになっている。
- ▶  ボタンを押してください。
スポーツエキゾーストシステムが作動すると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

スモーカーズ パッケージ

灰皿の使用

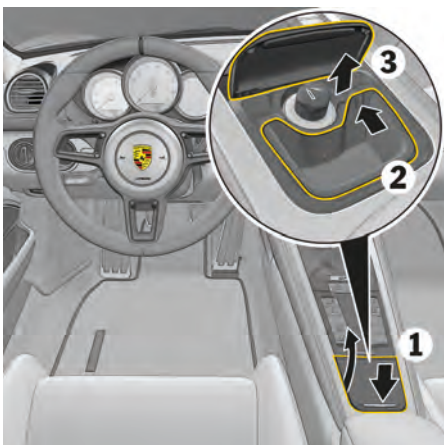


図 91：灰皿を開く / 中身を空にする



警告

灰皿による火災の危険

灰皿に紙くずなどを入れると発火するおそれがあります。

- ▶ 絶対に灰皿を紙くず入れとして使用しないでください。

灰皿を開く

1. 灰皿のリッドを短く押してください (図 91, 1)。
リッドは自動で開きます。

灰皿を空にする

2. 灰皿インサートの右上を前方に押して、ロック解除してください (図 91, 2 and 3)。

3. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
4. 灰皿インサートを空にした後は、元の位置に戻し、手応えを感じるまで押し込んでください。

シガーライターを使用する

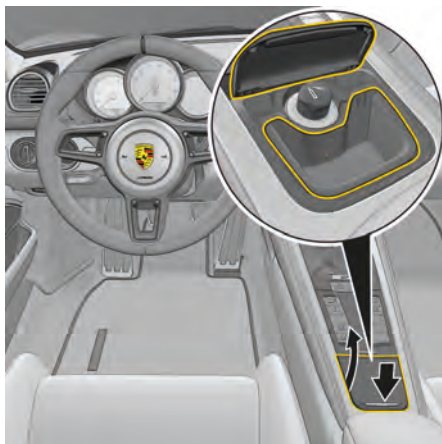


図 92：シガーライターを使用する



警告

高温のシガーライター

シガーライターの先端は、使用後は非常に熱くなります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ ヒーターエレメントまたはシガーライターの側面部は絶対に触れないでください。
- ▶ 作動ボタン以外で高温のシガーライターを持たないでください。

1. 灰皿のリッドを軽く押しします (図 92, 矢印)。

2. 作動ボタンをソケットに押し込んでください。
ライターのリフィラメントが赤熱すると、シガーライターが元の位置まで飛び出します。
3. シガーライターを取り外してください。

シガーライターソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション：

- ▶ 150 ページのチャプター「充電アダプターの接続」を参照してください。



危険

火のついた煙草の投げ捨てによる火災の恐れ

煙草が走行風によりエアインレットに入り込み、エンジンコンパートメント内で火災が起る危険があります。

- ▶ 車内から煙草を投げ捨てないでください。

セレクターレバーの緊急解除

知識

セレクターレバーを緊急解除した場合、車両が固定されずに動き出してしまうため、人身事故や器物の損壊を招く恐れがあります。

- ▶ エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、車両が動き出さないように固定してください（車止めを使用するなど）。
- ▶ 199ページのチャプター「エレクトリックパーキングブレーキ」を参照してください。

PDK 装備車両の電気系統が故障した場合は、セレクターレバーの緊急解除を行ってセレクターレバーを **N** 位置に動かしてください。

セレクターレバーの緊急解除

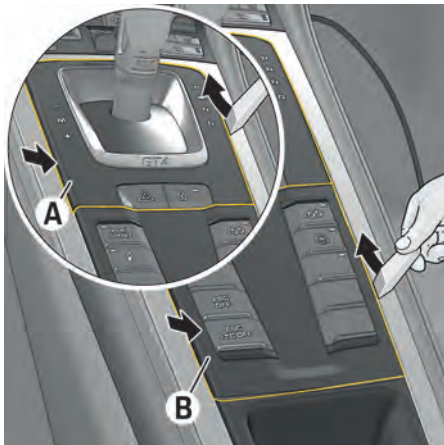


図 93：セレクターレバーゲートおよびスイッチモジュールの取り外し

1. 工具セットからプラスチックウェッジを取り出してください。
 - ▶ 254ページのチャプター「タイヤシラント(タイヤモビリティシステム-TMS)または工具セットの取り外しと収納」を参照してください。
2. セレクターレバーゲート **A** の両側のリヤ部分(矢印)をプラスチックウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
3. ダッシュボード **B** の両側のフロント部分(矢印)をプラスチックウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
4. スイッチモジュール **B** を取り外し、脇にかけてください。スイッチモジュールのケーブルを引っ張らないようにしてください。

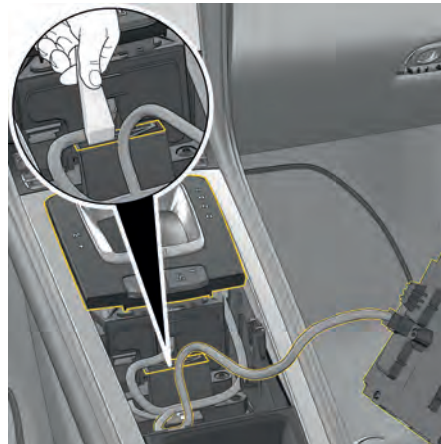


図 94：セレクターレバーロックの解除

5. セレクターレバーロックを押したまま、セレクターレバーを **N** 位置に動かしてください。

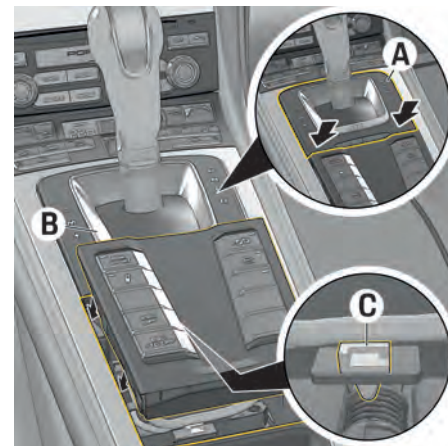


図 95：スイッチモジュールおよびセレクターレバーゲートの取り付け

スイッチモジュールおよびセレクターレバーゲートの取り付け

1. ケーブルクリップ **C** がセレクターサポートに正しくはまっていることを確認してください。スイッチモジュール **B** をフロントガイドにはめて、モジュールを完全に差し込み、しっかりと押し込んでください。
2. セレクターレバーゲート **A** がしっかりとまるまで押し込んでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z





セントラルロック

概要 - 車外からのドアの開閉 操作とロック

この概要説明は「セントラルロッキングシステム」に記載されているすべての情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 96 : キー

| 運転者が何をしたいか？ | その操作方法は？ | 結果 | ページ |
|---|--|--|-----|
| ロック解除 | ▶ キーの  ボタンを押してください。 | ハザードライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。 | 123 |
| ロック | ▶ キーの  ボタンを押してください。 | ハザードライトが2回点滅します。ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 室内モニタリングシステム装備車の場合：ドアは、インナードアハンドルを引いて車内から開くことができません〔セーフロック〕。 | 123 |
| 室内モニタリングシステム装備車で人/動物を車内に残してロックする： - セーフロックの作動を無効にする および - 室内モニタリングシステムを OFF にする | ▶ キーの  ボタンを2回押してください(約2秒以内)。 | ハザードライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 | 123 |
| 警告システムの警告音を OFF にする | ▶ キーの  ボタンを押してください。 - または - イグニッションを ON にします。 | 警告音が OFF になります。 | 89 |

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

セントラルロックシステムの使用

i インフォメーション

- ▶ 車両が視野に入る位置にある場合にのみ、キーを使用してください。

キーを使用して、車両のロック/ロック解除ができます。
セントラルロックシステムは、次の部位をロック/ロック解除します。

- ドア
- フィラーフラップ

キーの使用

- ▶ キーのボタンを使用します。

i インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

- ▶ 236 ページのチャプター「ドアロック機能を設定する」を参照してください。


ドアロックを解除してドアを開く

ドアのロック解除機能の設定

設定により運転席ドアのみをロック解除する、または助手席ドアも同時にロック解除することができます。

- ▶ 236 ページのチャプター「ドアロック機能を設定する」を参照してください。


選択した設定にかかわらず、両側のドアをロック解除できます：

- ▶  キーのボタンを5秒以内に2回押してください。

キーによるドアのロック解除



図 97：キーによるドアのロック解除

1.  ボタンを押してください。
ハザードライトが1回点滅します。
ドアロックが解除されます。
2. ドアハンドルを引いてください。

i インフォメーション

ロックを解除した後、ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを開かなかつた場合、30秒後に自動的に再ロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサーと室内モニタリングシステムは解除されます(盗難防止機能が制限されます)。
この場合、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。再びロックされると、室内モニタリングシステムと傾斜センサーが再び作動します。

i インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトも自動的に作動します。

ドアをロックする

セーフロックの使用(国別仕様による)

セーフロック(室内モニタリングシステム装備車)は、ロックされた車両のインナードアハンドルとセントラルロックボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。

▲ 警告


車外からドアをロックする

車内モニタリングシステム装備車では、車外から車両をロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります(セーフロック)。そのため、車外からロックする場合、車内に人や動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

キーでドアをロックする

1. ドアを閉めてください。

2.  ボタンを1回押してください。

ハザードライトが2回点滅します。

室内モニタリングシステム(セーフロック)装備車の場合:


車外、車内のどちらからもドアを開くことができなくなります。

室内モニタリングシステム非装備車の場合:

ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

-または-

人や動物を車内に残してロックする場合(ロックされた車両のセーフロックの解除):

- ▶  ボタンを2秒以内に2回押してください。

ハザードライトが2回点滅します。

その後、長さが1回かかります。

ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

- ▶ ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

- ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。ハザードライトは点滅しません。
- 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はブリロックされます。
- ▶ 残りのドア/ラゲッジコンパートメントリッドをロックするときは、キーを車内に置き忘れていないか確認してください。キーを車内に残したままにすると、スペアキーを使用しなければロックを解除することができなくなります。

車内からのドアの開閉操作とロック

ドアのロック

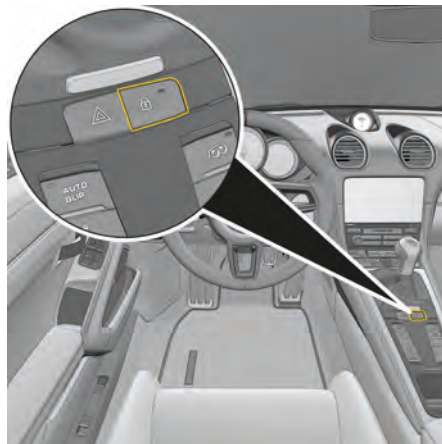



図 98: セントラルロックボタン


- ✓ ドアが閉じられています。
- ▶  ボタンを押してください。
すべてのドアがロックされます。イグニッションがONの場合、ボタンのインジケータライトが点灯します。ドアはインナードアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

自動ドアロック

この機能が作動しているときは、車速が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

- ▶ 236 ページのチャプター「ドアロック機能を設定する」を参照してください。

ドアのロック解除

- ▶  ボタンを押してください。
すべてのドアがロック解除されます。
ボタンのインジケーターライトが消灯します。

自動ドアロック解除

キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。

- ▶ 236 ページのチャプター「ドアロック機能を設定する」を参照してください。

インフォメーション

キーまたはスペアキーで車両をロックした場合、セントラルロックボタンでロックを解除することはできません。

ドアを開く

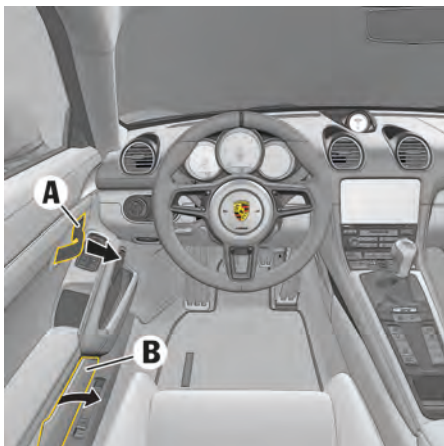


図 99：車内からドアを開く

- A ドアオープナー
- B ドアの収納ボックス

- ▶ インナードアハンドル **A** を引いてください (図 99)。

インフォメーション

ドア、フロントおよびリヤラゲッジコンパートメントリッドおよびエンジンコンパートメントリッドは開けられません。

緊急ドア操作

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアを開閉することができます。

リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます。

- 電磁波による通信の干渉
キーと電源の入った電子機器 (携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管しないように注意してください。必要に応じて、キーの保管場所を変更してください。
- リモコンが作動しない場合、故障が原因と考えられます。
- キーのバッテリーが切れている場合があります。
- ▶ 107 ページのチャプター「車両キーの電池交換」を参照してください。

緊急ドアロック解除の実行

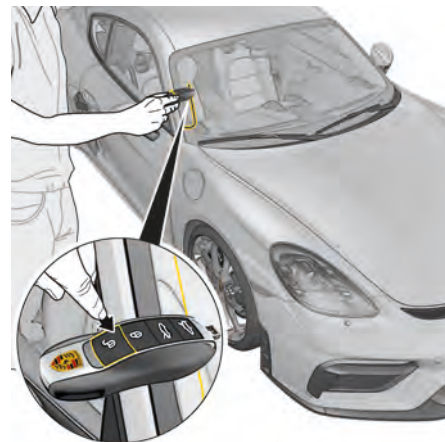



図 100：リモコンが故障した場合の緊急解除

- ▶ 助手席側のフロントガラスの外端部にキーを置き、同時に  ボタンを押してください (図 100)。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
 - ▷ 107ページのチャプター「エマージェンシーキーを使用する場合」を参照してください。



図 101：ドアロックシリンダー

2. エマージェンシーキーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください：
ドアハンドルを引いたまま保持してください。
ドアロックにエマージェンシーキーを挿入し、90°時計回りに回してエマージェンシーキーを再度抜き取ってください（図101）。
3. ドアハンドルから手を離し、もう1回引いてドアを開いてください。
4. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、ドアを開けてから10秒以内にイグニッションをONにします。

緊急ドアロック

i インフォメーション

緊急ロックをドアに使用する際は、必ずエンジンを停止してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
 - ▷ 107ページのチャプター「エマージェンシーキーを使用する場合」を参照してください。

2. 運転席ドアを開いてください。
3. 運転席ドアのドアハンドルを持ち上げます（図101）。

ドアロックにエマージェンシーキーを挿入し、進行方向と反対に90°回してエマージェンシーキーを再度抜き取ってください。

ハザードライトが2回点滅して車両がロックされたことを知らせます。

4. ドアハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。
運転席ドアがロックされます。

5. 助手席ドアの緊急ロックの場合、エマージェンシーキーを運転席ドアのドアロックに再び挿入し、進行方向と反対に90°回し、エマージェンシーキーを再び抜き取ります。
助手席ドアがロックされます。

i インフォメーション

セントラルロックシステムに異常があるときは、運転席ドアのドアロックにエマージェンシーキーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

- ▶ セントラルロックシステムの故障は修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラジオアンテナの取り付け位置

⚠ 警告

電波による医療技術機器の障害

車両のアンテナが電波を送信することにより、ペースメーカーや除細動器などの医療機器の機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ アンテナとの距離は約22cm保持します。
- ▶ 考えられる障害については、医師またはメーカーにご相談ください。

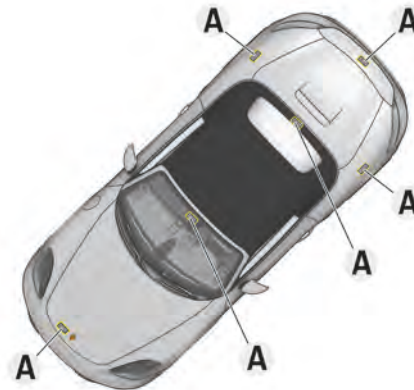


図 102: ラジオアンテナの取り付け位置

無線アンテナAの数（図.110）は、装備によって異なります。

- ▶ 「テクニカルデータ」(285ページ)を参照してください。

接続

外付けSIMカード経由でデータ接続を確立する

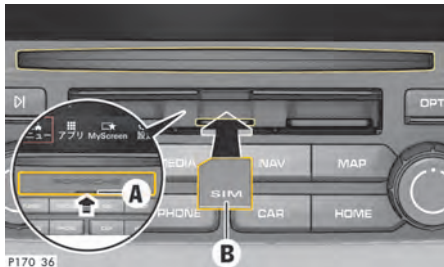


図 102 : 外部 SIM カードの挿入および取り出し

✓ SD および SIM カードリーダーのカバー **A** を開く

1. 外部 SIM カード **B** を挿入します (ミニ SIM、寸法: 25x15mm) を挿入してください (切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください)。
 2. PIN 付き SIM カード:
 - a. 外部 SIM カードの PIN を入力し **OK** で確定します。
 - b. **PIN を保存** を選択してください。
 3. **有効** を選択し、データ接続を有効にしてください。このメッセージが繰り返し表示されるのを防ぐには、 **常に許可する** を選択してください。
データ接続が確立されます。
- ▶ 外部 SIM カードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

知識

SIM カードを正しく使用しないと、PCM を損傷する恐れがあります。

SIM カードアダプターを使用すると、振動により SIM カードがアダプターから外れ、カードピースが PCM から取り出せなくなる恐れがあります。

▶ SIM カードアダプターは使用しないでください。

i インフォメーション

複数のアクセスポイントが利用可能な場合は、「**複数のアクセスポイント (APN) を利用できません。選択してください。**」というメッセージが表示されます。利用可能なアクセスポイント (APN) のリストが表示されます。

- ▶ 希望のアクセスポイント (APN) を選択してください。
- ▶ 外部 SIM カードにアクセスポイントが設定されていない場合は、携帯電話プロバイダーに APN の設定を確認してください。アクセスポイント (APN) の設定を PCM で行うには、**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE 設定** ▶ **データ接続** ▶ **アクセスポイントを選択**。設定をリセットするには、**アクセスポイント設定をリセット** を選択してください。

i インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください:

- SIM カードのデータ容量が十分ある、および正しく挿入されている。
- SIM カードが損傷していない、および適切に作動している。
- APN 設定 (インターネットアクセス) が正常である APN 設定は通信事業者に連絡して点検してください。
- 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある (遮蔽された場所でない)
- 必要に応じて PCM を再起動してください。

データ接続の設定に関するインフォメーション:

- ▶ 158 ページのチャプター「データ接続の設定」を参照してください。

SIM カードの PIN 設定およびその他の電話設定に関するインフォメーション:

- ▶ 157 ページのチャプター「電話設定の変更」を参照してください。

Bluetooth® を用いて、PCM に携帯電話を接続する方法の詳細については:

- ▶ 151 ページのチャプター「電話」を参照してください。

接続の利用

ポルシェコネクトサービスを起動する

ポルシェコネクトサービスを初めて使用する前に、起動/設定が必要です。


- ▶ www.porsche.com/connect で、ポルシェコネクトサービスを起動してください。

ナビゲーションシステムおよびボイスコントロールシステムを使用する

- ✓ 外部 SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている
 - ▷ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。
- ナビゲーション目的地、ポータル POI、および他の POI カテゴリー入力のためのオンライン検索機能を、My Porsche から読み込んでください。
- 追加地図画面
- インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報

「アプリ」メニューのサービスを使用する

- ✓ 外部 SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている
 - ▷ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。

▶ **HOME** ボタン▶アプリ  ▶
利用可能なサービスが表示されます。


アプリの機能に関する詳細情報：
▷ 211 ページのチャプター「ポルシェ コネクト アプリ」を参照してください。

インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス(カーコネクト サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ サービスを除く)は期間はサービスパッケージにより異なりますが、少なくとも 3 か月の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーションおよびそれ以降の費用および各サービスの利用についてのインフォメーションは、www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。
- データ利用可能な外部 SIM カードからポルシェ コネクト サービスが利用できます。外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めいたします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。


Porsche Connect へのログイン

一部のサービスでは、My Porsche からパーソナル設定を取得するには、PCM にペアリングコードを入力する必要があります。


1. **HOME** ボタン▶アプリ  ▶
OPT ボタン
2. ポルシェコネクトへのログイン▶新しいユーザーの作成▶ペアリングコードを入力。
3. MyPorsche でサービスを正常に作動 / 設定した後に表示されたペアリングコードを入力してください。

ポルシェ コネクトからのログアウト


✓ ポルシェ コネクト ユーザーが作成され登録されます。

1. **HOME** ボタン▶アプリ  ▶
OPT ボタン
2. ポルシェ コネクトからのログアウト
現在ログインしているユーザーをログアウトします。

コンテンツの更新

- ▶ **HOME** ボタン▶アプリ  ▶
OPT ボタン▶サービスを再読み込み
購入したサービスのコンテンツが更新されます。



サービス情報の表示

- ▶ **HOME** ボタン▶アプリ  ▶
OPT ボタン▶サービスインフォメーション
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

PCM WiFi ホットスポット(ワイヤレスインターネットアクセス)の起動

ホットスポットに接続可能な WiFi 機器は最大 8 個です。

✓ 外部 SIM カード経由でデータ接続が確立されている

1. フッターの  または  (接続状況により異なる) ▶ **ホットスポット** を選択してください。
2. **OK** でメッセージを確認してください。
PCM の WiFi アクセス データ (デバイス名および WiFi パスワード) が表示されます。
3. PCM の WiFi アクセス データを機器の WiFi 設定に入力してください。
PCM のワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

WiFi 設定に関するインフォメーション：

▷ 158 ページのチャプター「WiFi 設定の設定」を参照してください。

インフォメーション

お使いの携帯電話の料金体系によっては、インターネットからデータパッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めいたします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

タイヤおよびホイール

タイヤの寿命は、タイヤ空気圧やシャシー設定以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

- ▶ 14ページのチャプター「サーキット走行」を参照してください。

知識

ラジアルタイヤとクロスプライタイヤを同時に使用しないでください。

- ▶ 必ず同じタイプのタイヤを使用してください。

積載荷重および速度の要件を満たす

- ▶ 適切な速度で走行してください。
- ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにしてください。
- ▶ 272ページのチャプター「重量」を参照してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して、目に見えないダメージも含めて損傷が発生します。

- ▶ このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。
- ▶ 一般道を走行するときは、タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しないでください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も上昇します。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。



図 103：ドアシル（ドア開口部）のタイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧は運転席側ドアシル（ドア開口部）にあるタイヤ空気圧プレート（図 103）、および本書 274 ページの「テクニカルデータ」の章に記載されています。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき（20°C）を基準にしています。

- ▶ 少なくとも 2 週間に 1 回はタイヤの冷間時にタイヤ空気圧を点検してください。
- ▶ 130 ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリングには、次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧（実測空気圧）の表示。
- 2 段階でのタイヤ空気圧警告（黄色および赤色の警告）。
- 停車中に：規定空気圧との差を表示し、タイヤ種類およびレースサーキットモード（718CaymanGT4 のみ）を選択することができます。

警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングシステムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、タイヤ空気圧メニューを適切に設定することは運転者の責務です。

- ▶ 装着されているタイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 274 ページのチャプター「タイヤ空気圧」を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ圧力(TPM)メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。
タイヤを交換したときは、タイヤ空気圧メニューの設定を更新してください。
- ▶ タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、マルチファンクションディスプレイで改めて選択しなければなりません。

警告

不適切なタイヤ空気圧

- ▶ マルチファンクションディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてタイヤシーラントで応急処置を行ってください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気圧が下がる場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。
ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 185 ページのチャプター「パンク」を参照してください。


i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。

突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

タイヤ空気圧モニタリングシステムの故障

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

インストールメントパネルのタイヤ空気圧警告灯が点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ エラーが継続する場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

以下の場合には監視が不完全になる場合があります：

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合。
 - タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合。
 - タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中。
 - ホイールを交換した後、タイヤ設定を更新しなかった場合。
 - タイヤの温度が高すぎる場合。
- ▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。
- ▷ 29 ページのチャプター「警告灯およびインジケータライト」を参照してください。

タイヤ空気圧の確認

i インフォメーション

イグニッションを ON にした後、車両の速度が約 25 km/h (16 mph) を超えたときのみタイヤ空気圧が「登録」されて表示されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-.-」を表示します。

イグニッションを OFF にするか再度 ON にした場合、または車両を約 10 分以上停止した場合、タイヤ空気圧は表示されなくなります。タイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。



図 104：タイヤ空気圧表示

- ▶ **タイヤ圧力メニュー**を選択します。

実測空気圧の表示は、参考情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元に公道走行用タイヤ空気圧を調整しないでください。
- ▷ 133 ページのチャプター「TPM メニュー「Race circuit」の選択 (718 Cayman GT4 のみ)」を参照してください。

充填情報を見る



図 105：圧力差の例

- ✓ 車両が停止している。

- ▶ **タイヤ圧力 ▶ 充填情報**

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。

例：右リヤホイールの位置に **-0.1 bar (-1.5 psi)** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar (1.5 psi) の空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、充填情報ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される圧力差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気が表示されます。

- ▶ 133 ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリングシステムの登録」を参照してください。

タイヤ種類の選択 (装着タイヤの種類とサイズ)

インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルタイプにより異なります。このため、本書で説明している選択項目の中には、マルチファンクションディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

- ▶ マルチファンクションディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、マルチファンクションディスプレイに不足情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

✓ 車両が停止している。

▶ タイヤ圧力 ▶ タイヤ種類

選択できる設定と略語：

- 20" サマー：20" (S)
- 20" ウィンター：20" (W)

タイヤ圧力メインメニューのタイヤ種類の行に選択された設定の略語が表示されます。

タイヤ空気圧速度警告

タイヤ空気圧が限度を下回ると、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示されます。

警告

速度超過


タイヤ空気圧が低すぎる状態で制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ 表示された最大速度まで車速を落としてください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を規定の空気圧まで充填してください。

- ▶ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリングシステムの登録

タイヤ/ホイール交換、ホイールトランスミッター交換、またはタイヤ設定更新を行うと、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

登録中に冷間時のタイヤ (20°C) の規定圧力が充填情報に表示され、メッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストルメントパネルのタイヤ空気圧警告灯  が点灯したままになります。

- ▶ 29 ページのチャプター「警告灯およびインジケータライト」を参照してください。

TPM メニュー「Race circuit」の選択 (718 Cayman GT4 のみ)

レースサーキットを走行するために、ロードモード (公道走行モード) とは異なる空気圧を設定し、その空気圧をモニタリングすることができます。

レースサーキットモードは、公道での走行用に設計されていません。

経験を積んだドライバーが最適なハンドリング性を実現するため、このメニューオプションから、サーキットに適したタイヤ空気圧にカスタマイズすることができます。

警告

タイヤ空気圧の不足

レースサーキット走行用にタイヤ空気圧を設定した状態でタイヤ空気圧モニタリングを作動させた場合も、ドライバーは責任を持って運転してください。

- ▶ 規定空気圧は最高速度に合わせて調整してください。

タイヤ空気圧警告が作動する警告限界値を考慮してください。

警告限界値とタイヤ空気圧警告に関するインフォメーション：

- ▶ 135 ページのチャプター「タイヤ空気圧警告」を参照してください。

▶ タイヤ圧力モニタリング ▶ サークルロック

現在のタイヤ空気圧が表示されます。

レースサーキット用タイヤ空気圧の設定



図 106：レースサーキット用タイヤ空気圧の適用例

i インフォメーション

各ホイールの任意のタイヤ空気圧は、1.8barを下回らないようにしてください。

- ▶ レースサーキット用に任意のタイヤ空気圧を設定してください。

▶ **タイヤ圧力モニタリング ▶ サークルトラック ▶ 負荷をかける**

i インフォメーション

タイヤ空気圧が最低空気圧を下回ると、**最低目標圧力 1.8 bar (26 psi)** に留意してくださいというメッセージが表示され、新しい空気圧の設定は適用されません。この場合、規定タイヤ空気圧を再度設定する必要があります。

マルチファンクションディスプレイに**新しい設定負荷**というメッセージが表示された場合のみ、新しいタイヤ空気圧の設定が正常に適用されます。

レースサーキットモードが作動している場合、マルチファンクションディスプレイに **B** が常時表示されます。

ロードモード(公道走行モード)へ復帰する

ロードモードを復帰させるには、**2つのオプション**があります。

オプション1

イグニッションをOFFにしない場合

- ▶ **タイヤ圧力モニタリング ▶ サークルトラック ▶ 不可**

最初にイグニッションをOFFにしないでレースサーキットモードからロードモードへ変更した場合、前回のタイヤ選択が継続してモニタリングされます。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、**TPM** メインメニューの**充填情報**ディスプレイに表示される空気圧の差、または該当するタイヤ空気圧警告を使用してください。

オプション2

イグニッションをOFFにした場合

イグニッションを長時間OFFにした状態でレースサーキットモードが作動している場合、イグニッションをONにすると、マルチファンクションディスプレイに**サークルトラック** (図106)が次のプロンプト(選択)とともに表示されます。**いいえ/はい/新しい空気圧**。

- いいえ:

いいえを選択し、**タイヤ種類**メニューを選択すると、規定タイヤ空気圧の設定はロードモードに復帰します。

ロードモードに復帰すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムは各ホイールを再学習します。その間**充填情報**メニューに冷間時(20°C)の規定空気圧が表示されます。

- ▶ 133ページのチャプター「**タイヤ空気圧モニタリングシステムの登録**」を参照してください。

- ▶ **タイヤ空気圧モニタリングシステムの登録**が終了したら、**充填情報**メニューですべてのタイヤの空気圧を点検してください。

- ▶ 必要に応じて、**タイヤ空気圧**を規定空気圧(空気圧の差**0.0**)に調整してください。

- はい:

はいを選択すると、モニタリング用にレースサーキットを走行するために設定した**タイヤ空気圧**が適用されます。

- 新しい空気圧:


新しい空気圧を選択すると、モニタリング用にレースサーキットを走行するための**新しいタイヤ空気圧**を設定することができます。

i インフォメーション

車両を発進する前に選択を行わなかった場合、システムは自動的にロードモードに切り替え、マルチファンクションディスプレイに**メッセージホイールを交換しましたか? 設定を更新**が表示されます。

- ▶ 次回車両が停止したときにマルチファンクションディスプレイの設定を更新してください。

タイヤ空気圧警告

インストルメントパネルのタイヤ空気圧警告灯、およびマルチファンクションディスプレイの警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階(黄色/赤色)で異常を知らせます。

インフォメーション

レースサーキットモード(718 Cayman GT4のみ):

- 現在のタイヤ空気圧が1.6 barを下回ると(温度低下などで)、赤色の警告が出されます。現在のタイヤ空気圧が1.6 barを上回ると(温度上昇などで)、すぐに赤色の警告は消えます。
- 空気圧が警告限界値を下回った場合でも、タイヤが規定空気圧に再充填される(空気圧の差**0.0**)、または新しい規定空気圧がサークルトラックメニューで設定されると警告は消えます。
- ▶ タイヤを規定空気圧(空気圧の差**0.0**)に充填する前に、必ず損傷がないか点検してください。

インフォメーション

タイヤ空気圧を規定空気圧に調整した場合のみ、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

車両を停止してイグニッションをOFFにする、または再びイグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告が約10秒間表示されます。イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。

赤色の空気圧警告は走行中にも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ 70ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

タイヤ空気 の 充填



注意

高温充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはフロントラゲッジコンパートメント内のカバーの下にあります。

- ▶ 255ページのチャプター「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」を参照してください。

- ▶ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、コンプレッサーをONにしてください。タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。再度タイヤ空気圧を点検してください。
4. コンプレッサーをOFFにしてください。
5. コンプレッサーの充填ホースをタイヤバルブから取り外してください。

インフォメーション

また、ガソリンスタンドでもタイヤ空気圧の点検、およびタイヤに空気の充填ができます。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーをOFFにしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを規定のタイヤ空気圧になるまで開いてください。

タイヤ表記の読み取り



図 107: タイヤ表記

- A 公称タイヤ幅(mm)
- B 偏平率(%)
- C タイヤ構造記号
- D リム径(インチ)
- E ロードインデックス
- F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

- H 210 km/h まで V 240 km/h まで
- W 210 km/h まで Y 300 km/h まで
- (Y) 300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合)。タイヤのロードインデックス(最大積載容量)の85%までを積載した状態で300 km/h以上の速度で走行することが可能です(300 km/h 以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ホイール表記の読み取り

ホイールの情報は、タイヤバルブの近くのホイールスポーク裏面に刻印されています。



図 108：ホイール表記

- A リム幅 (インチ)
- B リムフランジ形状記号
- C ドロップセンターリム記号
- D リム径 (インチ)
- E ダブルハンプ
- F リムオフセット (mm)

タイヤ損傷の点検



警告

見えないタイヤ損傷とリムフランジの損傷

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態 (側面も含めて) を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがなければ確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき (特に内側) は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、機械的な負荷がかかった可能性があるとき。

タイヤとホイールの交換

- ▶ ホイール交換の際には、イグニッションをOFFにしてください。



警告

グリップしない

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ 最初の 200 km は、控えめな速度で走行して新しいタイヤを慣らしてください。これによりタイヤ寿命を伸ばし性能を最大限に引き出すことができます。
- ▶ 4 輪に装着するタイヤは必ず同一メーカーの同一スペック番号 [「NO...」など] に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30% を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差によって不必要な車両操作への影響が出ないように、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▶ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場を実施してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

i インフォメーション

新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) のタイヤ空気圧センサーを取り付けなければなりません。

- ▶ この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。この車両の適正ホイールと TPM に関する情報：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ タイヤ交換時、バッテリーを点検します
タイヤ空気圧センサーの充電状態：ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

フロントまたはリヤタイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリヤタイヤを交換した場合に顕著になります。この影響は継続的に低減されますが、タイヤ走行距離が増加すると、

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

バルブおよびバルブ キャップの点検と交換

- ▶ タイヤ 空気圧モニタリング (TPM) 用のボルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブキャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブインサートの汚れを防ぐため、必ずバルブキャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブキャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブキャップのみを使用してください。

ウィンタータイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンタータイヤを装着できます。オールシーズンおよびオールラウンドタイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
 - ▷ 229 ページのチャプター「制限速度の設定」を参照してください。
- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンタータイヤを装着してください。
- ▶ ボルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてボルシェ正規販売店にお尋ねください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

i インフォメーション

このようなタイヤを気温が低いときに使用し続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダーノイズが発生することがあります。

サマー・タイヤの走行性能と快適性は、温度が7°Cを下回ると低下します。そのため、ポルシェでは、気温が7°Cを下回る場合、冬用タイヤに交換することを推奨します。

さらに外気温度が極端に低くなると(-15°C以下)、サマータイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリヤタイヤにのみ装着してください。また「テクニカルデータ」の章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

▶ スノーチェーンとホイールハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が承認したスノーチェーンのみを使用してください。

▷ 認定スノーチェーンに関するインフォメーション：

273ページのチャプター「ホイールおよびタイヤ」を参照してください。

▶ スノーチェーンを装着する前に、ホイールハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。

▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤトレッドの点検

▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

▶ 多くのタイヤにはトレッド中央部にスリップサインがあります。ウェアインジケータは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。

安全のため、ウェアインジケータが現れる前にタイヤを交換してください。ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

トレッド溝の深さの測定

▶ 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入してタイヤトレッドの深さを測定します。

i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます。

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。

▶ 外気温が-15°C以下の場所にサマータイヤを保管したり、またはサマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。

▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

▶ 製造から6年以上が経過したタイヤは使用しないでください。

年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3018の場合、タイヤは2018年の30番目の週に製造されたことを示します。

タイヤの装着

タイヤをリムに正しく装着しないと、タイヤやリムが損傷する場合があります。これによりタイヤがバーストする可能性があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で実施してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイールのバランス調整

安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマータイヤは春に、M+S付きのタイヤは冬に入る前にホイールバランスの調整を受けてください。

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイール交換



警告

車両の下に入ったの作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキアップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が坂道(上り坂や下り坂など)や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためだけに使用してください。
- ▶ やむを得ず車体の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。

i インフォメーション

ホイール交換に必要な工具(ジャッキ、ホイールボルトレンチ、組み付け補助工具など)は車両に標準装備されておりません。必要となる工具に関する情報: ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

i インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ/ホイールサイズは異なります。

ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

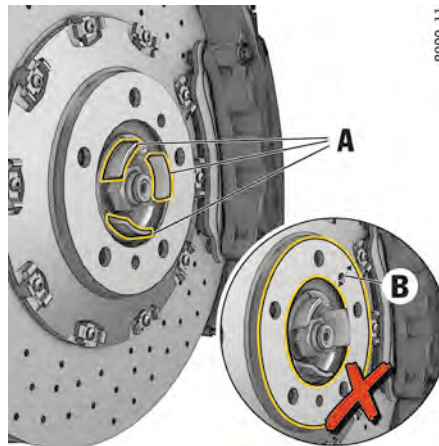


図 109: ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクのホイール取り付け面 **B** およびホイール本体の取り付け面に**油脂類を塗布しないでください**。
- ▶ **A** 部分のみに油脂類を塗布できます。この部分には Optimoly® TA グリースを薄く塗布してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。他の油脂類は使用しないでください。

ホイールボルトのお手入れ

- ▶ ホイールボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイールボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイールボルトは交換してください。この車両専用のボルシェ純正ホイールボルト、またはボルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイールボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。

盗難防止ホイールボルトの使用



図 110: 盗難防止ホイールボルト用アダプター

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

盗難防止ホイール ボルト用アダプターは、工具セットに収納されています。

- ▶ 盗難防止機能付きホイール ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール ボルトとホイール ボルト レンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイール ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイール交換

車両の準備

1. マニュアルトランスミッション装備車：ギヤレバーを1速にしてください。
-または-
PDK 装備車：セクター レバーを **P** 位置に入れてください。
2. エレクトリック パーキング ブレーキを動作させてください。
3. キーを抜き取ってください。
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。
6. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。
▷ 104 ページのチャプター「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

ホイール交換

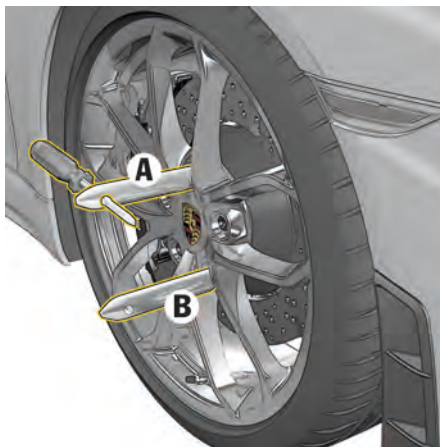


図 111：アッセンブリ・エイド

1. PCCB 非装備車：ホイール ボルト **A** を取り外してください (図 111)。
-または-
PCCB 装着車：ホイール ボルト **A** および **B** を取り外してください (図 111)。
2. 取り外したホイール ボルトの代わりに、ホイール取り付け補助工具 (図 111) をねじ込んでください。

知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特に PCCB 装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

3. 残りのホイール ボルトを取り外してください。
4. 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。
▷ 139 ページのチャプター「ホイール取り付け面のお手入れ」を参照してください。
▷ 139 ページのチャプター「ホイール ボルトのお手入れ」を参照してください。
5. ホイール ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール ボルトを仮締めしてください。すべてのホイール ボルトを対角交互順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
▷ 274 ページのチャプター「タイヤ空気圧」を参照してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール ボルトを対角交互順に完全に締め付けてください。
ホイール ボルトを締め付けたら、直ちにトルクレンチを使用してホイール ボルトを 160Nm の締め付けトルクで増し締めしてください。

i インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定をマルチファンクションディスプレイで更新する必要があります。

- ▷ 130 ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」を参照してください。

チャイルドシート

⚠ 危険

チャイルドシート装置の誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しないと、重傷または致命傷を負う危険があります。チャイルドシートが車種に適していない場合、またはチャイルドシートが車両に正しく取り付けられていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ フルバケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。
 - ▷ 145 ページのチャプター「各種シートへのチャイルドシートの取り付け」を参照してください。
- ▶ チャイルドシートは使用する国の道路交通法規に従って使用してください。
- ▶ ポルシェが推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ社推奨のチャイルドシートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席で使用するときは、必ず助手席エアバッグを OFF にしてから行ってください。

ポルシェでは、ポルシェ テクニクイップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

- ▷ www.porsche.com/tequipment
- ▷ 143 ページのチャプター「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」を参照してください。
- ▷ 145 ページのチャプター「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。

⚠ 危険

助手席でのチャイルドシートの使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または乗員が小柄である場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
- ▷ 146 ページのチャプター「助手席エアバッグの ON/OFF - 助手席エアバッグ OFF インジケーター」を参照してください。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ず OFF にしてください。



図 112：サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ 決してエアバッグの警告ステッカー A を剥がしたり、表面を汚したり、読み取りできない状態にしたりしないでください。

チャイルドシートの正しい使用

このセクションは、1つずつ遵守していただく必要のある3つの項目に分けられています。

- ▶ チャイルドシートを安全に取り付けるため、以下の3つの項目すべてを注意深くお読みください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

1. 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートを使用してください。
 - ▷ 142ページのチャプター「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」を参照してください。
2. チャイルドシートは正しい取り付け位置で使用してください。
 - ▷ 142ページのチャプター「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」を参照してください。
3. チャイルドシートを確実に固定して取り付けてください。
 - ▷ 145ページのチャプター「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。

適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

- ▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、適切な取り付け位置も確認してください。
- ▷ 143ページのチャプター「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」を参照してください。
- ▷ 141ページのチャプター「チャイルドシート」を参照してください。

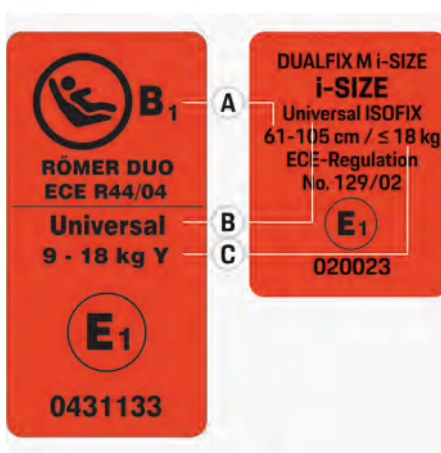


図 113：チャイルドシートの ECE ラベルの例

- A** サイズ分類
 - B** 「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミユニバーサル）」マーク
 - C** 体重グループ
- ▶ 準汎用（セミユニバーサル）認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

チャイルドシートの体重グループによる分類

体重グループ 0、0 + のお子様：13 kg まで
 (ISOFIX システムおよび車両シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループ I のお子様：9 ~ 18 kg (ISOFIX システムまたは車両シートベルトによる固定)
 この体重グループのお子様は、前向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループ II のお子様：15 ~ 25 kg (シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、前向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループ III のお子様：22 ~ 36 kg (シートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、前向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A** ISO/F3：前向き、フルサイズチャイルドシート
 - B** ISO/F2：前向き、小型サイズチャイルドシート
 - B1** ISO/F2X：前向き、小型サイズチャイルドシート
 - C** ISO/R3：後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
 - D** ISO/R2：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
 - D1** ISO/R2X：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
 - E** ISO/R1：後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート
 - F** ISO/L1：左向きチャイルドシート〔ベビーカーリア〕
 - G** ISO/L2：右向きチャイルドシート〔ベビーカーリア〕
- バックレスト装備または非装備のブースターシート**
- ISO/B2**：前向きチャイルドシート〔バックレスト装備または非装備のブースターシート〕、減少幅 440mm
 - ISO/B3**：前向きチャイルドシート〔バックレスト装備または非装備のブースターシート〕、全幅 520mm

▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

体重およびサイズグループの概要

この表は利用可能なチャイルドシートサイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

| 体重グループチャイルドシートサイズの概要 | | |
|-----------------------|------|------------|
| グループ | 向き | ISOFIXグループ |
| グループ0 0 ~ 10 kg | 左向き | F/L1 |
| | 右向き | G/L2 |
| | 後ろ向き | E/R1 |
| グループ0+ 0 ~ 13 kg | 後ろ向き | C/R3 |
| | 後ろ向き | D/R2 |
| | 後ろ向き | E/R1 |
| グループI 9 ~ 18 kg | 前向き | A/F3 |
| | 前向き | B/F2 |
| | 後ろ向き | B1/F2X |
| グループII 15 ~ 25 kg | 後ろ向き | C/R3 |
| | 後ろ向き | D/R2 |
| グループIII 22 ~ 36 kg | 前向き | - |
| | 前向き | - |
| i-Sizeチャイルドシート | 後ろ向き | -/R2X |
| | 前向き | -/B2、F2X |
| ブースターシート | 前向き | -/B2、B3 |

チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底

- ▶ 適切な取り付け位置に加えて、チャイルドシートが正しい体重およびサイズグループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ 142 ページのチャプター「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」を参照してください。
- ▶ 145 ページのチャプター「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。



図 114：ISOFIX および i-Size のシンボル

- A** ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル〔国によって異なる〕
- B** i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル〔国によって異なる〕

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート用の標準化されたアンカーシステムです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R129 および ECE-R44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のアンカーポイントに取り付けることができます。

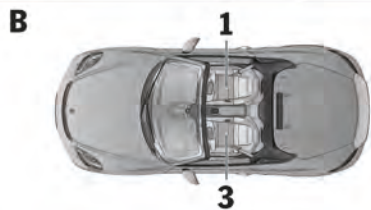
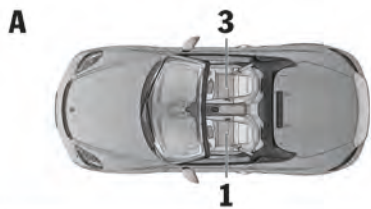


図 115：チャイルドシート取り付けのためのシート番号

A 左ハンドル車

B 右ハンドル車

| | i-Size システムによる固定 | シートベルトによる固定 | ISOFIX システムによる固定 ¹⁾ |
|----------------------|------------------|-------------|--------------------------------|
| シート番号に応じて許容される取り付け位置 | なし | 3 | 3 |

1) 装備によって異なります

| チャイルドシート取り付けのためのシート番号 | 3 ¹⁾ |
|--|-----------------|
| シートベルトによる固定 | 可 |
| ISOFIX の取り付け位置 | 可 |
| i-Size の取り付け位置 | 不可 |
| 横向きのチャイルドシート | 不可 |
| 適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの | R2 |
| 適切な前向きチャイルドシートで最大のもの | F3 |
| 適切なチャイルドシートで最大のもの(バックレスト装備または非装備のブースターシート)(B2/B3)/B2, B3 | B3 |

不可：シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けに適していません。

1) 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認してください。

チャイルドシートの体重とサイズグループの説明、およびi-Sizeチャイルドシートとバックレスト装備または非装備のブースターシートの分類：

- ▷ 143ページのチャプター「体重およびサイズグループの概要」を参照してください。

助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

「汎用」(U)または「準汎用」(L)認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを確認してください。認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください(142ページの図113)。

X： シートはこのグループのチャイルドシートには適していません。

U/L： 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルドシートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

| グループ | 助手席シート | |
|---------------------------|-------------|--------------|
| | 助手席エアバッグ ON | 助手席エアバッグ OFF |
| グループ 0: 0 ~ 10 kg | X | U/L |
| グループ 0+: 0 ~ 13 kg | X | U/L |
| グループ I: 9 ~ 18 kg 後ろ向き | X | U/L |

| グループ | 助手席シート | |
|---------------------------|-------------|--------------|
| | 助手席エアバッグ ON | 助手席エアバッグ OFF |
| グループ I: 9 ~ 18 kg 後ろ向き | U/L | U/L |
| グループ II: 15 ~ 25 kg | U/L | U/L |
| グループ III: 22 ~ 36 kg | U/L | U/L |

チャイルドシートの取り付け

各種シートへのチャイルドシートの取り付け



図 116：フルバケットシート

フルバケットシート(図116)ではチャイルドシートを使用しないでください。

その他の種類のシートでは、推奨するチャイルドシートが使用できます。

- ▷ 99ページのチャプター「シート」を参照してください。
- ▷ 143ページのチャプター「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」を参照してください。
- ▷ 147ページのチャプター「ISOFIXチャイルドシートの取り付け」を参照してください。

ベビーキャリア

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート(ベビーキャリアなど)は、いかなるシートにも使用できません。

- ▷ 145ページのチャプター「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。

ポルシェでは、ポルシェテクニクイップメント製品のチャイルドシート(ポルシェベビーシートISOFIX GO+など)を使用することを推奨いたします。

- ▷ 143ページのチャプター「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」を参照してください。
- ▷ 147ページのチャプター「ISOFIXチャイルドシートの取り付け」を参照してください。

助手席エアバッグの ON/OFF - 助手席
エアバッグ OFF インジケーター

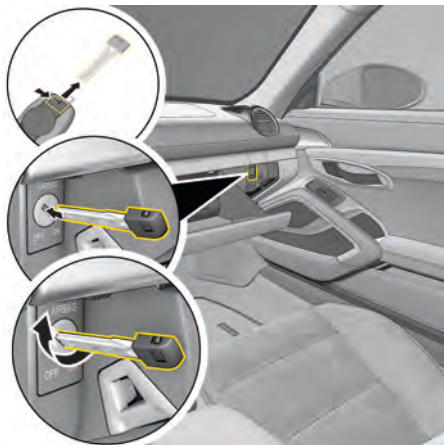


図 117：助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え

1. イグニッションを OFF にしてください。
2. グローブボックスを開いてください。
3. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
 - ▷ 107 ページのチャプター「エマージェンシーキーを使用する場合」を参照してください。

知識

助手席エアバッグスイッチまたはエアバッグシステムが損傷することがあります。

- ▶ エマージェンシーキーは、キースイッチに入るところまで差し込んでから回してください。キースイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグはイグニッションが OFF のときのみ、ON/OFF を切り替えてください。

4. エマージェンシーキーは、キースイッチに入るところまで差し込んでください。エマージェンシーキーの歯がキースイッチ内に約 3/4 まで挿入されます。
5. エマージェンシーキーに大きな力をかけずに回し、助手席エアバッグを **OFF (解除)** または **ON (作動)** にしてください。
助手席エアバッグ OFF インジケーターライトが点灯します。

危険

助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行すると、振動によりエマージェンシーキーが不意に回転してエアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーを助手席エアバッグスイッチに挿入したまま走行しないでください。
6. エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ってください。
 7. グローブボックスを閉じます。

危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。

i

インフォメーション

助手席エアバッグを OFF にするキースイッチ、**助手席エアバッグ OFF** インジケーターおよび助手席の ISOFIX アタッチメントブラケットは、特定の装備仕様にも取り付けられています。ボルシェ正規販売店でオプションとして装着してください（フルパケットシート装備車には取り付けができません）。このシステムを取り付けた場合、助手席シートバックレストの調節範囲が制限されます。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席側〔シート 2〕エアバッグを OFF にした場合、イグニッションを ON にしたとき、またはエンジン作動中にオーバーヘッドコンソールの**助手席エアバッグ OFF** インジケーターが常時点灯します。

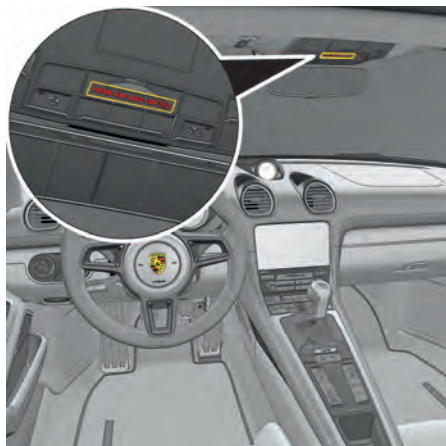


図 118：助手席エアバッグオフ警告灯

危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに、助手席エアバッグ OFF インジケーターが点灯しない場合、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ISOFIX チャイルドシートの取り付け

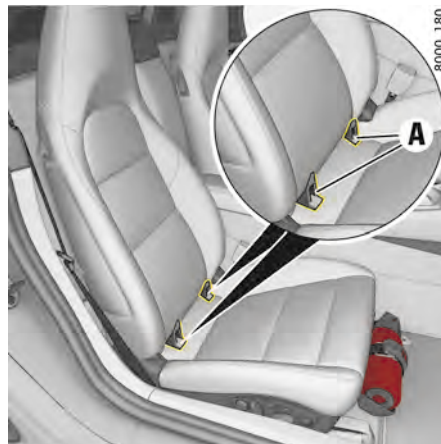


図 119：助手席シートの ISOFIX チャイルドシート

- ▷ 147 ページのチャプター「ISOFIX チャイルドシートの取り付け」を参照してください。
- ▷ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

ISOFIX チャイルドシートを固定するリテーニングラグ A の位置を示すマークは、助手席のシート面にあります（装備によって異なります）。

1. エマージェンシーキーを使用して、助手席エアバッグを OFF にしてください。オーバーヘッドコンソールの助手席エアバッグ OFF インジケーターが点灯します。
 - ▷ 146 ページのチャプター「助手席エアバッグの ON/OFF - 助手席エアバッグ OFF インジケーター」を参照してください。

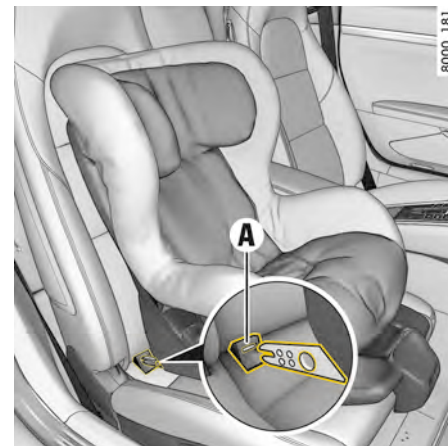


図 120：チャイルドシートの ISOFIX システムとの取り付け

2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
 - ▷ 99 ページのチャプター「シートの調節」を参照してください。
3. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ A に固定してください。
4. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

テストスタンドでの測定

▲ 警告

有毒な排気ガスの吸入

有害な排気ガスを吸い込むと、重症または致命傷に至る恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときには、必ず車両を屋外に駐車するか、または換気の良い場所で行ってください。

▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
 - ▷ 104 ページのチャプター「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」を参照してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

テストスタンド測定の実施

パフォーマンステスト

ポルシェでは、ローラータイプテストスタンドでのパフォーマンステストを承認していません。

ブレーキテストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテストスタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください：

- 測定速度：7.5 km/h 以下 (4.7 mph)
- 測定時間：20 秒以内

エレクトリックパーキングブレーキのテスト

- ▶ ブレーキテストスタンドでエレクトリックパーキングブレーキのテストを行うときは必ずイグニッションを ON にし、マニュアルトランスミッション車ではギヤシフトレバーをニュートラルに、Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車はセクターレバーを N の位置にします。

車両が自動的にブレーキテストスタンドモードに切り替わり、エレクトリックパーキングブレーキのテストが可能になります。マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

デバイスマネージャー

デバイスマネージャーを開く



図 121 : デバイスマネージャーを開く

- ▶ フッターの または を選択してください。(ネットワークへの接続状態によって異なります)。

– または –

PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ デバイスマネージャーを選択してください。

以下の接続は、デバイスマネージャーを使用して集中管理できます：

- **電話**：PCM を携帯電話に Bluetooth® で接続してください。
 - ▶ 152 ページのチャプター「携帯電話を Bluetooth® で接続する (携帯電話の準備)」を参照してください。
 - ▶ 153 ページのチャプター「別の携帯電話の接続と使用」を参照してください。
- **Bluetooth オーディオ**：PCM を外部 Bluetooth® メディアソースに接続してください。
 - ▶ 219 ページのチャプター「外部機器を Bluetooth® 経由で接続する」を参照してください。

- **データ接続**：外部 SIM カード経由でデータ接続を確立します。
 - ▶ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。
- **ホットスポット**：PCM のワイヤレスインターネットアクセスを利用する
 - ▶ 129 ページのチャプター「PCM WiFi ホットスポット (ワイヤレスインターネットアクセス) の起動」を参照してください。
- **ポルシェコネクタアプリ**：アプリを PCM に WiFi 経由で接続します。
 - ▶ 211 ページのチャプター「ポルシェコネクタアプリ」を参照してください。
- **スマートフォンリンク**：Apple CarPlay を使用してください。
 - ▶ 267 ページのチャプター「Apple CarPlay」を参照してください。

接続ステータスの表示

- ▶ 153 ページのチャプター「接続ステータスの表示」を参照してください。

インフォメーション

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 213 ページのチャプター「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

電気ソケット

12V プラグ ソケットの使用

12V ソケットには、12V 仕様の電装品（アクセサリ）を接続できます。

12V プラグ・ソケット

12 ボルト プラグソケットは助手席側の足元にあります。

充電アダプターの接続

i インフォメーション

- 12V プラグソケットおよび接続している電装品〔アクセサリ〕は、イグニッションがOFFのときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。
エンジンを停止したままアクセサリを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをONにしてください。
- 電装品が1つだけ作動している場合、12ボルトプラグソケットまたはシガーライターの最大電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、12Vプラグソケットまたはシガーライター1つ当たりの電流値が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、電波干渉や車両電装品の故障の原因となることがあります。

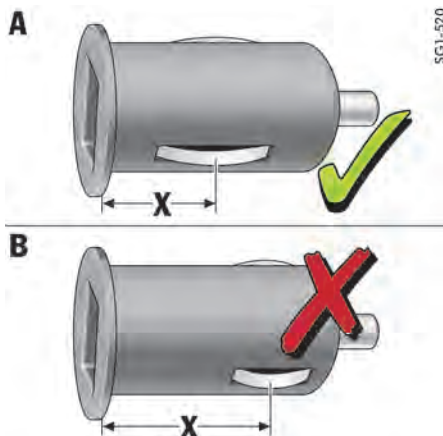


図 122：12V プラグソケットおよびシガーライター用の充電アダプター

- A 使用可能な充電アダプター
- B 使用できない充電アダプター

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプター (A) のみを使用してください：
グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法 X は約 16mm 未満である必要があります。
- ▶ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの (B) 寸法 X が 16mm 以上の不適切な充電アダプターを使用すると、12V プラグソケットが損傷することがあります。

SG1-520

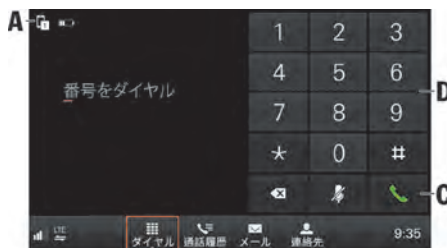
電話

概要

この概要説明は「電話」の章に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 213 ページのチャプター「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」を参照してください。



P170_14

B

図 123 : 電話番号の入力 (キーパッド)



P170_53

F G H

図 124 : 電話番号の入力 (キーパッド)

| 運転者が何をしたいか? | その操作方法は? | ページ |
|---------------------------------|---|-----|
| Bluetooth® 経由で電話を接続する (携帯電話の準備) | ▷ PHONE ボタン ▶ 電話を接続 ▶ 新しい電話を検索 | 152 |
| 接続された2つの携帯電話を切り替える | ▷ ヘッドラインの または (A および E を参照) を選択してください。 | 153 |
| データ接続を確立する (接続) | ▷ ポルシェ専用 SIM カード経由でデータ接続を確立します。 | 127 |
| 番号をダイヤルする | ▷ PHONE ボタン ▶ キーパッド (B を参照) ▶ 数字フィールド D を使用して番号を入力 ▶ を選択してください (C を参照)。 | 154 |
| 着信に応答する / 拒否する | ▷ 応答または キャンセルを選択してください。 | 154 |
| 通話を終了する | ▷ フッターまたは電話メニューの を選択してください。 | 154 |
| 電話会議を開始する | ▷ PHONE ボタン ▶ 番号をダイヤル ▶ キーパッド ▶ ▶ 他の参加者の番号をダイヤル ▶ ▶ | 155 |
| ボイスメールを聞く | ▷ PHONE ボタン ▶ キーパッド ▶ を長押ししてください。 | 154 |
| 通話履歴を表示する | ▷ PHONE ボタン ▶ 通話 (F を参照) ▶ 通話履歴を選択してください。 | 155 |
| メッセージを表示する | ▷ PHONE ボタン ▶ メッセージ (G を参照) ▶ テキストメッセージまたは E メール ▶ フォルダーを選択してください。 | 156 |
| 連絡先を表示する | ▷ PHONE ボタン ▶ 連絡先 (H を参照) を選択してください。 | 156 |

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

⚠ 警告

事故を起こす恐れがあります

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

⚠ 警告

ケガをする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

i インフォメーション



適合する携帯電話の一覧はウェブサイト (www.porsche.com) から入手することができます。

携帯電話を Bluetooth® で接続する (携帯電話の準備)**新しい携帯電話を接続する**

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能を有効にする
 - ▷ 152 ページのチャプター「PCM の Bluetooth® 機能を有効にする」を参照してください。

1. PHONE ボタン ▶ 電話を接続


– または –

フッターの  または  (接続状態により異なる) ▶ 電話を選択してください。

2. 新しい電話を検索を選択し、機器リストから携帯電話を選択してください。

6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。

3. PCM と携帯電話に表示された Bluetooth® コードを比較してください。**4. PCM と携帯電話の Bluetooth® コードが一致していれば確認してください。**

電話の接続に成功すると、数字入力 (キーパッド  メニュー) が PCM に表示されます。

i インフォメーション

Windows® および iOS オペレーティングシステムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

- ▶ 携帯電話の Bluetooth®メニューから利用可能な機器を検索してください。PHONE ボタンを押して PCM を探索可能な状態にしてください。接続操作の際は、ディスプレイに **電話を接続** が表示されている必要があります。
- ▶ 使用可能な機器リストから PCM を選択します。PCM の Bluetooth® デバイス名を表示させるには、PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶ Bluetooth ▶ 名前を選択します。
 - ▷ 158 ページのチャプター「Bluetooth® 機能とデバイスを管理する」を参照してください。

PCM の Bluetooth® 機能を有効にする**1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定****2. Bluetooth ▶ Bluetooth を有効にする PCM's Bluetooth® 機能をオンにする。****i** インフォメーション



Bluetooth® 接続の場合、ハンズフリープロファイル (HFP) を介して、携帯電話を PCM に接続することができます。

ハンズフリープロファイルを使用すると、PCM は接続された携帯電話の Bluetooth® ハンズフリーユニットとして機能し、携帯電話によっては電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。そのため、車両を停車した後に現在の通話を携帯電話に転送し、車両の外でも通話を継続することができます。

- ▷ Bluetooth® のプロファイルに関する詳細な情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

登録済みの携帯電話に接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能を有効にする
 - ▷ 152 ページのチャプター「PCM の Bluetooth® 機能を有効にする」を参照してください。
- ✓ これまでに PCM と接続したことがある携帯電話

1. フッターの  または  を選択してください。
(ネットワークへの接続状態によって異なります)。

–または–



PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ デバイスマネージャー

2. 電話 1 を選択してください。
登録されている携帯電話のリストが最大 20 件表示されます。

3. リストから携帯電話を選択してください。
携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されます。

別の携帯電話の接続と使用

- ✓ 携帯電話が PCM に既に接続されている

1. フッターの  または  を選択してください。
(ネットワークへの接続状態によって異なります)。



–または–

PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ デバイスマネージャー

2. 電話 2 を選択してください。

3. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。
 - ▷ 152 ページのチャプター「新しい携帯電話を接続する」を参照してください。

接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話のみ行うことができます。

- ▷ ヘッドラインの  または  (A を参照、図 123) を選択し、接続された 2 つの携帯電話を切り替えてください。

Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 設定電話 ▶ Bluetooth ▶ Bluetooth デバイス
2. リストから携帯電話を選択してください。
3. 登録された Bluetooth® デバイスのリストから任意の携帯電話を削除するには、**削除**を選択してください。
 - または–
 - Bluetooth® デバイスの情報を見るには、**詳細**を選択してください。
 - Bluetooth® アドレス、接続ステータス、および利用可能な Bluetooth® プロファイルが表示されます。
 - または–
 - Bluetooth® デバイスと PCM 間の接続を確立する、または切断するには、**接続を確立する / 切断**を選択します。

インフォメーション

開始後、PCM は前のデバイス設定を自動的に復元します。デバイスが車内にない場合は、システムが他の認識済みデバイスを探します。

電話をかけるには PCM を使用してください







アジア諸国では、データ接続を確立する際のみ外部 SIM カードを使用します。

データ接続に関するインフォメーション：

- ▷ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。

接続ステータスの表示

以下のアイコンがフッターに表示されます (接続状態により異なる)。



| 記号 | 意味 |
|--|--|
|  | 電話が接続されていません。 |
|  | データ接続は使用できません (考えられる原因：接続が確立されていない、ネットワーク通信接続不良、または音声接続中のデータ接続中断)。 |
|  | LTE 携帯電話ネットワーク経由など、外部 SIM カードのデータ接続が確立されています。 |
|  | UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) を介したデータ接続。 |
|  | EDGE 携帯電話ネットワーク (GSM) 経由でデータ接続が確立されています。 |
|  | 電話機能用の携帯電話ネットワーク受信強度を示しています。 |

デバイスマネージャーを開く

- ▶ 149 ページのチャプター「デバイスマネージャー」を参照してください。

電話番号をダイヤルする




電話番号を入力する(キーパッド)

1. **PHONE** ボタン ▶ キーパッド 
2. 数字フィールドから番号を入力してください。
電話番号が既知の場合は、選択が提示されます (vCard が表示されます)。
3.  を選択してください。

インフォメーション

DTMF (デュアルトーン マルチ周波数) トーンおよび付加サービス (* 及び # キーによるコード サービス) に対応しています。

リダイヤル機能を開く



1. **PHONE** ボタン ▶ キーパッド 
2.  を選択し、キーパッドで前回ダイヤルした電話番号を表示させてください。
3.  を選択してください。

インフォメーション

リダイヤルのメモリーはイグニッションを OFF にすると消去されます。



通話履歴から番号をダイヤルする

- ▶ 155 ページのチャプター「通話履歴を表示する」を参照してください。



1. **PHONE** ボタン ▶ 通話履歴 
2. 希望の通話履歴を選択し、項目を選択してください。
3.  を選択してください。

連絡先から番号をダイヤルする

- ▶ 156 ページのチャプター「連絡先を使用する」を参照してください。

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 
2. 希望の連絡先を検索し、選択してください。
3. 希望の電話番号をダイヤルしてください。
4.  を選択してください。

ボイスメールを聞く

1. **PHONE** ボタン ▶ キーパッド 
2. ボイスメールを聞くには、 を押し続けてください。

インフォメーション



この機能を最初に使用するときは、ボイスメール番号の入力プロンプトが 1 回表示されます。

- ▶ 157 ページのチャプター「電話設定の変更」を参照してください。

通話の開始と終了

着信に応答する / 拒否する


- ✓ 着信が入ったとき

- ▶  応答を選択してください。
- または -
携帯電話の通話ボタンを押してください。
- または -
ステアリング ホイールの通話ボタンを押してください。
- ▶ 着信を拒否するには、 拒否を押してください。
- または -
携帯電話の終話ボタンを押してください。
- または -
ステアリング ホイールの終話ボタンを押してください。

インフォメーション

携帯電話で「ミュート」または「会議」プロファイルを設定している場合、一部のデバイスでは、着信があった場合にも PCM の呼び出し音が鳴らないことがあります。


通話を終了する

- ▶ フッターまたは電話メニューの  を選択してください。
- または -
携帯電話の終話ボタンを押してください。
- または -
ステアリング ホイールの終話ボタンを押してください。

通話中の各種機能



マイクのミュート

✓ 通話中である。

- ▶ マイクをミュートするには  を選択してください。



通話の保留

✓ 通話中である。


- ▶ 接続表示の隣にある  を選択してください。
-または-
OPT ボタン ▶ **通話を保留** を選択。
- ▶ 通話を再開するには、**保留中**表示の隣にある  を選択してください。
-または-
OPT ボタン ▶ **通話する** を選択。

電話会議を開始する

✓ 通話中である。

1. **PHONE** ボタン ▶ **キーパッド** 
2.  を選択して、新たな会議を追加してください。
3. 新しい会議を追加するには：
数字フィールドを使用して新しい電話番号をダイヤルします。
-または-
通話履歴から電話番号を選択します。
-または-
電話帳にある既存の連絡先を選択します。

4.  を選択してください。

5. 会議を開始するには  を選択してください。

-または-

PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **会議**

- ▶ 会議を保留にするには、**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **会議を保留** を選択してください。

2つの会議間の切り替え(スワッピング)


✓ 通話中である。

✓ 通話が保留中である。

- ▶ 保留中の通話を選択して有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。
-または-
PHONE ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **切り替え通話**


通話履歴を表示する

通話の表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **通話履歴** 
2. 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。
- すべての通話
- 不在着信
- 発信
- 着信
3. 通話履歴から項目を選択してください。
詳細画面が表示されます。

通話を消去

✓ 携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されている

1. **PHONE** ボタン ▶ **通話履歴** 
2. 希望の通話履歴を選択し、発信者を選択してください。
3. **OPT** ボタンを押してください。
4. PCMの通話履歴から通話を消去するには、**通話を削除**を選択してください。

インフォメーション

車両から発信された通話のみが消去されます。

マルチファンクションディスプレイで電話を使用する

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 226ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイ」を参照してください。

電話番号をダイヤルする

1. 電話メニューを選択してください。
2. リストから希望の番号を検索し、項目を選択してください。

- 電話帳
- 発信履歴

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

着信に应答する / 拒否する

✓ 着信が入ったとき

▶ 電話メニューを選択してください。

- 通話应答
- 通話拒否

同時に複数の通話を行う / 通話を終了する


✓ 通話中である

▶ 電話メニューを選択してください。


- 新しい通話: 通話中に別の参加者に電話します。
- 通話を切り替え: 別の通話を行うために、参加者を切り替えます。
- 会議通話: 電話会議に参加者を追加します。
- 通話終了: 通話中の電話を終了します。

連絡先を使用する


連絡先の表示

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 


連絡先の検索

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先  ▶ 連絡先を検索
- 2 入力フィールドに名前を入力してください。結果リストが表示されます。
- 3 希望の項目を選択してください。




連絡先の送信

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 
- 2 連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
3. **OPT** ボタンを押してください。
4. **vCard** で送るを選択してください。
- 5 利用可能な状況に応じて、送信 (SMS、Eメール) またはメモリーオプション (SD、USB) を選択してください。

連絡先リストの並び替え

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先  ▶ **OPT** ボタン ▶ 検索条件
- 2 並べ替えの順序を姓、名または名、姓から選択してください。

個人画面にお気に入りを追加

1. **HOME** ボタン ▶ MyScreen  ▶ **OPT** ボタン ▶ MyScreen 設定
- 2 MyScreen 1、MyScreen 2 または MyScreen 3 を選択してください。
- 3 カテゴリー電話を選択してください。
- 4 タイル山田太郎を左プレビュー側にある任意のコンテナにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナに挿入することができます。
5.  または  で MyScreen を設定メニューを終了してください。

6. ここをタッチして連絡先を選択。

連絡先リストが開きます。

7. 希望する連絡先を選択してください。

連絡先詳細が表示されます。

8. 電話番号をダイヤルしてください。

選択した画面に連絡先がお気に入りとして保存されます。


MyScreen のお気に入りを消去

▶ 217 ページのチャプター「MyScreen を作成する」を参照してください。

メッセージの表示と消去



メッセージ機能を使用することで、SMS や Eメールを読んだり、音声で読み上げさせたり、メッセージに書かれている電話番号に電話をかけたりできます。

この機能は、携帯電話が Bluetooth® メッセージアクセスプロファイルに対応している場合のみ利用することができます。携帯電話はテキストメッセージ機能に対応していても、Eメール機能には対応していないことがあります。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。



 インフォメーション

- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキストメッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキストメッセージは携帯電話メッセージリストには表示されません。
- PCM はマルチメディアメッセージングサービス (MMS) に対応していません。

テキストメッセージの表示

1. **PHONE** ボタン▶メッセージ ▶SMS
2. ▶フォルダーを選択してください。
3. 希望のテキストメッセージを選択してください。




Eメールの表示

1. **PHONE** ボタン▶メッセージ ▶Eメール
2. Eメールアカウントを選択してください。受信トレイが開きます。最大で100件のEメールが表示されます。
3. 必要に応じて、▶フォルダーを選択してください。
4. 希望のEメールを選択してください。



インフォメーション

多く携帯電話は、複数のアカウントからのPCMへのEメール転送に対応していません。多くの場合、メーカー固有のアプリによって管理されたEメールのみが転送されます。

メッセージを聞く (テキスト、Eメール)




1. **PHONE** ボタン▶メッセージ 
2. SMSメニューまたはEメールメニューを選択してください。
3. ▶フォルダーを選択してください。
4. 希望のテキストメッセージまたはEメールを選択してください。
5. **読み上げ**  を選択してください。

メッセージの削除 (テキスト、Eメール)




1. **PHONE** ボタン▶メッセージ 
2. SMSメニューまたはEメールメニューを選択してください。
3. ▶フォルダーを選択してください。
4. 希望のテキストメッセージまたはEメールを選択してください。
5. **OPT** ボタンを押してください。
6. メッセージの削除を選択してください。メッセージが消去されます。

メッセージの作成

テキストメッセージの作成

1. **PHONE** ボタン▶メッセージ ▶表示されているアカウントから1つを選択します。
2. ▶新しいテキストメッセージを選択してください。
3. 入力フィールドに受信者の番号を入力してください。
-または-
電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. テキストボックスを選択してください。
5. 入力フィールドにテキストを入力し、**OK**で確定してください。
6. **送信**  を選択してください。メッセージが送信されます。

Eメールの作成

1. **PHONE** ボタン▶メッセージ ▶Eメール
2. ▶新しいEメールを選択してください。
3. 入力フィールドに受信者のEメールアドレスを入力してください。
-または-
4. 電話帳にある既存の連絡先を選択します。
5. テキストボックスを選択してください (件名など)。
6. 入力フィールドにテキストを入力し、**OK**で確定してください。
7. **送信**  を選択してください。Eメールが送信されます。

設定の変更

通話中の設定 (プライベートモード)

- ✓ 携帯電話がBluetooth® およびハンズフリープロファイル (HFP) を介して接続されている
- ✓ 通話が確立している

1. **PHONE** ボタン▶**OPT** ボタン
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- プライベートモードを起動: 通話はハンズフリー機器から電話に転送されます。

電話設定の変更

1. **PHONE** ボタン▶**OPT** ボタン▶設定電話▶電話
2. 以下から希望の設定を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- **PCM 電話の ON/OFF** : PCM 内の電話モジュールを ON/OFF にしてください。
- **通信事業者検索** : 通信事業者を選択するか、または自動通信事業者選択を作動します。
- **3者通話を有効にする** : 現在の通話に別の相手を追加することを許可します。
- **SIM カード** : 挿入された外部 SIM カードの設定を変更します。
- **ボイスメールナンバー** : 接続している携帯電話のメールボックス電話番号を表示または変更します。
- **シリアルナンバー** : PCM 電話モジュールの IMEI シリアルナンバーを表示します。

Bluetooth® 機能とデバイスを管理する

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE 設定 ▶ Bluetooth**
 2. 以下から希望の設定を選択してください。
- **新しいデバイスを追加する** : 新しい Bluetooth® デバイスを検索し、PCM に登録します。
 - **Bluetooth デバイス** : 登録した Bluetooth® デバイスを管理し、登録した Bluetooth® デバイスを PCM に接続します。
 - ▷ 153 ページのチャプター「Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示」を参照してください。
 - **Bluetooth を起動 / Bluetooth を停止** : Bluetooth® 機能を作動 / 停止します。
 - **Bluetooth デバイス置き忘れ警告** : 車両を離れるときは、接続した Bluetooth® デバイスのリマインダーを作動させてください。
 - **Bluetooth 名** : PCM の Bluetooth® 名を設定します。

WiFi 設定の設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 電話 ▶ WiFi 設定**
 2. 以下から希望の設定を選択してください。
- **WiFi を起動 / 停止** : PCM の WiFi 機能を ON/OFF にします。
 - **PCM の WiFi ホットスポット設定** : PCM の WiFi アクセスデータを表示し、設定します。このデータはデバイス（携帯電話など）を WiFi 経由で PCM に接続したり、PCM の WiFi ホットスポットを使用するために必要です。

データ接続の設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE 設定 ▶ データ接続**
 2. 以下から希望の設定を選択してください。
- **データ接続設定** :
 - **オン** : 常にデータ接続を許可します。
 - **オフ** : データ接続を OFF にします。
 - **プロンプト** : データ接続を使用する前に、データ接続を許可するかを確認するメッセージが表示されます。
 - **データ接続を共有する** : WiFi デバイス用のデータ接続を有効にします。
 - **ローミング** : 他のネットワークへのデータ接続を許可する / 許可しません。
 - **アクセスポイントを設定** : SIM カードのデータ接続用ネットワークアクセスデータ (APN 名、ユーザー名、およびパスワード) を変更します。
 - **設定をリセット** : APN 設定を工場出荷時の設定に戻します。APN の設定に関するインフォメーション :
 - ▷ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。

連絡先の管理

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE 設定 ▶ 連絡先**
 2. 以下から希望の設定を選択してください。
- **連絡先メモ** : 使用している連絡先メモリーを表示します。
 - **並べ替え条件** : 姓または名で、携帯電話に保存されている連絡先を並び替えます。
 - **連絡先を同期** : Bluetooth® 経由で接続されている携帯電話の連絡先を PCM に手動で移動することができます。

着信音設定の変更

- ✓ 携帯電話が PCM に接続されている、または SIM カードが挿入されている
1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **設定 電話 ▶ 着信音**
 2. 以下から希望の設定を選択してください。

以下のオプションが設定可能です。

- **着信音を選択** : 接続している携帯電話が Bluetooth® 経由で着信音を送信しない場合、PCM の着信音を設定します。
- **着信音量** : 着信音量を設定します。
- **マイク音量** : 電話マイクの音量を設定します。
- **メッセージの受信音** : メッセージの受信音を設定または OFF にします。

トランスミッション

マニュアルトランスミッションによる走行



図 125: ギヤレバーのシフトパターン



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマット、正しく固定されていないフロアマット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

- ▶ フロアマットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。

- ▶ 変速するときはクラッチペダルをしっかりと踏み込み、ギヤレバーを確実に操作してください。

- ▶ 上り坂ではエンジンパワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジンブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

トランスミッションをニュートラルにシフトする

トランスミッションのニュートラル位置は3速および4速ギヤのシフトゲートにあります。

リバース(後退)に入れる

- ✓ 車両が停止している。
- ▶ リバースギヤには、ギヤレバーを左にいっぱいまで動かした後にシフトすることができます。
イグニッションONでギヤレバーをリバース(後退)に入れると、リバースライトが点灯します。

締結ギヤを表示する

タコメーター内のギヤポジションディスプレイBは現在締結されているギヤを表示します。

シフトアップインジケーターを使用した走行



図 126: シフトアップインジケーターAおよびギヤインジケーターB

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケーターAは、ドライバーが経済的な運転できるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

i インフォメーション

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、**ギヤシフトアシスト**をマルチファンクションディスプレイに表示することができます。

- ▶ 230ページのチャプター「シフトアシストメニュー」を参照してください。

エンジン許容回転数を遵守する

- ▶ タコメーター(回転計)の指針が赤色のエリア(レッドゾーン)に到達する前に、1段高いギヤにシフトアップするか、アクセルペダルをゆるめてください。

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア(レッドゾーン)に到達すると、燃料の供給が遮断されます。

知識

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転(オーバーレブ)が原因でエンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

AUTO BLIP(自動スロットルブリッピング機能)のONとOFFの切り替え

図 127 : AUTO BLIP (自動スロットルブリッピング機能)

- ✓ **マニュアルトランスミッション装備車。**スロットルブリッピング機能がONのときは、シフトダウン時に最適なエンジン回転数補正を行い、荷重変化時により一層の車両安定性を確保します。
- ▶ **AUTO BLIP** ボタンを押してください。スロットルブリッピング機能をONにすると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

i インフォメーション

- スロットルブリッピング機能のON/OFFを切り替えても、PASMモードには影響を与えません。
- スロットルブリッピング機能は、イグニッションをOFFにすると自動的にOFFになります。

Porsche Doppelkupplung (PDK)による走行

Porsche Doppelkupplung(PDK)はオートマチックモードとマニュアルセクションモードを備えた7段変速トランスミッションです。

オートマチックモード(セクターレバーがDの位置)では、変速が自動的に行われます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックモードからマニュアルモードに切り替えることができます。

マニュアルモード(セクターレバーがMの位置)では、セクターレバーまたはステアリングホイールのシフトパドルの操作で変速できます。

セクターレバーの**D**と**M**は、走行中でも切り替えることができます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでもステアリングホイールのシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。

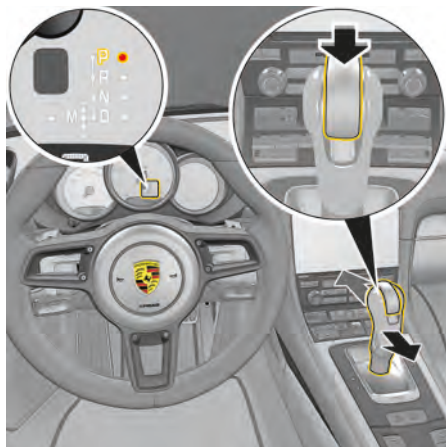


図 128：セレクターレバーの操作

セレクターレバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクターレバーは動かないようにP位置に固定されます。イグニッションがONの場合、リリースボタンを押し、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、セレクターレバーをPおよびNの位置から動かすことができます。

ロック解除ボタン

セレクターレバーのロック解除ボタン（矢印）は、ギヤシフトの誤操作を防止するための機構です。

セレクターレバーをRまたはPの位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

エンジンの始動

セレクターレバーがPかNの位置にあり、ブレーキペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

車両の発進

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、R)にシフトしてください。

坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフットブレーキを解除した直後にブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

- ▶ 191ページのチャプター「発進アシスタント」を参照してください。

停車

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクターレバーを走行位置のまま保持し、ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂ではアクセルペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキペダルを踏むか、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させ、セレクターレバーをPの位置にしてください。

駐車

- ▶ アクセルペダルは慎重に操作してください。



図 129：セレクターレバーポジションインジケーターおよびギヤポジションインジケーター

セレクターレバーポジションインジケーターおよびギヤポジションインジケーターを読み取る

エンジン作動中に、セレクターレバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクターレバーが2つのポジションの間にある場合は、該当するセレクターレバー位置が点滅し、マルチファンクションディスプレイに警告が表示されます。

処置：

- ▶ フットブレーキを踏んで、セレクターレバーを正しい位置に動かしてください。ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクターレバーがPまたはN位置から動いてギヤに入ってしまった場合（故障または誤った操作で）、シフトインジケーターが点滅し、駆動力がカットされます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ 発進するには、ブレーキペダルを踏み、セレクターレバーを再び**P**または**N**から希望のギヤに入れてください。

インストルメントパネルのセレクターレバー位置**R**または**D**が点滅する

駆動力が伝達されません。

原因：

- フットブレーキを踏まずにセレクターレバーを切り替えた
- 最高許容速度以上でセレクターレバーを**R**にシフトした。
- 駐車または移動操作中に運転席ドアが開いた法規等に準拠して、ブレーキペダルおよびアクセルペダルが踏み込まれない場合は2秒後に、エンジンとトランスミッション間の駆動力の伝達が遮断されます。

処置：

- ▶ ブレーキペダルを踏み、セレクターレバーを再び**P**または**N**から希望するギヤに入れてください。

セレクターレバーポジション

P-パーキングロック

- ▶ 車両が完全に停止してからパーキングロックをかけてください。セレクターレバーポジション**P**が点滅している場合、パーキングロックがかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。セレクターレバーを再び**R**から**P**の位置に入れてください。

キーは、セレクターレバーが**P**の位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

R-リバースギヤ

- ▶ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N-ニュートラル

けん引するときや自動洗濯機を使用するときなどは、セレクターレバーを**N**の位置にしてください。

- ▶ エンジンがアイドリング状態のときのみ、セレクターレバーの**N**位置を使用してください。
- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(**D**、**M**、**R**)にシフトしてください。

D-オートマチックモード

基本設定

PDKトランスミッションは、スポーティーなシフトを行うよう初期設定されています。ギヤシフトは常に素早く行われます。

- ▶ 「通常」の走行時には、セレクターレバーの**D**の位置を使用してください。車速とアクセルペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。変速順序とギヤシフトポイントは走行スタイルに合わせて最適に調整されます。



図 130 : PDK スポーツモード

PDK スポーツモードのON/OFF

PDKスポーツモードでは、PDKトランスミッションがレースサーキットでの走行に適したスポーティなギヤシフト特性に切り替わります。ギヤシフトポイントのシフトアップ/シフトダウンがより高いエンジン回転数で行われます。

変速順序とギヤシフトポイントも、PDKスポーツモードの走行スタイルに合わせて最適に調整されます。

- ▶ **PDK SPORT** ボタンを押してください。

PDKスポーツモードをONにすると、ボタンのインジケータライトが点灯し、デジタルスピードメーターに**スポーツ**と表示されます。

i インフォメーション

- セレクターレバーが **D** の位置にある場合、PDK スポーツモードでは7速ギヤへの締結は自動的に行われません。
- PDK スポーツモードのON/OFFは、PASMモードまたはオートスタート/ストップ機能には影響しません。

i インフォメーション

ステアリングホイールのシフトボタンを操作することにより、一時的にオートマチックモード **D** からマニュアルモード **M** に切り替えることができます。

例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

- コーナ前でシフトダウンしたいとき
- 下り坂でエンジンブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき

- 急加速時にシフトダウンしたいとき

タコメーターのセレクターレバーポジションディスプレイに **D** と **M** が同時に点灯します。

次の場合は、マニュアルモードが維持されます。

- コーナリング時(横方向の加速度に応じて)
- オーバーラン時
- 車両が交差点などで停車した場合
- マニュアルで選択したギヤが、オートマチックモードのシフト設定で選択されるギヤよりも高い場合。

次の場合は、マニュアルモードが解除されます。

- 自動的に約6秒後(コーナリング時やオーバーラン時以外)
- 発進後

M-マニュアルモード

図 131: オートマチックモード

- ▶ セレクターレバーを **D** から **M** の位置に押ししてください。

現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。

M から **D** にシフトした場合は、現在のドライビングスタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

i インフォメーション

セレクターレバーが **M** の位置にあるときは、エンジンが許容最高回転数に達しても自動的にシフトアップされません。



図 132: シフトパドル付きステアリングホイール

セレクターレバーまたは右「+」シフトパドルでのシフトアップ

- ▶ セレクターレバーまたは右側シフトパドルを手前に引いてください。

セレクターレバーまたは左「-」シフトパドルでのシフトダウン

- ▶ セレクターレバーを前方に押しください。または左側シフトパドルを手前に引いてください。

セレクターレバーまたはシフトパドルの連続操作による素早いギヤシフト。

シフトパドル、またはセレクターレバーを素早く連続操作した数と同じ数のギヤ段をシフトアップまたはダウンできます。

変速したときにエンジンの許容回転数(最高回転数または最低回転数)を超える場合は、変速が実行されません。

シフトパドルを使用してN-ニュートラルにシフトする

- ▶ 両側のシフトパドルを同時に引いて保持してください。

トランスミッションはN-ニュートラルにシフトします。

車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジンブレーキの効果は得られません。ギヤシフトインジケータの数字が点滅します。

シフトパドルを放すと、ギヤが再び締結します。

i インフォメーション

- ボルシエスタビリティマネージメント(PSM)がONの場合、クラッチは段階的につながります。
- エレクトロニックスタビリティコントロール(ESC)またはトラクションコントロール(TC)がOFFの場合、クラッチは急につながります。
これにより不安定な状態が発生する場合があります。



図 133: シフトアップインジケータ A

低燃費走行のためのシフトアップインジケータ

✓ セレクターレバーポジション M
燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータ A は、ドライバーが経済的な運転できるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込み量に応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

ローンチコントロールを使用した発進

ローンチコントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

i インフォメーション

乾いた路面でタイヤが作動温度に達している場合にのみ最適な機能が保証されます。

⚠ 警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況では(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

- ▶ ローンチコントロールはサーキットでの使用をお勧めします。
- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

i インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

マニュアルトランスミッション 装備車

- ✓ エンジンが作動温度に達している。
 - ✓ トラクションコントロール (TC) を ON にする
 - ✓ 平坦な場所に駐車する
 - ✓ エレクトリック パーキング ブレーキを締結しない
1. クラッチ ペダルをいっばいに踏み込み続けてください。
 2. ギヤレバーを 1 速にしてください。
 3. 素早くアクセル ペダルをいっばいに踏み込んで、そのまま保持してください。
エンジン回転数が約 5,000 rpm に維持されます。
 4. 素早くクラッチを締結してください。

PDK 装備車

- ✓ エンジンが作動温度に達している。
 - ✓ トラクションコントロール (TC) を ON にする
1. 左足でブレーキ ペダルを踏んでください。
 2. 素早くアクセル ペダルをいっばいに踏み込んで、そのまま保持してください。
エンジン回転数が約 6,500 rpm に維持されます。
マルチファンクション ディスプレイにローンチコントロールが有効であることを示すメッセージが表示されます。
 3. 素早くブレーキを解除してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

トランスミッションおよびシャーシコントロールシステム

| システム / 名称 | 範囲 | ページ |
|---|--|-----|
| ボルシェ スタビリティ マネージメント ボルシェ スタビリティ マネージメント | <ul style="list-style-type: none"> - ドライビング スタビリティ コントロール (ESC) - トラクション コントロール (TC) - アンチロック ブレーキ システム (ABS) - ブレーキ ブースター (油圧 ブレーキ アシスト) - オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD) - エンジン ドラッグ トルク コントロール (MSR) - 発進 アシスタント | 221 |
| PASM ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント | <ul style="list-style-type: none"> - アダプティブ 無段階 ダンパー コントロール 付き ショック アブソーバー システム | 210 |
| PADM ボルシェ アクティブ ドライブ トレイン マウント | <ul style="list-style-type: none"> - 多様な減衰調整が可能なダイナミック エンジン マウント (PADM) は、走行ダイナミクスと走行快適性の両方を向上させるためのシステムです。 - 走行状況に応じて、理想的なマウント剛性および減衰力が自動的に設定されます。選択の範囲は、エンジン / ボディ間のコネクションが最も強固な状態 (走行ダイナミクスが向上) からエンジンとボディが切り離されている状態 (走行快適性が向上) までです。 | -- |
| PTV ボルシェ ・ トルク ・ ベクタリング | <ul style="list-style-type: none"> - より俊敏なコーナリングのためのラテラルダイナミック ブレーキ制御 - ロック率非対称型リヤディファレンシャル ロック | -- |

ドアミラーヒーター


ドアミラーヒーター

✓ 718 Spyder




図 134：ドアミラーヒーター ボタン

ドアミラーヒーターをONにする


- ✓ エンジンが作動している。
- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。


外気温度によって、約5～20分後にドアミラーヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

を再度ONにする

- ▶  ボタンをもう一度押してください。
ボタンのインジケータライトが点灯します。

ドアミラーヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケータライトが消灯します。

 インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、ドアミラーヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ドライビングデータの表示(トリップ情報)

トリップメニューには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビングデータが表示されます。

ポルシェコミュニケーションマネージメント(PCM)の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 213ページのチャプター「ポルシェコミュニケーションマネージメントシステム(PCM)」を参照してください。

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション:

- ▷ 226ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。
- ▷ 226ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。

マルチファンクションディスプレイにドライビングデータを表示する

1. トリップメニューを選択してください。
2. リストから項目を選択してください。

- **以降**: 現在運転中のドライビングデータです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビングデータが自動的にリセットされます。
- **合計**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビングデータは、イグニッションキーをOFFにして長時間駐車した場合でも保持されます。


- **目的地まで**: ルート案内を開始すると目的地までのドライビングデータが計算され、表示されます。

マルチファンクションディスプレイでドライビングデータをリセットする

1. トリップ▶リセット
2. リストから項目を選択してください。

- **開始**
- **合計**
- **すべて**: 以降および合計のドライビングデータをリセットします。

PCMのドライビングデータを表示する/リセットする


1. **CAR** ボタン▶トリップ 
2. 希望の表示レベルを閲覧(スワイプ)してください。

- **パーソナルトリップ**: 必要に応じて、ドライビングデータを4つのデータフィールドにグループ分けできます。
- **開始以降のトリップ**: 現在運転中のドライビングデータです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビングデータが自動的にリセットされます。
- **トリップ合計**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビングデータは、イグニッションキーをOFFにして長時間駐車した場合でも保持されます。

3. **リセット**を選択して、希望のドライビングデータをリセットしてください。

PCMのパーソナルディスプレイの内容を設定する

パーソナルトリップメニューでは、個々のデータフィールドの内容を個別に設定することができます。ユーザーは、日付、時刻、外気温、到着時刻、平均車速、燃費データなどの一般情報、およびナビゲーションエリアから選択されたさまざまなデータフィールドの車両パラメーターから選択することができます。

1. **CAR** ボタン▶トリップ ▶パーソナルトリップ▶設定
2. 変更したいデータフィールドを選択してください。
3. データフィールドの希望のコンテンツを選択してください。

インフォメーション

メニュー項目次のガソリンスタンドまでの距離をデータフィールドに指定した場合、タッチスクリーンに表示されたシンボルを素早く押すと、このガソリンスタンドまでのルート計算が開始されます。このガソリンスタンドまでのルート案内開始を選択してください。

盗難防止機能

盗難防止機能

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください。

- ▶ サイドウィンドウを閉じてください。
- ▶ ソフトトップを閉じます。
- ▶ エレクトリックパーキングブレーキを動作させてください。
- ▶ キーを抜き取ってください。
- ▶ グローブボックスを閉じます。
- ▶ 小物入れをすべて閉じます。
- ▶ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の などを車内に残さないでください。
- ▶ ラゲッジコンパートメント リッドを閉じてください。
- ▶ 車両をロックします。

イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー(電子回路)が組み込まれています。

イグニッションを ON にする前に、イグニッションロックがコードを照合します。

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。

ステアリングコラムのロック解除 / ロック

ステアリングコラムを自動的にロック解除する

- ▶ キーで車両のロックを解除してください。
-または-
キーをイグニッションロックに差し込んでください。

ステアリングコラムを自動的にロックする

- ▶ キーを抜き取ってください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ナビゲーション

概要

この概要説明は「ナビゲーション」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェコミュニケーションマネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：








- ▷ 213 ページのチャプター「ポルシェコミュニケーションマネージメントシステム (PCM)」を参照してください。



図 135：目的地入力



図 136：マップビュー

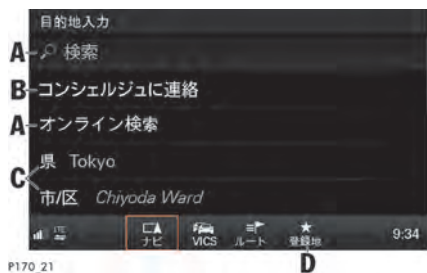
| 運転者が何をしたいか？ | その操作方法は？ | ページ |
|---------------------------|--|-----|
| 目的地を検索する | ▷ NAV ボタン▶検索 または オンライン検索 (Aを参照)▶目的地を入力/選択してください。 | 171 |
| ポルシェ コンシェルジュを開始する | ▷ NAV ボタン▶コンシェルジュサービス (Bを参照)▶ポルシェ コンシェルジュ サービスに連絡を選択してコンシェルジュを呼び出してください。 | 171 |
| 目的地の住所を入力する | ▷ NAV ボタン▶都道府県市区町村 (Cを参照)▶目的地住所を入力してください。 | 171 |
| 目的地履歴から選択する | ▷ NAV ボタン▶目的地履歴▶リストから項目を選択してください。 | 172 |
| 興味のあるポイントを入力する | ▷ NAV ボタン▶興味のあるポイント▶興味のあるポイントのオプションを選択▶興味のあるポイントを選択。 | 172 |
| マップコードを入力する | ▷ NAV ボタン▶マップコード▶マップコードを入力 | 172 |
| 連絡先から目的地を選択する | ▷ NAV ボタン▶登録地★ (Dを参照)▶検索する(スワイプ)履歴▶履歴から選択する。 | 172 |
| すぐにルート案内を開始/停止する | ▷ MAP ボタン▶開始  (Hを参照) または 停止  (Hを参照) を選択してください。 | 173 |
| 経由地を入力する/ツアーを計画する | ▷ NAV ボタン▶目的地を入力▶新規  (Fを参照)▶経由地を入力▶追加  を選択してください。 | 172 |
| 保存したツアーを開始する | ▷ NAV ボタン▶登録地★ (Dを参照)▶保存された目的地のページまでブラウズ(スワイプ)▶ツアー▶ツアーを選択▶開始を選択してください。 | 172 |
| 交通情報を表示する | ▷ NAV ボタン / MAP ボタン▶VICS  を選択してください (Fを参照)。 | 175 |
| ルートを表示および編集する | ▷ NAV ボタン / MAP ボタン▶ルート  を選択してください (Gを参照)。 | 174 |
| 道路通行料自動徴収システム (ETC) を設定する | ▷ CAR ボタン▶料金  . | 177 |

警告

事故を起こす恐れがあります

ポルシェナビゲーションシステムは、目的地まで快適に到着できる走行ルートを案内し、ドライバーを補助します。推奨された走行指示が実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。




P170_21

図 137：目的地入力

目的地を検索する（検索 / オンライン検索）

検索機能を使用して検索すると、PCM の内部データベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、**オンライン検索**機能を利用してください。

- ✓ **オンライン検索**: オンライン検索を行うにはデータ接続を確立する
 - ▶ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。


1. **NAV** ボタンを押してください。
2. **検索** または **オンライン検索** を選択してください (A 図 137 を参照)。
3. 検索語句を入力してください (県、市 / 区、名称など)。
4. 候補のリストから希望の項目を選択してください。
5. **開始**  を選択してください。

ポルシェコンシェルジュを開始する

コンシェルジュサービスはドライバーのパーソナルアシスタントです。リクエストに応じて、希望の施設や個人住所へのナビゲーションデータを PCM に直接送信し、ドライバーをサポートします。

- ✓ 挿入された SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている。
- ✓ 携帯電話が PCM に接続されている。
 - ▶ 152 ページのチャプター「携帯電話を Bluetooth® で接続する（携帯電話の準備）」を参照してください。
- ✓ Apple CarPlay を使用していない。


1. **NAV** ボタンを押してください。
2. **ポルシェコンシェルジュサービス** を選択 (B を参照 図 5)。
3. コンシェルジュを呼び出すには、**ポルシェコンシェルジュに連絡** を選択してください。
4. 呼び出しを開始することを通知で承認してください。

5. コンシェルジュエージェントと会話を開始し、施設情報または個人住所を要求してください。
コンシェルジュが通話を終了させた後に、ナビゲーション目的地が送信されます。そのため、先に通話を終了させないでください。
6. POI または個人住所を選択してください。
7. **開始**  を選択してください。

i インフォメーション

- 現在位置、ナビゲーション目的地の地理的位置などのコンシェルジュサービスデータの使用时は、車両識別データ、言語設定がコンシェルジュコンタクトセンターに転送される場合があります。
- 1 回のコンシェルジュサービスにつき、最大 5 つの目的地のナビゲーションデータを PCM に送信することができます。

目的地住所の入力

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. **都道府県** または **市 / 区町村** を選択 (C 図 137 を参照)。
3. 住所を入力してください (県、市 / 区、施設情報、またはマップコードなど)。
4. リストから希望の項目を選択してください。
5. **開始**  を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま


や

ら


わ

A-Z


保存した目的地または連絡先の使用（目的地履歴）

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 前回の目的地を選択してください。
3. 希望のページをブラウザ（スワイプ）してください。
 - 前回の目的地：最近使用した目的地
 - 保存した目的地：お気に入りとして保存した目的地
 - ▷ 173 ページのチャプター「保存した目的地の呼び出し（お気に入り）」を参照してください。
 - 連絡先：接続している電話に保存されている連絡先住所
4. リストから項目を選択してください。
5. 開始  を選択してください。

施設情報の入力


1. **NAV** ▶ 施設
2. リストから施設を選択してください。（目的地周辺検索など）。
3. 施設情報カテゴリーまたは施設情報を入力または選択してください。
4. 開始  を選択してください。

インフォメーション

NAV ▶ ナビ  ▶ 施設 ▶ 希望の施設情報オプション（例：目的地周辺検索）▶ パーソナル施設情報（アップロード）を選択して、ポルシェコネクトポータルから他の施設情報カテゴリーを読み込んでください。


▷ 128 ページのチャプター「Porsche Connect へのログイン」を参照してください。

マップコードを使用した目的地の入力

1. **NAV** ボタン▶マップコード
2. 希望する目的地のマップコードを入力してください。
3. マップコードポジションを入力し、**OK** をクリックして確定してください。
4. 開始  を選択してください。


地理座標を使用した目的地入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. **NAV** ボタン▶**OPT** ボタン▶GPS座標を入力
2. GPS座標を入力し、**OK** をクリックして確定してください。
3. 開始  を選択してください。

地図からの目的地入力




✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. **MAP** ボタンを押してください。
2. 地図上で目的地を選択してください（必要に応じて、ボタンを長押しする）。
3. ヘッドラインに表示された目的地を選択してください。
目的地の詳細が表示されます。
4. 開始  を選択してください。

ツアーの計画（経由地の入力）


ツアーは1つの目的地、および1箇所～8箇所までの経由地で構成されます。

ツアーの入力および保存

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
3. ルート  を選択してください。
4. ツアーを選択してください。
5. 新規  を選択してください。
6. 経由地を入力してください。
7. 追加  を選択してください。
8. ツアー名を入力し、**OK** をクリックして確定してください。
ツアーが保存されました。



インフォメーション

経由地は後で変更することができます。

NAV ボタン▶ルート  ▶ツアーを選択し、該当する経由地を押しのまま希望の位置に移動してください。

保存したツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されました。

1. **NAV** ボタン▶登録地 
2. 保存された目的地のページまでブラウザ（スワイプ）してください。
3. ツアーを選択してください。
4. 希望するツアーを選択してください。
5. 開始  を選択してください。

マルチファンクションディスプレイでの目的地の入力

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション:

- ▷ 226 ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。
- ▷ 226 ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。

1. ナビ▶目的地入力

2. 希望のリストを選択してください。
 - 前回の目的地: 最近使用した目的地
 - 保存した目的地: 恒久的に保存した目的地
3. リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

ルート案内の開始 / 停止


目的地入力メニューでのルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない

▶ **NAV** ボタン▶開始


目的地入力によるルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない
- ✓ 詳細画面で目的地が表示されている

▶ 開始  を選択してください。

目的地入力メニューでのルート案内の停止

- ✓ ルート案内を開始している

▶ **NAV** ボタン▶停止  を選択。

マルチファンクションディスプレイによるルート案内の開始および停止

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない


1. ナビゲーションメニューを選択してください。
2. 以下の希望の項目を選択してください:

- ルート案内の開始: ルートを計算します。
- ルート案内の停止: ルート案内を停止します。


目的地の保存、および保存した目的地の呼び出し(お気に入り)

目的地の保存 (お気に入り)


- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内が開始されていない

1. 保存  を選択してください。
 2. **OK** をクリックして目的地名を確定してください。目的地が保存されます。
 - または -
 - 目的地名を変更し、**OK** をクリックして確定してください。
 - 目的地は、入力した名前で保存されます。
 - または -
 - 既に割り当てられている名前(自宅など)をリストから選択し、**OK** をクリックして確定してください。
- 既存の名前の目的地情報は、新しい情報で上書きされます。


i インフォメーション

目的地は、ボタン **NAV** ▶登録地  ▶保存された目的地▶お気に入りとして保存を使用して保存することもできます。

保存した目的地の呼び出し (お気に入り)

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン▶登録地  ▶
2. 希望のページをブラウズ (スワイプ) してください。
 - 前回の目的地: 最近使用した目的地
 - 保存した目的地: お気に入りとして保存した目的地またはツアー
 - 連絡先: 接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。

i インフォメーション

My Porsche から他の目的地を読み取るには、**NAV** または **MAP** ボタン▶登録地  ▶保存された目的地▶パーソナル施設情報を使用してください。

- ▷ 128 ページのチャプター「Porsche Connect へのログイン」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

目的地およびツアーの消去または編集

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン▶登録地★
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
 - 前回の目的地：最近使用した目的地
 - 保存した目的地：お気に入りとして保存した目的地
 - 連絡先：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。
4. **OPT** ボタンを押してください。
5. 以下の希望の項目を選択してください：
 - 削除
 - 住所を地図上に表示

i インフォメーション

保存したすべての目的地またはツアーを消去するには、リストから項目を選択する前に、**NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン▶登録地★▶**OPT** ボタンを選択してください。

ルートの表示および編集

✓ ルート案内が開始されている

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン▶ルート
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- ルートオプション：
 - ルートの設定条件：ルートの計算方法（推奨、有料回避、時間優先）を設定します。
 - ルート回避オプション設定：ルート計算をするとき、フェリーおよび季節規制道路を除外するか、または含めるかを設定します。
 - ダイナミックリルート：動的なルート管理を使用して、渋滞や障害を回避します。
 - 手動ダイナミックリルート：確認後に、動的なルート管理が作動
- リスト表示：次の特徴的なルート地点（施設情報、分岐点など）が表示されます。
- ツアー：開始されたツアー ルート案内の目的地および距離が表示されます。
- 代替ルート：ここでは、現在の案内中のルートに代わるルートを選択することができます。代替ルートを開始するには、**開始** を選択してください。

マップビューを開いて設定する

マップビューを開く



図 138：表示および機能要素を含むマップビュー

▶ **MAP** ボタンを押してください。
地図 **MAP** メニューおよび現在地のマップビュー、およびルート案内中の場合は現在のルートが表示されます。

- **A**：車両位置を地図の中央に置く
- **B**：ルート案内情報、目的地までの時間および距離、または到着時間
- **C**：縮尺表示とオートズームを切り替える
- **D**：地図サイドメニューを開く
 - ▶ 174 ページのチャプター「地図コンテンツの設定」を参照してください。
- **E**：地図の向きを北向きまたは進行方向に切り替える

地図コンテンツの設定



図 139：地図サイドメニューを含む地図コンテンツ

1. **MAP** ボタン▶サイドメニュー **MAP** を選択。
2. 希望の地図コンテンツを選択してください。必要に応じてロータリープッシュボタン、またはタッチスクリーンを使用してサイドメニュー内をスワイプダウン（スクロール）し、追加メニューを表示してください。

- ✓ インターネットからデータを読み込むマップビューの利用には、有効なデータ接続が必要

▷ 127ページのチャプター「接続」を参照してください。

有効な地図コンテンツは赤色、無効なコンテンツは白色で表示されます。

- **3D**：3Dビュー（または2Dビュー）
- **オンライン交通情報**：インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報の表示 / 非表示を切り替えます。
- **ルート情報**：現在のルート計画が表示される
- **POI表示**：地図上の施設情報の表示 / 非表示を切り替える
- **コンパス**：地図上のコンパスの表示 / 非表示を切り替える
- **天気**：地図上の天気情報の表示 / 非表示を切り替える
- **オートズーム**：地図上のオートズーム機能の表示 / 非表示を切り替える

i インフォメーション

地図のサイドメニューから各種機能に素早くアクセスすることができます。これらの機能を設定するには、**MAP** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **MAP設定** ▶ **マップビュー** ▶ **マップレイヤー**を選択してください。

マルチファンクションディスプレイによるマップビューの表示および設定

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▷ 226ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイ」を参照してください。

1. **地図メニュー**を選択してください。
2. 希望する表示オプションを選択してください。

- **オートズーム**：現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
- **3Dマップ**：3次元地図を表示します。
- **北向き**：常に地図の上方が北になります。
- **マニュアルズーム**：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
- **目的地を表示**：地図上でナビゲーション目的地を選択し、拡大表示します。
- **現在地を表示**：地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

交通情報の表示



図 140：交通情報の表示

NAV メニューおよび **MAP** メニューで、現在地または選択したルートに関する交通情報を取得することができます。以下の情報が表示されます。

- 斜線区間：交通渋滞の長さを示します。
- 色付き警告シンボル：選択したルート上に差し迫った交通渋滞ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- グレー表示の警告シンボル：選択したルート上ではない交通渋滞

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら



わ

A-Z


VICS 交通情報の表示



図 141 : DSRC/VICS 交通情報


1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタンを押してください。
2. **交通**  を選択してください。受信したすべての交通情報通知のリストが表示されます。**交通**  メニューに表示されている数字は、選択されたルートに関する交通情報通知の件数を示します。
3. 希望の交通情報通知を選択してください。
- または -
すべての交通情報を表示するには、**すべての交通情報通知を表示**を選択してください。

希望する交通情報のカテゴリーを選択してください。

- **DSRC/VICS 交通情報** :  アイコンを選択したときは、交通情報が読み上げられます。ミニマップはエリア内の交通情報の概要を提供します。
 - ▷ 177 ページのチャプター「一般的な VICS 設定の変更」を参照してください。

- **FM 図形情報** : ラジオ局によって提供される地図形式、またはスクロール可能なテキスト概要形式の FM 交通情報を表示します。
- **FM テキスト情報** : 個別のスクロール可能なテキスト形式で提供される FM 交通情報を表示します。
- **DSRC 交通ボイスメッセージ** : DSRC 交通情報の自動アナウンスの ON/OFF を切り替えます。

交通情報通知は、動的なルート管理により渋滞や障害を避けるのに役立ちます。


MAP ボタン▶**ルート**  ▶**ダイナミックリルート** を使用して迂回のための自動ルート変更機能を ON にすることができます。**手動ダイナミックリルート**により、動的なルート計画の作成を手動で開始することができます。

i インフォメーション

ラジオ局には交通情報通知に対する責任があります。従いまして、この情報の完全性および正確性に関してボルシェでは責任を負いかねます。

交通情報の表示

- ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと
 - ▷ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。

1. **MAP** ボタン▶サイドメニュー  を選択してください。
2. **オンライン交通情報** を選択してください。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑色のライン : 円滑に流れる交通状態
- 橙色のライン : 流れの遅い交通状態
- 赤色のライン : 渋滞
- ▷ 174 ページのチャプター「地図コンテンツの設定」を参照してください。

i インフォメーション

- **ボルシェコネクトサービス** (カーコネクトサービスを含む、セーフティおよびセキュリティサービスを除く) は期間はサービスパッケージにより異なりますが、少なくとも3か月の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーションおよびそれ以降の費用および各サービスの利用についてのインフォメーションは、www.porsche.com/connect またはボルシェ正規販売店から入手できます。
- データ利用可能な外部 SIM カードからボルシェコネクトサービスが利用できます。外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。

ナビゲーション設定の変更



1. **NAV** ボタン▶**OPT** ボタン
2. 以下の希望の項目を選択してください :

- **位置情報** : 現在の位置情報が表示されます。
- **GPS 座標を入力** : GPS 座標を入力し、**OK** をクリックして確定してください。
- **NAV 設定**
 - **ナビゲーション案内音量** : ナビゲーション案内の音量を調節、および案内の ON/OFF を切り替え
 - **ナビゲーションデータベースアップデート** : ナビゲーションデータベースを SD カード、CD/DVD または USB デバイスを使用してアップデートします。
 - ▷ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
 - **燃料警告** : 残可走距離情報の表示 / 非表示
 - **ナビ情報非表示** : ナビゲーション情報の表示 / 非表示

地図設定の変更

- MAP** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ マップ選択
- 以下の希望の項目を選択してください：
 - マップビュー：マップビューを調整する（ノース・アップ、3Dマップ、3D建築物）およびマップレイヤー。
 - ズーム：拡大縮小の適用
 - オートズーム：現在のルート案内におけるズームレベルの自動選択
 - 交差点拡大：現在のルート案内で交差点に接近したときのズームレベルの自動選択
 - 交差点詳細地図：交差点に近づいた場合、より詳細な走行案内を表示
 - 警告：施設に近付いた場合の警告、または燃料警告を設定
 - 燃料警告
 - DSRC/VICS 交通情報
 - 交通イベント通知マップ
 - 合流警告
 - 踏み切り
 - レーン警告
 - スピードカメラ
 - 初期設定
 - 昼/夜表示：日中/夜間表示を切り替えます。
 - フッターを表示：マップビューにタッチスクリーンフッターを表示
 - レイヤー表示：マップビューにレイヤーサイドバーのボタンを表示
 - 到着時刻表示：到着時刻と残りの走行時間を切り替え
 - 経由地までの走行データ：経由地までの時間および距離を表示

全般的な VICS 設定の変更

- NAV** ボタン ▶ **VICS**  ▶ **OPT** ボタン
- または -
- MAP** ボタン ▶ **VICS**  ▶ **OPT** ボタン
- 以下の希望の項目を選択してください：
 - ポップアップ設定 ポップアップの ON/OFF 切り替え、および：
 - ポップアップ表示時間とポップアップメッセージ割込
 - DSRC 運転支援情報
 - ITS スポッター一般
 - DSRC 交通ボイスメッセージ
 - VICS 受信ステータス：
 - 選択した局（東京など）
 - 受信ステータス：例：検索中
 - 受信時間
 - オン/オフライン VICS 状態
 - DSRC 更新機能：ON/OFF を切り替えます。
 - NAV 設定：176 ページのチャプター「ナビゲーション設定の変更」を参照してください。
 - MAP 設定：177 ページのチャプター「地図設定の変更」を参照してください。

ETC (道路通行料自動収受システム) の使用

ETC カードリーダーにカードを挿入 / 取り出し

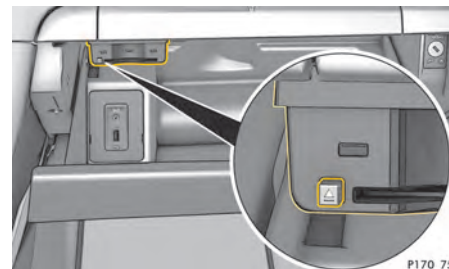






図 142：グローブボックス内の ETC カードリーダー

- 有効な ETC カードを、グローブボックス内のカードリーダーにロックされるまで差し込んでください。
 アイコンはスクリーンの下部に表示されます。
- ETC カードを取り出すには、 ボタンを押してください。
カードの紛失またはカードのエラーを表示する  アイコンは PCM スクリーンの下部に表示されます。

支払履歴の表示

✓ ETC カードが挿入されていること

- ▶ **CAR** ボタン ▶ **料金**  ▶ **料金履歴**
通行料履歴は、このカードを使用して以前に支払われたすべての金額を表示します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

i インフォメーション



車両から離れるときは、カードをカードリーダーから抜き取ることを推奨いたします。

これには**カード取り忘れリマインダー**機能が役に立ちます。

▷ 178 ページのチャプター「一般的な ETC 設定」を参照してください。

一般的な ETC 設定

✓ ETC カードが挿入されていること

1. **CAR** ボタン ▶ **料金**  ▶ **設定**  ▶ **ETC 選択**

2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **通行料通知**：現在支払が必要となっている通行料金を表示します。
- **通行料アナウンス**：通行料の音声アナウンスの ON/OFF を切り替えます。
- **ETC 警告**：現在のルート上にある、支払いが必要な通行料に関する警告を表示 / 非表示します。
- **カード取り忘れリマインダー**：車両を離れるときに、ETC カードをカードリーダーから抜き取ることを促すメッセージの ON/OFF を切り替えます。

バッテリー

▲ 警告

感電、ショート、または火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。車両電気リカルシステムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 工具や電気を通す装身具（指輪、ネックレス、時計バンドなど）が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

▲ 警告

火災または爆発

燃料、エンジンオイル、トランスミッションオイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。火花にも注意してください。

例：ケーブルの接触による。

- ▶ メンテナンス作業は屋外か、屋内の換気が良い場所のみで実施してください。

▲ 注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、多量の冷水で数分間洗い流してください。

知識

短絡、火災、オルタネーター、エレクトリックコントロールユニット、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ バッテリーの着脱は必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

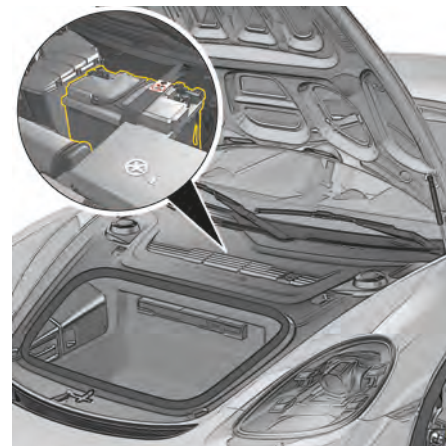


図 143：バッテリー

バッテリーはフロントラゲッジコンパートメント内のプラスチックカバーの下にあります（図 143）。

プラスチックカバーの取り外しに関するインフォメーション：

- ▶ 255 ページのチャプター「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」を参照してください。

- ▶ ジャンパーケーブルによるエンジンの始動時は、黒色のマイナスケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。必ず充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所（マイナス端子）B（図 144）に接続してください。

ジャンパーケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション：

- ▶ 105 ページのチャプター「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま




や

ら

わ


A-Z


警告シンボルへの対応


| 表示 | 意味 |
|--|--|
|  | バッテリーの充電レベルが低いときは、マルチファンクションディスプレイにいずれかのシンボルが表示されます。 |
|  | |
|  | オルタネーターに不具合が発生しています。 |


▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。


バッテリーに記載されている安全に関するシンボルに注意してください。


 説明書をお読みください

 保護眼鏡を着用してください

 お子様を絶対に近づけたりしないでください

 **爆発の危険があります**
バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します：


 火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています
電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。


 **腐食性やけどの危険があります**
バッテリー液には極めて強い腐食性があります。
保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
バッテリーを傾けないでください。傾けると、排気口からバッテリー液〔酸〕がこぼれる可能性があります。

応急処置


バッテリー液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
バッテリー液〔酸〕が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。
万一バッテリー液〔酸〕を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者診察を受けてください。

廃棄

 古いバッテリーは、バッテリー回収場所ですべて廃棄してください。

 絶対に古いバッテリーを家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。

バッテリーのお手入れ

 インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足のときは温度が0℃であっても凍結することがあります。完全に充電されている場合は-40℃まで凍結しません。

| 運転者が何をしたいか？ | その操作方法は？ |
|-------------|---|
| バッテリー上りを避ける | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 短距離走行時には、不要な電気装備のスイッチをOFFにしてください。 ▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、キーを抜いてください。 ▶ エンジン停止時には、PCMを使用しないでください。 |
| バッテリーのお手入れ | <ul style="list-style-type: none"> ▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。 ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。 |
| 冬季走行の準備をする | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 冬になる前に、ポルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。 |
| バッテリーを充電する | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 凍結または損傷したバッテリーを決して充電しないでください。 ▷ 181 ページのチャプター「バッテリーの充電」を参照してください。 |

車両を保管するとき

- ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、車両のドアやリッド類を確実に閉じてください。
- ▶ キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。

i インフォメーション

バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

- ▶ 89 ページのチャプター「警報システム」を参照してください。

i インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約 6 週間ごとの充電または AGM (Absorbent Glass Mat (アブソーバントガラスマット)) バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。ボルシェでは、ボルシェテクノロジーの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

バッテリーの充電

8000_80

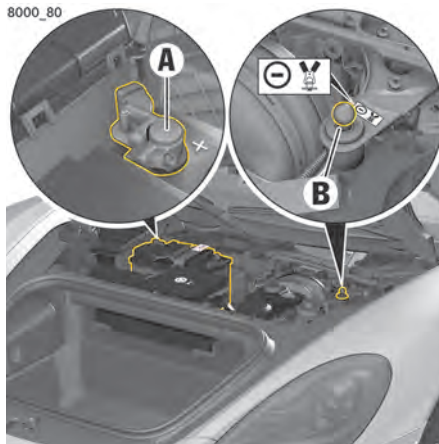


図 144 : バッテリー端子

- A プラス端子 +
B アース箇所 (マイナス端子) -

⚠ 警告

凍結または損傷した
バッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
 - ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。
1. フロントラゲッジコンパートメントリッドを開いてください。

- ▶ 260 ページのチャプター「フロントラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」を参照してください。
2. ラゲッジコンパートメントカバーを取り外してください。
 - ▶ カバーを取り外すには：254 ページのチャプター「タイヤシャーラント (タイヤモビリティシステム - TMS) または工具セットの取り外しと収納」を参照してください。
 3. 充電器の赤色のプラスケーブルをバッテリーのプラス端子 **A** に接続してください。
 4. 充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所 **B** に接続してください。
 5. 充電器のスイッチを ON にしてください。
 6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にして切り離します。
- ▶ 182 ページのチャプター「電源供給遮断後の車両の作動復帰」を参照してください。
 - ▶ 適切な充電器に関する情報は、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格 / 仕様のみでは、そのバッテリーがボルシェの要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリーの取り外しと取り付けはボルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ バッテリーの交換時は、車両が必要とする要件を満たしたAGM (Absorbent Glass Mat : 浸透ガラスマット) バッテリーを必ず使用してください。ボルシェ純正バッテリーの使用を推奨いたします。
- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。
- ▶ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロールユニットでの初期化が必要です。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電源供給遮断後の車両の作動復帰

バッテリーを接続した後、または放電してしまったバッテリーを充電した場合、以下の作業を実施してください。

1. パワーウィンドウの停止位置を保存してください。
 - ▷ 35 ページのチャプター「サイドウィンドウ停止位置の保存」を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) にタイヤを登録してください。
 - ▷ 130 ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」を参照してください。

パークアシスト

ドライバーが車庫入れをする場合にパーキングアシスタントが車両後部と障害物の距離を警告音でお知らせします。

リバースカメラの映像がPCMに表示されます(車両装備によって異なります)。

警告

運転中または駐車中の不注意

パーキングアシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキングアシスタントを使用している場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

距離測定



図 145：距離測定用超音波センサー

フロントおよびリアバンパーの超音波センサー **A** が障害物との距離を測定します(車両装備により異なる)。障害物を検出すると、警告音が断続的に鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキングアシスタントが障害物として検出できません。警告音の音量をマルチファンクションディスプレイで変更できます。

- ▶ 236 ページのチャプター「警告音量およびパーキングアシスタントの調節」を参照してください。

パークアシストの作動

自動作動(約 15 km/h の速度まで)

- ✓ イグニッションが ON になっている。
- ✓ リバース(後退)ギヤに入っている。
-または-
- ✓ 車両の後退が検知されている。

手動での作動

- ▶ **CAR** ボタン▶アシスト▶パークアシストを表示する

パークアシストを無効にする

自動停止

- ✓ リバースギヤから前進ギヤにシフトする(障害物がない場合、約 2 分後が検出されている)。
-または-
- ✓ PDK 装備車：セレクターレバーが **P** の位置にある。

手動での停止



図 146：オーバーヘッドコンソールのボタン

- ▶ オーバーヘッドコンソールのボタン **A** を押してください。
ボタンのインジケーターライトが点灯します。
PCM には何も表示されません。PCM の表示を手動で再度 ON にすることはできません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

例外

構造上、パーキングアシスタントは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体（例：粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など）
- 音波を反射する物体（例：ガラス面や平らな塗装面など）
- 非常に細い物体〔細い支柱など〕

その他、他車のエアブレーキ、掃除機、エアジャッキなど、超音波を発する機器の近くでは障害物の検出が妨げられる恐れがあります。

メンテナンス上の諸注意

- ▶ センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。
- ▶ センサーを擦ると故障の原因になります。
- ▶ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。
- ▶ ナンバープレートホルダーの改造、またはナンバープレートの移設、曲がり、取り付け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。

リバースカメラ

リバースカメラの作動

自動

- ✓ リバースギヤに入れてあり、イグニッションがONになっている。
- または-
- ✓ 車両の後退が検知されている

手動

- ▶ **CAR** ボタン▶アシスト▶パークアシストを表示する

リバースカメラの停止

自動

- ✓ リバースから前進にギヤをシフトする〔故障物が検出されない場合は約2分後〕
- または-
- ✓ PDK装備車：セレクターレバーがPの位置にある。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や


ら

わ

A-Z

パンク

警告シンボルへの対応

のシンボルが警告メッセージとともにマルチファンクションディスプレイに表示された場合は、タイヤ空気圧モニタリングシステムが著しい空気圧低下を検出しています。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。
- ▶ 70ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

車両を安全な場所に停車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキをセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザードライトを点滅させてください。
3. エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
4. マニュアルトランスミッション装備車：ギヤレバーを1速にしてください。
-または-
PDK装備車：セレクターレバーをP位置に入れてください。
5. フロントホイールをまっすぐにします。
6. ステアリングのロックおよびエンジン始動の防止：
キーを抜き取ってください。
7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。このとき、周囲の交通状況に注意してください。
8. 適切な距離に停止表示板を設置します。
9. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

損傷したタイヤの補修

警告

シーラントでふさいだだけのタイヤは、事故の原因となる可能性があります

タイヤシーラントでふさがれた損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると圧力を失ったり、パーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤシーラントは4 mm以下の切り傷や刺し傷のみに使用してください。
- ▶ リムが損傷している場合、空気圧が低い状態のタイヤや空気の抜けたタイヤで走行していた場合、絶対にタイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が-20℃未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h以上で走行しないでください。
- ▶ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が1.5 bar (22 psi) 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ シーラントでふさいだタイヤは修理工場ですぐに交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤを交換します。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

パンクした場合、タイヤシーラントセット (Tire Mobility System - TMS) を使用して、タイヤの傷を一時的にふさぐことができます。損傷したタイヤを適切に補修するには以下が必要です。

- **タイヤシーラントセット (Tire Mobility System - TMS)** は、フロントラゲッジコンパートメント内に収納されており、以下で構成されています。
 - 充填ボトル
 - 充填ホース
 - バルブ回し
 - 交換バルブインサート
 - 許容最高速度表示用ステッカー
 - 取扱説明書
- ▶ 254ページのチャプター「タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム - TMS) または工具セットの取り外しと収納」を参照してください。
- **コンプレッサー**はフロントラゲッジコンパートメント内にあります。
 - ▶ 255ページのチャプター「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

タイヤシーラントの充填 (Tire Mobility System - TMS)



警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用したりしないでください。
- ▶ タイヤシーラントは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。



警告

タイヤ空気圧の低下

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

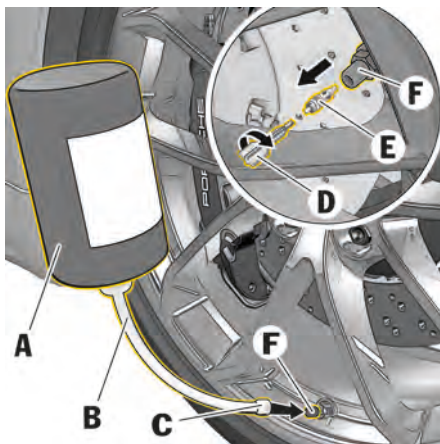


図 147: タイヤシーラントの充填 (Tire Mobility System - TMS)

- A 充填ボトル
- B 充填ホース
- C 充填ホース プラグ
- D バルブ回し
- E バルブインサート
- F タイヤバルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
 2. フロントラゲッジコンパートメントからタイヤシーラントおよび同封のステッカーを取り出してください。タイヤシーラントはトランクルーム内の右側ボックスに収納されています。コンプレッサーはラゲッジコンパートメントのカバーの下にあります。
- ▶ 255 ページのチャプター「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」を参照してください。

- ▶ 254 ページのチャプター「タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム - TMS) または工具セットの取り外しと収納」を参照してください。

3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤシーラントの充填 (Tire Mobility System - TMS)

- ▶ タイヤシーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。
1. 充填ボトル **A** を振ってください。
 2. 充填ホース **B** を充填ボトルに取り付けてください。充填ボトルが開いています。
 3. タイヤバルブ **F** からバルブキャップを取り外してください。
 4. バルブ回し **D** を使用して、バルブインサート **E** をタイヤバルブ **F** から取り外してください。交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
 5. 充填ホース **B** のプラグ **C** を取り外してください。
 6. 充填ホースをタイヤバルブに押し付けてください。
 7. 充填ボトルをタイヤバルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
 8. 充填ホースをタイヤバルブから引き抜いてください。
 9. 入手可能な場合は、バルブ回し **D** を使用して、交換用バルブインサートまたはバルブインサート **E** に確実にねじ込んでください。

タイヤ空気の充填

- ▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。
- ▷ 135 ページのチャプター「タイヤ空気の充填」を参照してください。
- 1. コンプレッサーを車両のプラグソケットに接続し、圧力が 2.5 bar (36 psi) 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
- 2. バルブキャップをタイヤバルブ F に取り付けてください。

空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。
タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。
- ▷ 274 ページのチャプター「タイヤ空気圧」を参照してください。

タイヤ交換

- ▷ 136 ページのチャプター「タイヤとホイールの交換」を参照してください。

ホイールを交換した後は、マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

- ▷ 130 ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」を参照してください。

コラプシブルスペアホイールの使用

- ✓ コラプシブルスペアホイール装備車
コラプシブルスペアホイールは、バッグに収納された状態で助手席後部に固定されています。

警告

コラプシブルスペアホイールの不十分な固定

コラプシブルスペアホイールが車内でしっかりと固定されていない場合、ブレーキや車線変更、または衝突の際に、コラプシブルスペアホイールがホルダーから外れて飛び出し、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 走行前および長距離走行中は定期的にコラプシブルスペアホイールがしっかりと固定されているか点検し、必要に応じて 2 本のテンションストラップでしっかりと締め付けてください。

警告

車両のハンドリング特性的の変化

コラプシブルスペアホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

- ▶ コラプシブルスペアホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。安全のため、トレッドの溝にスリップサイン [深さ 1.6 mm] が現れる前にタイヤを交換してください。
- ▶ ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) システムを絶対に解除しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。コラプシブルスペアホイールを装着すると車両の走行挙動が変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも、**80 km/h** の最高速度を厳守してください。
- ▶ 他車用のコラプシブルスペアホイールを使用しないでください。
- ▶ この車両用のコラプシブルスペアホイールを他車で使用しないでください。
- ▶ 同時に複数のコラプシブルスペアホイールを使用しないでください。

コラプシブルスペアホイールの取り外し

1. 助手席シートバックレストを倒してください。
 - ▷ 100 ページのチャプター「バックレストを倒す」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

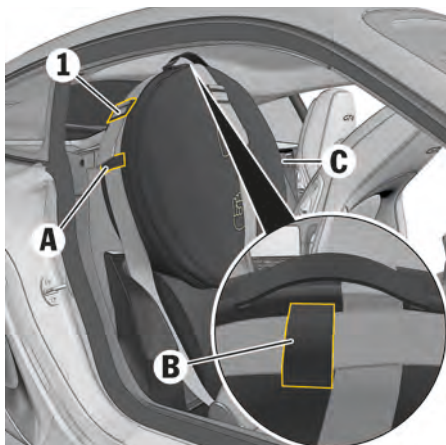


図 148：テンションストラップ1の解除

2. テンションストラップ1を解除し、タブA、B、Cから引き出します。

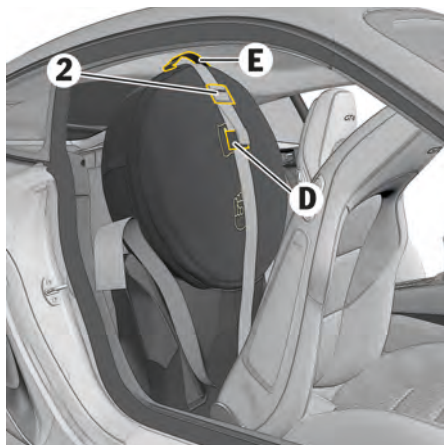


図 149：テンションストラップ2の解除

3. テンションストラップ2を解除し、タブDとバッグハンドルEから引き出します。
4. コラapsibleスペアホイールが収納されたバッグを取り外します。
5. コラapsibleスペアホイールをバッグから取り外します。

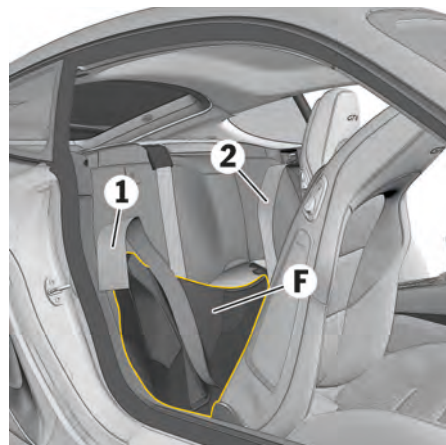


図 150：718 Cayman GT4 の例：フォームパーツ、テンションストラップ、スプリングフックの取り外し

6. フォームパーツFを車両から取り外します。
7. テンションストラップ2のファスナーをラゲッジホルダー下部 (718 Cayman GT4) またはロールオーバーバー (718 Spyder) から引き出し、テンションストラップを車両から取り外します。
8. テンションストラップ1をスプリングフックから引き出し、車両から取り外します。
9. ISOFIX アタッチメントブラケットからスプリングフックを外し、車両から取り外します。

コラapsibleスペアホイールの使用

1. 車両をジャッキアップした状態で、空気の入っていないコラapsibleスペアホイールを車両に取り付けてください。
 - ▷ 139 ページのチャプター「ホイール交換」を参照してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

2. タイヤに空気を入れてください。
 - ▶ 135 ページのチャプター「タイヤ空気の充填」を参照してください。

コラプシブル スペア ホイールの使用後

- ▶ コラプシブル スペア ホイールの空気を抜きます。そのため、コラプシブル スペア ホイールのバルブ キャップをゆるめます。

コラプシブル スペア ホイールが元の形状に戻るまでは、空気を抜いてから数時間かかります。コラプシブル スペア ホイールは、元の形状に戻してからバッグに収納し、車内に搭載してください。

コラプシブル スペア ホイールの収納

1. 助手席シートバックレストを倒してください。
 - ▶ 100 ページのチャプター「バックレストを倒す」を参照してください。

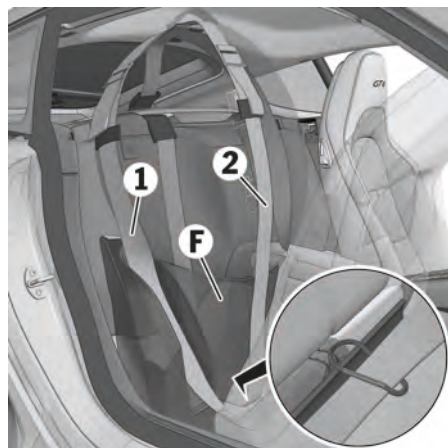


図 151 : 718 Cayman GT4 の例 : スプリング フック、ベルト ストラップ、フォーム パーツの取り付け

2. スプリングフックを ISOFIX アタッチメントブラケットに取り付けます。
3. ベルトストラップ **1** をスプリングフックに通します。

i インフォメーション

718 Spyder : ウィンド デフレクターを取り外す必要があります。

4. ベルトストラップ **2** をシートに対して中央に配置し (図 151)、ファスナーをラゲッジホルダー下部 (718 Cayman GT4) またはロールオーバーバー (718 Spyder) に通し入れます。
5. フォーム パーツ **F** をベルトストラップ **2** に位置決めします。

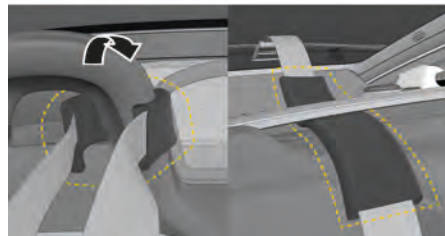


図 152 : 摩耗防止プロテクターの配置

6. ベルトストラップ **2** の摩耗防止プロテクターをマークした箇所 (図 152) 上に配置します。

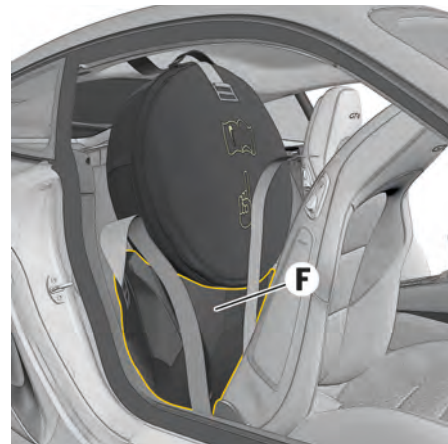


図 153 : コラプシブル スペア ホイールの配置

7. コラプシブル スペア ホイールを収納したバッグをフォーム パーツ **F** 上に配置します。バッグ ハンドルを頂部に配置し、バッグの文字を進行方向側に向けます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

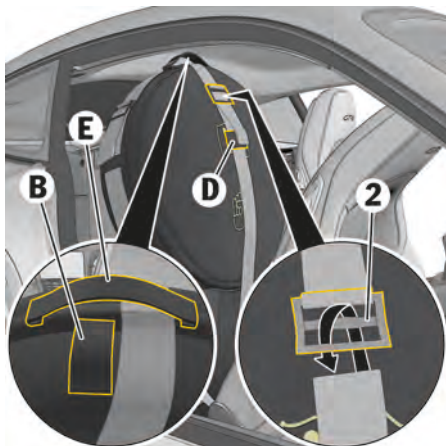


図 154 : ベルトストラップ 2 の締め付け

i インフォメーション

- ▶ ベルトストラップを取り付ける際、ストラップがねじれていないことを確認してください。
8. ベルトストラップ 2 のファスナーをバッグハンドル E に後部から通し、タブ B が隠れないように配置します。
 9. ベルトストラップ 2 のもう一方の端部を後部からタブ D に通し、ファスナーの中に入れて、締め付けます。

知識

シートバックレストを損傷する恐れがあります。

- ▶ 締め付けた後、ベルトストラップ 2 のファスナーがタブ D の上部に配置されていることを確認してください。

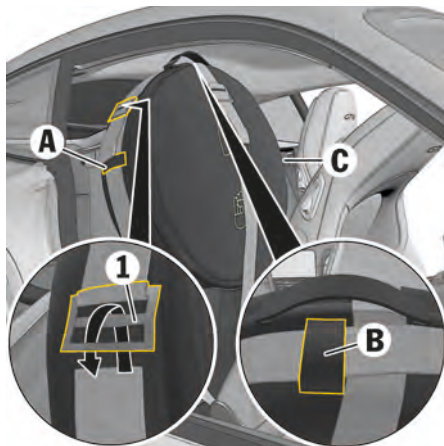


図 155 : ベルトストラップ 1 の締め付け

10. ベルトストラップ 1 のファスナーをタブ C と B に通します。
11. ベルトストラップ 1 のもう一方の端部を後部からタブ A に通し、ファスナーの中に入れて、締め付けます。
締め付けた後、ベルトストラップ 1 のファスナーがタブ A と B の間に配置されていることを確認してください。
12. シートを最低位置に調節します。
13. シートがフォーム パーツ F とコラプシブルスベアホイールに軽く接触するように、シートの前後位置を調節します。
14. シートバックレストをカチッと合まるまで後方へ倒してください。
▶ 99 ページのチャプター「シート」を参照してください。

知識

シートを損傷する恐れがあります。

- ▶ シートに過剰な圧力がかからないように位置を調節してください。

コラプシブルスベアホイールに不具合が発生した場合は：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

発進アシスタント

発進アシスタントは、坂道発進時のドライバーの運転操作を支援するシステムです。この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

発進アシスタントを使用した発進操作

- ✓ エンジンが作動している。
- 1. 坂道では、フットブレーキをかけて停車してください。
- 2. マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルをいっぱい踏み込んでください。
- 3. マニュアルトランスミッション装備車：坂道を登るために適切なギヤに変速します（1速またはリバースギヤ）。
PDK装備車：
上り坂走行の場合はセクターレバーポジション **D** または **R** を選択してください。またはセクターレバーポジション **M** で1速にシフトしてください。
- 4. フットブレーキを放してください。
このとき発進アシスタントが作動して、車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防ぎ、発進を容易にします。
- 5. 通常の運転操作で発進してください。

i インフォメーション

- 車両がエレクトリックパーキングブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。
エレクトリックパーキングブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキングブレーキを自動解除します。
 - ドライバーが運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に作動します。
- ▷ 199ページのチャプター「エレクトリックパーキングブレーキ」を参照してください。

i インフォメーション

- 次のような場合は、発進アシスタントは機能しません。
- クラッチを踏んでいないとき〔マニュアルトランスミッション装備車〕
 - セクターレバーが **N** 位置のとき（PDK装備車）
 - 車両が停止していないとき
 - エンジンが作動していないとき
 - 坂道の勾配率が5%以下のとき
 - ブレーキペダルの踏力が弱すぎるとき

▲ 警告

車両コントロールの喪失

発進アシスタントが装備されていても、車両の物理的境界を超えて車両をコントロールすることはできません。上り坂での発進時は、発進アシスタントを過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。

発進アシスタントは、滑りやすい路面〔凍結路やぬかるみなど〕で停止および発進するときには役に立たないことがあります。この場合、発進時に車両が滑り出す恐れがあります。

▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフットブレーキを使用してください。

発進アシスタントが機能していない場合、坂道での発進時に運転操作を支援しません。

▶ フットブレーキをかけて停車してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ヒューズ

警告

短絡

車両電気システムへの作業が原因で、ショートする恐れがあります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

警告

不適切な処置および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な処置、または不適切なアクセサリの使用は、電気/電子回路に損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認した電装品（アクセサリ）のみを使用してください。認定アクセサリに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

リレー

リレーの点検と交換はポルシェ正規販売店で行ってください。

ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズの点検および交換



図 156：左側足元のヒューズボックスにあるエレメント

- 1 スペアヒューズ
- 2 プラスチック製ヒューズリムーバー

短絡や過負荷による電気システムの損傷を防ぐために、各回路はヒューズで保護されています。ヒューズボックスは運転席と助手席の足元側面にあります。ヒューズリムーバーおよびスペアヒューズは上部カバーの下、両方のヒューズボックス内にあります。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. 穴に指を入れて、プラスチックカバーを外してください。
3. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズリムーバー2を使用して、スロットからヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。

4. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。スペアヒューズ1は左側のヒューズボックスのプラスチック製ヒューズリムーバー2の隣にあります。

i

インフォメーション

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

運転席側のヒューズ



図 157：運転席側足元のヒューズキャリア

| | | | | | | | |
|------------|---|-------------------------|---|---------------|---|--|--|
| A 列 | | 4 インテリアライト | | 15A ■ | | C 列 | |
| 1 | 左下: エアコン ブLOWER (右ハンドル車のみ) | 40A ■ | ホール センサー オリエンテーション ライト リヤ ウィンドウ ヒーター リレー セントラル ロッキング LED ドア パネル LED アンビエント ライト ライセンス ライト リヤ フォグ ライト、左 ハイマウント ブレーキ ライト ブレーキ ライト、右 リバース ライト、右 テール ライト、右 デイトタイム ドライビング ライト、右 | 10A ■ | 1 | センター コンソール ボタン パネル ゲートウェイ コントロール ユニットの 故障診断用ソケット イグニッション ロック ステアリング コラム ロック ライトスイッチ ERA-GLONASS コントロール ユニットの (左ハンドル車、ロシアのみ) 718 Cayman GT4: ラグジュアリー コンパートメント ライト | 10A ■ |
| 2 | 左上: PSM コントロール ユニットの | 40A ■ | | | 2 | フットウェル ライト イグニッション ロックの取り外し防止ロック 方向指示器、右フロントおよびリヤ | 40A ■ |
| 3 | 右下: シートおよび運転席シートのコントロールユニットの調整 | 25A ■ | | | | ハザード ライト ボタン LED イグニッション ロック ライト 方向指示灯 (サイド)、右フロントおよび左フロント ハイビーム ヘッドライト、右 ロービーム ヘッドライト、右 車幅灯、左フロント | |
| 4 | 右上: 718 スパイダー コンバチブル トップ | 40A ■ | | | | 3 未使用 | |
| B 列 | | 5 フューエル・ポンプ・システム | | 20A ■ | | 4 ホーン | |
| 1 | ヘッドライトの右側 / 左側通行の変更 フロント リッド ライト フロント リッド アクチュエーター ハイビーム ヘッドライト、左 ロービーム ヘッドライト、左 サイド マーカー ライト、右 フロント 方向指示器、左リヤおよび左フロント | 40A ■ | | | | | 15A ■ |
| 2 | エキゾースト フラップ コントロール ハイマウント ブレーキ ライト、リヤ スポイラー リヤ リッド アクチュエーター リヤ フォグ ライト、右 ブレーキ ライト、左 リバース ライト、左 テール ライト、左 デイトタイム ドライビング ライト、左 | 15A ■ | | | | 5 | フィラー フラップ リヤ スポイラー コントロール (展開 / 格納) 718 スパイダー コンバチブル トップ ロック クロー징 エイド 718 スパイダー コンバチブル トップ コンパートメント キャッチの開閉 |
| 3 | アラーム ホーン | 15A ■ | | | | | 30A ■ |
| | | | 6 フィラー フラップ ロック | 10A ■ | | | |
| | | | ステアリング コラム ロック 端子 30 ウォッシュャー ポンプ、フロントおよびリヤ | | | | |
| | | | 7 未使用 | | | | |
| | | | 8 エアコン コントロール ユニットの | 7.5A ■ | | | |
| | | | 9 未使用 | | | | |
| | | | 10 ステアリング コラム | 15A ■ | | | |
| | | | ストップウォッチ | | | | |

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

| | | | |
|---|----|--|------|
| あ | 6 | パワーウィンドウコントロールユニット、左 ドアコントロールユニット、左 | 25 A |
| か | 7 | ヘッドライトクリーニングシステム | 30 A |
| さ | 8 | PSMコントロールユニット | 25 A |
| | 9 | アラームサイレン | 5 A |
| | 10 | 室内モニタリングシステムセンサー | 2 A |

D 列

| | | | |
|-----|----|---|------|
| た | 1 | 未使用 | |
| | 2 | 未使用 | |
| な | 3 | 左ヘッドライト | 15 A |
| は | 4 | フロントカメラコントロールユニット PDCコントロールユニット ゲートウェイ/故障診断用ソケット エアクオリティセンサー ヘッドライトコントロールユニット | 5 A |
| ま | 5 | PSMコントロールユニット | 5 A |
| や | 6 | ステアリングコラムスイッチモジュール 電動ステアリングギヤ 冷媒圧力センサー ラジエーターファンリレー | 5 A |
| ら | 7 | セレクターレバーコントロールユニット クラッチスイッチセンサー | 5 A |
| わ | 8 | 右ヘッドライト | 15 A |
| A-Z | 9 | ルームミラー | 5 A |
| | 10 | 未使用 | |

助手席側のヒューズ

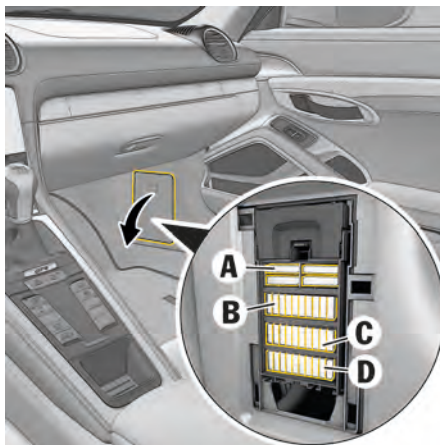


図 158：助手席側足元のヒューズキャリア

A 列

| | | |
|---|--|------|
| 1 | 左下：DC/DC コンバーター PCM | 40 A |
| 2 | 未使用 | |
| 3 | 右下：外気ブLOWER モーターおよびファンコントロール（左ハンドル車のみ） | 40 A |
| 4 | 右上：シートおよび助手席シートコントロールユニットの調整 | 25 A |

B 列

| | | |
|----|--|-------|
| 1 | レインセンサー | 5 A |
| 2 | エアコン/シートヒーターコントロールユニット | 25 A |
| 3 | PCM コンポーネント： （リバースカメラ、アンテナアンブ、コントロールユニットディスプレイ、USB ハブ、カップリングアンテナ、カードリーダー） | 5 A |
| 4 | 外部アンプ付きセントラルコンピューター | 7.5 A |
| | 内部アンプ付きセントラルコンピューター | 20 A |
| 5 | TPM コントロールユニット エアコンコントロールユニット | 5 A |
| 6 | サウンドシステムアンプ | 40 A |
| 7 | Burmester® サブウーファーブースター | 40 A |
| 8 | 未使用 | |
| 9 | インストールメントパネル | 10 A |
| 10 | 未使用 | |

C 列

| | | |
|---|--|------|
| 1 | ERA-GLONASS TSX808 診断用ソケット（左ハンドル車、ロシアのみ） | 5 A |
| 2 | エレクトリックパーキングブレーキスイッチ | 5 A |
| 3 | オーバーヘッドコンソール | 5 A |
| 4 | PDK コントロールユニット | 25 A |
| 5 | 未使用 | |
| 6 | フロントワイパーモーター | 30 A |

7 パワーウィンドウコントロールユニット、右
右ドアコントロールユニット 25 A

8 ステアリングコラム調整 25 A

9 未使用

10 未使用

D列

1 エアバッグコントロールユニット
シートセンサーコントロールユニット 5 A

2 PASMコントロールユニット 5 A

3 718 Cayman GT4: ラップトリガー 7.5 A

4 未使用

5 未使用

6 未使用

7 始動関連の電装品
DME、PDK、コントロールユニット
リヤBCM 5 A

8 未使用

9 センターコンソールソケット
シガーライター 20 A

10 助手席足元ソケット 20 A

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

フロントワイパー

概要

この概要説明は「フロントワイパー」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

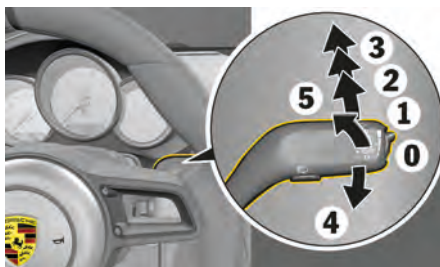


図 159：フロントウィンドウワイパー レバー



図 160：レインセンサー/間欠作動感度のスイッチ (A)

| 運転者が何をしたいか？ | その操作方法は？ | ページ |
|-------------------------------|---|-----|
| フロントワイパー オート作動 (レインセンサー/間欠作動) | 操作レバーを 1 の位置にしてください。 | 198 |
| レインセンサー/間欠作動感度を設定する | 操作レバー右部のスイッチ A を上 (作動回数が増える) または下 (作動回数が減る) 方向に押してください。 | 198 |
| フロントワイパー作動 | 低速：操作レバーを 2 の位置にしてください。 高速：操作レバーを 3 の位置にしてください。 ワンタッチ：操作レバーを 4 の位置に押してください (4 の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。 | 197 |
| ワイパー & ウォッシャー作動 | 操作レバーをステアリングホイール方向 5 に引いて、保持してください。 | 197 |
| フロントウィンドウワイパーを格納位置から出す | イグニッションをOFFにして、ワイパーレバーを1回下方向 4 に押してください。フロントワイパーが上方に約45度移動します。 | 198 |

警告

ワイパーの不意の作動

フロントウィンドウ清掃時に怪我をする恐れがあります。レインセンサーモードでは、フロントウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイブ作動を行います。

- ▶ フロントウィンドウワイパーをOFFにしてからフロントウィンドウを清掃してください。

知識

フロントウィンドウおよびワイパーシステムが損傷する恐れがあります。

- ▶ フロントウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパーブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ 凍結時はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ (間欠またはレインセンサー機能により)不意に作動することのないよう、フロントワイパーをOFFにしてください。
- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーアームをしっかりと保持してください。
- ▶ ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーブレードの長さが異なるので注意してください。

フロントワイパーの操作

図 161: フロントウィンドウワイパーレバー

0 フロントウィンドウワイパーOFF

フロントワイパーまたはイグニッションをOFFにすると、ワイパーアームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパーブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 レインセンサー/間欠作動

フロントウィンドウワイパー

- ▶ ワイパーレバーを1段目の位置まで上方向に押してください。

2 ワイパー低速作動

- ▶ ワイパーレバーを2段目の位置まで上方向に押してください。

3 ワイパー高速作動

- ▶ ワイパーレバーを3段目の位置まで上方向に押してください。

4 フロントウィンドウワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパーレバーを下方向に押してください。フロントウィンドウワイパーが1回作動します。

5 フロントウィンドウワイパー/ウォッシャーシステム

- ▶ ワイパーレバーをステアリングホイールに向かって引きます。レバーを引いている間、ウォッシャーシステムとワイパーが作動します。ワイパーレバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。なお、フロントウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライトウォッシャーシステムが自動的に作動します。

i インフォメーション

- ▶ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- ▶ 頑固な汚れ (昆虫の死骸など) は定期的に清掃してください。

フロントウィンドウワイパーブレードを完全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ 266ページのチャプター「ワイパーブレード」を参照してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション:

- ▶ 110ページのチャプター「車両のお手入れ」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

アイス/サンシールドの装着とワイパーブレードの交換

- ▶ イグニッションをOFFにして、ワイパーレバーを1回下方向**4**に押してください。フロントワイパーが上方に約45°移動します。

ワイパー作動間隔の調整



図 162：レインセンサー/間欠作動感度の切り替えスイッチ

レインセンサー非装備車では、フロントワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます。

ワイパーの作動間隔を短くする

- ▶ スイッチ**A**を上方向に押してください。フロントウィンドウワイパーが1回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

- ▶ スイッチ**A**を下方向に押してください。

レインセンサー作動の調節

レインセンサー装備車の場合、フロントウィンドウに付着する水滴の量を検知します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロントワイパーをONにしているときに速度が約4 km/h以下になると、レインセンサーが自動的に作動します。

速度が約8 km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

i インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパーレバーが既に**1**の位置にあった場合、速度が4 km/hを超えるまでレインセンサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパーレバーが**2**または**3**の位置にある場合、フロントワイパーはワイパーレバーを操作しなければ作動しません。

i インフォメーション

ラゲッジコンパートメントリッドを開くとワイパーが停止します。

- ▶ 再度ワイパーをONにするには、フロントワイパー操作レバーを上方向/下方向に動かしてください。

レインセンサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます：

感度を高くする

- ▶ スイッチ**A**を上方向に押してください。フロントウィンドウワイパーが1回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

感度を低くする

- ▶ スイッチ**A**を下方向に押してください。

ヘッドライトウォッシャーシステムの操作

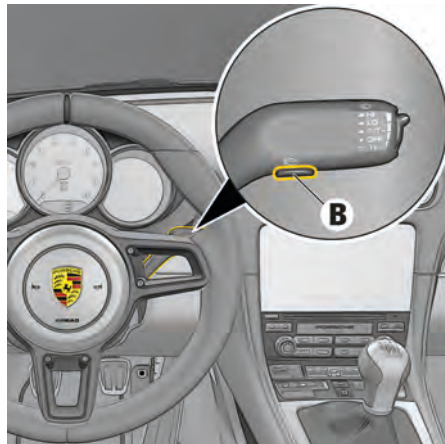


図 163：ヘッドライトウォッシャーシステムのボタン

- ✓ ロー/ハイビームが作動している
- ▶ ワイパーレバーの下側のボタン**B**を押してください。

i インフォメーション

なお、フロントウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライトウォッシャーシステムが自動的に作動します。ロービームを消灯すると、フロントウィンドウウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。



図 164 : エレクトリック パーキング ブレーキスイッチ

パーキング ブレーキを作動させる

- ▶ (P) スイッチを押してください。
- (P) スイッチのインジケーターライトとインストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) が点灯します。

警告灯およびインジケーターライトに関するインフォメーション:

- ▶ 28 ページのチャプター「インストルメントパネル」を参照してください。

パーキング ブレーキを手動で解除する

- ✓ イグニッションがONになっている。
 - 1. ブレーキペダルを踏んでください。
 - 2. (P) スイッチを引いてください。
- インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) が消灯します。

パーキング ブレーキの自動解除

パーキング ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。

- ✓ エンジンが作動している。
 - ✓ 運転席ドアを閉じている。
 - ✓ 運転席シートベルトを着用している。
- エレクトリック パーキング ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック パーキング ブレーキが自動解除されません。

マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) および (P) スイッチのインジケーターライトが点滅します。

- ▶ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

パーキング ブレーキの自動ロック

- ✓ PDK 装備車
- セレクターレバーが **D**、**R** または **M** の位置にあり、車両が停止状態で、運転席ドアが開いている場合、エレクトリック パーキング ブレーキがロックされます。
- (P) スイッチのインジケーターライトとインストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) が点灯します。

警告灯およびインジケーターライトに関するインフォメーション:

- ▶ 28 ページのチャプター「インストルメントパネル」を参照してください。

i インフォメーション

パーキング ブレーキの自動ロックは手動で無効にすることができます。

- ▶ (P) スイッチを引いてください。
- パーキング ブレーキが解除された状態のままになります。

エレクトリック パーキング ブレーキの締結を無効にした場合、この機能はドアを再度開いた場合にのみ利用できます。

緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック パーキング ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ (P) スイッチを押し続けてください。
- インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) および (P) スイッチのインジケーターライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには:

- ▶ スイッチを放してください。(P)

▲ 警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にもみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

警告シンボルへの対応

停車中にエレクトリックパーキングブレーキが完全にかからない場合、スイッチ (P) のインジケータライトおよびインストルメントパネルのブレーキ警告灯 (P) が点滅します。

- ▶ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

フットブレーキ

警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルが不意に作動したり、ブレーキペダルが妨げられたりする可能性があります。これにより、予期しない加速が起きたり、ブレーキ操作が難しくなったりする場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などの際に、フロアマットを取り外した後、再び正しく固定されていることを確認してください。

警告

ブレーキブースターが作動しない

ブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 67 ページのチャプター「けん引およびけん引によるエンジンの始動」を参照してください。

警告

ブレーキディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

警告

制動力の低下

凍結防止剤 (塩分) が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

車両を長期にわたって駐車したまま放置した場合、ブレーキディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキに「ジャダー」が発生します。

- ▶ ブレーキディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください (ボルシェセラミックコンポジットブレーキ装備車を除く)。
- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店でブレーキシステムを点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジンブレーキを利用してください。急な下り坂でエンジンブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキペダルを踏んでください。ブレーキペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルの点検に関するインフォメーション:

- ▷ 202 ページのチャプター「ブレーキフルード」を参照してください。

ブレーキパッドおよびブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生する場合があります。新品のブレーキ部品に必要な慣らし運転後にもブレーキから異音が発生する場合があります。

警告シンボルへの対応

ブレーキパッドが摩耗限度に達すると、警告シンボルが表示されます。

- ▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。
- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB)

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生する場合があります。

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離に依存するとは言えません。

ボルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ


A-Z

ブレーキフルード



図 165：ブレーキ液タンク

警告シンボルへの対応

ブレーキフルードが許容範囲を下回ると、インストルメントパネルにシンボルが  表示され、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキペダルの踏み代が過大になるほか、警告灯が点灯してブレーキシステムの故障を示す場合もあります。

- ▶ 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

ブレーキフルードレベルの点検

- ▶ ブレーキフルードタンクのブレーキフルード量を読み取ってください（図 165）。フルード液量は常に **MIN** マークと **MAX** マークの間に維持されなければなりません。
- ▶ ブレーキフルード量が MIN マークより下にある場合は、ブレーキフルードを補充してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▷ 14 ページのチャプター「サーキット走行」を参照してください。

ヘッドライト

知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドライトにカバー（ストーンガードやフィルムなど）を装着しないでください。

i インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

- ▶ 通気を確保するため、ヘッドライトとボディの間にカバーをしないでください。

ヘッドライト調整

- ▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場のみで実施してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヘッドライトの照射方向を右側/左側通行用に切り替える (ダイナミックコーナリング ライト装備車)

- ✓ ポルシェダイナミックライトシステム (PDLS) またはポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS プラス) 装備車両

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトをマルチファンクションディスプレイで切り替える必要があります。これによりロービームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

- ▶ 235 ページのチャプター「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」を参照してください。

i インフォメーション

変更後は、イグニッションを ON にするたびにマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 帰国したときは、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

i インフォメーション

ダイナミックコーナリングライト (PDLS/PDLS Plus) 非装備車のバイキセノンヘッドライトは左側または右側通行用に切り替えできません。このタイプのヘッドライトの配光は両方の通行帯で共通で、対向車の眩惑を防止します。

発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換

方向指示灯、バイキセノンヘッドライトのガスディスチャージヘッドライト、テールライト、ライセンスライト、およびインテリアライトなど、様々なライトに発光ダイオード (LED) とロングライフバルブが使用されています。

LED は個別に交換できません。

ロングライフバルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボイスコントロール

警告

事故を起こす恐れがあります

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。これにより、特定の状況で電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要したりする恐れがあります。

- ▶ PCM 経由で緊急電話にダイヤルしてください。

PHONE、**TUNER**、**NAV** および **MEDIA** のメインメニューの各種機能は、

ボイスコマンドで呼び出すことができます。ボイスコントロールは話者に適応し、最初の会話から登録を開始します。

- ▶ ボイスコマンドの例は（207 ページ）を参照してください。

i インフォメーション

- サウンドおよび車両のメインメニューは、ボイスコントロールでは操作できません。
- ボイスコントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

i インフォメーション

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 213 ページのチャプター「ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」を参照してください。

ボイスコントロールの呼び出し

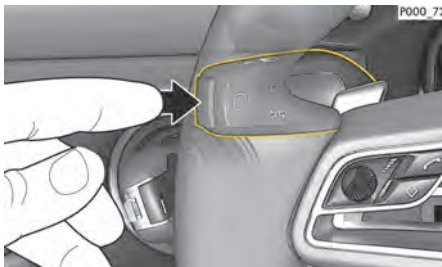





図 166：レバーのボイスコントロール ボタン

音声操作の作動

- ✓ イグニッションが ON になっている。
 - ✓ 通話中でない
 - ✓ パーキングアシストを使用していない
1. 操作レバーの  ボタンを押してください (図 166)。
起動音が鳴り、ボイスコントロールのアイコンが PCM に表示されます。
 2. ボイスコマンドを発話してください。

ボイスコントロールの停止

- ✓ ボイスコントロールが作動している
- ▶ 操作レバーの  ボタンを押してください (図 166)。
終了音が鳴ります。
- または -
 - ▶ ボイスコマンドでキャンセルまたは終了と発話してください。
- または -
 - ▶ PCM の任意のボタンを押してください。

ボイスコマンド ボタンのその他の機能
操作レバーの  ボタン (図 166) は、アプリケーションに応じて様々な機能を開始することができます。

- 短く押すと、PCM のボイスコントロールが有効になります。
- 長押しすると、Siri ボイスコントロール システムが起動します。
 - ▶ 268 ページのチャプター「Siri 音声認識機能を使用して Apple CarPlay を操作する」を参照してください。
- ボイスコントロールの現在のアナウンスを終了します。
- アナウンスを次のパートにスキップします。
- 現在の会話を中止します。


i インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイスコントロールが有効のとき、リスト項目をボイスコントロール、ロータリー プッシュ ボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
- 発話されたボイスコマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイスコントロールはもう一度お願いしますと応答するので、再度ボイスコマンドを繰り返してください。2 回目以降は PCM が操作を支援します。
- 選択したメニュー言語 (**NAV** ボタン ▶ **目的地入力** のメニューで選択) によっては、目的地入力時に目的地の綴りを発話する必要があります。

ボイスコントロールによる対話を円滑に行うために、以下の点に注意してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
- 高速走行時は少し大きな声で発話してください。
- 長い間をおかずにもう一度ボイスコマンドを強調してください。
- ボイスコントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
- ドア、ウィンドウ、スライディングルーフを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリーマイクはドライバー側に向いているため、ドライバーのみがボイスコントロールを操作してください。



ボイスコントロールの調整

1. **CAR** ボタン▶設定 ▶システム▶ボイスコントロール
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **ショートダイアログ**: この機能が有効のときは、音声応答に短いアナウンスが含まれます。
- **ヘルプテキスト**: この機能が有効のとき、発話可能なコマンドが表示されます。


ヘルプの呼び出し

文字による入力支援の呼び出し

1. 操作レバーの  ボタンを押してください (図 166)。コマンド例のリストが PCM に表示されます。
2. PCM のフッターの  アイコンを選択してください。

3. 各メインメニューでコマンド例を表示させるには、PCM の該当するメインメニューのアイコンまたはコマンド例を選択してください。

インフォメーション

ヘルプテキスト機能が無効になっている場合は、ヘッドラインの  アイコンで視覚的な入力支援を表示することができます。

- ▶ 205 ページのチャプター「ボイスコントロールの調整」を参照してください。

音声による入力支援の呼び出し

- ✓ ボイスコントロールが作動している
 - ▶ ヘルプと発話してください。
 - または -
 - ボイスコントロールのヘルプと発話してください。
 - または -
 - 例えば以下のように話しかけてください。
チューナーのヘルプ、メディアのヘルプと発話してください。
- 各メインメニューで入力支援が得られます。

ボイスコマンドの発話

基本的に、使用可能なボイスコマンドは3種類あります。

- グローバルボイスコマンド
- 一般ボイスコマンド
- ダイアログ関連ボイスコマンド

表示されるボイスコマンドは使用可能なすべてのコマンド集です。システムは同義語でも認識します。例えば、**電話する山田**と言う代わりに、**電話山田**または**ダイヤル山田**と発話することもできます。

- ▶ ボイスコマンドの例は 207 ページを参照してください。

グローバルボイスコマンドの発話

特定の機能呼び出すために使用可能なすべてのボイスコマンドは、グローバルボイスコマンドです。グローバルボイスコマンドは、選択したメインメニューに関係なく、いつでも使用することができます。これによって、対応するメインメニューに事前に切り替える必要なく、任意の機能を直接呼び出すことができます。例えばナビのメインメニューが表示されているときに、ボイスコマンドで**放送局ラジオステーションXY(例)**と発話しても、その放送局が呼び出されます。

以下はグローバルボイスコマンドの例です。

- **放送局ラジオステーションXY(例)**
- **電話する山田(例)**

一般ボイスコマンドの発話

一般ボイスコマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

以下は一般ボイスコマンドの例です。

- **新規項目**: ボイスコントロールを再開します。
- **修正**: たとえば、電話番号が複数のブロックで提供された場合 (0711911 など)、ボイスコマンドが最後に発せられたブロックを取り消します。
- **ヘルプ**: 可能なボイスコマンドを示す入力支援が表示されます。
- **キャンセル**: 会話を中断します。

ダイアログ関連ボイスコマンドの発話

ダイアログ関連ボイスコマンドは、PCM との会話が始まるとすぐに必要になります。例えば、これには以下のボイスコマンドが含まれています。

- **行 1**
- **次のページ/前のページ**
- **はい/いいえ**

音声でリストを使用する

リストをブラウズする

- ▶ リストを前/後にブラウズするには、次のページ/前のページと発話してください。
-または-
タッチスクリーンまたはロータリー プッシュ ボタンでリストを使用します。

リスト項目の発話

青いリスト項目を発話することができます。別の方法として、リスト項目を青い行番号で呼び出すこともできます。

- ▶ ボイス コマンドで**行 1**と発話してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ラジオのボイス コマンド

| 運転者が何をしたいか？ | どのように発話するのか？ | 注意 |
|------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 受信範囲を切り替える | (設定 / ON にする) チューナー FM/AM (例) | |
| 放送局を選択する | 放送局を選択 | 現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。 |
| 現在受信が可能な放送局を選局する | 放送局 ステーション XY (例) (選局) | 現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。 |
| 周波数を入力する | 周波数 91.1 (例) (選択) | 必要に応じて、周波数を直接選択する受信範囲が変更されます。 |
| ヘルプの呼び出し | チューナーのヘルプ | チューナー機能で役に立つ音声ヘルプです。 |

メディアのボイス コマンド

| 運転者が何をしたいか？ | どのように発話するのか？ | 注意 |
|----------------------|--|--|
| メディアソースを変更する | 再生 ディスク / SD カード / USB / ジュークボックス / Bluetooth など | |
| アーティストを直接選択する | 再生 アーティスト アラン テーラー (例) | 有効なメディアソース内にあるアーティスト / アルバム / トラック / ジャンルのみを発話することができます。 |
| アルバムを直接選択する | 再生 アルバム Songs for the Road (例) | |
| トラックを直接選択する | 曲を再生 例: 音楽の流れ | |
| ジャンルを直接選択する | 再生 ジャンル ロック (例) | |
| 現在再生している曲と類似の音楽を選択する | 類似の曲を再生 | |
| ヘルプの呼び出し | メディアのヘルプ | メディア機能で役に立つ音声ヘルプです。 |

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

電話のボイス コマンド

- ✓ 電話が PCM に接続されている
- ▷ 151 ページのチャプター「電話」を参照してください。

| 運転者が何をしたいか？ | どのように発話するのか？ | 注意 |
|-----------------|-------------------------------------|---|
| リダイヤル機能を開く | リダイヤル | |
| 電話番号を入力する | 番号をダイヤル | 次のステップでシステムが電話番号を尋ねます。 |
| ボイス メールに電話する | ボイス メールに電話する | |
| 保存されている連絡先に発信する | 連絡先にダイヤル / 電話帳を表示 | 次のステップでシステムが連絡先の名前を尋ねます。 |
| 通話履歴の呼び出し | 通話履歴 / 不在着信 / 着信 / 発信 | ボイス コマンドは、項目を選択したり、項目に電話をかけたりできるグローバル通話履歴を表示します。 |
| 保存されている連絡先に発信する | 電話 山田 (携帯 / プライベート / ビジネス / 一般) (例) | 連絡先が1つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。連絡先の特定の電話番号を選択することも可能です。 |
| メッセージを読み上げる | (新着)Eメール / (新着)テキストを読み上げる | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 接続されている携帯電話が Bluetooth® メッセージアクセス プロファイルに対応していること ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと ▷ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。 <p>これらのサービスはすべての言語およびマーケットで利用できるわけではありません。</p> |
| ヘルプの呼び出し | 電話のヘルプ | 電話機能で役に立つ音声ヘルプです。 |

ナビゲーションのボイス コマンド

| 運転者が何をしたいか？ | どのように発話するのか？ | 注意 |
|-----------------------------------|---|--|
| 新しい目的地を入力する | ルート案内（例）東京都千代田区霞が関 1-3-2 住所を入力 / 新しい目的地を入力 | 「ルート案内」と一文で、または順次言うことで、ナビゲーションを使用することができます。 |
| ポルシェ コンシェルジュを開始する | コンシェルジュ サービス | |
| 目的地履歴から選択する | 前回の目的地 / 保存した目的地 | |
| 目的地として自宅 / 職場を選択する | 自宅へ帰る / 職場へ行く | 保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。住所の保存方法に関するインフォメーション： ▷ 173 ページのチャプター「目的地の保存（お気に入り）」を参照してください。 |
| 目的地または施設情報を検索する | 検索（施設情報）（例）ポルシェ サービス | ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます 〔例：空港を探す〕。 |
| 目的地をオンライン検索する | オンライン検索 / インターネット検索 | ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと ▷ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。 これらのサービスはすべての言語およびマーケットで利用できるわけではありません。 |
| 市町村を選択する | 都道府県を入力 | |
| レストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンドを検索する | 次のレストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンド | 近隣のそれぞれの検索基準を表示します。 |
| ルート案内を開始 / 終了する | ルート案内を開始 / 終了する | |
| 残りの燃料を計算する | 走行可能距離 / 残可走距離 / タンク情報 | |
| 交通情報を呼び出す | 交通情報 | ✓ ルート案内を開始している |
| 到着時間を要求する | 到着までの残り時間 / 到着時刻 | ✓ ルート案内を開始している |
| ヘルプの呼び出し | ナビゲーションのヘルプ | 最も重要なナビゲーション機能の音声ヘルプを呼び出します。 |

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

PASM はショック アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブルダンパー システムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2 種類のシャーシ設定を選択できます。

- 「ノーマル シャーシ」
- 「スポーツ シャーシ」

ノーマル モードでは、シャーシは基本設定になり、一般道および平坦ではないレース サーキットに適しています。

スポーツ モードでは、極めて高い走行ダイナミクスのためのショック アブソーバー設定となり、平坦なレース サーキットなどに適しています。

走行状況に合わせて、マニュアル モードに加えて、PASM もショック アブソーバーを調整し、スポーティまたは快適な走行を可能にします。

PASM モードの選択

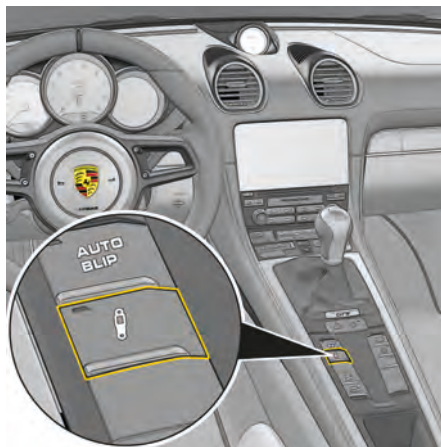



図 167: センター コンソールの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にします。
2.  ボタンを押してください。

「ノーマル シャーシ」(初期設定)を選択した場合、インジケーター ライトは点灯しません。

「スポーツ シャーシ」を選択した場合、インジケーター ライトが 1 つ点灯します。

さらに、選択したシャーシ設定はマルチファンクションディスプレイに短時間表示されます。

インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告シンボルへの対応

PASM の故障がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

マルチファンクションディスプレイに表示される警告シンボルに関するインフォメーション:

- ▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

ボルシェコネクト アプリ¹⁾

一部の国で利用可能なアプリを使用して、携帯電話を車両にネットワーク接続できます。これにより、車両の情報を携帯電話経由で直接読み取ることができ、一部の車両設定をアプリから行うことができます。

警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させてから行ってください。

個人的に設定した POI (施設情報)、アドレス帳から選んだ目的地、カレンダー入力などを、携帯電話から PCM に転送することができます。ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:
▶ 213 ページのチャプター「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」を参照してください。

WiFi を使用したアプリの PCM への接続と PCM での起動

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされます (Apple App Store または GOOGLE® Play ストアからダウンロード)。
- ✓ アプリが起動しました。
- ✓ 携帯電話で WiFi を有効にしている
- ✓ PCM で WiFi を有効にしている
 - ▶ 158 ページのチャプター「WiFi 設定の設定」を参照してください。



図 168 : デバイスマネージャーを開く

1. (接続ステータスに応じて) デバイスマネージャーをフッターの または を使用して開いてください。
2. PCM (外部 SIM カードによりデータ接続が確立されています) の WiFi ホットスポット (ワイヤレス インターネット アクセス) により接続を確立してください。
 - ▶ 127 ページのチャプター「接続」を参照してください。
 - a. デバイスマネージャーから **ボルシェコネクト アプリ ▶ PCM の WiFi ホットスポット設定** を選択してください。
 - b. 携帯電話の WiFi 設定に PCM の WiFi データ (ホットスポット名およびホットスポットのパスワード) を入力してください。
3. **HOME** ボタンを押してください。
4. **アプリ** を選択してください。アプリの利用可能なコンテンツが表示されます。



インフォメーション

- **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **PHONE 設定 ▶ WiFi 設定 ▶ PCM の WiFi ホットスポット設定** を順に選択することでも、PCM の WiFi アクセス データを表示することができます。
- デバイスマネージャーに関するインフォメーション:
 - ▶ 149 ページのチャプター「デバイスマネージャー」を参照してください。

1) 名前と機能は変更される可能性があります


ナビゲーション目的地および カレンダー入力をPCMに転送 する

✓ アプリがPCMに接続されています。

1. アプリで、ナビゲーション目的地または
カレンダー入力を選択してください。
 - a. **オンライン検索**：オンライン検索機能
を使用して、目的地を選択してくだ
さい。
 - b. **連絡先**：住所の詳細を含む連絡先を
選択してください。
 - c. **カレンダー**：住所の詳細を含むカレン
ダーを選択してください。
 - d. **画像**：保存された画像を使用して、目
的地を選択してください。
2.  アイコンを使用して、目的地を**登録目
的地**のお気に入りリストに追加してくだ
さい。
お気に入りリストに追加済みの項目には
チェックマークが付きます。
3. アプリがPCMに接続されている場合は、
登録目的地に保存されている内容がPCM
に転送されます。
必要に応じて、再読み込みする必要があ
りますPCMディスプレイはマニュアルで
HOME ボタン▶**アプリ**  を使用し
ます
4. **HOME** ボタン▶**アプリ**▶から**登録目
的地**または**カレンダー**を選択してくだ
さい。
-または-
NAV ボタン▶**登録目的地**▶
MyDestinationsを選択。
5. 転送された目的地までのルート算出設定
を開始します。

PCMを使用して音楽を再生す る

- ✓ 別途音楽サービスアプリをダウンロード
し、音楽サービスの登録手続きを済ませ
ている
 - ▷ 音楽サービスのプロバイダーが提供す
る情報に従ってください。
- ✓ アプリがPCMに接続されています。

▷ **HOME** ボタン▶**アプリ** ▶**選択** 希
望の音楽サービス。
-または-
SOURCE ボタン▶
希望の音楽サービスを選択してください。
-または-
希望の音楽サービスが表示されるまで
MEDIA ボタンを押し続けてください。

インフォメーション

MyMusic の **MEDIA** メニューで、ユーザー
はオフラインで保存された既存のプレイリス
トおよび楽曲を再生することができます。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

概要

本概要は「ポルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM)」に記載されている完全な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

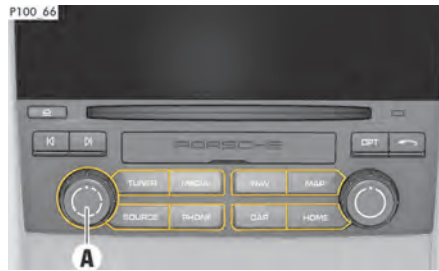


図 169 : PCM



図 170 : タッチスクリーン、ホームメニュー

| 運転者が何をしたいか？ | その操作方法は？ | ページ |
|-----------------------------|---|-------------|
| PCM を ON にする | ▶ イグニッションを ON にするか、ボリュームスイッチ A を押してください。 | |
| PCM を OFF にする | ▶ イグニッションを OFF にするか、ボリュームスイッチ A を押し続けてください。 | |
| 音量を調節する | ▶ ボリュームスイッチ A を回してください。 | |
| オーディオソースのミュート | ▶ ボリュームスイッチ A を短く押してください。 | |
| メインメニュー (ラジオなど) を開く | ▶ ボタン (例 : TUNER) を押してください。 | |
| 着信音設定を表示する | ▶ HOME ボタン ▶ OPT ボタン ▶ サウンド設定 ▶ ボリューム ▶ または サウンド ▶ | 220 |
| デバイスマネージャーを開く / 接続を確立する | ▶ フッターの 📶 または 📶 (B を参照) を選択してください。 | 149/ 127 |
| 日付と時刻を変更する | ▶ フッターの時刻 9:34 (C を参照) を選択してください。 | 214 |
| MyScreen を開いて設定する | ▶ HOME ボタン ▶ MyScreen ☑ | 217 |
| システム設定を変更する | ▶ HOME ボタン ▶ 設定 ⚙ | 219 |
| CD/DVD または SD カード から音楽を再生する | ▶ CD/DVD または SD カード を挿入する ▶ SOURCE ボタン ▶ ご希望のメディアを選択。 | 217 |
| 外部機器から音楽を再生する | ▶ 外部機器を USB または Bluetooth® を介して接続します ▶ SOURCE ボタン ▶ 希望のメディアソースを選択します。 | 218 |

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

操作に関する重要なインフォメーション

ボルシェ コミュニケーション マネジメント (PCM) は、ラジオ、サウンド設定、ナビゲーションシステム、様々なメディアや電話を操作するためのセンターコントロールユニットです。

安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

PCM の操作時に運転者や同乗者がケガをしたり、危険にさらされたりすることがないように、常に以下の安全に関する指示を遵守してください。

警告

事故を起こす恐れがあります

PCM を操作すると、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って PCM の操作を行ってください。安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してから PCM の操作を行ってください。

▶ 緊急車両（パトカー、救急車など）のサイレンなど、常に車外の音が聞こえる程度の音量に設定してください。

警告

事故を起こす恐れがあります

機器を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、急加速時または事故の際に、飛び出して乗員がケガをする恐れがあります。

▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。

▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

注意

ケガをする恐れがあります。

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。

▶ PCM はクラス 1 レーザー製品です。ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。

i

インフォメーション

バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。

PCM の ON/OFF



図 171 : PCM の ON/OFF

▶ PCM はイグニッションを ON にすると作動します。

▶ イグニッションの位置に関係なく、ボリュームスイッチ A を長押しすると PCM の ON/OFF を切り替えることができます。

日付と時刻の設定

時刻表示から、日付と時刻の設定に素早くアクセスできます。

▶ フッターの時刻 9:34 を選択してください。

▶ 219 ページのチャプター「一般システム設定を変更する」を参照してください。

タッチスクリーンの操作ボタン

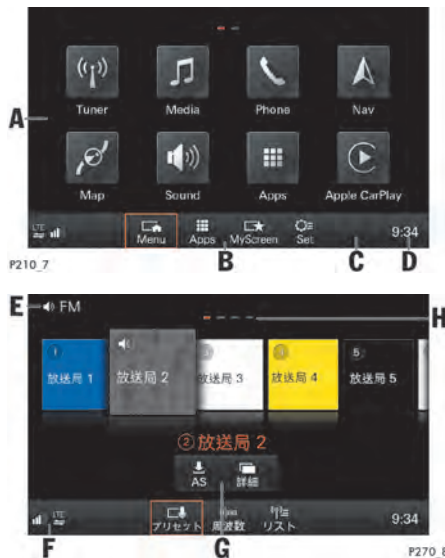


図 172 : タッチスクリーンの操作ボタン

A ホーム画面

HOME ボタンを押すと、使用可能な機能が表示されます。

B 有効なメインメニューの機能

どのメインメニューが有効になっているかに応じて、ツールバーには異なるメニューが表示されます。

C ツッター

有効なメインメニューの機能、接続シンボルおよび設定可能な温度または時刻を表示します。

D 時刻または外気温ディスプレイ

▷ 214 ページのチャプター「日付と時刻の設定」を参照してください。

E ヘッドライン

例えば、選択されたラジオまたはメディアソースが表示されます。

F デバイスマネージャーを開く

[電話を接続する、WiFi 設定を表示しワイヤレスインターネットアクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple CarPlay およびアプリの接続状態を表示する]。

▷ 149 ページのチャプター「デバイスマネージャー」を参照してください。

G コントローラー

タッチスクリーンに接近すると追加機能を表示します。

H 他のページを表示

スクロール (スワイプ) すると、他のページが開きます。

タッチスクリーンで PCM を操作する

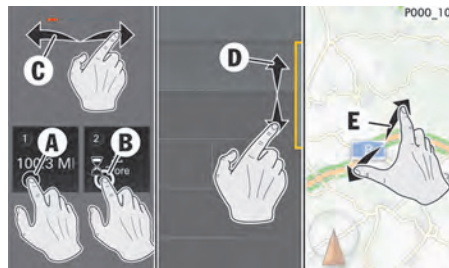


図 173：タッチスクリーンで PCM を操作する

A タッチ (選択)

タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例：機能を選択する、またはボックスをチェックする / チェックを外す。

B 長押し

タッチスクリーンを長くタッチしてください。例：メインメニューで放送局を保存する。**TUNER**

C スワイプ

タッチスクリーンを指で左右にスワイプしてください。例：ラジオ放送局を含む他のページを表示する。

D スクロール

タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例：リストを手動でスクロールする。

E ズーム

2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチスクリーンを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。例：地図を拡大表示する。

ロータリープッシュボタンで PCM を操作する



図 174：ロータリープッシュボタン

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリープッシュボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリープッシュボタンを押してください。

メニューを開く

直接メインメニューを開く

▶ PCM のボタン (例：**TUNER**) を押ししてください。

i **インフォメーション**

いずれかのメインメニューから別のメニューにいつでも切り替えることができます。メインメニューに戻ると、前に開いていた内容が再び表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま


や

ら

わ

A-Z

ホームメニューからメインメニューを開く

1. **HOME** ボタン▶メニュー 
2. メインメニュー(チューナーなど)を選択してください。

有効な機能の設定を開く

- ✓ 希望のメインメニュー(例: **TUNER**) が選択されている。

- ▶ **OPT** ボタンを押してください。該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

テキストと文字を入力

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。

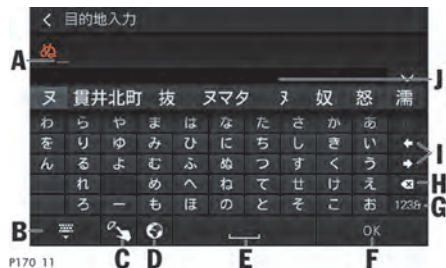


図 175: タッチスクリーン キーボード

- A 現在のカーソル位置
- B キーボードを表示する / 隠す
- C 手書き文字認識機能(タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する)
- D キーボードの調整
- E スペースを挿入する
- F 入力を決定する

- G 文字、数字および特殊文字の入力切り替え
- H 入力データを削除する
- I Caps Lock の ON/OFF を切り替える(大文字と小文字を切り替える)
- J 候補のリスト

テキストおよび文字を入力するには、3種類の方法があります。

キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択してタッチスクリーンキーボードを開きます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

ロータリープッシュボタンによる入力


1. 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリープッシュボタン(図 174)を回してください。
2. ロータリープッシュボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。

手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。



図 176: 手書き入力

1.  を選択して入力フィールドを開いてください。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。

- ▶ スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。

- ▶ 入力データを削除するには、右から左に指でスワイプしてください。


i インフォメーション


- PCM はひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字の手書き入力に対応しており、該当する文字を表示します。
- ボイスコントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です(例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。
 - ▶ 204 ページのチャプター「ボイスコントロール」を参照してください。

デバイスマネージャーを開く

- ▶ 149 ページのチャプター「デバイスマネージャー」を参照してください。

アプリを開く

アプリ  メニューからポルシェコネク トサービスおよびアプリ機能にアクセスすることができます。

- ▶ **HOME** ボタン▶アプリ 

- ▶ 211 ページのチャプター「ポルシェコネク トアプリ」を参照してください。

バックグラウンドイメージを表示する

バックグラウンドイメージは、**HOME** メニューで表示 / 非表示を切り替えることができます。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 表示バックグラウンドイメージ

MyScreen の設定

MyScreen メニューでは、さまざまなカテゴリー (NAV や電話など) のタッチスクリーンコンテンツを希望に合わせて個別にグループ分けすることができます。

合計 3 種類の MyScreen を設定できます。

MyScreen を作成する

1. **HOME** ボタン ▶ **MyScreen**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **MyScreen の設定**
2. **MyScreen 1**、**MyScreen 2** または **MyScreen 3** を選択してください。
3. カテゴリー (SOURCE など) を選択して、選択可能なタイトルのリストを開いてください。



図 177 : MyScreen の設定

4. 希望のタイトルをクリックし、左側のプレビューにある任意のコンテナにドラッグ & ドロップしてください。タイトルは、緑色のエッジが見えたとすぐにコンテナに挿入することができます。


5.  または  で MyScreen を設定メニューを終了してください。

- ▶ 左側のプレビューからタイトルを取り除くには、ドラッグ & ドロップで削除したいタイトルをコンテナから取り除くか、別のタイトルと入れ替えてください。


電話のお気に入りの追加に関するインフォメーション：

- ▶ 156 ページのチャプター「個人画面にお気に入りの追加」を参照してください。

MyScreen を開く

1. **HOME** ボタンを押してください。
2. **MyScreen**  を選択してください。直前に有効にした **MyScreen** が表示されません。
- ▶ **MyScreen 1**、**MyScreen 2** および **MyScreen 3** を切り替えるには、該当する MyScreen が表示されるまで左右にスワイプしてください。

MyScreen をリセットする

1. **HOME** ボタン ▶ **MyScreen**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **MyScreen を設定**
2. **MyScreen** をリセットを選択してください。MyScreen の 2 ページおよび 3 ページのコンテンツが削除されます。MyScreen の 1 ページのコンテンツが初期設定にリセットされます。

各種ドライブおよび外部接続機器に関する参考

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

- ▶ 213 ページのチャプター「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」を参照してください。

- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバム カバーなど) が自動的に表示されません。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。大切なデータは、SD カード、ジュークボックス、CD/DVD またはポータブルプレーヤーに決して保存しないでください。
- 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的に CD/DVD が再生できなくなる場合があります。CD/DVD および走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。
- PCM は、コピープロテクト機能付きの CD/DVD または規格に準拠していない CD/DVD を再生できない場合があります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- 原則として私的使用を目的とする場合にのみ、CD/DVD のコピーを作成することが認められています。コピーされた CD/DVD を第三者に譲渡した場合は、著作権法に定められた例外の対象になりません。MP3 ファイルとして作成され MP3 モードで再生可能な音楽トラックは、一般的に該当する国際的および国内の規制に従って著作権保護の対象となります。多くの国では、私的使用が目的であっても著作権保有者に事前の承諾なくしてコピーすることはできません。該当する著作権法を遵守してください。お客様自身が作曲およびレコーディングの著作権保有者である場合、あるいは著作権保有者によって権利を付与された場合は、これらの制約は適用されません。如何なる場合においても、現行の法的な見解が適用されます。

CD/DVD ドライブを読み込む

知識

CD/DVD を正しく使用しないと、PCM を損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径 12cm の丸型、標準タイプの CD/DVD のみを使用してください。
- ▶ CD/DVD に触れるときは、必ず端を持ってください。ラベルのない面を手で触れないでください。
- ▶ CD/DVD への汚れの付着を避け、必要な場合には清掃してください。
- ▶ CD/DVD には何も貼り付けしないでください。
- ▶ CD/DVD を変形させないでください。
- ▶ CD/DVD をドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

CD/DVD を挿入する

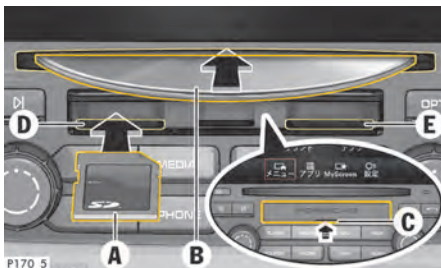


図 178 : CD/DVD または SD カードのロード

1. CD/DVD のラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロット **B** に押し込んでください。
2. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

CD/DVD を取り出す

- ▶ ボタンを押し、CD/DVD を取り出してください。

SD カードの挿入

知識

SD カードを正しく使用しないと PCM が壊れる恐れがあります。

- 一体型以外の SD カードを使用すると、振動により SD カードがアダプターから外れて各カードが SD カードリーダーに詰まる恐れがあります。
- ▶ SD カード アダプターは使用しないでください。

SD カードを挿入する

1. 指の爪でスロット **C** (図 178) のカバーを上方に開いてください。
2. SD カード **A** をラベル面を上にして、SD カードリーダー **1** (**D** を参照) または **2** (**E** を参照) または **2** に、ぴったりと収まるまで押し込みます。

SD カードを取り出す

- ✓ SD および SIM カードリーダーカバーが開いている

1. 挿入されたカードを押し、取り出してください。
2. SD および SIM カードリーダーカバーを閉じてください。

SIM カードの挿入および取り出し

- ▶ 127 ページのチャプター「外付け SIM カード経由でデータ接続を確立する」を参照してください。

外部機器の接続

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション:

- ▶ 213 ページのチャプター「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」を参照してください。

i インフォメーション

一部の外部機器では、音量の個別調節が必要になる場合があります。

1. 外部機器の音量を調節してください。
2. PCM で希望の音量に設定してください。

USB を介して外部機器を接続する

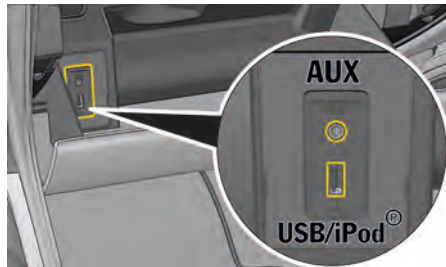


図 179 : グローブボックス内の USB ポート (タイプ A)



図 180 : センターコンソールの USB ポート (タイプ A)

1. グローブボックスまたはセンターアームレストを開いてください。
2. 外部デバイス (iPod、USB フラッシュドライブなど) を USB ポート (タイプ A) に接続します。
3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

i インフォメーション

- USB ポートは、グローブボックス内およびセンターコンソールに配置されています。Apple CarPlay は、センターコンソールの USB ポートを介してのみ使用できます。
 - ▷ 267 ページのチャプター「Apple CarPlay」を参照してください。
- 外部機器 (携帯電話など) は、USB 充電ケーブルを使用して車内で充電することができます。
- 携帯電話をセンターコンソールに置く前に、キーボード/コードロックを有効にすることを勧めます。

外部機器を Bluetooth® 経由で接続する

1. フッターの または を選択してください。(ネットワークへの接続状態によって異なります)。
 - または -
 - PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ デバイスマネージャー
2. **Bluetooth オーディオ ▶ 新しいデバイスを検索** を選択してください。
6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。
3. PCM と携帯電話に表示された Bluetooth® コードを比較してください。
4. PCM と携帯電話の Bluetooth® コードが一致していれば確定してください。
機器の接続に成功すると、機器一覧に表示されます。

Bluetooth® 機器の管理に関するインフォメーション:

- ▷ 153 ページのチャプター「Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示」を参照してください。

一般システム設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **設定** ▶ **システム**
- または -
CAR ボタン ▶ **設定** ▶ **システム**
2. 以下の希望の項目を選択してください:

- 日付 & 時刻

- **自動時間調整**: GPS 信号で時刻、日付、サマータイムを同期します。

- 時刻

- 日付

- **自動タイムゾーン**: オートタイムモードでは、タイムゾーンも自動的に設定されます。

- タイムゾーン

- 時刻表示

- 日付表示

- 単位

- 速度
- 温度
- 圧力 (タイヤ空気圧)
- 燃料消費量

- 言語 : システム言語を選択してください。

- 英語

- 日本語

- ボイスコントロール:

- **ショートダイアログ**: ボイスコントロールはショートボイスコマンドテキストを使用します。
- **ヘルプテキスト**: アクティブボイスコントロールで可能なコマンドを表示します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ



A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

初期化

- 工場出荷時の設定：すべての設定値が規定値にリセットされます。個人データは保持されます。
- 車両の引渡し：すべての設定値が規定値にリセットされます。住所、目的地、電話番号などの、すべての個人データが削除されます。

PCM ディスプレイの設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ 設定  ▶ PCM ディスプレイ
- または -
CAR ボタン ▶ 設定  ▶ PCM ディスプレイ
2. 以下の希望の項目を選択してください：


- ディスプレイをOFFにする：次にタッチするまでタッチスクリーンがOFFになります。
- ディスプレイの明るさ
- フッター
 - 温度：フッターに温度を表示します。
 - 時刻：フッターへの時刻表示。
- 近接センサー：近接センサーを有効/無効にします。
- タッチ操作音設定：ディスプレイにタッチした時の操作音を有効/無効にします。

音量および音質の変更


音量を調節する

ボリュームスイッチ A (図 171 を参照) を回すと、音量を調節できます。

オーディオソースのミュート


- ▶ ボリュームスイッチ A (図 171 を参照) を短く押してください。フッターにミュートの  シンボルが表示されます。運転アドバイス、電話の会話および交通情報は聞くことができます。
- ▶ ミュート機能を解除するには、ボリュームスイッチ A を再び短く押してください。

着信音設定の変更

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ サウンド設定 ▶ サウンド 
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- バス：低音域の調節
- トレブル：高音域の調節
- フェーダー：前後スピーカーの音量調節
- バランス：左右スピーカーの音量調節

音量設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ サウンド設定 ▶ 音量 
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- ナビゲーション案内：ナビゲーション案内の音量を設定
- 速度対応音量：車速に応じた音量調節
- Bluetooth オーディオ：Bluetooth® オーディオ再生用の音量を設定
- マイク音量：通話中のマイク音量を調整
- 着信音量：着信音の音量を設定
- 電話中のナビゲーションをミュート：通話中はナビゲーションアナウンスを再生しない

- タッチ操作音設定：ディスプレイにタッチした時の操作音を設定
- メッセージの受信音：テキストメッセージおよびEメール受信時のサウンド ON/OFF を切り替える

Burmester® 音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ サウンド設定：
2. **Burmester** を選択します。
3. 以下の希望の項目を選択してください：

- ビュア：純粋で忠実な音響設定。
- スムーズ：リラックスした長時間のリスニングに適した音響設定
- サラウンド：非常に開放感を感じる音響設定
- ライブ：ライブの臨場感を伴う広がりのある音響設定
- 位置：座席別の音質調整
- サウンドコンディショナー：音響を周囲の音量に合わせて適応させます。

BOSE® 音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ サウンド設定
2. **BOSE** を選択してください。
3. 以下の希望の項目を選択してください：

- サラウンド：非常に開放感を感じる音響設定
- リニア：低音重視の音質設定 (リニア OFF) からニュートラルでバランスのよい音質 (リニア ON) に変更
- オーディオパイロット®：この機能を ON にすると、車内のノイズレベルをモニターし、その変化に合わせて最適なオーディオ再生を行います。

ボルシェスタビリティマネージメント (PSM)

PSM は、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。PSM は、アンチロックブレーキシステム (ABS)、エンジンドラッグトルクコントロール (MSR)、トラクションコントロール (TC)、エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC)、油圧ブレーキアシスト (HBA)、オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD) の機能を利用します。

▶ 「通常」走行では常に PSM を ON にすることを推奨いたします。特に濡れた路面では作動させてください。

警告

車両コントロールの喪失

PSM を過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSM は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

以下の条件で PSM コントロールの作動を知ることができます。

- インストールメントパネルの PSM 警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSM がブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。

最大の制動力を得るため、ブレーキペダルに振動を感じたらさらに強く踏み込んでください。

オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

トラクションコントロール (TC)

トラクションコントロールは、エンジン出力を制御することでホイールの空転を防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジンドラッグトルクコントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジンドラッグトルクコントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

PSM の解除

PSM は、以下の 2 段階で OFF にできます：

- ステージ 1 **ESC OFF** :
エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) を OFF にします。
- ステージ 2 **ESC+TC OFF** :
トラクションコントロール (TC) も OFF にします。

警告

PSM アシストの停止

どの OFF ステージにおいても安定指向のブレーキコントロールは行われません (ブレーキを使用したときでも)。

▶ 「通常」走行では常に PSM を ON にすることを推奨いたします。特に濡れた路面では作動させてください。

ただし次の場合は、例外として一時的に PSM を OFF にすることが有効です。

- ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合。
- スタックした車両を脱出させる場合。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) をオフにする

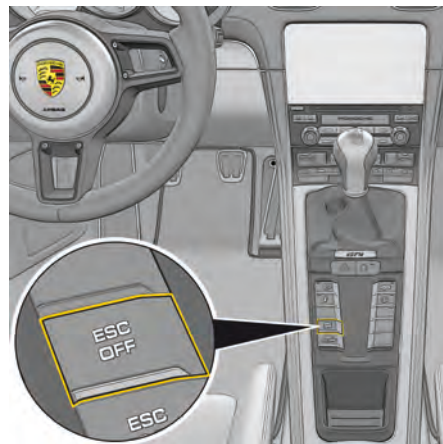


図 181 : センターコンソールの ESC OFF ボタン

- ✓ ESC+TC OFF ボタンのインジケーターライトが消灯している。
- ▶ ボタン **ESC OFF** を約 1 秒間押し続けてください。エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) が OFF になります。ボタンのインジケーターライトとインストールメントパネルの PSM OFF 警告灯が点灯します。マルチファンクションディスプレイにエレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) が OFF に切り替わったことを示すメッセージが表示されます。音も鳴ります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

i インフォメーション

- エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) を OFF にすると、よりスポーティーなトラクションコントロール (TC) が有効になります。
- ブレーキ介入は解除されます。
- ABS は作動したままになります。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) をオンにする

- ▶ **ESC OFF** ボタンを押してください。エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) が直ちに復帰します。ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルの PSM OFF 警告灯が消灯します。マルチファンクションディスプレイにエレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) が ON に切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) とトラクションコントロール (TC) を OFF にする



図 182 : センターコンソールの ESC+TC OFF ボタン

- ▶ ボタン **ESC +TC OFF** を約 1 秒間押し続けてください。エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) とトラクションコントロール (TC) が完全に OFF になります。ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルの PSM OFF および TC OFF 警告灯が点灯します。マルチファンクションディスプレイにエレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) とトラクションコントロール (TC) が OFF に切り替わったことを示すメッセージが表示されます。音も鳴ります。

i インフォメーション

- すべての PSM 機能が解除されます。
- ABS は作動したままになります。
- ESC+TC OFF ボタンを使用して、直接 PSM を解除した場合、ESC OFF ボタンのインジケータライトも点灯します。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) およびトラクションコントロール (TC) をオンにする


- ▶ **ESC +TC OFF** ボタンを押してください。直ちに PSM が復帰します。ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルの PSM OFF および TC OFF 警告灯が消灯します。マルチファンクションディスプレイにエレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) とトラクションコントロール (TC) が ON に切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

i インフォメーション

PSM が OFF にされているとき、トラクションコントロール (TC) を個別に ON にすることができます。

- ▶ **ESC OFF** ボタンを押してください。トラクションコントロール (TC) が直ちに復帰します。**ESC +TC OFF** ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルの TC OFF 警告灯が消灯します。エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) は OFF のままになります。

警告シンボルへの対応

PSM 警告灯に関するインフォメーション 

▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

ABS ブレーキ システム (アンチ-ロック ブレーキ システム)



警告

車両コントロールの喪失

ABS を過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABS が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

ABS は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ABS の特徴：

- ステアリングの操作性の確保：安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性：ホイールロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮：ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイールロックの回避：タイヤのフラットスポットを回避できます。

機能

ABS は緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリングコントロール性を維持します。

ABS は、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイールロックを回避します。

ホイールのロック点付近でブレーキをかけたときに ABS は作動し始めます。


このブレーキコントロールは、非常に小刻みなポンピングブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

フルブレーキをかける必要がある場合：

- ▶ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキペダルが振動してもしっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないでください。

警告シンボルへの対応

ABS 警告灯に関するインフォメーション ：

▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ポルシェトラックプレジジョンアプリ¹⁾

一部の国で利用可能なアプリを使用して、無線 LAN (WiFi) 経由で車両に接続できます。このアプリにより、スマートフォン上で走行データの表示、保存、分析ができます。

PCM で WiFi 接続を確立するためのインフォメーション：

- ▶ 129 ページのチャプター「PCM WiFi ホットスポット (ワイヤレスインターネットアクセス) の起動」を参照してください。

アプリのインストールと機能に関する詳細情報はアプリ内から入手するか、www.porsche.com またはポルシェ正規販売店から入手できます。



危険

車両コントロールの喪失

速度の出し過ぎや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候、周囲の交通状況とドライビングスキルに適したスタイルで走行してください。
- ▶ アプリはサーキット走行するときのみ使用してください。公道では使用しないでください。



警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させてから行ってください。



インフォメーション

このアプリを使うと車両固有データにアクセスできるため、第三者による無断アクセスからデータを保護することをお勧めします。

1) 名前と機能は変更される可能性があります

ポルシェカーコネクト¹⁾

一部の国で使用できるアプリを使用すると、携帯電話ネットワーク経由で車両に接続できます。これにより、車両の情報をスマートフォン経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することが可能になります。

アプリのインストール、機能、管理、契約およびサービスに関する詳細情報は www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。

車両とアプリケーション間の通信の停止

車両とアプリ間の通信は、マルチファンクションディスプレイから停止できます。

- ▶ 237 ページのチャプター「ポルシェカーコネクトの設定」を参照してください。



警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させてから行ってください。



インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。このアプリを使用すると、携帯電話ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービスプロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

1) 名前と機能は変更される可能性があります

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

マルチファンクションディスプレイ

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

警告

走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクションディスプレイ、マルチファンクションステアリングホイール、ラジオ、ナビゲーションシステム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- ▶ 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。



図 183：マルチファンクションディスプレイの位置

インフォメーション

マルチファンクションディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作



図 184：ステアリングコラムレバーの機能

メニューおよび機能 / オプションを選択する (スクロール)

- ▶ レバーを下方向3、または上方向4に押ししてください。

選択の決定 (Enter)

- ▶ レバーを前方1に押ししてください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▶ レバーをステアリングホイールの方向2へ1回、または数回引いてください。

電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ レバーを下方向3、または上方向4に押し続けてください。頭文字を選択する画面が表示されます。
- ▶ 任意の頭文字を選択してください。選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作

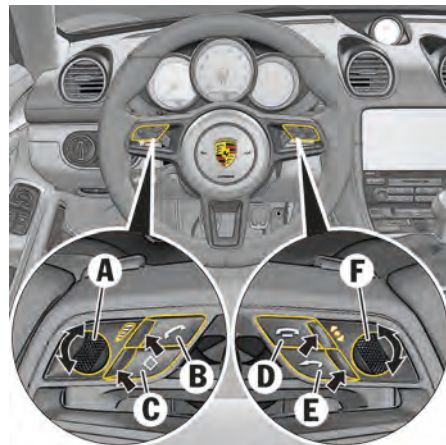


図 185：マルチファンクションステアリングホイールのファンクションボタン

i インフォメーション

マルチファンクションステアリングホイールの操作では、ボルシェコミュニケーションシステム*をON/OFFできません。

音量を上げる / 下げる

- ▶ ボリュームスイッチ **A** を上方または下方に回してください。

ミュート機能の ON/OFF を切り替える

- ▶ ボリュームスイッチ **A** を押してください。

メニューおよび機能 / オプションを選択する (スクロール)

- ▶ ロータリーノブ **F** を上方向または下方向に回してください。

電話およびラジオー一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ ロータリーノブ **F** を上方向または下方向に素早く回してください。
頭文字を選択する画面が表示されます。
- ▶ 任意の頭文字を選択してください。
選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

選択の決定 (Enter)

- ▶ ロータリーノブ **F** を押してください。

保存された機能を有効にする

- ▶ ボタン **C** を押してください。
ボタンは個別に割り当てることができます。初期設定ではオーディオソースの選択に設定されています。
ボタンの個別設定に関するインフォメーション：
▷ 235 ページのチャプター「マルチファンクション ステアリングホイールのボタンの割り当て変更」を参照してください。
- 1 つ前、または複数前のメニューに戻る**
- ▶ バックボタン **E** を押してください。

着信を受ける

- ▶ ハンドセットピックアップボタン **B** を押してください。

通話を終了するまたは着信を拒否する

- ▶ ハンドセットハングアップボタン **D** を押してください。

マルチファンクションディスプレイの表示エリア

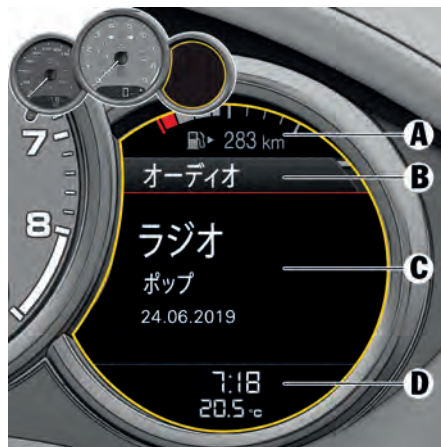


図 186 : マルチファンクションディスプレイのエリア

A/D- 上部 / 下部ステータスエリア

- 上部 / 下部ステータスエリアには、コンパス、時刻、温度などの基本情報が表示されます。ステータスエリア表示は個別の設定ができます。
- ▷ 232 ページのチャプター「マルチ-ファンクションディスプレイの表示を変更する」を参照してください。

B-メニューインジケータ付きタイトルエリア

タイトルエリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。右側のメニューインジケータ (灰色のバー) には、選択可能なメニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。メニューインジケータの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

C-インフォメーションエリア

インフォメーションエリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関する情報や、その他の選択肢が表示されます。

オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択

- オプションは選択されています。
- オプションは選択されていません。

機能の作動 / 停止

- 機能は作動しています。
- 機能は作動していません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

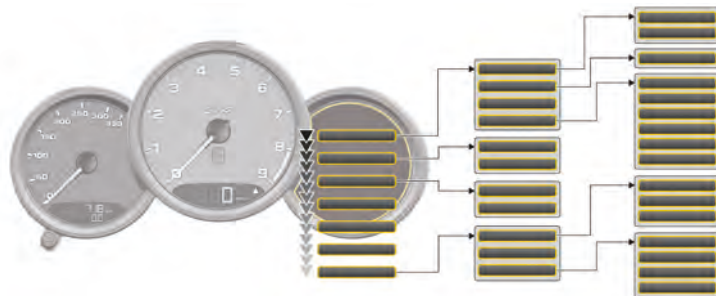
ら

わ

A-Z

メニュー概要

マルチファンクションディスプレイでは、車両の装備に応じてオーディオ(ラジオ、CD、iPodなど)、オイルレベル、タイヤ空気圧、ストップウォッチ、ナビゲーションシステムといった車両情報を確認することができます。また、様々な車両設定を変更することができます。
 タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。



| メニュー | 何ができるか | ページ |
|------------------------|---|---------|
| ▶ 車両▶情報 | 車両情報を表示する(メッセージ、サービス間隔) | 229 |
| ▶ 車両▶オイルレベル | エンジンオイルレベルの測定と表示 | 47 |
| ▶ 車両▶制限 | 速度制限の設定 | 229 |
| ▶ 車両▶設定▶ディスプレイ | マルチファンクションディスプレイの表示を変更する | 232 |
| ▶ 車両▶設定▶日付と時刻 | 日付と時刻の調整 | 234 |
| ▶ 車両▶設定▶ライト&ビュー | エクステリアライト、インテリアライト、後退時のディスプレイ補助、およびフロントワイパー設定の調整。 | 234 |
| ▶ 車両▶設定▶ステアリングホイール▶ キー | マルチファンクションステアリングホイールの ボタンの割り当て | 235 |
| ▶ 車両▶設定▶ロック | ロック解除/ロックの設定 | 236 |
| ▶ 車両▶設定▶エアコン | エアコンの設定 | 236 |
| ▶ 車両▶設定▶ボリューム | 警告音およびパーキングアシスタントの音量調節 | 236 |
| ▶ 車両▶設定▶単位 | 車両ディスプレイ用測定単位の調整 | 236 |
| ▶ 車両▶設定▶言語 | 言語を変更 | 237 |
| ▶ 車両▶設定▶カーコネク | 車両とアプリ間の通信設定 | 237 |
| ▶ 車両▶設定▶リセット | 工場出荷時の設定に戻す | 237 |
| ▶ オーディオ | 有効なオーディオソースから放送局またはトラックを選択する | 262/243 |
| ▶ 電話 | 電話を使用する | 155 |

| メニュー | 何ができるか | ページ |
|-------------|-----------------------|-----|
| ▶ マップ | 地図画面を表示および調整します | 175 |
| ▶ ナビゲーション | ナビゲーションシステムを使用する | 173 |
| ▶ トリップ | 走行データを表示/リセットする | 91 |
| ▶ TPM | タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する | 132 |
| ▶ クロノ | ストップウォッチで時間を計る | 64 |
| ▶ ギヤシフトアシスト | ギヤシフトアシストを使用する | 230 |
| ▶ G-Force | 縦加速度および横加速度を表示する | 230 |

車両メニュー

メッセージの表示

▶ 車両▶情報▶メッセージ

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のステータスエリアに表示される警告シンボルマークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。

複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージリストで閲覧できます。

サービスインターバルの表示

次のサービス時期が表示されます。

1. 車両▶情報▶サービス間隔
2. 任意のサービスインターバルを選択します。

制限速度の設定

制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告シンボルが表示されます。

たとえば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. 車両▶制限▶制限1または制限2
2. 必要な制限を選択します。
 - 現在の速度:現在の速度を設定してください。
 - 手動:任意の速度値を設定してください。
 - 有効:
 - 制限速度作動中
 - 制限速度無効

車両設定の調節

- ▶ 232ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイを使用した車両設定」を参照してください。

オーディオメニュー

- ▶ 262ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイを使用して放送局を選択する」を参照してください。
- ▶ 243ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイを使用して、有効なオーディオソースからトラックを選択する」を参照してください。

電話メニュー

- ▶ 155ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイで電話を使用する」を参照してください。

地図メニュー

- ▶ 175ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイによるマップビューの表示および設定」を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ナビゲーションメニュー

- ▶ 173ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイでの目的地の入力」を参照してください。
- ▶ 173ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイによるルート案内の開始および停止」を参照してください。

トリップメニュー

- ▶ 168ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイにドライビングデータを表示する」を参照してください。

クロノメニュー

- ▶ 63ページのチャプター「クロノストップウォッチ」を参照してください。

シフトアシストメニュー



図 187：ギヤシフトアシストの例

- ▶ シフトアシストメニューを選択してください。

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアップインジケーターが表示されます。ギヤシフトアシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加するにしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。



図 188：例：ギヤのシフトアップ

すべてのセグメントが赤になると、+-記号が現在のギヤの横に表示され、次のギヤへのシフトを促します。

G-Forceメニュー



図 189：加速度の例

- ▶ G-Forceメニューを選択してください。現在の横および縦加速度が円グラフで表示されます。

最大縦加速度および横加速度を表示する

- ▶ G-Force ▶ 最大 G-Force

最大縦加速度および横加速度をリセットする

- ▶ G-Force ▶ 最大 G-Force ▶ リセット

パフォーマンスメニュー



図 190：トルクの例

- ▶ パフォーマンス▶パワーまたはトルク
エンジン回転数に応じた現在のトルクがグラフで表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

マルチファンクションディスプレイを使用した車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に依じて、様々な車両設定を調整できます。ここではすべての車両設定について記載していますが、これらがすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

車両設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。

オプションの選択および機能の有効化

- ▷ 226 ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。
- ▷ 226 ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択

オプションは選択されています。

オプションは選択されていません。

機能の作動 / 停止

機能は作動しています。

機能は作動していません。

PCM を介した車両設定

特定の車両設定はPCMからも行うことができます。

▶ **CAR** ボタン ▶ 設定  ▶
車両機能

マルチ-ファンクションディスプレイの表示を変更する

- ▷ 227 ページのチャプター「マルチファンクションディスプレイの表示エリア」を参照してください。

上部のステータスエリアの表示を変更する

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 上のライン ▶ 残可走距離

機能が有効になると走行可能距離が表示されます。

情報エリアを変更する

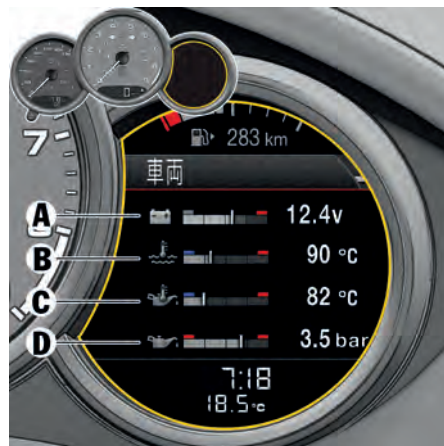


図 191：情報エリアの構成例

- A フィールド1：バッテリー電圧
- B フィールド2：冷却水温度
- C フィールド3：エンジン油温
- D フィールド4：エンジンオイルプレッシャー

さまざまな車両情報の中から4つを選択して、フィールド1、2、3および4に表示できます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。

B - 冷却水温度

バーが左部分にあるとき - エンジン冷間時

- ▶ 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

バーが中央部分にあるとき - 通常の作動温度
外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけるとレッドゾーンを示すことがあります。

バーがレッドゾーンにあるとき-作動温度が高すぎる

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。エンジン温度が高いことを示す警告シンボルがマルチファンクションディスプレイに表示され、警告灯が点灯または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。
- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、冷却水温度を低下させてください。

- ▶ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

クーラントレベルが低い場合、車両が極端に傾くと警告信号が表示されることがあります(急な坂道など)または長いカーブを走行中に高い横方向加速度を発生させる

(円を描くように走行するなど)。車両が「通常」の作動状態に戻っても警告灯が消えない場合、クーラントレベルを点検してください。

- ▶ 59 ページのチャプター「クーラントレベルの点検と補充」を参照してください。

C- エンジン油温

エンジン油温が高温になりすぎると、マルチファンクションディスプレイに警告信号が表示されます。

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

D- エンジン油圧

オイル圧力はエンジンの作動状態に応じて制御されます。

規定値

| エンジン回転数 | オイル圧力 |
|-----------|------------|
| 4,500 rpm | 2.5 bar 以上 |
| 5,000 rpm | 2.7 bar 以上 |
| 5,500 rpm | 3.0 bar 以上 |

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル圧力が低くなりすぎると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ 油圧が低すぎる場合は、直ちに停止してください。
- ▶ 適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。
- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、オイル圧力を上昇させてください。

- ▶ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 車両メニュー ▶ フィールド1 または フィールド2 または フィールド3 または フィールド4
2. 希望の表示項目を選択してください：

- バッテリー電圧
- オイル圧力：エンジン オイル プレッシャー
- オイル温度：エンジン油温

- クーラント温度 冷却水温度
- 残可走距離
- 目的地：到着：目的地または立ち寄り地への到着時刻および距離
- 目的地：走行時間：目的地または立ち寄り地までの走行時間および距離
- コンパス
- GPS 高度：海面上の車両の標高
- 所要時間
- 日付
- 放送局 / 曲：現在のラジオ放送局または音楽トラック
- 電話情報：信号の強さ / ネットワーク名
- 表示なし：空白

下部ステータスエリアの表示を変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ディスプレイ ▶ 下のライン
2. 希望の表示項目を選択してください：

- 所要時間
- 温度
- 時間 & 温度

メインメニューを変更する

メインメニューの特定の項目を必要に応じて表示する / 非表示にすることができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ディスプレイ ▶ メニュー スコープ
2. 希望の表示項目を選択してください：

- オーディオ
- 電話
- マップ
- ナビゲーション
- トリップ
- TPM

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- クロノ
- ギヤシフトアシスト
- G-Force

マルチファンクションディスプレイにPCM情報を一時的に表示する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ディスプレイ ▶ PCM ディスプレイ
2. 希望するPCM情報を選択してください。

- 地図情報：ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- 矢印情報：ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
- 電話情報：着信/発信電話の情報が表示されます。
- ボイスコントロール：ボイスコントロールボタンを押すとヘルプテキストが表示されます。

マルチファンクションディスプレイの明るさを調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ディスプレイ ▶ ディスプレイの明るさ
2. 希望の明るさを選択してください。

メニュー項目のヘルプテキストの表示/非表示

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ディスプレイ ▶ ヘルプ テキスト

機能が有効になっているときにメニュー項目を選択すると、ヘルプテキストが数秒間表示されます。

日付と時刻の設定

事前設定された日付と時刻の表示は、車両のすべてのディスプレイに採用されます。

時刻の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 ▶ 時間 / 分
2. 任意の時刻を設定してください。

時刻表示の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 ▶ フォーマット
2. 任意の時刻表示形式を選択してください。

- 12h:12 時間表示
- 24h:24 時間表示

GPS信号により自動的に時刻を同期する

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時刻 ▶ 自動時間

機能が有効なときは、時刻はGPS信号と同期されます。

インフォメーション

時刻をGPS信号と同期させるよう設定した場合、日時を手動で設定することはできません。衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 時間 - クロノ

機能が有効なとき、ダッシュボードのストップウォッチに時刻が表示されます。

日付の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 日付 ▶ 日付
2. 任意の日付を設定してください。

日付表示の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付と時刻 ▶ 日付 ▶ フォーマット
2. 希望の日付表示形式を選択してください。

- DD.MM.YYYY
- MM/DD/YYYY
- YYYY/MM/DD

ライト、フロントウィンドウワイパーおよびミラーの調整

ウェルカムホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト&ビュー ▶ 外部ライト ▶ 遅延消灯
2. 任意の遅延消灯を設定してください。

▶ 250 ページのチャプター「オートマチックカミングホームライトをONにする」を参照してください。

左側 / 右側通行でヘッドライトを切り替える

- ✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS) またはポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS プラス) 装備車両
- ✓ 車両が停止している。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ 外部ライト ▶ 左 / 右側通行

2. 以下の希望の項目を選択してください：

- **標準装備**：ヘッドライトが左ハンドル車では右側通行、右ハンドル車では左側通行に最適な位置になります。
- **反転**：ヘッドライトが左ハンドル車では左側通行、右ハンドル車では右側通行に最適な位置になります。

i インフォメーション

ヘッドライトの位置を**反転**に設定すると、イグニッションまたはロービームをONにするたびに、マルチファンクションディスプレイにライトが反転されたことを示すメッセージが表示されます。

ダイナミック ハイ ビームの作動 / 停止

- ✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 装備車

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ 外部ライト ▶ ダイナミックフルビーム

機能が有効なとき、ダイナミックハイビームを使用することができます。

- ▶ 251 ページのチャプター「ダイナミックハイビーム」を参照してください。

ドアを開いたときのインテリアライト自動点灯の有効 / 無効

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ ドアを開けたときのインテリアライト ▶

機能が有効なときは、ドアを開くとインテリアライトが点灯します。

オリエンテーションライトの明るさを調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ オリエンテーション

2. 希望の明るさを選択してください。

アンビエントライトの明るさ調節

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリア・ライト ▶ アンビエント・ライト

2. 希望の明るさを選択してください。

インテリアライトの遅延消灯モードを設定する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ フェードアウト

2. 任意の遅延消灯を設定してください。

マルチファンクション ステアリングホイールのボタンの割り当て変更

マルチファンクションステアリングホイールのボタンに、マルチファンクションディスプレイまたはPCMの任意の機能を割り当てることができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ハンドル操作 ボタン ▶ PCMのキー ▶ 機能またはクラスター機能

2. 以下の希望の項目を選択してください：

PCM 機能：

- **オーディオ**：オーディオを切り替えます。
- **ボイスコントロール**：音声操作の作動
- **音声案内繰返**：ナビゲーションの音声案内を繰り返します。
- **放送局 / 曲 <**：前の放送局または曲を選択します。
- **放送局 / 曲 >**：次の放送局または曲を選択します。
- **地図**：PCMにナビゲーション地図を表示します。

組み合わせ機能：

- **計時開始 / 停止**：計時を開始または停止します。
- **車両メニュー**：車両メニューを表示します。
- **オーディオ設定**：オーディオメニューを表示します。
- **電話メニュー**：電話メニューを表示します。
- **地図メニュー**：マルチファンクションディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
- **ナビメニュー**：ナビゲーションメニューを表示します。
- **トリップメニュー**：トリップメニューを表示します。
- **TPMメニュー**：TPMメニューを表示します。
- **クロノメニュー**：スポーツクロノメニューを表示します。
- **G-Forceメニュー**：G-Forceメニューを表示します。
- **ギヤシフトアシスト**：ギヤシフトアシストを表示します。

ドアロック機能を設定する

ドアのロック解除機能の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ ロック解除
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- すべてのドア：車両のロックを解除すると、すべてのドアのロックが解除されます。
- 運転席ドア：車両のロックを解除すると、運転席ドアのロックが解除されます。

ドアのロック機能の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ ドアロック
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- オフ：乗車後にドアは自動でロックされません。
- エンジン稼働：イグニッションをONにすると、ドアが自動的にロックされます。
- 発車の後：車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

ドアミラーの自動格納のON/OFF

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ ミラー 格納

機能を有効にすると、車両をロックしたときにドアミラーが自動的に格納します。

イージーエントリーのON/OFF

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック ▶ コンフォートエントリー

機能を有効にすると、運転者の乗降性を高めるために運転席シートとステアリングホイールを自動的に遠ざけることができます。

エアコン設定

✓ 2ゾーンオートエアコン装備車。

送風の強さと送風量を調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 風量
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- 弱：エアベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。
- 標準：標準の設定です。
- 強：車内への送風が強くなります。風の流れをはっきりと感じられるようになります。

アッパーベンチレーションパネルのON/OFF

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ ベントパネル

機能を有効にすると、ダッシュボードのアッパーベンチレーションパネルがONになります。

内気循環モードのON/OFFモード ON/OFF

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン ▶ 自動内気循環

機能を有効にすると、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

警告音量およびパーキングアシスタントの調節

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 音量 ▶ パーキングアシストまたは警告音
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- 高速
- 中速
- 小

単位の設定

スピードメーターの単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ タコメーター
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- キロメートル /km/h
- マイル /mph

インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- 合計距離およびトリップ表示
- デジタルスピードメーター
- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

温度計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 温度
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- °C (摂氏)
- °F (華氏)

i インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

圧力計の単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 圧力

2. 以下の希望の項目を選択してください：

- bar
- psi

i インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

平均燃費の表示単位の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 燃費

2. 以下の希望の項目を選択してください：

- L/100 km
- mpg (米国)
- mpg (英国)
- km/L

i インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

言語を変更

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 言語

2. 任意の言語を選択してください。

i インフォメーション

マルチファンクションディスプレイの言語が調整されます。

ポルシェカーコネクトの設定¹⁾

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ カーコネクト ▶ プライバシー

機能を有効にすると、車両とアプリ間の通信が制限されます。車両固有の情報はアプリに送信されません。このアプリを使用した車両設定は実施できません。

車両の契約が有効でない場合、カーコネクトメニュー項目は使用できません。

▶ 225 ページのチャプター「ポルシェカーコネクト」を参照してください。

詳しい情報は、www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。

i インフォメーション

プライバシー機能を有効にしても、車両が故障したとき、緊急電話をかけたとき、または車両が盗まれたときなどは車両の位置情報が送信されます。

▶ 車両を使用するすべての人に、プライバシー機能が解除される場合があることを伝えてください。

工場出荷時の設定に戻す

i インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、マルチファンクションディスプレイで選択したすべての設定が削除されます。

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット ▶ 工場設定 ▶ はい

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

1) 名前と機能は変更される可能性があります

ミラー

ドアミラーの使用

⚠ 警告

ドアミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを考慮に入れてください。
- ▶ 距離の判断はルームミラーと併用して行ってください。

⚠ 注意

電解液の流出

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドアミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドアミラーを格納してください。

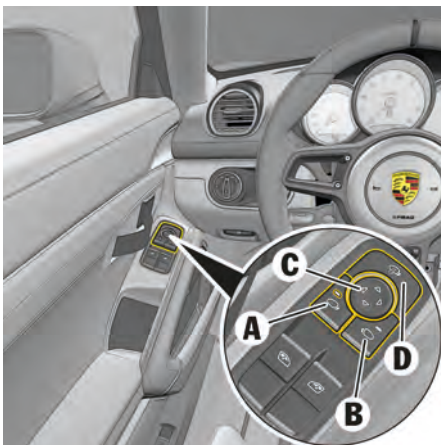


図 192 : ドアミラーの操作

- A ドアミラーの選択 - 運転席側
- B ドアミラーの選択 - 助手席側
- C ドアミラーの調節
- D ドアミラーの格納および復帰

ドアミラーの調節

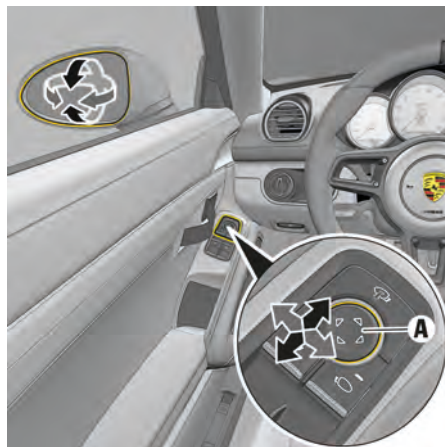


図 193 : ドアミラーの調節

- ✓ イグニッションが ON になっている。
-または-
 - ✓ イグニッションを OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分)。
1. 運転席側のドアミラーを調節するときはボタン A を、助手席側を調節するときはボタン B を押してください。
選択したボタンのインジケータライトが点灯します。
 2. 調節ボタン C を操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動調節機能が故障した場合

- ▶ ドアミラー表面を手で押して角度を調節してください。

ドアミラーの格納および復帰

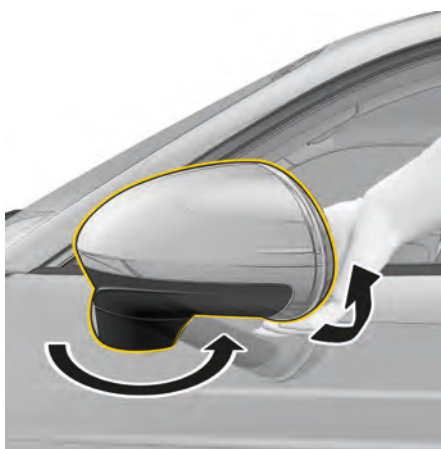


図 194 : ドアミラーの格納および復帰

ドアミラーの手動格納

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

ドアミラーの手動復帰

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

ドアミラーの電動格納 / 復帰

- ✓ 速度が 50 km/h 以下のとき。
- ▶ ボタン **D** を押してください (図 192 を参照)。
両方のドアミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

- ▶ ドアミラーの手動格納と手動復帰

車外からのドアミラーの格納 / 展開

車両がロックされるときに、ドアミラーを格納することが可能です。

- ▶ キーの **🔒** ボタンを 1 秒以上押し続けてください。
ドアミラーが格納されます。

ドアミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションを ON にします。
ドアミラーが自動的に復帰します。

ドアミラーの自動的な格納 / 復帰

- ✓ 機能が作動している。
- ▶ 236 ページのチャプター「ドアミラーの自動格納の ON/OFF」を参照してください。

ドアミラーの自動格納

- ▶ 車両をロックします。
ドアミラーが自動的に格納されます。

ドアミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションを ON にします。
ドアミラーが自動的に復帰します。

i インフォメーション

ボタン **D** を押して手動でドアミラーを格納した場合は、イグニッションを ON にした後、自動的に元の位置に復帰しません (図 192)。

ドアミラーの自動減光機能の ON/OFF

ルームミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドアミラーの防眩機能が作動します。

- ▶ 240 ページのチャプター「ルームミラーの自動防眩機能の ON/OFF」を参照してください。

ルームミラーの手動防眩



図 195 : ルームミラーの手動防眩

ミラーを調節するときは、減光のレバー **A** を車内側に向けてください。

- ▶ 通常位置 - レバーを車内側に向けます。
- ▶ 減光位置 - レバーをフロントウィンドウ側に回してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ルームミラーの自動防眩機能のON/OFF

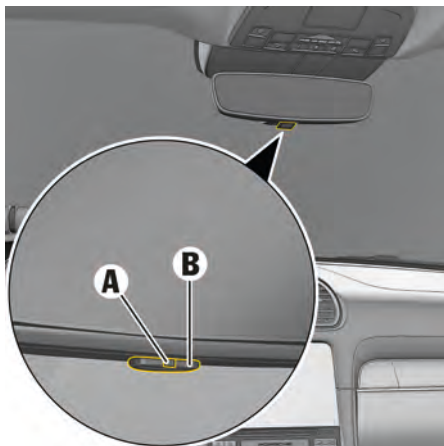


図 196：ルームミラーの自動防眩機能

自動防眩機能をONにする

- ▶ ボタン **B** を押します。
インジケータライト **A** が点灯します。
光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルームミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

i インフォメーション

リバースギヤに入れた場合、またはインテリアライトが点灯している場合は、ルームミラーの自動減光機能は作動しません。

自動防眩機能をOFFにする

- ▶ ボタン **B** を押します。
インジケータライト **A** が消灯します。

⚠ 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

i インフォメーション

ルームミラーに投射する光を妨げないでください。(リヤウィンドウにステッカーを貼り付けたり、後方視界を妨げるほど大きな荷物をラゲッジコンパートメントまたはラゲッジコンパートメントカバーに積むなど)。ラゲッジコンパートメントカバーの使用同様に、フロントウィンドウを通してフロント照度センサーに当たる光をステッカー等で妨げないようにしてください。

メディア

概要

この概要説明は「メディア」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 213 ページのチャプター「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」を参照してください。

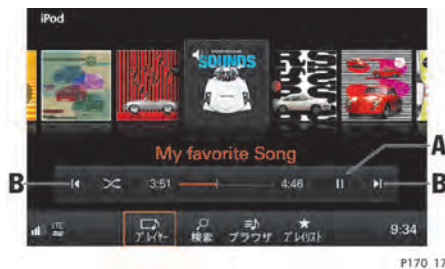


図 197：メディアソース、iPod など

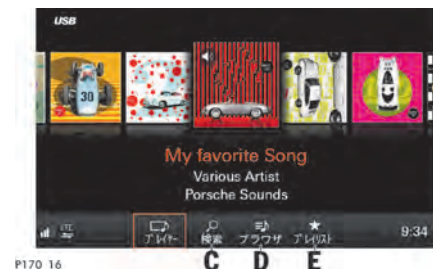


図 198：メディアソース、USB など

| 運転者が何をしたいか？ | その操作方法は？ | ページ |
|---------------------------------|--|---------------------------------|
| メディアソースから音楽やビデオファイルを再生する | <ul style="list-style-type: none"> ▶ CD/DVD を挿入してください。 ▶ メディアの内容をジュークボックス（内部メモリ）にインポートしてください。 ▶ SD カードを挿入してください。 ▶ USB を介して外部機器を接続してください。 ▶ 外部デバイスを Bluetooth® 経由で接続してください。 ▶ アプリでオンラインラジオサービスを開きます。 | 218 244 218 219 212 |
| メディアソースを選択する | ▶ SOURCE ボタン▶希望のメディアソースを選択してください。 -または- MEDIA ボタンを繰り返し押してください。 | 242 |
| 音楽を再生/一時停止する | ▶ MEDIA ボタン▶プレーヤー ▶ または を選択してください(Aを参照)。 | 242 |
| 再生中に次の/前のトラックの頭出しをする | ▶ MEDIA ボタン▶プレーヤー ▶ または を選択してください(Bを参照)。 | 242 |
| メディアライブラリー内を検索する | ▶ MEDIA ボタン▶ 検索 (Cを参照) または ブラウズ (Dを参照) を選択してください。 | 243 |
| プレイリストを開く | ▶ MEDIA ボタン▶プレイリスト (Eを参照) を選択してください。 | 244 |
| 類似の音楽を聴く | ▶ MEDIA ボタン▶ OPT ボタン▶似たテイストの曲を再生 | 243 |
| オーディオ/ビデオファイルを Jukebox ヘインポートする | ▶ MEDIA ボタン▶ OPT ボタン▶ジュークボックスにインポート | 244 |

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

メディアソースの挿入 / 接続

- ▶ 218 ページのチャプター「CD/DVD ドライブを読み込む」を参照してください。
- ▶ 218 ページのチャプター「SD カードを挿入する」を参照してください。
- ▶ 218 ページのチャプター「外部機器の接続」を参照してください。

メディアソースの選択

- ▶ **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

—または—

- ▶ 希望のメディアソースが選択されるまで **MEDIA** ボタンを押ししてください。

—または—

1. ヘッドラインに表示されたメディアソースを押ししてください。
選択可能なソースが表示されます。
2. メディアソースを選択してください。

メディアの再生

メディア機能を使用して再生するには、オーディオおよびビデオフォーマットが特定の要件を満たしている必要があります。対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

- ▶ 278 ページのチャプター「ポルシェコミュニケーションマネージメント (PCM)」を参照してください。

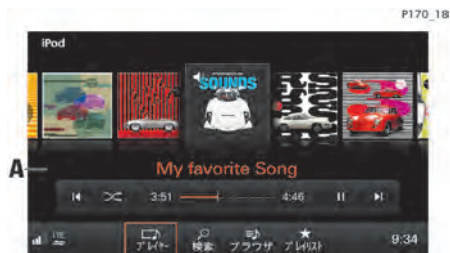


図 199：音楽を再生する



図 200：ビデオの再生

| 機能 | ボタン |
|-------------------|-----|
| メディアを再生する | |
| メディアを一時停止する | |
| 次のトラック / チャプターへ進む | |
| 前のトラック / チャプターに戻る | |
| 音楽をランダムに再生する | |
| カバーフロービューを表示する | |

| 機能 | ボタン |
|----------------------------|-----|
| ビデオをフルスクリーンモードで表示する | |
| カバーフロービューまたは用意されたビデオソースを開く | |
| ビデオメインメニューに戻る | |





音楽を再生する

- ✓ オーディオソースが選択されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ プレーヤー
2. カバーフロービュー A (図 199) で、希望のアルバムが中央に拡大表示されるまで左または右にスワイプしてください。
—または—
アルバムを再生するには、 を選択してください。
—または—
ロータリープッシュボタンを押ししてください。
—または—
アルバムおよび希望の楽曲を選択してください。
オーディオソースを選択すると、メディアの最初の曲が自動的に再生されます。ジュークボックスを使用する場合は、最近再生された曲が再生されます。





次の / 前のトラックの頭出しをする

✓ メディアソースが選択されている。

- ▶ 前にスキップするには、 を選択するか  ボタンを押してください。トラックの再生が始まった直後であれば、前のトラックの先頭に戻ります。トラックの再生が始まって3秒以上経過していれば、再生中のトラックの先頭に戻ります。
- ▶ 次にスキップするには、 を選択するか  ボタンを押してください。


早送り / 早戻し

✓ メディアソースが選択されている。


- ▶ 希望の位置になるまで  /  または  /  ボタンを押し続けてください。
- または -
タイムバーを希望の位置までスライドさせてください。

ランダム再生の ON/OFF

✓ メディアソースが選択されている。



- ▶  を選択してください。ランダム再生が ON になります。
- ▶ ランダム再生を OFF にするには、もう一度ボタンを押してください。

類似の音楽を表示する

1.  ボタンを押してください。
2. 似たテイストの曲を再生を選択してください。




曲を繰り返し再生する

✓ メディアソースが選択されている。
✓ アルバムまたはプレイリストが選択されている

1.  ボタンを押してください。
 2. トラックをリピートを選択してください。ヘッドラインにリピートモードが表示されます。
- ▶ リピートモードを OFF にするには、 ボタンを押してリピート OFF を選択してください。

ビデオの再生

✓ ビデオソースが選択されている

- ▶  を選択してください。
- または -
希望するビデオを選択してください。
- または -
 および希望のチャプターを選択してください。
- ▶ ビデオのメインメニューに戻るには、 を選択してください。

マルチファンクションディスプレイを使用して、有効なオーディオソースからトラックを選択する

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：


- ▶ 226 ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。
- ▶ 226 ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。

1. オーディオメニューを選択してください。
2. 有効なオーディオソース（ディスクなど）からトラックを選択してください。

メディアソースから検索

トラックまたはビデオを検索する

✓ メディアソースが選択されている。

1. 検索  を選択してください。
2. 検索を選択し、テキスト検索フィールドに希望のトラックを入力してください。
- または -
検索に使用するカテゴリー（ジャンル、アーティスト、アルバム、トラック、ビデオ）を選択してください。
3. 希望のトラックを選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や


ら

わ

A-Z

メディアの閲覧

✓ メディアソースが選択されている。

1. ブラウザ  を選択します。
2. 希望のフォルダーおよびメディアトラックを選択してください。

▶ フォルダー構成に戻るには、ヘッドラインにある希望のメディアフォルダーを選択してください。

プレイリストを開く

選択したメディアソースに応じて、追加のプレイリストを使用してメディアを再生できません。

プレイリストを開く

✓ オーディオソースが選択されている

1. プレイリスト  を選択してください。
2. 以下の希望の項目を選択してください。

- 現在のプレイリスト: 選択したソースのフォルダー構成またはトラック/チャプターリストが表示されます。
- 最近再生された曲
- 再生回数が多い曲
- 星評価を含むトラック

Jukebox のオーディオ / ビデオファイルのインポートおよび削除

USB フラッシュドライブまたは SD カードのオーディオおよびビデオファイルをジュークボックスにインポートすることができます。

現在のトラックまたはアルバムのインポート中

- ✓ ジュークボックスにコピーするトラックまたはアルバムが含まれるメディアソースを選択している
- ✓ 希望のトラックまたはアルバムが選択されている

1. **OPT** ボタン ▶ ジュークボックスヘインポート
2. 選択 現在のトラックをインポート または インポート 現在のアルバム。
トラックまたはアルバムがインポートされます。

フォルダーまたはファイルのコピー中

✓ メディアソースが選択されている。

1. **OPT** ボタン ▶ ジュークボックスヘインポート
2. ファイル / フォルダーをコピーを選択してください。
使用可能なすべてのフォルダーおよびファイルが表示されます。
3. 選択 / 選択解除により、希望のファイルまたはフォルダーを選択してください。
4. メディアのインポートを開始するにはコピーを選択してください。

ジュークボックスからメディアコンテンツを削除する

✓ ジュークボックスがメディアソースとして選択されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶
ジュークボックスの設定
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- 現在のトラックを削除
- 現在のアルバムを削除
- ファイル / フォルダーを削除：選択 / 選択解除を押して、ファイルまたはフォルダーを選択し、削除を押して決定する。

記憶容量（空き領域 / 使用領域）を表示する

✓ ジュークボックスがメディアソースとして選択されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶
ジュークボックスの設定
2. ソースの詳細を選択してください。

設定の変更

一般的なメディア設定

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶
メディア設定
2. 以下の希望の項目を選択してください：
 - スマートフォンリンク：USBで接続されたスマートフォンを管理します。
 - Bluetooth オーディオ：Bluetooth® 接続の ON/OFF を切り替えます。
 - Gracenote Online：機能が作動しており、データ接続が有効な場合、インターネットから、アルバムカバーがダウンロードできます。
 - Bluetooth：Bluetooth® 機能およびデバイスを管理します。
 - ▷ 153 ページのチャプター「Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示」を参照してください。

ビデオの設定

- ✓ ビデオファイルを含む DVD が挿入されている

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶
DVD 設定
2. 以下の希望の項目を選択してください：

- 画面比率：アスペクト比を設定します。
- 音声トラック：サウンドトラックおよび音質を設定します。
- 字幕：機能を有効化すると、字幕が表示されます（利用可能な場合）。
- チャイルドロック：ビデオファイルの再生を制限するには、パスワードを入力し、**OK**

を選択して確定してください（デフォルトのパスワード：1234）。

- ディスクのセーフティレベル：セーフティレベルを選択してください。セーフティレベル5を選択すると、セーフティレベル1～5のすべてのDVDが再生されます。セーフティレベルがこれより高いDVDの再生はブロックされます。セーフティレベルが必要な場合はレベル0を選択してください。
- パスコードを変更：チャイルドロック用の新しいパスワードを入力することができます。

インフォメーション

- チャイルドロックは挿入されたDVDに応じてON/OFFを切り替えることができます。
- 誤ったチャイルドロック用パスワードを3回入力した場合：
 - ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ラップトリガー

ラップトリガーはラップタイムを自動的に計測します。このシステムは、サーキットのコース脇に設置される赤外線送信機と、車両に搭載される赤外線受信機で構成されています。

テクニカルデータ

| | |
|------------|---------------|
| 送信機の許容電圧範囲 | 11V ~ 16V |
| 送信機の消費電力 | 1.2W |
| 受信機の許容温度範囲 | +10°C ~ +60°C |

受信機の諸注意

- 走行するサーキットによって、受信機を車両の右側、または左側に取り付けてください。
- 最適な送受信を確保するために、受信機と送信機の間に障害となる物がないようにしてください。
- 送受信に障害が発生する恐れがあるため、受信機を直射日光が当たる場所に設置しないでください。

知識

外気温度が +10°C 以下になると、受信機に恒久的な損傷が生じることがあります。

- ▶ 外気温度が +10°C 以下の場合、車両から受信機を取り外してください。

受信機の取り付け

クラブスポーツ パッケージ 装備車

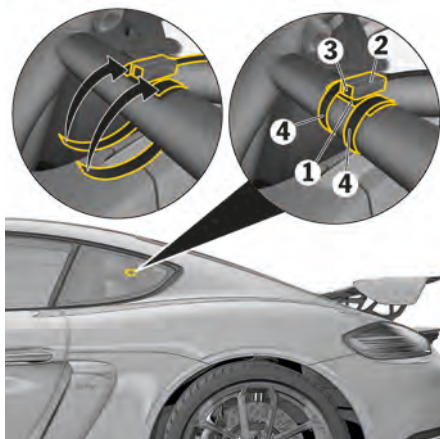


図 201 : クラブスポーツ パッケージ 装備車

1. ブラケット **1** をベルクロストラップ **4** でロールケージに固定してください。
2. 受信機 **2** をブラケット **1** と水平になるように取り付けてください。受信部 **3** がリヤサイドウィンドウから見える位置に取り付けてください。

クラブスポーツ パッケージ 非装備車

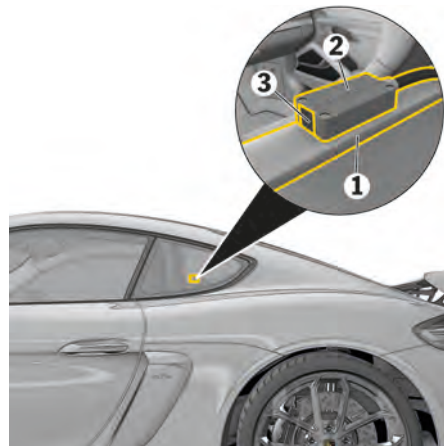


図 202 : クラブスポーツ パッケージ 非装備車

- ▶ 受信機 **2** をブラケット **1** と水平になるようにベルクロストラップで取り付けてください。受信部 **3** がリヤサイドウィンドウから見える位置に取り付けてください。

受信機の接続

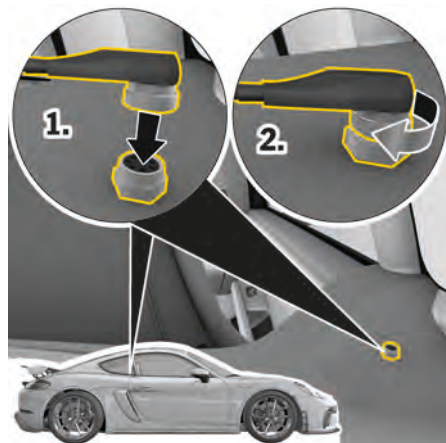


図 203：小物入れのソケット

1. 受信機のケーブルを助手席シート後部にあるソケットに挿入してください。
2. コネクターのネジ部を回し、ソケットに固定してください。

サーキットのコース脇への送信機の設置



図 204：送信機の設置

i インフォメーション

サーキット上にポルシェラップトリガーシステムを装備した複数の車両が走行している場合、送信機は1台のみ設置してください。受信側は複数の送信機を区別することができません。また、送信機の前を通過を検出するたびに新たなラップに入ったと認識されます。

市販されている高さ調整可能なカメラ用三脚が使用できます。

三脚を使用しない場合は、送信機を固く平坦な場所に設置してください。

知識

送信機を損傷する恐れがあります。車両通過時の風により、送信機が倒れたり、飛ばされたりする恐れがあります。

▶ 送信機は安全かつ安定した場所に設置してください。

1. 送信機 A が受信機と同じ高さになるようにスタートラインのサーキットのコース脇に設置してください。
2. 送信機 A をコースと平行になるように調節してください。

送信機への電源

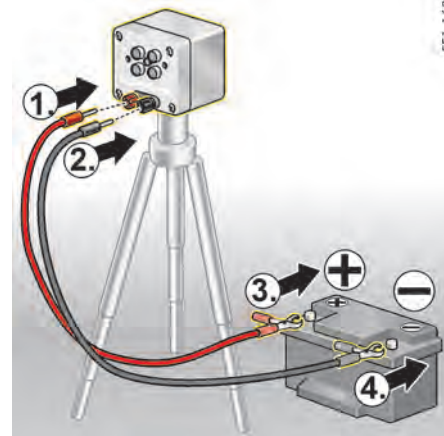


図 205：送信機への電源

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

市販されているバイクまたは自動車用のバッテリーなどを使用して送信機に電源を供給できます。

- ▶ バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

知識

ショートによる損傷の恐れがあります。

- ▶ バッテリーは乾いた状態に保ってください。
- ▶ 極性が合っているか確認してください。

1. 送信機の赤色のコネクタに赤色のケーブルを挿入してください。
2. 送信機の黒色のコネクタに黒色のケーブルを挿入してください。
3. バッテリーのプラス (+) 端子に赤色のケーブルを接続してください。
4. バッテリーのマイナス (-) 端子に黒色のケーブルを接続してください。

計時の開始

最初のラップは手動で計測を開始してください。ラップタイムが自動的に記録されます。

- ▶ クロノ ▶ 開始

- ▷ 64 ページのチャプター「計時の開始」を参照してください。

ライト

ライトスイッチの設定

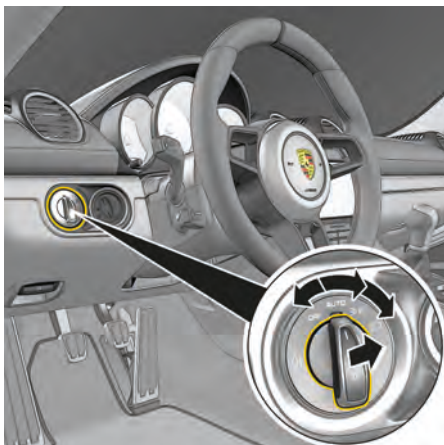




図 206 : ライトスイッチ

 ライトスイッチ
OFF ライトの消灯


イグニッションが ON のとき、デイトタイムドライビングライトが点灯します。

AUTO 自動ドライビングライトアシスト


日中にイグニッションが ON のとき、デイトタイムドライビングライトは自動的に点灯します。

 ナイドライト


ライセンスライト、インストルメントライトおよびデイトタイムドライビングライトが点灯します。

 ロービーム/ドライビングライト

イグニッションが ON のときのみ、フォグライト、モーターウェイライトおよびダイナミックハイビームが非作動となります。

 ノヤフォグライト

ロービーム位置でスイッチを引いてください。インジケータライトが点灯します。


 インフォメーション


- 灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がり防止します。各国の法律等に準拠して、ライトの仕様が異なる場合があります。
- 気温と湿度により、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

ロービーム/ドライビングライト

ライトスイッチを **AUTO** の位置にすると、次の状況でロービームが自動的に点灯します。で次の状況を演じます。

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速走行 (ボルシェダイナミックライトシステム PDLs 装備車)

ロービームの点灯時には、スピードメーターのインジケータライト  が点灯します。

 インフォメーション

オートマチックヘッドライトは、霧を感知することができません。

- ▶ 霧が発生したときは、手でドライビングライトを点灯させてください。

雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから 5 秒が経過すると、ドライビングライトが自動的に ON になります。

周囲が明るくワイパーが約 4 分間使用されない状態が続くと、ドライビングライトが消灯します。

自動ドライビングライトアシスタント

ドライビングライトアシスタントはコンフォート機能の 1 つです。この車両のドライビングライト (ロービーム) は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯 / 消灯します。

オートマチックヘッドライト機能は、デイトタイムライト、オートマチックカミングホームライトおよびダイナミックコーナリングライト (装備仕様による) なども制御します。オートマチックドライビングライトアシスタントを有効にするには：

- ▶ ライトスイッチを **AUTO** の位置に回してください。

i インフォメーション

なおドライビングライトアシスタントを作動させているときも、法律等を遵守し、ライトスイッチの手動操作によってドライビングライトを点灯/消灯することは運転者の責務です。ドライビングライトアシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビングライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

▲ 警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーや歩行者の視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動でONにしてください。
- ▶ 地域の法律などを遵守してロービームで走行してください。

オートマチックカミングホームライトをONにする

- ▶ ライトスイッチを**AUTO**にしてください。一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：
 - デイタイムドライビングライト
 - ドアミラーのカーテシーライト〔電動格納式ドアミラー装備車〕
 - リヤの車幅灯
 - ライセンスプレートライト

ウェルカムホーム機能(遅延消灯)

キーを抜き取ると、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになります。マルチファンクションディスプレイのエクステリアライトの遅延消灯調整に関するインフォメーション：

- ▷ 234 ページのチャプター「ウェルカムホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」を参照してください。

エントリー/イグジット機能

車両をロック解除すると、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

以下の場合は、ライトが消灯します：

- イグニッションをONにする
- ライトスイッチを**AUTO**の位置から動かしたとき

マルチファンクションディスプレイのエクステリアライトの遅延消灯調整に関するインフォメーション：

- ▷ 234 ページのチャプター「ウェルカムホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」を参照してください。

ポルシェダイナミックライトシステム (PDLS)

ダイナミックコーナリングライトおよび夜間の高速道路機能を作動させるには：

- ▶ ライトスイッチを**AUTO**の位置に回してください。

ダイナミックコーナリングライト

約8km/h以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリングホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロービームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミックコーナリングライトが故障した場合、インストルメントパネルのPDLS警告灯が点滅します。

- ▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約130km/hを超えるとドライビングライトの配光特性が変化します。このときドライビングライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

フォグ・ライト

速度が70km/h以下でリヤフォグライトが点灯している場合、ドライビングライトの配光特性が変化します。

このときドライビングライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS プラス)

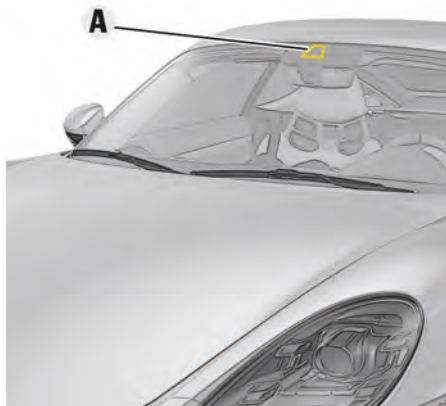


図 207 : カメラの取り付け位置

ダイナミック ハイビーム

ダイナミックハイビーム装備車では、ルームミラー付近に取り付けられたカメラ A で前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビングライトの遮光ポイントをハイビームからロービームの間で段階的に調節します。ドライビングライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

- ✓ ライトスイッチの **AUTO** 位置が選択されている
- ✓ 速度が約 60 km/h (37 mph). 以上。
- ✓ マルチファンクションディスプレイでダイナミックハイビームを有効にする
 - ▷ 235 ページのチャプター「ダイナミックハイビームの作動 / 停止」を参照してください。

- ✓ ダイナミックハイビームが ON になっている。
 - ▷ 252 ページのチャプター「ハイビームの作動」を参照してください。

市街地走行時にハイビームに切り替わらないようにするため、ダイナミックハイビームは約 35km/h 以下の速度では作動しません。また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイビームからロービームに切り替わります。

警告 集中力の低下

ダイナミックハイビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

- 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきなどの悪天候時
- 対向車を確認しにくい道路（高速道路など）
- 明るさが弱いライトの他車（自転車など）が走行している場合
サイクリストなど
- 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
- 明かりが少ない市街地
- 光を強く反射する物体（看板など）がある道路
- フロントウィンドウのカメラの視界に曇り、汚れ、凍結がある、またはステッカーで覆われている
 - ▶ 十分注意して運転してください。
 - ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
 - ▶ 必要な場合、ハイビームを周囲の明るさ、視界、交通状況に合わせて手動で調節してください。

i インフォメーション

- ▶ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください。ルームミラーのカメラの視界（図 207 を参照）をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
- ▷ 車両のお手入れについて：110 ページのチャプター「車両のお手入れ」を参照してください。

方向指示器 / ハイビームレバーの操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイビームに加えて、パーキングライトおよびヘッドライトパッシングも操作できます。

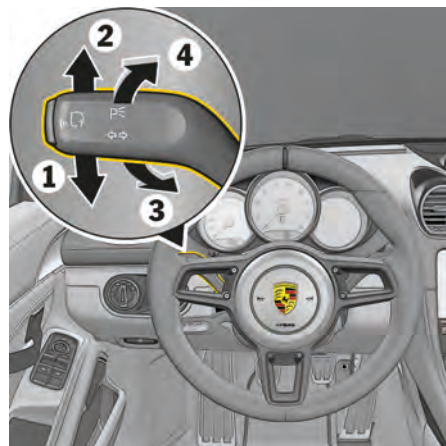


図 208 : 方向指示灯およびハイビーム操作レバー

- 1 方向指示灯、左
- 2 方向指示灯、右
- 3 ハイビーム、ダイナミック ハイビーム
- 4 ヘッドライトパッシング

方向指示器の操作

- ▶ 抵抗を感じる位置 **1** または **2** まで操作レバーを動かします。
方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。
- ▶ 操作レバーを **1** または **2** 段階目まで1回動かしてください。
方向指示灯が3回点滅します。

ハイビームの作動




ハイビームの点灯/消灯(ダイナミックハイビーム非装備車)

- ▶ **ONにする**：抵抗を感じる位置 **3** まで操作レバーを1度押してください。
インジケーターライトが点灯します。
- ▶ **OFFにする**：レバーを **4** 段階目まで1回動かしてください。

ダイナミックハイビームの作動/停止

ダイナミックハイビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません。


- ✓ 夜間
- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。
- ✓ 速度が約 60 km/h(37 mph) 以上。
- ✓ マルチファンクションディスプレイでダイナミックハイビームを有効にする-
 - ▷ 235 ページのチャプター「ダイナミックハイビームの作動/停止」を参照してください。

- ▶ **作動**：操作レバーを **3** 段階目まで1回動かしてください。
インジケーターライト  が点灯します。
ロービームとハイビームの間で段階的に配光が自動調節されます。
ハイビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、 インジケーターライトが点灯します。
- ▶ **停止**：レバーを **4** 段階目まで1回動かしてください。
インジケーターライト  が点灯しているときのみダイナミックハイビームを解除できます。


ダイナミックハイビームの手動点灯/消灯

ダイナミックハイビームを解除した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手でハイビームの点灯/消灯を切り替えることができます。

以下の条件を満たさなければなりません。

- ✓ 夜間
- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。
- ▶ **ONにする**：レバーを **3** 段階目まで2回動かしてください。
インジケーターライト  が点灯します。
- ▶ **OFFにする**：レバーを **4** 段階目まで1回動かしてください。

ヘッドライトパッシングを操作する

- ▶ レバーを **4** 段階目まで1回動かしてください。
インジケーターライト  が短時間点灯します。

パーキングライトの点灯/消灯

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ▶ 操作レバーを上方向**2**または下方向**1**に押すと右または左側のパーキングライトが点灯します。

パーキングライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くとマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▷ 70 ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

ハザードライトのON/OFF



図 209：センターコンソールのハザードライトボタン

ハザードライトはイグニッションがOFFのときでも機能します。

ハザードライトのON/OFF

- ▶ センターコンソールのハザードライトボタンを押してください。
すべての方向指示灯とボタンのインジケーターライトが同時に点滅します。

緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

約 70 km/h 以上の速度で走行中、目前に渋滞の最後尾が現れたときなどに、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキライトが点滅し、ハザードライトが自動的に作動します。

- ▶ センターコンソールのボタンを押して、ハザードライトを停止させてください。
車両が動き出すと、ハザードライトが自動的に停止します。

事故後のハザードライトの解除

衝突時、ハザードライトが自動的に作動します。

- ▶ ハザードライトを停止するためには、イグニッションを OFF にした後、再度イグニッションを ON にしてください。

発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換

デイトタイムドライビングライト、フロントサイドライト、方向指示灯、バイキセノンヘッドライトのガスディスチャージバルブ、テールライト、ライセンスライト、ハイマウントブレーキライト、インジケーターライトおよびルームライトは、発光ダイオード (LED) およびロングライフバルブが使用されています。

LED は個別に交換できません。

ロングライフバルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 不具合のある LED とバルブの交換はボルシェ正規販売店にお任せください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ラゲッジコンパートメント

荷物の積載



警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
 - ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
-
- ▷ 272 ページのチャプター「重量」を参照してください。

停止表示板の取り外し

停止表示板は、ラゲッジコンパートメントの裏側（図 210 の A）に収納されています（国別仕様により異なります）。

応急処置セットの固定および取り外し

応急処置セット（国によって異なります）は、フロントラゲッジコンパートメント内のカーペット（ベルクロストラップ、図 211、B）に固定することができます。

タイヤシーラント（タイヤモビリティシステム - TMS）または工具セットの取り外しと収納

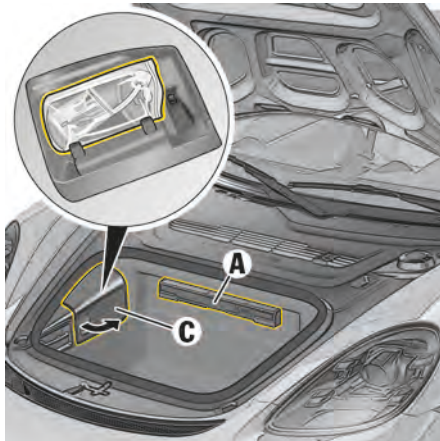


図 210：タイヤシーラントが入ったプラスチックの箱 C
（タイヤモビリティシステム - TMS）

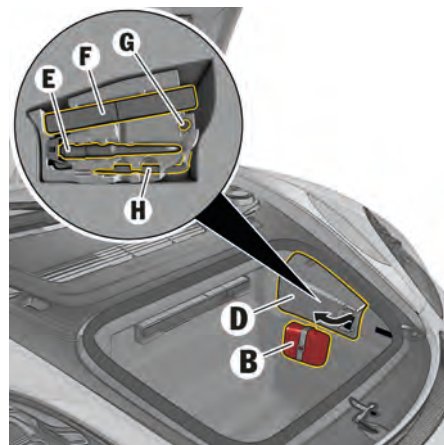


図 211：車載工具を収納したプラスチックボックス D

- E けん引フック
- F 車載工具
- G 盗難防止ホイールボルト用アダプター
- H コンチプレットトップの緊急操作用キー
（718 Spyder）

タイヤシーラント/工具セットの取り外し

- ▶ プラスチックボックスの取っ手をつかんで、取り外してください。

タイヤシーラント/工具セットの収納

1. 後部のラグを挿入してください。
2. プラスチックボックスの前部をはめ込んでください。

タイヤ充填コンプレッサーの 取り外しおよび収納

タイヤ充填コンプレッサーの取り外し

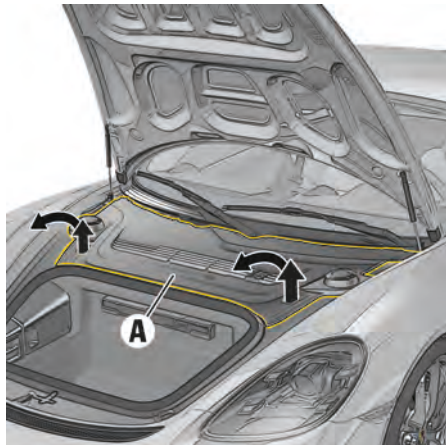


図 212：プラスチックカバーの取り外し

1. プラスチックカバー **A** の取っ手〔矢印〕を持って持ち上げ、ラッチを外してください〔外れる音が聞こえます〕。
2. プラスチックカバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。



図 213：プラスチックカバーの取り付け

3. プラスチックカバー下側の固定ストラップ **B** を外し、ラゲッジコンパートメントリッドに取り付けてください。

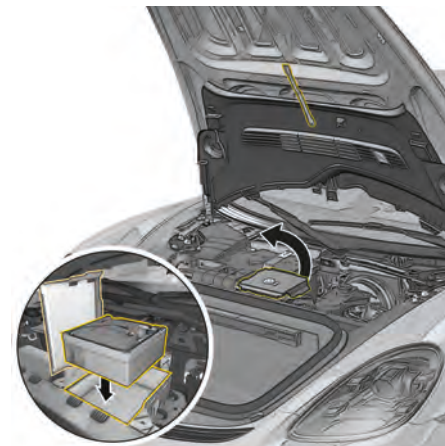


図 214：タイヤ充填コンプレッサーの収納スペースを開く

4. タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開いてください（図 214）。
5. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースから取り出してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

タイヤ充填コンプレッサーの収納

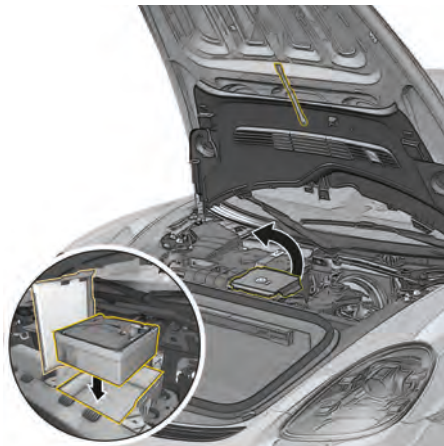


図 215：タイヤ充填コンプレッサーの交換

1. タイヤ充填コンプレッサーを収納ボックスに入れてください(図 215)。
2. 収納ボックスのカバーを閉じてください。

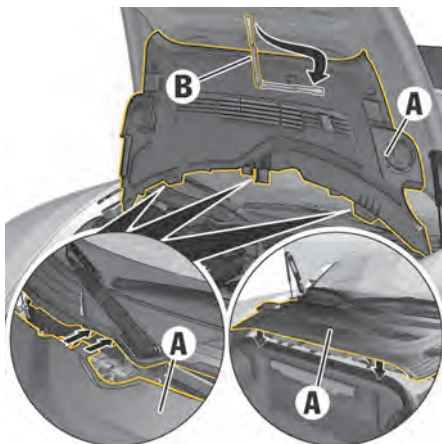


図 216：プラスチックカバーを閉じる

3. 固定ストラップ **B** を外し、プラスチックカバーにはめ込んでください。
4. プラスチックカバー **A** の後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置いてください。プラスチックカバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリングピンが各ガイドにはまっていることを確認してください。ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取手部分を下に押ししてください。

ラゲッジカバーの取り外し / 取り付け

✓ 718 Cayman GT4

ラゲッジカバーはラゲッジコンパートメント内の荷物を直射日光や人目から覆い隠します。

知識

ラゲッジカバーは鋭利な物や滑った荷物によって損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジカバーを損傷する恐れのある荷物を積み込むときは、ラゲッジカバーを取り外してください。

ラゲッジカバーを取り外す



図 217：ラゲッジカバーを取り外す

1. 片手でラゲッジカバーを押さえながら、両方のロックを反時計回りに回してください。
2. 両手でラゲッジカバーを取り外してください。

ラゲッジカバーを取り付ける



図 218：ラゲッジカバーを取り付ける

- ▶ 両手でラゲッジカバーをマウントに差し込み、片手で押さえながら両方のロックを時計回りに回してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ラゲッジコンパートメントリッド

ラゲッジコンパートメントリッドの開閉操作とロック

車内のボタンでフロントラゲッジコンパートメントリッドを開く

知識

ラゲッジコンパートメントリッドまたはフロントウィンドウワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメントリッドを開くときは、フロントウィンドウワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントリッドを開く前に、必ずフロントワイパーをOFF(ワイパーレバーを0の位置)にしてください。衝突の危険があります。ワイパーアームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパーシステムを一時的にONにしてからOFFに切り替えてください。

- ▷ 197ページのチャプター「フロントワイパーの操作」を参照してください。

i インフォメーション

バッテリーが上がってしまった場合、外部電源を接続すればフロントラゲッジコンパートメントリッドを開くことができます。

- ▷ 260ページのチャプター「フロントラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」を参照してください。

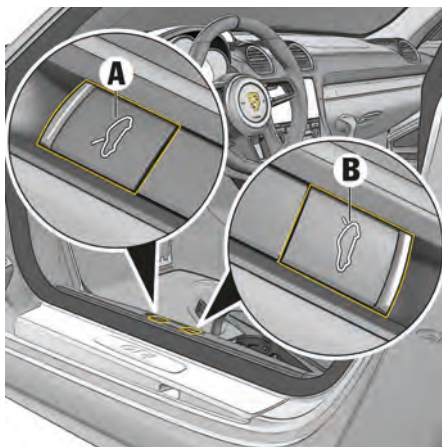


図 219：ラゲッジコンパートメントリッドのロック解除

A フロントラゲッジコンパートメントリッドボタン
B リヤラゲッジコンパートメントリッドボタン

1. ボタン **A** を引いてください。リッドがロック解除されます。



図 220：フロントラゲッジコンパートメントリッドのロック解除

2. リッドを少し持ち上げ、セーフティーラッチ(矢印)を解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。

車内のボタンでリヤラゲッジコンパートメントリッドを開く

- ✓ 718 Spyder：コンバーチブルトップが開いている。
- ▷ 91ページのチャプター「コンバーチブルトップの開作業」を参照してください。

i インフォメーション

718 Spyder：コンバーチブルトップを閉じているときは、運転席隣のボタン **B** が無効になります。

- ボタン**B**を引いてください。
リッドがロック解除されます。
- リッドをわずかに持ち上げ、それから完全に開いてください。

リアラゲッジコンパートメントリッドのロック

✓ 718 Cayman GT4

ラゲッジコンパートメントリッドは、2箇所の位置で開いたままロックすることができます。

- ▶ **位置1**：ラゲッジコンパートメントリッドを抵抗がある位置まで持ち上げてください。
- ▶ **位置2**：ラゲッジコンパートメントリッドを抵抗がある位置からさらに持ち上げてください。

キーでラゲッジコンパートメントリッドを開く

- ✓ 718 Spyder：コンバーチブルトップが開いている。
- ▷ 91ページのチャプター「コンバーチブルトップの開作業」を参照してください。

i インフォメーション




718 Spyder：コンバーチブルトップを閉じているときは、キーのボタンは無効になります。



図 221：キーでラゲッジコンパートメントリッドを開く

-  または  ボタンを押してください。
リッドがロック解除されます。
- リッドを少し持ち上げてください。
- フロントラゲッジコンパートメントリッド：セーフティキャッチを解除してください。
- リッドを完全に開いてください。

i インフォメーション

キーを使用してラゲッジコンパートメントリッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

ラゲッジコンパートメントリッドを閉じる

▲ 注意

重いラゲッジコンパートメントリッド

半分開いた状態のラゲッジコンパートメントリッドを閉じるとき、それ自体の重さが原因でロックされます。

- ▶ 可動部品(ヒンジ)付近やラゲッジコンパートメントリッドの下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。

- リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
- リッドが確実にロックされていることを確認してください。
- リッドが正しく閉じていない場合、走行時にマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

フロントラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除

バッテリー上がりの場合、フロントラゲッジコンパートメントリッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。

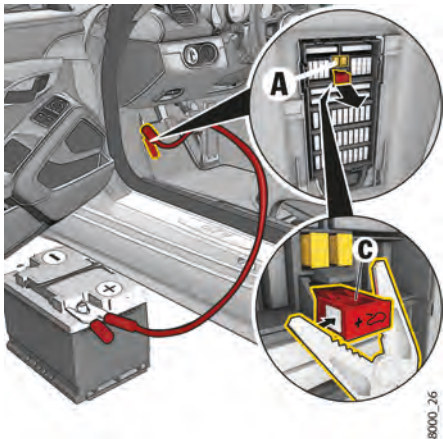


図 222：ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除 - プラス端子の接続

- A** プラスチック製ヒューズリムーバー
C プラス端子 (赤色)

1. エマージェンシーキーを使用して、ドアロックを解除してください。
 - ▷ 107 ページのチャプター「エマージェンシーキーを使用する場合」を参照してください。
 - ▷ 125 ページのチャプター「緊急ドアロック解除の実行」を参照してください。
2. 左側ヒューズボックスのプラスチックカバーを取り外してください。

3. ヒューズリムーバー **A** (黄色) を使用して、ヒューズボックスのプラス端子 **C** (赤色) を引き出してください。
4. 赤いジャンパーケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子と、ヒューズボックスのプラス端子 **C** を接続してください。

i インフォメーション

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

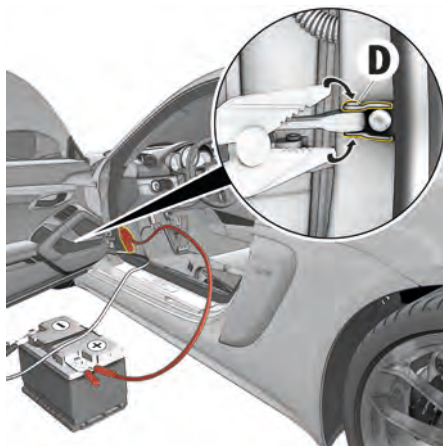



図 223：ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除 - マイナス端子の接続

5. 黒色のジャンパーケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子と、ドアラッチ **D** を接続してください。

6. キーの  ボタンを約 2 秒間押し続けてください。
フロントラゲッジコンパートメントリッドがロック解除され、警報システムが OFF になります。
7. マイナスケーブルを先に外し、次にプラスケーブルを外してください。
8. プラス端子 **C** (図 222) をヒューズボックスに押し込み、ヒューズボックスのプラスチェックカバーを取り付けてください。

ラジオ

概要

この概要説明は「ラジオ」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▷ 213 ページのチャプター「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」を参照してください。



図 224： FM 周波数

| 運転者が何をしたいか？ | その操作方法は？ | ページ |
|------------------|--|-----|
| 周波数帯を設定する | ▶ TUNER ボタンを押して、希望する周波数範囲 (AM または FM) をヘッドラインに表示してください。 | 262 |
| 放送局リストから放送局を選択する | ▶ TUNER ボタン ▶ リスト ▶ 放送局を選択してください。 | 262 |
| スキップボタンで選局する | ▶ ボタンまたは ボタンを希望の放送局が流れるまで何度か押してください。 | |
| 放送局リストから放送局を保存する | ▶ TUNER ボタン ▶ リスト ▶ 放送局を選択 ▶ 保存 ▶ 放送局ボタンを選択してください。 | 263 |
| 保存した局を選択する | ▶ TUNER ボタン ▶ プリセット ▶ 希望の放送局ボタン (A など) を選択してください。 | 262 |
| 放送局の詳細を表示する | ▶ TUNER ボタン ▶ プリセット ▶ 詳細 を選択してください。 | 263 |

周波数を設定する

1. **SOURCE** ボタンを押してください。
2. **AM** または **FM** を選択してください。
-または-
- ▶ **TUNER** ボタンを押し、希望の周波数範囲 (**AM** または **FM**) を設定してください。
-または-
1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. ヘッドラインに表示された周波数を選択してください。
3. ソースメニューから **AM** または **FM** の希望する周波数帯を選択してください。

選局

保存した放送局を表示および選択する



図 225：放送局ボタン

1. **TUNER** ボタン ▶ **プリセット**
2. 放送局を選択してください。
選択した放送局ボタン (例：A) がハイライトされます。

計 20 の放送局ボタン (プリセット) を使用して、放送局を割り当てることができます。

最初の 3 ページにある放送局ボタンを自由に割り当てることができます (現在選択されているページを表示させるには、**B** を参照)。受信電波の最も強い 5 つのラジオ放送局が、自動的に 4 ページの放送局ボタンに割り当てられます (ベスト FM レベル)。

スキップボタンで選局する

- ▶ 選択したメインメニューに関わらず、 および のスキップボタンを使用して選局することができます。
放送局一覧の次 / 前の放送局または利用可能な周波数が設定されます。

手で選局する

1. **TUNER** ボタン ▶ **放送局**
2. 周波数バーを使用して周波数を選択してください。

放送局リストから放送局を選択する

1. **TUNER** ボタン ▶ **リスト**
2. 放送局を選択してください。
受信可能なすべての放送局が放送局リストに表示されます (最高 100 局まで)。

放送局のスキャンと選局

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **スキャンを開始** を選択してください。
周波数の各放送局のスキャンには約 5 秒かかります。
3. スキャンした放送局で停止するには、コントローラーで **停止** を選択してください。
-または-
OPT ボタン ▶ **選択 スキャンを停止**。

マルチファンクションディスプレイを使用して放送局を選択する


マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 226 ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。
- ▶ 226 ページのチャプター「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」を参照してください。

1. **オーディオメニュー** を選択してください。
2. 放送局リストから放送局を選択してください。

放送局の保存




選局した放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン▶プリセット 
2. 希望の放送局ボタンを3秒間押してください。


– または –

1. **TUNER OPT** ボタン▶ボタン
2. **放送局を保存**▶放送局ボタンを選択してください。

– または –



1. ボタン **TUNER** ▶チューン  / リスト 
2. 放送局を選択して、 を選択してください。
3. 希望の放送局ボタンを選択してください。

放送局を自動で保存する

1. **TUNER** ボタン▶プリセット 
2. **AS** を1秒以上押し続けてください。検索が開始されます。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、選択されているページに保存され、最も強い電波で受信された放送局が設定されます。

放送局情報の表示

放送局の詳細を表示する

1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. **プリセット** ▶**選択詳細**。
– または –
リスト ▶**選択** **OPT** ボタン▶**放送局詳細**を選択してください。プログラム関連情報が表示されます。

設定の変更

1. **TUNER** ボタン▶**OPT** ボタン▶**AMの設定/FMの設定**
2. を選択してください：
 - **放送局トラッキング**(FM)：機能が有効でFM周波数の電波品質が低い場合、チューナーが選局した放送局の代替周波数へ自動的に切り替えを試みます。
 - **リージョン適応**(FM)：地域によって、FM周波数のプログラムは一部異なっており、内容は地域別のプログラムでそれぞれ配信されています。この機能をONにすると、その地域の代替周波数に切り替えることができます。
 - **並び替え条件**
 - **放送局名**(FM)：放送局リストがアルファベット順に並び替えられます。
 - **周波数**(FM、AM)：放送局リストの放送局は、周波数域順にソートされています。
 - **ジャンル**(FM)：放送局リストはプログラムの種類、またはジャンル〔ポップス、ロックなど〕によって並び替えられます。
 - **受信状態**(FM、AM)：放送局リストは放送局の電波の強さによって並び替えら

れます。受信状態の良い放送局がリストの最上部に表示されます。

- **放送局の表示設定**(FM)
 - **放送局名**：放送局名が表示されます。
 - **周波数**：放送局の周波数が表示されます。
- **ステーションイメージ**(FM)：
 - **ステーションイメージ表示地域**：放送局のロゴを選択する地域の調整
 - **ステーションイメージを表示**：放送局ロゴの表示/非表示を切り替えます。

放送局名の固定

1. **TUNER** ボタン▶**OPT** ボタン
2. **選曲名**を選択してください。
現在表示されている放送局名を固定することができます。このときラジオ局のテキスト放送は表示できなくなります。
▶テキストをもう一度スクロールするには、**リリース名**を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤウィンドウヒーター /ドアミラーヒーター


モデルおよび国別仕様により、車両にはリヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターが取り付けられています。これはリヤウィンドウおよびドアミラーから氷や雪を取り除くために使用することができます。

リヤウィンドウヒーターおよ びドアミラーヒーター




図 226：リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターボタン

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする


- ✓ エンジンが作動している。
- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーターライトが点灯します。

外気温度によって、約5～20分後にフロントウィンドウ/ドアミラーヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

を再度ONにする

- ▶  ボタンをもう一度押してください。
ボタンのインジケーターライトが点灯します。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
ボタンのインジケーターライトが消灯します。

インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、まずリヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

リヤスポイラー

✓ 718 Spyder

リヤスポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。

オートモード

車速とスライディング/チルティングルーフの位置に応じて、リヤスポイラーは車速が約120 km/h以上になると自動的に展開し、約80 km/h以下になると格納します。

オートコントロールシステムに不具合がある場合、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 70ページのチャプター「警告および情報メッセージ」を参照してください。

▲ 警告

格納式リヤスポイラーの故障

格納式リヤスポイラーが故障すると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。高速走行時にリヤアクセルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マニュアルモード




図 227：センターコンソールのリヤスポイラー操作ボタン

リヤスポイラーは、イグニッションをONにして、センターコンソールのボタンを操作することにより、手動で展開/格納することができます。


リヤスポイラーがマニュアルモードの場合、ボタンのインジケータライトが点灯します。

手動でのリヤスポイラーの展開


- ▶  ボタンを短く押してください。リヤスポイラーが展開します。ボタンのインジケータライトが点灯します。リヤスポイラーはマニュアルモードに切り替わります。

手動での格納

0 ~ 15 km/h：

- ▶ ボタンのインジケータライトが消灯するまで、 ボタンを押し続けてください。

15 km/h を超える速度：

- ▶  ボタンを短く押してください。ボタンを押した後、すぐにインジケータライトは消灯します。リヤスポイラーはオートマチックモードに切り替わります。

▲ 注意

リヤスポイラーの展開/格納

車両を停車させてリヤスポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分との間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤスポイラーが稼動する範囲に人や物がないことを確認してください。

知識

リヤスポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ リヤスポイラーを持って車両を動かさないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ワイパー ブレード

知識

ワイパー アームが不意に倒れるとフロントウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。

知識

ワイパー ブレードは低温で凍結することがあります。

- ▶ 走行前に凍結したワイパー ブレードを溶かしてください。

知識

不適切な清掃をすると、ワイパー ブレードのグラフィック層が損傷する恐れがあります。

- ▶ 高圧洗浄水をワイパー ブレードに向けて直接噴射しないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードは必ずきれいな水で洗浄してください。

ワイパー ブレードのお手入れ

フロントウィンドウ ワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントウィンドウを定期的に清掃してください(112 ページのチャプター「ウィンドウの清掃」を参照してください。)。特に洗車機を使用した後は清掃してください。ポルシェ は、ポルシェ テクニクイップメントのカーケア用品の使用を推奨します。
- ▶ 汚れがひどい場合(虫の残骸などによって)、スポンジまたは布を使用してフロントウィンドウを清掃してください。

ワイパー ブレードの交換

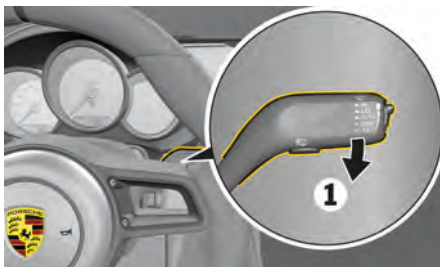


図 228 : ワイパー レバー

知識

ワイパー ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に固定する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に固定されていることを確認します。

ワイパー ブレードは年に 2 回(寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

✓ イグニッションが OFF になっている。

1. ワイパー レバーを 1 回下方に押ししてください。[図 228, 1]。
ワイパーが上方に約 45° 移動します。
2. メーカーの取扱説明書(別冊)に従い、ワイパー ブレードを交換してください。ワイパー ブレードを交換する場合は、左右でワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

i インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。

ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

Apple CarPlay

PCM で Apple CarPlay を開く

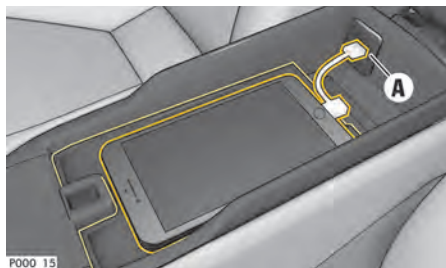


図 229 : センターコンソールの USB ポート (タイプ A)

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 12.2 以上
- ✓ Siri および Apple CarPlay がお使いの iPhone の設定で有効になっています。

1. iPhone をセンターコンソールの USB ポート **A** (タイプ A) に接続してください。
 - ▷ 219 ページのチャプター「USB を介して外部機器を接続する」を参照してください。
2. Apple CarPlay の使用を希望していることを確認してください。
利用可能なアプリが表示されます。
3. **HOME** ボタン ▶ **メニュー**  ▶ **Apple CarPlay**

インフォメーション


- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone 内のアプリのみが表示されます。アプリの可用性に関する情報については、Apple のウェブサイトをご参照してください。
- この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。お住まいの国でのご利用状況については、Apple のウェブサイトをご確認ください。
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。アプリ使用中には、挿入している外付け SIM カードを電話をかけるために使用することができません。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に海外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

インフォメーション

- ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：
- ▷ 213 ページのチャプター「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」を参照してください。

PCM で Apple CarPlay を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチスクリーン、ロータリー プッシュ ボタンおよびバック ボタンで使用できます。

- ▶ **Apple CarPlay** のメインメニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン  を押してください。
- ▶ PCM のメイン機能に変更するには、**HOME** ボタン ▶ **ボルシェ** を押しします。
- または -
いずれかのワンタッチ ボタン (例： **TUNER**) を押してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

Siri 音声認識機能を使用して Apple CarPlay を操作する

Siri を有効にする

- ✓ Siri がお使いの iPhone の設定で有効になっている
- ✓ イグニッションおよび PCM が ON になっている。
- ✓ 通話中でない
- ✓ パーキング エイドを使用していない
- ✓ PCM ボイスコントロールが作動していない。

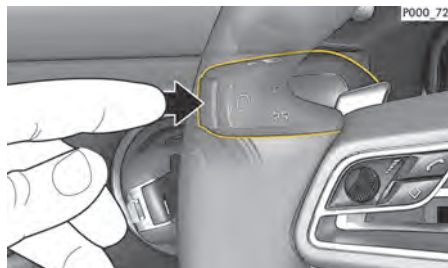





図 230：レバーのボイスコントロール ボタン


1. 操作レバーの  ボタンを押し続けてください。
- または -
PCM タッチスクリーンのホーム ボタン  を押し続けてください。
2. 希望のボイスコマンドを発話してください。

Siri を解除する

- ✓ 音声認識が有効で、ボイス コマンドを待機している

- ▶ 操作レバーの  ボタンを押してください。
終了音が鳴ります。
- または -
ボイス コマンドでキャンセルまたは終了と発話してください。
- または -
PCM の任意のボタンを押してください。
該当する機能が開きます。

i インフォメーション

操作レバーの  ボタンを素早く押すと、PCM の音声認識機能が有効になります。

- ▶ 204 ページのチャプター「ボイスコントロール」を参照してください。

iPhone を iPod として使用する 場合および Apple CarPlay モードで使用する 場合の切り替え

iPhone をセンター コンソールの USB ポートに接続した後に iPod として接続した場合、Apple CarPlay は使用できません。

デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay モードで使用するかを切り替えることができます。



図 231：デバイス マネージャーを開く

1. フッターの  または  を選択してください。(ネットワークへの接続状態によって異なります)。
2. スマートフォンリンクを選択してください。
3. ご使用中の iPhone を選択してください。
4. iPod として使用
- または -
Apple CarPlay モードで使用します。

テクニカルデータ

以降のページに、車両に関するテクニカルデータが掲載されています (メーカー参考値)。

テクニカルデータ

車両の識別データ

車両識別番号



図 232：車両識別番号

車両識別番号はフロント ウィンドウ後ろの左下と助手席の下に記載されています。

- ▶ スペア パーツの注文をする場合は、必ず車台番号を明示してください。

ビークルプレート



図 233：ビークルプレートの記載箇所

ビークルプレートは助手席側ドアシル（ドア開口部）に取り付けられています。

タイヤ空気圧プレート



図 234：タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤ空気圧プレートは運転席側ドアシル（ドア開口部）に貼られています。

車両データバンク

車両の大切な情報が記載されているデータバンクは、整備手帳の中に添付されています。

このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することができません。

エンジンデータ

| | 718 Cayman GT4、718 Spyder |
|------------------|--|
| シリンダー数 | 6 |
| 総排気量 | 3,995 cm ³ |
| 最高出力 (ECE-R 85) | 309 kW (420 PS) |
| エンジン回転数 | 7,600 rpm |
| 最大トルク (ECE-R 85) | 420 Nm ¹⁾ 430 Nm ²⁾ |
| エンジン回転数 | 5,000 – 6,800 rpm ¹⁾ 5,500 rpm ²⁾ |
| エンジンオイル消費量 | 最大 0.8 L/1,000 km |
| エンジン許容最高回転数 | 8,000 rpm |

1) マニュアルトランスミッション装備車

2) PDK 装備車

充填容量

▶ ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

燃料 718 Cayman GT4、718 Spyder : 約 64 リットル、+ 予備用の約 8 リットル

フロントウィンドウ/ヘッドライトウォッシャー液 約 2.5 L (ヘッドライトウォッシャーシステム装備車は約 5 L)

燃料消費量と CO₂ 排出量

CO₂ 排出量は燃費に直接影響されます。安全運転や定期点検によって、CO₂ 排出量を最小限に抑制できます。

i インフォメーション

国により、納車時に提供された書類 (例: 「適合証明」) に車両の燃料消費と排出値が記載されています。車両の車両情報 (例: 適合証明書)。所定の測定方法による値を表示しています (Euro 6: 現行バージョンの Regulation (EC) 715/2007、Euro 5: ECE-R.83 と ECE-R 101 の組み合わせ)。

重量

EU 規格 1230/2012 に基づく空車重量 (運転者 1 名 + 荷物分 (75 kg) を含む)

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。

| | 718 Cayman GT4 マニュアルトランスミッション装備 | 718 Spyder マニュアルトランスミッション装備 |
|------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| 空車重量 (装備仕様により異なる) | | |
| DIN 70020 規格 | 1,420 kg ~ 1,535 kg | 1,420 kg ~ 1,505 kg |
| EC 規格 1230 / 2012 に基づく | 1,495 kg ~ 1,610 kg | 1,495 kg ~ 1,580 kg |
| 最大軸荷重、フロント | 800 Kg | 810 Kg |
| 最大軸荷重、リヤ | 995 Kg | 955 Kg |
| 最大総重量 | 1,750 Kg | 1,720 Kg |

| | 718 Cayman GT4 PDK 装備 | 718 Spyder PDK 装備 |
|------------------------|--------------------------|----------------------|
| 空車重量 (装備仕様により異なる) | | |
| DIN 70020 規格 | 1,450 kg ~ 1,565 kg | 1,450 kg ~ 1,535 kg |
| EC 規格 1230 / 2012 に基づく | 1,525 kg ~ 1,640 kg | 1,525 kg ~ 1,610 kg |
| 最大軸荷重、フロント | 800 Kg | 810 Kg |
| 最大軸荷重、リヤ | 1,025 Kg | 985 Kg |
| 最大総重量 | 1,780 Kg | 1,750 Kg |

寸法

| | 718 Cayman GT4 | 718 Spyder |
|---------------------------------|----------------|----------------|
| 全長 (装備仕様により異なる) | | |
| 全長 | 4,456 mm | 4,430 mm |
| 全幅 | 1,801 mm | 1,801 mm |
| ドアミラーを含む全幅 | 1,994 mm | 1,994 mm |
| DIN 規定の空車重量での車高 | 1,269 mm | 1,258 mm |
| DIN 規定の空車重量での地上高 装備によって異なります | 82 mm ~ 103 mm | 83 mm ~ 104 mm |

ホイールおよびタイヤ

ホイールおよびタイヤのサイズ

ポルシェが承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数（「94」など）と速度記号（「Y」など）以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤの装着時やタイヤ交換時は：

- ▷ 130ページのチャプター「タイヤおよびホイール」を参照してください。
- ▶ スノーチェーンは適切なマークが付いたタイヤ/ホイールサイズにのみ、またリヤホイールにのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェ社が認可したフィンリンクエッジチェーンのみを使用してください。
- ▶ 交換するタイヤ/ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

| タイヤ種類 | タイヤサイズ | ホイールサイズ | スノーチェーンの装着 |
|----------------------------------|---|---|------------|
| 718 Cayman GT4、718 Spyder | | | |
| サマータイヤ | FA : 245/35 ZR 20 (95Y) XL RA : 295/30 ZR 20 (101Y) XL | FA : 8.5J x 20、RO 61 RA : 11J x 20、RO 50 | 不可 |
| | FA : 235/35 R 20 92V M+S RA : 275/30 R 20 97V M+S | FA : 8J x 20、RO 57 RA : 10J x 20、RO 45 | 可 |
| ウインタータイヤ | FA : 245/35 R 20 91V M+S RA : 295/30 R 20 97V M+S | FA : 8J x 20、RO 57 RA : 10J x 20、RO 45 | 不可 |

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル
RO = リム オフセット

スペアホイール

- ▷ 187ページのチャプター「コラプシブルスペアホイールの使用」を参照してください。

| タイヤ種類 | タイヤサイズ | ホイールサイズ | スノーチェーンの装着 |
|---------------|------------|-----------------|------------|
| コラプシブルスペアホイール | 175/55 R19 | 6.5B x 19、RO 28 | 不可 |

タイヤ空気圧

これらの標準タイヤ空気圧は、冷間時のタイヤ空気圧 (20 °C) として、ボルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

- ▶ マルチファンクションディスプレイで、タイヤ種類を選択してタイヤ空気圧を調整してください。
- ▷ 130 ページのチャプター「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」を参照してください。
- ▷ 130 ページのチャプター「タイヤおよびホイール」を参照してください。

標準タイヤ空気圧

| タイヤ | 718 Cayman GT4、718 Spyder | |
|--|------------------------------|------------------------------|
| | FA | RA |
| サマー タイヤ 245/35 ZR 20 / 295/30 ZR 20 | 2.0 bar 200 kPa 29 psi | 2.3 bar 230 kPa 33 psi |
| ウィンター タイヤ 235/35 R 20 / 275/30 R 20 | 2.5 bar 250 kPa 36 psi | 2.5 bar 250 kPa 36 psi |
| ウィンター タイヤ 245/35 R 20 / 295/30 R 20 | 2.5 bar 250 kPa 36 psi | 2.5 bar 250 kPa 36 psi |

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル

| タイヤ | 718 Cayman GT4、718 Spyder | |
|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| | FA | RA |
| コラボシブル スペア ホイール 175/55 R19 | 3.5 bar 350 kPa 51 psi | 3.5 bar 350 kPa 51 psi |

シャーシ設定

一般道およびレースサーキットでの走行

アンチロールバーは、フロントアクスルとリヤアクスルで個別に調整できます。標準設定はレースサーキットを走行する場合にもお勧めします。一般道を走行する場合、シャーシは標準設定にしてください。

718 Cayman GT4：シャーシ設定に関する注意事項については：

▷ 別冊の「サーキット走行の前に」

| | 718 Cayman GT4 |
|---------------------|----------------|
| フロントアクスル、トータルトーイン | +2' ±2' |
| リヤアクスル、各ホイールの個別トーイン | +10' ±2' |
| フロントアクスル、キャンバー | -1°30' ±3' |
| リヤアクスル、キャンバー | -1°30' ±5' |

全負荷時のエンジン性能グラフ
(マニュアルトランスミッション
装備車)



全負荷時のエンジン性能グラフ
(PDK 装備車)



ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

| テクニカルデータ：オーディオおよびビデオファイル | |
|--------------------------|---|
| 対応するメディア | SD カード (最大 128 GB) DVD ドライブ オーディオ CD (最大 80 分)、CD-ROM (最大 700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオ DVD、ビデオ DVD 互換 DVD オーディオ ポータブル プレーヤー 専用ドライバー不要の USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュメモリーおよびハードディスクなどの「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB2.0 デバイス |
| ファイルシステム | SD/SDHC/SDXC/MMC メモリーカード USB マスストレージ exFAT、FAT または FAT32、NTFS ファイルシステム (最大 4 パーティション) DVD ドライブ ISO9660、Joliet、UDF |
| フォーマット | MPEG 1/2 Layer 3; Windows Media Audio 9 および 10; MPEG 2/4; FLAC; MPEG 1/2; ISO-MPEG4; DivX 3, 4 および 5; Xvid; ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC); Windows Media Video 9 |
| ファイル拡張子 | .mp3; .wma; .asf; .m4a; .m4b; .aac; .flac; .mpg; .mpeg; .avi; .mp4; .m4v; .mov; .wmv |
| プレイリスト | .M3U; .PLS; .WPL; .M3U8; .ASX |
| 特性 | 最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps) |
| ファイル数 | DVD ドライブ 最大 1,000 ファイル DVD Jukebox (最大 10 GB ストレージ容量) 最大 3,000 ファイルをコピー可 USB 大容量記憶装置およびメモリーカード最大 10,000 ファイル (1 メディアあたり)、最大 1,000 ファイル (1 ディレクトリ/プレイリストあたり) |
| メタデータ | アルバム カバー最大 800x800 ピクセル、GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote® ¹⁾ データベース経由 |
| ビデオ DVD リージョンコード | コード 1：USA、カナダおよび米国自治領 コード 2：ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本 コード 3：東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾 コード 4：オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ コード 5：ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ コード 6：中華人民共和国 コード 8：国際領土 (船舶、航空機) |

1) Gracenote ロゴは米国およびその他の国における Gracenote の商標または登録商標です。

テクニカルデータ：接続

| | |
|-------------------|---|
| モバイルネットワーク | GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (Band VIII) /1,800 MHz (Band III) /2,100 MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800 MHz (Band 20) /900 MHz (Band 8) /1,800 MHz (Band 3) /2,600 MHz (Band 7) |
| WiFi | IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz) |
| Bluetooth® | Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、通信範囲約 10 m |
| SIM カードの挿入または取り出し | ミニ SIM、寸法 25 x 15 mm |



テクニカルデータ：ラジオ

| | |
|-------------------|--|
| 周波数範囲 / 規格 | UKW (FM)：87.5 ~ 108 MHz (100 kHz ごとの手動調節) MW (AM)：531 ~ 1,602 KHz (1 kHz ごとの手動調節) |
| 放送局の自動検索による選局グリッド | UKW (FM)：100 kHz MW (AM)：9 kHz |

テクニカルデータ：CD/DVDドライブ

| | |
|----------|---|
| 一般情報 | 製造時に、このレーザー製品はドイツ / 国際規格 DIN EN 60825-1 に準拠して製造されています：2008-05 および DHHS ルール 21 CFR Subchapter J、クラス 1 レーザー製品として分類されています。クラス 1 レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。 |
| レーザー光線出力 | DVD：0.68 mW CD：0.85 mW |
| レーザー光線波長 | DVD：665 nm CD：795 nm |

ライセンスについて

| | |
|-----------------------------|---|
| Bluetooth® | Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。他の登録商標および商品名はそれぞれの所有者により所有されています。 |
| Dolby Digital | Dolby Laboratories のライセンスの下で製作 Dolby およびダブル D マークは Dolby Laboratories の登録商標です。 |
| DTS Digital Surround |  DTS 特許については、 http://patents.dts.com を参照してください DTS Licensing Limited のライセンス下で製造されています。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。 © DTS, Inc. 全権利は保護されています。 |
| Gracenote |  Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。 |

エンドユーザーライセンス合意

Gracenote®

このアプリケーションまたは機器には Gracenote, Inc. (カルフォルニア州エメリービル) (「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。このアプリケーションは Gracenote のソフトウェア (「Gracenote Software」) を利用し、ディスクおよび/またはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報 (「Gracenote Data」) をオンラインサーバーまたは実装データベース (総称として「Gracenote Servers」) から入手するとともに、その他の機能も実現しています。このアプリケーションまたは機器の本来のエンドユーザー機能によってのみ Gracenote データを使用することができます。

Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人目的および非営利目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーすべての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについての全ての所有権を含む、全ての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。

Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者については何も情報を得ないでクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシーポリシーのウェブページを参照してください。

Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、「現状のまま」でお客様にライセンス供与されます。

Gracenote は、Gracenote サーバーから得られた Gracenote データの正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データタイプまたはカテゴリーを提供する義務を負いません。またいつでもサービスを中断することができます。

Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的なまたは付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

Bluetooth® 認証 (抜粋)

- Albania
- Andorra
- Angola
- Aruba
- Australia
- Austria
- Bahamas
- Bahrain
- Barbados
- Belarus
- Belgium
- Belize
- Bolivia
- Bonaire
- Bosnia and Herzegovina
- Brazil
- Brunei
- Bulgaria
- Burkina Faso
- Canada
- Chile
- China
- Colombia
- Costa Rica
- Croatia
- Curacao
- Cyprus
- Czech Republic
- Denmark
- Dominican Republic
- Ecuador
- Egypt
- El Salvador
- Estonia
- Ethiopia
- Finland
- France
- French Guyana
- French Polynesia
- Gabon
- Germany
- Ghana
- Gibraltar
- Guadeloupe
- Guatemala
- Greece
- Greenland
- Hong Kong
- Hungary
- Iceland
- India
- Indonesia
- Ireland
- Iraq
- Israel
- Italy
- Ivory Coast
- Jamaica
- Japan
- Jordan
- Kenya
- Kosovo
- Kuwait
- Latvia
- Lebanon
- Lesotho
- Liberia
- Libya
- Liechtenstein
- Lithuania
- Luxembourg
- Macau
- Macedonia
- Madagascar
- Malaysia
- Malta
- Martinique
- Mauritius
- Mexico
- Monaco
- Mongolia
- Morocco
- Mozambique
- Netherlands
- New Caledonia
- New Zealand
- Nigeria
- Norway
- Oman
- Pakistan
- Panama
- Peru
- Poland
- Portugal
- Puerto Rico
- Qatar
- Reunion
- Romania
- Russia
- San Marino
- Saudi Arabia
- Senegal
- Serbia
- Singapore
- Slovakia
- South Africa
- Spain

- St. Lucia
- Sweden
- Switzerland
- Tahiti
- Taiwan
- Thailand
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- Uruguay
- USA
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen
- Zimbabwe

リサイクル

エアバッグおよびシートベルトテンショナーユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグユニット、シートベルトテンショナーユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

電気/電子部品および使用済みバッテリー

ゴミ箱にバツマークがある絵文字のラベルが付いている電気/電子部品および使用済みバッテリーは、家庭ごみと一緒に廃棄できません。適切な方法で廃棄してください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 電気/電子部品および使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

無線装置 (EU の地域外)

Inspection marks and declarations of conformity

Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina, French Guyana, Georgia, Gibraltar, Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast, Kuwait, Macedonia, Martinique, Moldova, Monaco, Montenegro, New Caledonia, Norway, Reunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland, Trinidad & Tobago, Turkey.



Australia



Argentina



CNC ID: H-24905 (Key-Basic)
CNC ID: H-21423 (Key-Kessy)
CNC ID: H-21518 (BCM 433)
CNC ID: H-21517 (BCM 434)
CNC ID: C-14451 (MIB2)
CNC ID: H-24892 (LTE Compensor)

Bahamas

Continental Automotive GmbH
PAG-BCU-433-180528
SN (Serial Number)
FCC ID: KR5315-140930
Continental Automotive GmbH
PAG-BCU-434-180528
SN (Serial Number)
FCC ID: KR5315-140930

Belarus



Brazil



"Incorporates a product type-approved by Anatel under number:

01687-18-02149 (Key)
00278-15-07978 (MIB2)
02483-14-6324 (Homelink)
00267-18-10188 (LTE Compensor)
01370-15-02149 (BCM Basis)

Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados.

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

Brunei

DTA-005816 (Homelink)
DTA-006261 (LRR3)
DTA-006367 (MRR1Rear)

Canada

This vehicle includes following Radio Frequency Devices/ Ce véhicule comprend les appareils à radiofréquence suivants:

IC: 3887A-MRR1REAR (MRR1 Rear)
IC: 3887A-LRR3SCU (LRR3)
IC: 4774A-MBCNAR2 (LTE-Compensor)
IC: 7812D-5WK50138 (Key Basic)
IC: 7812D-315140930 (BCM Basis 315)
IC: 7812D-315180528 (Key Kessy)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with RSS-210 of Industry Canada. ISED Canada's licence-exempt RSSs and these devices contain licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s).

Operation is subject to the following two conditions:
(1) These devices may not cause interference; and
(2) These devices must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

These Class B digital apparatus comply with Canadian ICES-003.

Ces appareils sont conformes à la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Les émetteurs/récepteurs exempt de licence contenu dans le présent appareil sont conformes aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

- (1) Ces appareils ne doivent pas causer d'interférences nuisibles et
- (2) Ces appareils doivent accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement

Ces appareils numérique de la classe B sont conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Custom Union



Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex

Сделано в Германии

Электропитание : 12V 400mA

Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-13B
(BCM Basis 434)

NCA APPROVED: 7T6-5H-7DF-163 (MIB2)

NCA APPROVED: BRE-1M-GE2-X53 (Key Kessy)

NCA APPROVED: SRO-1M-7E4-X68 (Key Basic)

Great Britain



Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to The Radio Equipment Regulations 2017. The full text of the relevant Declaration of Conformity is available at the following website: <https://www.porsche.com/international/accessoriesandservice/porscheservice/vehicleinformation/documents/>

The following acts as importer of the radio equipment devices for the United Kingdom market within the meaning of The Radio Equipment Regulations 2017:

Porsche Cars Great Britain Ltd.

Bath Road, Calcot, Reading, Berkshire, RG31 7SE
United Kingdom

Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.



India

ETA-2221/15-RLO(NR) (MIB2)
NR-ETA/9099-RLO(NR) (Key Kessy)
NER-ETA/596 (BCM Basis)
NER-ETA/668 (Key Basic)

Indonesia



73337/SDPPI/2021
2692



73286/SDPPI/2021
2692



70530/SDPPI/2020
2692



66074/SDPPI/2020
4334



39689/SDPPI/2017
4334

Israel

Model Name: LRR3

Manufacturer: Robert Bosch GmbH

Model Name: MRR1Rear

Manufacturer: Robert Bosch GmbH

Model Name: TSS RE 4Uf/TSS SG 4G5b

Manufacturer: Huf Electronics Bretten

Jamaica

These products have been Type Approved by Jamaica:

SMA – PAG-KEY- 434-180528

SMA – PAG-BCU-433-180528

SMA – PAG-BCU-434-180528

Japan



® 201-180199



® 201 Y 09215024

Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

Jordan

TRC/LPD/2014/186 (MIB2)

TRC/LPD/2014/258 (Homelink)

TRC/34/7730/2020 (BCM 434)

TRC/36/6451/2020 (BCM 433)

TRC/LPD/2014/73 (MRR1Rear)

TRC/32/7603/2020 (LRR3)

Malaysia



Morocco

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15960 ANRT 2018
Date d'agrément: 05/03/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 25086 ANRT 2020
Date d'agrément: 31/07/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15102 ANRT 2017
Date d'agrément: 03/11/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 24001 ANRT 2020
Date d'agrément: 13/05/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019
Date d'agrément: 23/04/2019

Mexico

IFETEL: RCPBOMP14-0922

Continental

PAG-BCU-315-180528

IFETEL: RLVCO5W09-0492 (Key Basic)

IFETEL: RLVCOA18-0313 (Key Kessy)

IFETEL: RLVCOA17-0864 (BCM Basis)

IFETEL: RTIMOLT20-1047 (LTE Compensor)

Para su uso en México, la operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Moldova

Acest vehicul este echipat cu o varietate de echipament radio.

Urmatorul este importatorul de echipament radio pentru piata din Republica Moldova cu privinta reglementarii echipamentului radio:
GT Sport Auto Ltd., General Importer of Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG in Moldova.
Calea Iesilor str. 28/1, MD-2069, Chisina

Oman

OMAN - TRA

D090258

TRA/TA-R/0662/12

OMAN - TRA

D090258

TRA/TA-R/0629/12

OMAN - TRA

D090258

TRA/TA-R/1037/09

OMAN - TRA

D080134

TRA/TA-R/2106/14

OMAN - TRA

D090258

TRA/TA-R/0629/12

OMAN - TRA

D100428

TRA/TA-R/5422/18

| |
|------------------|
| OMAN - TRA |
| D080134 |
| TRA/TA-R/2282/14 |

| |
|------------------|
| OMAN - TRA |
| D090258 |
| TRA/TA-R/6348/18 |

| |
|------------------|
| OMAN - TRA |
| D100428 |
| TRA/TA-R/5420/18 |

| |
|------------------|
| OMAN - TRA |
| D90024 |
| TRA/TA-R/8056/19 |

Pakistan

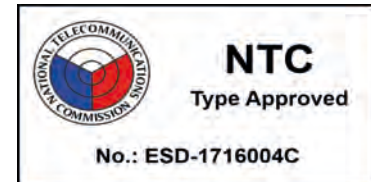
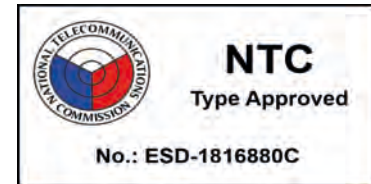
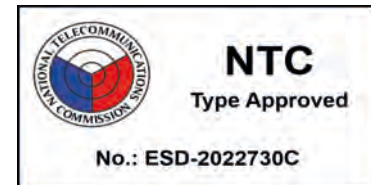
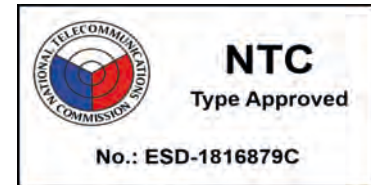
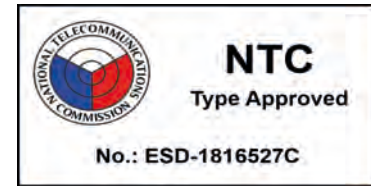
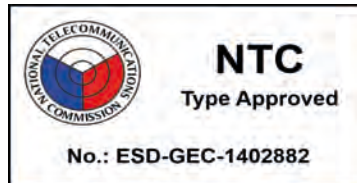
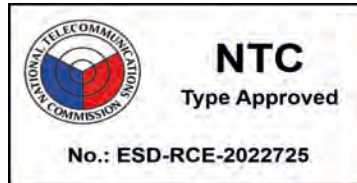


Paraguay



NR: 2014-10-I-000305
 NR: 2018-01-I-000024 (BCM 434)
 NR: 2018-05-I-000181 (BCM 433)
 NR: 2018-05-I-000182 (Key-Kessy 433)
 NR: 2018-05-I-000183 (Key-Kessy 434)
 NR: 2020-07-I-000512 (Key-Basic)
 NR: 2021-06-I-0309 (MIB2)
 NR: 2020-09-1-0664 (Homelink)

Philippines



Qatar

Approval Ref.: CRA/SM/2020/S-0006251 (MIB2)

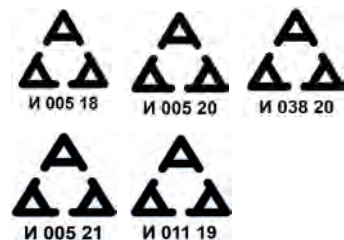
Approval Ref.: CRA/SM/2019/R-7682 (Homelink)

Approval Ref.: CRA/SA/2018/R-6937 (Key Kessy 434)

Approval Ref.: CRA/SA/2018/R-6938 (Key Kessy 433)

Approval Ref.: ICTQATAR/RT/2012/R-2944 (BCM 434)

Serbia






Singapore

| | |
|---|---|
| Complies with IMDA Standards DB101762 | Complies with IMDA Standards DB106879 |
| Complies with IMDA Standards DB107205 | Complies with IMDA Standards DB109950 |

South Africa

-  TA-2012-399 APPROVED
-  TA-2018-217 APPROVED
-  TA-2014/1837 APPROVED
-  TA-2018-218 APPROVED
-  TA-2015/158 APPROVED
-  TA-2005/614 APPROVED

-  TA-2019-1853 APPROVED
-  A-2020-6392 APPROVED
-  A-2019-5116 APPROVED

South Korea

| | | |
|--|--|--|
| TPMS (TSSRE4Uf) 인증정보 | |  |
| 적합성평가를 받은자의 상호: Huf Baolong Electronics Bretten GmbH 기차재의 명칭(모델명): 특정 소출력 무선 기기 인증번호: R-C-HEB-TSSRE4Uf 제조자/제조국가: Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일 | | |
| TPMS (TSSSG4G5b) 인증정보 | |  |
| 적합성평가를 받은자의 상호: Huf Baolong Electronics Bretten GmbH 기차재의 명칭(모델명): TPMS ECU E5.5 433MHz 인증번호: R-R-HEB-TSSSG4G5b 제조자/제조국가: Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일 | | |
| Wireless Charger 인증정보 | |  |
| 적합성평가를 받은자의 상호: Molex CVS Dabendorf GmbH 기차재의 명칭(모델명): WCH-193 인증번호: R-R-N7V-WCH-193 제조자/제조국가: Molex CVS Dabendorf GmbH/독일 | | |


Key Basic (433) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Continental Automotive GmbH

기차재의 명칭(모델명):
태이터권용용 무선기기

인증번호:
TAL-SVK50137

제조자/제조국가:
Continental Automotive GmbH/독일




BCM Kessy (433) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Continental Automotive GmbH

기차재의 명칭(모델명):
특정소출력 무선기기(태이터권용용 무선기기)

인증번호:
R-CRM-TAL-PAG-433-180528

제조자/제조국가:
Continental Automotive GmbH/독일



LTE Compensor 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Molex CVS Dabendorf GmbH

기차재의 명칭(모델명):
LTE-MBD-CN

인증번호:
MSIP-CMM-N7V-LTE-MBD-CN

제조자/제조국가:
Molex CVS Dabendorf GmbH/독일




BCM Basic (433) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Continental Automotive GmbH

기차재의 명칭(모델명):
미약 전계강도 무선기기

인증번호:
MSIP-RRM-TAL-433-1409

제조자/제조국가:
Continental Automotive GmbH/독일




BCM Basic (434) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Continental Automotive GmbH

기차재의 명칭(모델명):
미약 전계강도 무선기기

인증번호:
MSIP-RRM-TAL-434-140930


제조자/제조국가:
Continental Automotive GmbH/독일



이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

(English Translation: This equipment has been tested for compliance with the intended use in a commercial environment. If the equipment is used in a domestic environment, it may cause radio interference.)

Taiwan

 CCAE09LP0150T1

 CCAE18LP0610T7

 CCAE18LP0570T8

Thailand



Importer No.: 6550000
Dealer No.: 6550001 (Bangkok)
Dealer No.: 6550002 (Pattanakarn)

- 1) เครื่องวิทยุคมนาคมและอุปกรณ์
มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดของ กสทช.
- 2) เครื่องวิทยุคมนาคมที่มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้า
สอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์
จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการโทร
คมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด

Turkey

**TELSİZ EKİPMANLARI YÖNETMELİĞİ
(2014/53/AB)**

Aracınızda çeşitli telsiz ekipmanları bulunmaktadır.
Telsiz Ekipmanları Yönetmeliği (2014/53/AB)
açısından Türkiye pazarı için telsiz ekipmanı
ithalatçısı*:

Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş. Şekerpınar Mahallesi, Anadolu Caddesi, No:22 ve 45, 41420 Çayırova/Kocaeli

*Bu bilgi sadece resmi temsilcimiz olan Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.'nin ithal ettiği ürünler için geçerlidir.

Ukraine

Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to the Technical Regulation on Radio Equipment of Ukraine (Decree 355/2017). This information contains details of the manufacturers and the transmission characteristics of the radio equipment from April 2019. The full text of the relevant Declarations of Conformity is available at the following website:

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porsche/>



United Arab Emirates

TRA
REGISTERED No:
0016889/09
DEALER No.
DA36785/14

TRA
REGISTERED No:
ER39135/15
DEALER No.
DA36785/14

TRA
REGISTERED No:
ER94193/21
DEALER No.
Harman/Becker
Automotive Systems



USA

This vehicle includes Radio Frequency Devices that are certified under the following IDs:

FCC ID: KR5315-140930 (BCM Basic)

FCC ID: KR5315-180528 (Key Kessy)

FCC ID: KR55WK50138 (Key Basic)

FCC ID: NF3-LRR3SCU (LRR3)

FCC ID: NF3-MRR1REAR (MRR1Rear)

FCC ID: RK7MBC-NAR2 (LTE Compensor)

FCC ID: T8GA270 (MIB2)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions

(1) These devices may not cause harmful interference, and

(2) These devices must accept any interference

received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to the equipment not expressly approved by Porsche may void the FCC authorization to operate the equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information: The radiated output power of the devices is far below the FCC radio frequency exposure limits.

Nevertheless, the devices shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. Any antenna used with these devices must be located at least 8 inches (20,3 cm) from all persons.

NOTE: The equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. The equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

Reorient or relocate the receiving antenna.

Increase the separation between the equipment and receiver.

Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help."

Vietnam



索引

符号

| | |
|-----------------|-----|
| ボタンの設定 | 235 |
| 718 Spyder | |
| ウインドデフレクター | 95 |
| コンバーチブルトップのお手入れ | 111 |
| コンバーチブルトップの閉開 | 90 |

ア

| | |
|-------------------------------|-----|
| アームレスト | |
| ドアポケットを開く | 116 |
| アイスシールド/サンシールドの装着 | 198 |
| アダプティブシリンダーコントロール | |
| 3シリンダー操作 | 52 |
| エンジン音 | 52 |
| アダプティブライトシステム、ドライビングライトアシスタント | 249 |
| アプリ | |
| デバイスマネージャー | 149 |
| ボルシエコネクタ | 211 |
| ボルシエトラックプレジジョン | 224 |
| ボルシエカーコネクタ | 225 |
| アルミニウムリム | |
| お手入れの諸注意 | 113 |
| アンダーコーティング、お手入れの諸注意 | 113 |
| アンチロックブレーキシステム (ABS) | |
| 機能説明 | 223 |
| アップベンチレーションパネル | |
| 2ゾーンエアコン | 39 |

イ

| | |
|-----------------|-----|
| イグニッションロック | |
| キーの緊急操作 | 108 |
| 機能説明 | 50 |
| イモビライザー | |
| 機能説明 | 169 |
| インジケータ操作レバー | 251 |
| インジケータライト | 29 |
| インストールメントパネル | |
| エンジンオイル温度計 | 233 |
| オドメーター | 28 |
| 概要 | 28 |
| クーリングシステム、水温計 | 232 |
| 警告灯およびインジケータライト | 29 |
| スピードメーター | 28 |
| タコメーター (回転計) | 28 |

| | |
|------------------|-----|
| 燃料計 | 29 |
| ライト調節 | 31 |
| 積算距離表示 | 28 |
| インターネット | |
| データ接続を確立する (PCM) | 127 |
| インテリアライト | |
| オリエンテーションライト | 32 |
| ON/OFFの切り替え | 31 |

ウ

| | |
|------------|-----|
| ウィンタータイヤ | |
| 一般情報 | 137 |
| タイヤ交換 | 139 |
| ウインドデフレクター | |
| 取り外しと取り付け | 95 |
| ウインドウ | |
| お手入れの諸注意 | 112 |
| ウェルカムホーム機能 | |
| ONにする | 250 |
| ウォッシュャー液 | |
| 充填容量 | 271 |
| 補充 | 33 |
| 不凍液 | 33 |

運

| | |
|--------------------|-----|
| 運転席 | |
| エンジンオイル温度計 | 233 |
| オドメーター | 28 |
| クーリングシステム、水温計 | 232 |
| 警告灯およびインジケータライト | 29 |
| スピードメーター | 28 |
| タコメーター (回転計) | 28 |
| 燃料計 | 29 |
| ライト調節 | 31 |
| 積算距離表示 | 28 |
| 運搬 (カートレイン、フェリーなど) | |
| 車両の固定 | 69 |

I

| | |
|----------------|----|
| エアイベント | |
| 開閉 (2ゾーンエアコン) | 39 |
| 開閉 (マニュアルエアコン) | 43 |
| 調節 | 39 |
| 調節 (2ゾーンエアコン) | 39 |
| 調節 (マニュアルエアコン) | 43 |
| エアコンコンプレッサー | |

| | |
|------------------------|-----|
| 2ゾーンエアコン | 37 |
| マニュアルエアコン | 42 |
| エアコンシステム | |
| フロントウインドウデフロスター | 41 |
| 内気循環モードのON/OFFの切り替え | 40 |
| 風量設定 | 42 |
| エアコンシステム (マニュアル) | |
| エアコンコンプレッサーに関する情報 | 42 |
| エアコンコンプレッサーのON/OFF切り替え | 43 |
| 温度設定 | 42 |
| 自動ロードスイッチオフ | 42 |
| フロントウインドウデフロスター | 44 |
| 冷房機能 ON/OFF切り替え | 43 |
| A/CモードのON/OFF | 43 |
| A/C MAXモードのON/OFFの切り替え | 44 |
| 内気循環モードのON/OFFの切り替え | 44 |
| エアバッグ | |
| 安全に関する注意事項 | 45 |
| お手入れの諸注意 | 114 |
| 機能 | 45 |
| タコメーターの警告灯 | 45 |
| 取り付け位置 | 45 |
| 廃棄 | 283 |
| エマージェンシーキー | 107 |
| エミッションコントロール (エンジンを確認) | |
| 機能説明 | 30 |
| エミッションコントロール警告灯 | 30 |
| エレクトリックパーキングブレーキ | |
| 解除する | 199 |
| 警告灯 | 199 |
| 操作 | 199 |
| 発進時のパーキングブレーキ自動解除 | 199 |
| ブレーキテストスタンドでの測定 | 148 |
| 緊急ブレーキ機能 | 199 |
| エンジン | |
| オイルの補充 | 48 |
| オイルレベルの測定と表示 | 47 |
| オイルレベル表示 | 47 |
| 自動停止 (オートスタートストップ機能) | 52 |
| テクニカルデータ | 271 |
| 停止 | 51 |
| 冷却システム | 232 |
| 始動 | 50 |
| エンジンオイル | |
| 一般情報 | 48 |
| 温度計 | 233 |
| 交換容量 | 271 |

| | | | | | |
|------------------------|-----|-------------------------|-----|------------------|-----|
| 燃費 | 271 | エアコンコンプレッサーのオンオフ切り替え | 39 | 音 | |
| フィルター キャップ | 49 | オートモードのオンオフ切り替え | 37 | 音楽 (PCM) | |
| 補充 | 48 | 温度設定 | 38 | 外部機器の接続 | 218 |
| マルチファンクションディスプレイ | | 自動ロードスイッチオフ | 37 | ジュークボックスに入れる | 244 |
| でオイル圧力の警告 | 77 | 自動内気循環モードの設定 | 40 | 設定 | 245 |
| マルチファンクションディスプレイ | | 冷房機能のオンオフ切り替え | 39 | プレイリストを開く | 244 |
| のオイルレベル表示 | 47 | A/Cモードのオンオフ | 39 | メディアソースから検索 | 243 |
| レベルの点検 | 47 | A/C MAXモードのON/OFFの切り替え | 40 | メディアソースの選択 | 242 |
| レベル表示 | 47 | 風量設定 | 38 | CD/DVDドライブを読み込む | 218 |
| 圧力計 | 233 | | | SDカードの挿入および取り出し | 218 |
| エンジン音 | | オートスタートストップ機能 | | 再生 | 242 |
| 3シリンダー操作 | 52 | 表示 | 54 | 対応するデータ形式 | 278 |
| 部分負荷状態 | 52 | ON/OFFの切り替え | 53 | 音量と音質の調節 (PCM) | 220 |
| エンジンを確認 (エミッションコントロール) | | オートマチックカミングホームライト | 250 | | |
| 機能説明 | 30 | オイル | | 温 | |
| エントリー機能、乗車時のカーテシーライト点灯 | 250 | 一般情報 | 48 | 温度設定 | |
| | | 温度計 | 233 | 2ゾーンエアコン | 38 |
| | | 交換容量 | 271 | マニュアルエアコン | 42 |
| | | 燃費 | 271 | | |
| | | フィルター キャップ | 49 | カ | |
| | | 補充 | 48 | カーテシーライト、エントリー機能 | 250 |
| | | マルチファンクションディスプレイ | | カーペット、お手入れの諸注意 | 114 |
| | | でオイル圧力の警告 | 77 | カップホルダー | 55 |
| | | マルチファンクションディスプレイ | | | |
| | | のオイルレベル表示 | 47 | 開 | |
| | | レベルの点検 | 47 | 開閉 | |
| | | レベル表示 | 47 | 概要 | 122 |
| | | 圧力計 | 233 | コンバーチブルトップ | 90 |
| | | オクタン価、燃料燃料 | 57 | サイドウィンドウ | 34 |
| | | オドメーター | | 開閉操作とロック | |
| | | 表示 | 28 | キーによるドアの解除 | |
| | | リセット | 28 | [リモートコントロール] | 123 |
| | | オリエンテーションライト | 32 | 車内からのドアの開閉操作とロック | 124 |
| | | オルタネーター | | | |
| | | 車両電気リカルシステム電圧警告 | 81 | 外 | |
| | | オンボードコンピューター | | 外部機器 (PCM) の接続 | 218 |
| | | オイルレベルの測定 | 47 | | |
| | | 作動原理 | 226 | 概 | |
| | | タイヤ空気圧空気モニタリング | 130 | 概要 | |
| | | 電話の使用 | 155 | ドアの開閉 | 122 |
| | | ドライビングデータ表示 (トリップ情報) | 169 | | |
| | | マルチファンクションディスプレイ | 226 | 格 | |
| | | マルチファンクションステアリングホイールで操作 | 226 | 格納式リヤスポイラー | |
| | | マップビュー | 175 | 展開/格納 | 265 |
| | | メニュー概要 | 228 | | |
| | | ラジオ放送局の選択 | 262 | | |
| | | リストから閲覧 | 226 | | |
| | | オンラインサービス | | | |
| | | データ接続を確立する (PCM) | 127 | | |

お

お手入れの諸注意

| | |
|----------------------------|-----|
| アンダーコーティング | 113 |
| ウィンドウ | 112 |
| エアバッグ | 114 |
| カーペット | 114 |
| 革 | 114 |
| 軽合金製ホイール | 113 |
| シートベルト | 115 |
| シール | 113 |
| 車両の保管 | 115 |
| 洗車 | 110 |
| 塗装 | 112 |
| フロアマット | 114 |
| ファブリックライニング | 114 |
| ホイールボルト | 139 |
| Alcantara®/Race-Tex/その他の生地 | 114 |
| PCM | 115 |

オ

オートスタート/ストップ機能

| | |
|-------------------|-----|
| エンジン自動始動 | 52 |
| 作動原理 | 52 |
| 前提条件 | 52 |
| 例外 | 52 |
| オート (ライトスイッチ) | 249 |
| ドライビングライトアシスタント | 249 |
| オートエアコン | |
| アッパーベンチレーションパネル | 39 |
| エアコンコンプレッサーに関する情報 | 37 |

革

革製品、お手入れの諸注意 114

キ

キー 107

エマージェンシーキーを取り外す 107

キー 107

キーの交換 109

車両ドアのロック 124

ドアロックの解除 123

キー (リモートコントロール)

イグニッションロックのキーの緊急操作 108

バッテリーの交換 107

キー (リモートコントロール)

ウィンドウの開閉 35

キー (リモートコントロール)

ドアロックの解除 123

キーの交換 109

ギ

ギアシフト

プロンプト変更 28

ギヤシフトアシスト 230

ギヤインジケーター 29

ギヤシフト

ギヤシフトアシスト 230

マニュアルトランスミッション 159

Porsche Doppelkupplung (PDK) 160

ギヤ表示 29

曲

曲の再生 (PCM) 242

ク

クーラント

レベルの点検 59

不凍液 59

クラッチ

マニュアルトランスミッション 159

クルーズコントロール

機能説明 61

操作を中断 61

速度維持 61

OFFにする 62

ONにする 61

クロノ

クロノストップウォッチ 63

グ

グローブボックス

開く 116

ロック 116

閉じる 116

け

けん引

一般情報 67

けん引フック 68

けん引ロープまたはけん引バーの使用 67

けん引フック

工具セット内 254

警

警告およびインフォメーションメッセージ

安全 70

エンジン 76

車両 81

ドライビングシステム 86

警告シンボル

タイヤ空気圧 135

警告灯 29

警報システム

機能説明 89

車内モニタリングシステムおよび傾

斜センサーをOFFにする 89

ON/OFFの切り替え 89

軽

軽合金製ホイール

お手入れの諸注意 113

軽修理

車両のけん引 67

パンクしたとき 185

計

計器照明 31

明るさの調節 28

携

携帯電話

接続ステータスの表示 153

Bluetooth® 経由で接続する 152

言

言語
マルチファンクションディスプレイで変更する 237
PCM内の設定 219

コ

コーナリングライト
ダイナミック 250

コラブシブルスベアホイール

タイヤ空気圧 273

使用 187

コントローラー (PCM) 214

コントロールシステム

概要 (PSM, PASM, PADM, PTV) 166

コンパチブルトップ

ウィンドデフレクターの取り外しと取り付け 95

開閉操作 90

車両のお手入れ 111

緊急操作 95

交

交通 (交通情報の表示) 175

交通情報の表示 (ナビゲーション、PCM) 175

故

故障

イグニッションロックのキーの緊急操作 108

警告およびインフォメーションメッセージ 70

コンパチブルトップ 95

パワーウィンドウ 35

緊急時のフィルターフラップの操作 58

故障診断用ソケット 5

サ

サービスポジション 198

サイドウィンドウ

キーによる開閉 (リモートコントロール) 35

停止位置の保存 35

サイドライト

ONにする 249

サマータイヤ

収納スペース 138

タイヤ交換 139

サンバイザー 98

作

作動不良

| | |
|---------------------------------|-----|
| サイドウィンドウの停止位置の保存 | 35 |
| シ | |
| シート | |
| シート位置の調節 | 99 |
| チャイルドシート | 141 |
| バックレストを前方または後方へ倒す | 100 |
| フロントシートの調節 | 99 |
| ベビーシート、ベビーキャリア | 145 |
| シートヒーターをON/OFFにする | 101 |
| シートベルト | |
| お手入れの諸注意 | 115 |
| 警告 | 102 |
| 警告シンボル | 102 |
| シートベルトプリテンショナー | 102 |
| タコメーターの警告灯 | 102 |
| 着用 | 103 |
| バックルを外してシートベルトをはずす | 103 |
| シートベルトプリテンショナー | 102 |
| 廃棄 | 283 |
| シート位置の調節 | 99 |
| シーラント/シールセット | |
| パンクしたタイヤ用 | 185 |
| シールのお手入れ諸注意 | 113 |
| シガーライター | 120 |
| シフトアッププロンプト | 28 |
| シャーシコントロールシステム | |
| 概要 (PSM, PASM, PADM, PTV) | 166 |
| シャーシ設定 | |
| 選択 | 210 |
| シャーシ番号、位置 | 270 |
| ジ | |
| ジャンパーケーブルによるエンジンの始動、外部電源 | 105 |
| ジャッキ | |
| 車両のリフトアップ | 104 |
| ジュークボックスに入れて管理する (PCM) | 244 |
| 施 | |
| 施設情報の入力 (ナビゲーション、PCM) | 172 |
| 自 | |
| 自動減光機能の作動/停止 | 240 |
| 自動トランスミッション | 160 |
| 自動ドライビングライトアシスタント | 249 |
| 自動内気循環モードの設定 | |
| 2ゾーンエアコン | 40 |

| | |
|--|-----|
| 車 | |
| 車両車両データ | 270 |
| 車両設定 | |
| エアコン設定 | 236 |
| 警告音量およびパーキングアシスタントの調節 | 236 |
| 言語を変更 | 237 |
| ドアロック機能を設定する | 236 |
| マルチファンクション ステアリングホイールのボタンの割り当て変更 | 235 |
| マルチファンクションディスプレイの調節 | 232 |
| マルチマルチファンクションの設定を変更する | 232 |
| ライト、フロントウィンドウワイパーおよびミラーの調整 | 234 |
| 工場の設定に戻す | 237 |
| 単位の設定 | 236 |
| 日付と時刻の設定 | 234 |
| 車両データ用データバンク | 270 |
| 車両ドア | |
| 開く | 125 |
| キーによるロック (リモートコントロール) | 124 |
| 車内からのドアの開閉操作とロック | 124 |
| 車内からのロック | 124 |
| 車内からのロックの解除 | 125 |
| 緊急ロック | 126 |
| 車両のお手入れ | |
| アンダーコーティング | 113 |
| ウィンドウ | 112 |
| エアバッグ | 114 |
| 革 | 114 |
| 警告 | 110 |
| 軽合金製ホイール | 113 |
| シートベルト | 115 |
| シール | 113 |
| 車両の保管 | 115 |
| 洗車 | 110 |
| 塗装 | 112 |
| ファブリックライニング | 114 |
| ヘッドライト、プラスチック製部品 | 113 |
| ホイールボルト | 139 |
| Alcantara®/ Race-Tex / その他の生地 | 114 |
| 高圧洗浄機の使用 | 110 |
| 車両の洗浄 | 110 |
| 車両の保管 | 115 |
| 車両情報 | |
| マルチファンクションディスプレイの呼び出し | 229 |
| 車体番号、位置 | 270 |
| 洗 | |
| 渋滞メッセージ | 175 |

| | |
|----------------------------------|-----|
| 収 | |
| 収納スペース | |
| アームレストの小物入れを開く | 116 |
| グローブボックス | 116 |
| シート後方の小物入れを開ける | 117 |
| 収納オプション | 116 |
| 充 | |
| 充填容量 | |
| ウォッシュャー液 | 271 |
| エンジンオイル | 271 |
| クーラント | 271 |
| 燃料 | 271 |
| フルードと燃料の概要 | 271 |
| 重 | |
| 重量 | |
| テクニカルデータ | 272 |
| 消 | |
| 消火器 | |
| インフォメーション | 11 |
| 収納場所 | 11 |
| 取り外し | 11 |
| ス | |
| スタート/ストップ機能 | 52 |
| ステアリングホイール | |
| ボタンの設定 | 235 |
| 調節 | 118 |
| ヒーターのON/OFFの切り替え | 118 |
| ステアリングホイールヒーターのON/OFFの切り替え | 118 |
| ステアリングコラムをロックする | 169 |
| ステアリングロック | 169 |
| ストップウォッチ | 63 |
| スノーチェーン | |
| 一般情報 | 138 |
| スピードメーター | 28 |
| スペアホイール | |
| タイヤ空気圧 | 273 |
| 使用 | 187 |
| スポーツエキゾーストシステム | 119 |
| スポーツクロノ | |
| PCMでのスポーツクロノのストップウォッチの表示 | 64 |
| スマートフォン | |
| 接続ステータスの表示 | 153 |

| | |
|-------------------------------------|-----|
| Bluetooth® 経由で接続する | 152 |
| スモークカーズ パッケージ | 120 |
| スロットルブリッピング機能 ON/OFF の切り替え | 160 |

セ

| | |
|--------------------------------|-----|
| セーフロック | 123 |
| セレクトラー レバー ポジションインジケーター | 29 |
| セレクトラー レバーの緊急解除 | 121 |
| セレクトラーレバーポジションディスプレイ | 161 |
| センター アームレスト ドアポケットを開く | 116 |
| セントラルロック 概要 | 122 |
| キーによるドアの解除 (リモートコントロール) | 123 |
| キーによるロック解除 (リモートコントロール) | 124 |
| 機能説明 | 123 |
| 車内からのドアの開閉操作とロック | 124 |
| セーフロック | 123 |

接

| | |
|------------------------------|-----|
| 接続する デバイスマネージャー | 149 |
| Porsche Connect へのログイン | 128 |
| 接続接続ステータスの表示 (PCM) | 153 |
| 接続マネージャー | 149 |

設

| | |
|---------------------------------|-----|
| 設定 マルチファンクションディスプレイの調節 | 232 |
| MyScreen (PCM) | 217 |

洗

| | |
|----------|-----|
| 洗車 | 110 |
|----------|-----|

選

| | |
|----------------|-----|
| 選局 (ラジオ) | 262 |
|----------------|-----|

ソ

| | |
|--------------------------|-----|
| ソース (PCM メディア) の選択 | 242 |
| ソースから検索 (PCM メディア) | 243 |

タ

| | |
|------------------------------|-----|
| タイヤ ウィンタータイヤ (一般情報) | 137 |
|------------------------------|-----|

| | |
|---|-----|
| 交換 | 139 |
| シーラント | 185 |
| 収納スペース | 138 |
| スノーチェーン (一般情報) | 138 |
| タイヤ空気圧タイヤ空気圧モニタリング (TPM) に新 しいタイヤを登録する | 133 |
| タイヤ空気圧プレート | 270 |
| タイヤ交換 (一般情報) | 136 |
| タイヤ表記 | 135 |
| パンク修理 | 185 |
| ホイール ボルトの締め付けトルク | 139 |
| ホイール表記 | 136 |
| マルチファンクションディスプレイでタイプとサイ ズを設定する | 133 |

| | |
|------------------------------------|-----|
| タイヤシーラント 取り外しと収納 | 254 |
| タイヤシーラント/シールセット パンクしたタイヤ用 | 185 |
| タイヤバルブ | 137 |
| タイヤ空気圧 警告 | 135 |
| 現在の設定 | 130 |
| システムレーニング | 133 |
| 速度警告 | 133 |
| タイヤ空気圧プレート | 270 |
| テクニカルデータ | 274 |
| マルチファンクションディスプレイの呼び戻し | 130 |
| タイヤ空気圧警告灯 | 29 |
| タイヤ空気圧プレート | 270 |
| タイヤ空気圧モニタリング (TPM) | 130 |
| 登録 | 133 |

| | |
|--------------------------|-----|
| タイヤ充填コンプレッサー 収納 | 256 |
| 取り外し | 255 |
| タイヤ速度記号 | 135 |
| タコメーター (回転計) 表示 | 28 |

ダ

| | |
|-----------------------|-----|
| ダイナミックコーナリングライト | 250 |
|-----------------------|-----|

縦

| | |
|---------------------|-----|
| 縦方向の加速度 表示 | 230 |
|---------------------|-----|

チ

| | |
|------------------------------|-----|
| チャイルドシート | 141 |
| ISOFIX システムとの取り付け | 147 |
| 助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え | 146 |

遅

| | |
|----------------------|-----|
| 遅延消灯 ON にする | 250 |
|----------------------|-----|

ツ

| | |
|-----------|-----|
| ツール | 254 |
|-----------|-----|

テ

| | |
|--------------------------|-----|
| テキストメッセージ 作成 | 157 |
| 表示と消去 | 156 |
| テクニカルデータ エンジン | 271 |
| 重量 | 272 |
| タイヤ、ホイール | 273 |
| 燃料消費量 | 271 |
| テストスタンド ブレーキテスト | 148 |

デ

| | |
|---------------------------------------|-----|
| データ接続 (PCM) デバイスマネージャー | 149 |
| WiFi 設定 | 158 |
| データ接続接続 (PCM) 設定 | 158 |
| データ接続接続 (PCM) PCM ホットスポットの使用 | 129 |
| デジタルスピードメーター | 28 |
| デバイスマネージャー (PCM) | 149 |

停

| | |
|-------------------------------|-----|
| 停止 エンジン | 51 |
| エンジンの停止 (オートスタートストップ機能) | 52 |
| エンジンの停止 (オートスタートストップ機能) | 52 |
| 停止表示板 | 254 |

電

| | |
|----------------------|-----|
| 電源 テクニカルデータ | 271 |
|----------------------|-----|

電話

| | |
|--------------------------|-----|
| 接続ステータスの表示 | 153 |
| ボイスメールを聞く | 154 |
| メッセージの作成 | 157 |
| メッセージの表示と消去 | 156 |
| Bluetooth® 経由で接続する | 152 |
| 通話履歴 | 155 |
| 連絡先 | 156 |

| | |
|--|-----|
| 電話の使用 | |
| マルチファンクションディスプレイ経由 | 155 |
| 電話を接続する | |
| 設定 | 157 |
| 番号をダイヤルする | 154 |
| SIMカードで | 153 |
| 会議 | 155 |
| 通話を開始と終了 | 154 |
| 電話をつなぐ | |
| 通話の保留 | 155 |
| ト | |
| トランスミッション | |
| マニュアルトランスミッション | 159 |
| Porsche Doppelkupplung (PDK) | 160 |
| トランスミッションおよびシャーシコントロールシステム | |
| 概要 (PSM, PASM, PADM, PTV) | 166 |
| トリップメーター | |
| 表示 | 28 |
| リセット | 28 |
| トルク | |
| ホイールボルトの締め付けトルク | 139 |
| トルク、テクニカルデータ | 271 |
| ド | |
| ドア | |
| 開く | 125 |
| キーによるドアの解除 (リモートコントロール) | 123 |
| キーによるロック (リモートコントロール) | 124 |
| 車内からのドアの開閉操作とロック | 124 |
| 車内からのロックの解除 | 125 |
| 緊急ロック | 126 |
| ドアミラー | |
| 格納 / 復帰する | 239 |
| 調節 | 238 |
| ドアミラー ヒーターのオンオフを切り替える (718 Cayman GT4) | 264 |
| ドアミラーヒーターのオンオフを切り替える 718 Spyder 167 | |
| ドライビングライトアシスタント | |
| ダイナミックコーナリングライト | 250 |
| ロービーム | 249 |
| ONにする | 249 |
| 盗 | |
| 盗難防止機能 | 169 |
| エンジンイモビライザー、ステアリングコラムロ | |

| | |
|----------------------------|-----|
| ク | 169 |
| 警報システム | 89 |
| 盗難防止ホイールボルトとソケットレンチ使用 | 139 |
| 塗 | |
| 塗装 | |
| お手入れの諸注意 | 112 |
| つや出し (ポリッシュ) | 112 |
| 保護する | 112 |
| 汚れ、染みの除去 | 112 |
| 傷の補修 | 112 |
| 塗装面のお手入れ | 112 |
| ナ | |
| ナビゲーション | |
| 交通情報の表示 | 175 |
| 施設情報を入力する | 172 |
| 設定 | 176 |
| 前回の目的地を使用する | 172 |
| ナビゲーションデータベースのアップデート | 176 |
| マルチファンクションディスプレイのマップビューを設定 | 175 |
| マップコード | 172 |
| マップビューを開いて設定する | 174 |
| 目的地の検索 (検索、オンライン検索) | 171 |
| 目的地の検索 (検索、オンライン検索) | 171 |
| 目的地の保存と使用 (お気に入り) | 173 |
| 目的地住所の入力 | 171 |
| ルート情報の表示 | 174 |
| 地図からの目的地入力 | 172 |

荷

| | |
|----|-----|
| 荷物 | |
| 収納 | 254 |

燃

| | |
|----------|-----|
| 燃料 | |
| オクタン価 | 57 |
| 燃費 | 271 |
| 燃料計 | 29 |
| 燃料タンクの容量 | 271 |
| 燃料残量警告灯 | 29 |
| 品質 | 57 |
| 補給 | 57 |
| 燃料計 | 29 |
| 燃料計 | 29 |

ハ

| | |
|----------------------------|-----|
| ハイビーム操作レバー | 251 |
| ハイビームヘッドライト | |
| スイッチ | 251 |
| ハザードライトのオンオフ切り替え | 252 |
| ハンドブレーキ (エレクトリックパーキングブレーキ) | |
| 自動解除 | 199 |
| 操作 | 199 |
| 手動解除 | 199 |

バ

| | |
|---------------------|-----|
| バケットシート | 100 |
| パニティーミラー | 98 |
| バルブの交換 | 253 |
| バックレストを前方または後方へ倒す | 100 |
| バッテリー | |
| 一般情報 | 179 |
| 交換 | 179 |
| ジャンパーケーブルによるエンジンの始動 | 105 |
| 車両エレクトリカルシステム電圧警告 | 81 |
| 充電 | 179 |
| 接続後の作業 | 182 |
| 取り付け位置 | 179 |
| バッテリーの注意事項 | 180 |
| バッテリーあがりによるエンジンの始動 | 105 |

パ

| | |
|-------------------------------|-----|
| パーキングブレーキ | |
| 解除する | 199 |
| 操作 | 199 |
| ブレーキテストスタンドでの測定 | 148 |
| パークアシスト | |
| 機能説明 | 183 |
| パワーウィンドウ | |
| キーによるサイドウィンドウの開閉 (リモートコントロール) | 35 |
| 停止位置の保存 | 35 |
| パワーウィンドウの停止位置の保存 | 35 |

発

| | |
|-------------|-----|
| 発進 | |
| ローンチコントロール | 164 |
| 上り坂発進アシスタント | 191 |
| 発進アシスタント | 191 |

灰

| | |
|----|-----|
| 灰皿 | |
| 開く | 120 |

| | | | | | |
|--------------------------|-----|-----------------------|-----|-----------------------------------|-----|
| 掃除する | 120 | 調節 | 99 | 交換 | 139 |
| 廃 | | バックレストを前方または後方へ倒す | 100 | サイズ | 273 |
| 廃棄 | | ファブリックライニング(お手入れの諸注意) | 114 | 収納スペース | 138 |
| エアバッグ | 283 | ファン設定 | | スノーチェーン(一般情報) | 138 |
| シートベルト プリテンショナー | 283 | 2ゾーンエアコン | 38 | タイヤシールド | 185 |
| 排 | | マニュアルエアコン | 42 | タイヤ空気圧 | 273 |
| 排気システム | | フィルターフラップ | | タイヤ空気圧プレート | 270 |
| スポーツ | 119 | フィルターフラップ位置の表示 | 29 | タイヤ交換(一般情報) | 136 |
| 排出ガス | 271 | フィルターフラップ、緊急操作 | 58 | タイヤ表記 | 135 |
| 排出値 | 271 | フットブレーキ | | 盗難防止ホイールボルト(レンチソケット) | 139 |
| 番 | | 安全に関する注意事項 | 200 | バランス | 138 |
| 番号をダイヤルする(電話) | 154 | ブ | | パンク修理 | 185 |
| ヒ | | ブレーキ | | ホイールボルト(お手入れの諸注意) | 139 |
| ヒューズ | | テストスタンド | 148 | ホイール表記 | 136 |
| ヒューズの交換 | 192 | フットブレーキ | 200 | リム オフセット | 273 |
| ビ | | ブレーキパッドの警告シンボル | 201 | 締め付けトルク | 139 |
| ビークルプレート、位置 | 270 | ブレーキパッド | | ホイールボルト | 139 |
| ビデオビデオの再生(PCM) | 242 | 警告シンボル、ブレーキ | 201 | ホイールのお手入れ | 113 |
| フ | | ブレーキフルード | 202 | ホットスポット | |
| フルードおよび燃料 | | プ | | PCM WiFi ホットスポットの使用 | 129 |
| ウォッシャー液 | 271 | プラグソケット(12V) | 150 | ボ | |
| エンジンオイル | 271 | プレイリストを開く(PCM) | 244 | ボイスコントロール | |
| 燃料 | 271 | 部 | | 調節 | 205 |
| フロアマット、お手入れの諸注意 | 114 | 部分荷重 | | 電話のボイスコマンド | 208 |
| フロントウィンドウウォッシャーシステム | | 3シリンダー操作 | 52 | ナビゲーションのボイスコマンド | 209 |
| ウォッシャー液の追加 | 33 | エンジン音 | 52 | メディアのボイスコマンド | 207 |
| 充填容量 | 271 | へ | | 呼び出し | 204 |
| 不凍液 | 33 | ヘッドライト | | ラジオのボイスコマンド | 207 |
| フロントウィンドウデフロスター | | ウォッシャーシステムの操作 | 198 | Siri | 268 |
| 2ゾーンエアコン | 41 | お手入れの諸注意 | 113 | ボイスメールを聞く(電話) | 154 |
| エアコンシステム | 41 | 左側/右側通行へ切り替え | 203 | ポ | |
| マニュアルエアコン | 44 | べ | | ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) | |
| フロントウィンドウワイパー | | ベビーキャリア | 145 | 機能説明 | 210 |
| お手入れの諸注意 | 266 | ベビーシート | 145 | ポルシェ コネクト | |
| 概要 | 196 | 助手席エアバッグのON/OFFの切り替え | 146 | ログイン | 128 |
| 操作 | 197 | ベンチレーションパネル | | ポルシェ コネクト アプリ | |
| フロントウィンドウワイパー/ウォッシャーシステム | 197 | アッパー | 39 | デバイスマネージャー | 149 |
| レインセンサーをONにする | 197 | ホ | | ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) | |
| ワイパーブレードの交換 | 198 | ホーン | 19 | エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) | |
| ワンタッチ機能 | 197 | ホイール | | とトラクションコントロール (TC) をOFFにする | 222 |
| フロントシート | | ウィンタータイヤ(一般情報) | 137 | エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) | 221 |
| | | 概要 | 273 | をオンにする | 222 |
| | | | | エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) | 222 |
| | | | | およびトラクションコントロール (TC) をオンにする | 222 |

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 機能説明 | 221 |
| OFFにする | 221 |
| ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 一般情報 | 201 |
| ボルシェダイナミックライトシステム (PDLS) | 250 |
| ボルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS プラス) | 251 |

補

| | |
|----------------|----|
| 補給 | 57 |
| フィルターフラップ位置の表示 | 29 |

マ

| | |
|----------------------------------|----------|
| マニュアルトランスミッション シフトアップインジケーター | 159 |
| マルチファンクションステアリングホイール ボタンの設定 | 235 |
| マルチファンクションディスプレイ 作動原理 | 226 |
| マルチファンクションステアリングホイールで操作 | 226 |
| リストから閲覧 | 226 |
| マルチファンクション ステアリングホイールのボタンの割り当て変更 | 235 |
| マルチファンクションディスプレイ オイルレベルの点検 | 47 |
| オプションの選択および機能の有効化 | 227 |
| クロノストップウォッチ | 63 |
| 車両情報の呼び出し | 229 |
| タイヤ空気圧警告 | 135 |
| タイヤ空気圧モニタリング | 130 |
| 電話の使用 | 155 |
| ドライビングデータ表示 (トリップ情報) | 168, 169 |
| 表示エリア | 227 |
| マップビュー | 175 |
| メニュー概要 | 228 |
| ラジオ放送局の選択 | 262 |
| マルチファンクションディスプレイのドライビングデータ | 168, 169 |

ミ

| | |
|----------------------------|-----|
| ミラー 自動減光機能の作動/停止 | 240 |
| ドアミラーの格納/復帰 | 239 |
| ドアミラーの調節 | 238 |
| ドアミラーヒーター (718 Cayman GT4) | 264 |
| ドアミラーヒーター 718 Spyder | 167 |
| パニティーミラー | 98 |

メ

| | |
|---------------------------|-----|
| メディア (PCM) 設定 | 245 |
| プレイリストを開く | 244 |
| メディアソースの選択 | 242 |
| CD/DVDドライブを読み込む | 218 |
| SDカードの挿入および取り出し | 218 |
| 再生 | 242 |
| 対応するデータ形式 | 278 |
| メディアメディア (PCM) 外部機器の接続 | 218 |
| ジュークボックスに入れる | 244 |
| メディアソースから検索 | 243 |
| メンテナンス ウォッシャー液の追加 | 33 |
| エンジンオイルの補充 | 48 |
| エンジンオイルの点検 | 47 |
| クーラントレベルの点検と補充 | 59 |
| メッセージ 作成 | 157 |
| 表示と消去 | 156 |

目

| | |
|---------------------------------|-----|
| 目的地の検索 (ナビゲーション、PCM) | 171 |
| 目的地の検索 (ナビゲーション、PCM) | 171 |
| 目的地の保存と使用 (お気に入り) (ナビゲーション、PCM) | 173 |
| 目的地住所の入力 (ナビゲーション、PCM) | 171 |

横

| | |
|---------------|-----|
| 横方向の加速度 表示 | 230 |
|---------------|-----|

ラ

| | |
|--------------------|-----|
| ライト お手入れの諸注意 | 113 |
| 車両から離れる時に点灯する | 250 |
| バルブの交換 | 253 |
| ヘッドライトバッシング | 251 |
| 雨天時の作動 | 249 |
| 乗車時に点灯 | 250 |
| 乗車時のカーテシーライト点灯 | 250 |
| ライトスイッチ オート機能 | 249 |
| 概要 | 249 |
| ラゲッジカバー | 256 |
| ラゲッジコンパートメント 開く | 254 |
| | 258 |

| | |
|-----------------------|-----|
| ラゲッジカバー | 256 |
| 緊急解除 | 260 |
| 閉じる | 259 |
| ラゲッジコンパートメントリッド 開く | 258 |
| 緊急解除 | 260 |
| 閉じる | 259 |
| ラゲッジカバーの取り外し/取り付け | 256 |
| ラジオ (PCM) 設定 | 263 |
| 選局 | 262 |
| ラジオ放送局の選択 | 263 |
| 周波数を設定する | 262 |
| 放送局情報の表示 | 263 |
| ラジオ放送局の選択 (ラジオ) | 263 |
| ラップトリガー 機能説明 | 246 |
| | 246 |

リ

| | |
|--|-----|
| リモートコントロール | 107 |
| 車両ドアのロック | 124 |
| ドアロックの解除 | 123 |
| リヤスポイラー 作動原理 | 265 |
| リヤ ウィンドウ ヒーターのオンオフを切り替える (718 Cayman GT4) | 264 |
| リヤフォグライト ドライビングライトの調節 | 250 |
| ONにする | 249 |
| リレー 交換 | 192 |

ル

| | |
|------------------------|-----|
| ルート情報の表示 (ナビゲーション、PCM) | 174 |
| ルームミラー 減光 | 239 |
| 自動防眩機能のON/OFF | 240 |
| 調節 | 239 |

レ

| | |
|-----------|-----|
| レインセンサー作動 | 198 |
|-----------|-----|

冷

| | |
|-------------------------------|----|
| 冷却システム マルチファンクションディスプレイの警告 | 78 |
| 冷房機能 2ゾーンエアコン | 39 |
| マニュアルエアコン | 43 |

| | | | |
|--------------------------------|-----|---------------------------------|----------|
| □ | | | |
| ローンチコントロール | 164 | G-Force ディスプレイ | 230 |
| ロック | | Inspection marks | |
| キーによるロックドアの解除(リモートコントロール) | 124 | Radio systems | 284 |
| 車両ドアとキー(リモートコントロール) | 124 | ISOFIX システム | |
| 車内からのドアロック | 124 | 助手席エアバッグのON/OFFの切り替え | 146 |
| ロック解除 | | MyScreen (PCM) | |
| キーによるドアの解除(リモートコントロール) | 123 | 設定設定(PCM) | 217 |
| 123 | | 電話のお気に入りを追加する(PCM) | 156 |
| 車内からのドアロックの解除 | 125 | ON/OFFの切り替え(PCM) | 214 |
| ラゲッジコンパートメントリッドのロックを解除してリッドを開く | 258 | PADM | 166 |
| | | PASM(ボルシェ アクティブ サスペンション マネジメント) | |
| | | シャーン設定の選択 | 210 |
| | | PCCB(ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ) | |
| | | 一般情報 | 201 |
| | | PCM | |
| | | お手入れの諸注意 | 115 |
| | | 外部機器の接続 | 218 |
| | | システム設定 | 219 |
| | | 接続接(データ接続) | 127 |
| | | 電話 | 151 |
| | | ドライビングデータ(トリップ情報)を表示する | 168 |
| | | ナビゲーション | 170 |
| | | パークアシスト | 183 |
| | | ボイスコントロール | 204 |
| | | メディア | 241 |
| | | ラジオ | 261 |
| | | Apple CarPlay | 267 |
| | | CD/DVDドライブを読み込む | 218 |
| | | MyScreenの設定 | 217 |
| | | PCM ホットスポットの使用 | 129 |
| | | SDカードの挿入および取り出し | 218 |
| | | PCMドライブに関する参考 | 217 |
| | | PCM システム設定 | 219 |
| | | PCM 設定 | |
| | | 一般 | 219 |
| | | 音量および音質 | 220 |
| | | 電話を接続する | 157 |
| | | ナビゲーション | 176 |
| | | マップ | 177 |
| | | ラジオ | 263 |
| | | 日付と時刻 | 214 |
| | | PCM 操作 | |
| | | 概要 | 213 |
| | | タッチスクリーンで | 215 |
| | | タッチスクリーン要素 | 214 |
| | | テキストと文字を入力 | 216 |
| | | ボイスコントロール | 204 |
| | | ロータリープッシュボタンで | 215 |
| | | ON/OFFの切り替え | 214 |
| | | PCMドライブ | |
| | | 外部機器の接続 | 218 |
| | | CD/DVDを読み込む | 218 |
| | | SDカードの挿入および取り出し | 218 |
| | | 諸注意 | 217 |
| | | PCMにドライビングデータを表示する | 168 |
| | | PCMにバックグラウンドイメージを表示する | 217 |
| | | PCMの設定 | |
| | | メディア | 245 |
| | | PKD | 160, 161 |
| | | シフトアップインジケータ | 164 |
| | | ステアリングホイールのギヤシフト | 163 |
| | | Porsche Doppelkupplung (PDK) | 160 |
| | | ステアリングホイールのギヤシフト | 163 |
| | | セレクターレバー位置 | 161 |
| | | PSM(ボルシェ スタビリティ マネージメント) | |
| | | エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) | |
| | | をオフにする | 221 |
| | | PSM(ボルシェ スタビリティ マネージメント) | |
| | | エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) | |
| | | とトラクションコントロール(TC)をOFFにする | 222 |
| | | エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) | |
| | | をオンにする | 222 |
| | | エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) | |
| | | およびトラクションコントロール(TC)をオンにする | 222 |
| | | PSM(ボルシェ スタビリティ マネージメント) | |
| | | 機能説明 | 221 |
| | | OFFにする | 221 |
| | | PTV | 166 |
| | | Race-Tex. お手入れの諸注意 | 114 |
| | | Radio systems | |
| | | Inspection marks | 284 |
| | | SDカードの挿入および取り出し | 218 |
| | | SIMカードの挿入と取り出し | |
| | | 挿入と取り出し | 153 |
| | | Siri | 268 |
| | | TPM(タイヤ空気圧モニタリング) | 130 |
| | | Wi (PCM) | |
| | | 設定 | 158 |
| | | PCM WiFi ホットスポットの使用 | 129 |
| | | Wiを使用してボルシェコネクティブアプリをPCMに接続する | 211 |
| | | 圧力 | |
| | | タイヤ | 273 |
| | | 引き出し駐車 | |
| | | 機能説明、パーキングアシスタント | 183 |
| | | 右側通行(ヘッドライトの切り替え) | 203 |

| | | | |
|----------------------------|-----|----------------------------------|-----|
| 応急処置セット | 254 | 通話を保留(電話) | 155 |
| 会議(電話) | 155 | 通話履歴履歴(電話) | 155 |
| 確立する | | 締め付けトルク | |
| データ接続(PCM) | 127 | ホイールボルト | 139 |
| 緊急解除 | | 内気循環ボタン | 40 |
| ラゲッジ コンパートメントの | 260 | マニュアルエアコン | 44 |
| 緊急操作 | | 内気循環モードをONにする | |
| コンバーチブルトップ | 95 | マニュアルエアコン | 44 |
| フィルターフラップ | 98 | 内気循環モードをオンにする | |
| 緊急ブレーキ機能 | 199 | エアコンシステム | 40 |
| 工具セット | | 日付と時刻の設定(マルチファンクションディスプレイ) | 234 |
| 取り外しと収納 | 254 | 日付と時刻の設定(PCM) | 214 |
| 高圧洗浄機 | | 不凍液 | |
| 取扱説明書 | 110 | ウォッシュャー液の割合 | 33 |
| 左側通行(ヘッドライトの切り替え) | 203 | クーラント内 | 59 |
| 始動 | | 風量設定 | |
| エンジン | 50 | 2ゾーン エアコン | 38 |
| 時計 | | エアコンシステム | 42 |
| クロノストップウォッチ | 63 | 平均速度の表示 | 168 |
| 助手席エアエアバッグOFFのインジケータ | 46 | 平均燃費の表示 | 168 |
| 助手席ミラー | | 閉める | |
| 格納/復帰する | 239 | 車内からのドアロック | 124 |
| 調節 | 238 | 放送局情報の表示(ラジオ) | 263 |
| 小物入れ | | 方向指示灯、スイッチ | 251 |
| アームレストの開閉部 | 116 | 履歴(電話) | 155 |
| グローブボックス | 116 | 連絡先(電話) | 156 |
| シート後方、開く | 117 | | |
| 収納スペース | 116 | | |
| 積算距離 | | | |
| 表示 | 28 | | |
| リセット | 28 | | |
| 総排気量 | | | |
| テクニカルデータ | 271 | | |
| 走行距離の表示 | 168 | | |
| 走行時間の表示 | 168 | | |
| 地図(ナビゲーション、PCM) | | | |
| 設定 | 177 | | |
| 地図(ナビゲーション、PCM) | | | |
| マルチファンクションディスプレイのマップビュー | | | |
| を設定 | 175 | | |
| マップコード | 172 | | |
| マップビューを開いて設定する | 174 | | |
| 地図(ナビゲーション、PCM) | | | |
| 地図からの目的地入力 | 172 | | |
| 駐車 | | | |
| 機能説明、パーキングアシスタント | 183 | | |
| PDK | 161 | | |
| 通話を開始と終了(電話) | 154 | | |

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120"846-911

車両受領証
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時

お客様の署名

